

タト云フコトヲ申シテ居ル、文部當局ガ漏洩シタト云フコトハ自ラ文部大臣ガ申シタノデハナ  
 イ然ルニ下岡君等ノ質問書ニハ文部當局ガ漏洩シタト云フコトヲ言ウテ居ル、凡ソ國務大臣  
 ヲ彈劾セント欲スルナラバ、事實ヲ能ク明カニシテハナラナイノデアリマス、文部大臣ハ  
 何ト云フタ、文部當局ノ計畫ノ一部ガ他ニ漏洩シタノデアルソレガ爲メニ一層紛糾セシメタ、  
 スウ言ウテ居ル、然ラバ問ハンソレヲ捉ヘテ憲政會ノ諸君ハ何ト云フテ居ル此點ハ憲政會  
 ノ諸君ニ於テ最モ苦痛トスル所デアルソレ故ニ之ヲ故意ニ葬ラウト云フノデアリマセウ此  
 貴族院ノ速記録ト諸君等ガ提出シタル所ノ此質問書ト二ツヲ比較シテ見ルガ宜シイ其間ニ  
 確ニ間違ガアル物ガ——或ル事柄ガ漏洩シタト云フノト、或ル事柄ガ洩レタト云フノトハ  
 大變ナ違デアアル文部當局ノ計畫ノ一部ガ洩レタト云フコト、文部當局ガ自分デ其計畫ヲ洩  
 シタト云フコト、ハ大變違フソレヲ憲政會ノ諸君ハ混同シ、文部大臣ノ言ハザル言葉ヲ言ヘル  
 カノ如クニ稱ヘテ居ルノデアアル實ハ此決議案ナルモノハ文部大臣ノ演説ト憲政會ノ質問書ト、  
 此二ツヲ比較シテ見レバ明白ニ分ルノデアアル如ク文部大臣ノ言ハザル言葉ヲ言ヘルカノ如  
 クニ稱ヘテ、誤レル事實ノ上ニ質問書ヲ書イテ、之ニ依ッテ文相ヲ責メル材料トスルト云フガ如  
 キハ、餘リ見下ゲ果テタル態度デアアル文部大臣ヲ非難セント欲スルナラバ、的確ノ事實ニ基イテ  
 爲セバ宜シイノデアアル、事實ナラザル事實ナルカノ如クニ裝ウテ、大臣ヲ責メル武器ニスルト  
 云フコトハ、餘リニ卑劣ナル遣方デアアルト信ズル即チ文部大臣ガ十四日ノ答辯書ニ於キマシテ、  
 當局ガ計畫ノ一部ヲ漏洩シタリト云フガ如キ事ヲ述ベタルコトナシト云フタノハ、正ニ其通り  
 デアル能ク憲政會ノ諸君ハ文部大臣ノ食言云々ト云フコトヲ入釜シク言ハレマス、嘘ヲ言フ、嘘  
 ヲ言フト云フコトハ餘程御嫌ノ筈デアアル、然ルニ茲ニ提出者自身ガ偽ヲ言ウテ居ルノハ何事デ  
 アル文部大臣ノ言ハザル事ヲ言ヘルガ如クニ言フノハ何事デアアル是コソ本當ニ言フ食ム者デア  
 ル、憲政會ヨリ出サレタル決議案ノ中ニハ「故意ニ事實ノ真相ヲ偽リ」ト云フ語ガ用キテアル、憲  
 政會ノ質問書コソハ故意ニ事實ノ真相ヲ偽リテ居ルモノデアアル明白ニ違ッテ居ル、文部大臣ノ言  
 ハザル事ヲ言ヘリト云フノハ即チ偽デアアル如ク誤レル事實ヲ基礎ト爲シ、文部大臣ノ言ハ

ザルコトヲ言ヘルカノ如ク之ヲ捉ヘテ、其基礎ノ上ニ此決議案ヲ提出シテ居ルノデアリマスカ  
 ラ、此決議案ハ如何ニ價値ノナイ、如何ニ權威ノナイモノデアアルカト云フコトハ明白デアアルト思  
 フ文部當局ノ計畫ノ一部ガ他ニ漏洩シタト云フコトハ文部大臣ガ貴族院ニ於テ述ベラレタ文部  
 大臣ガ貴族院ニ於キマシテ、計畫中ノ一部ガ他ニ漏洩シタ爲メニ、一層紛糾ヲ重ネシメタト云フ  
 コトヲ言ハレマシタノハ、如何ナル事實ヲ指サレタカト申セバ、ソレハ昨年十一月二十五日ニ東  
 京ノ或ル有力ナル新聞ガ此昇格問題ニ就テ、或ル素破抜ヲ致シタノデアリマス、即チ其新聞紙上  
 ニ於キマシテ、十一月二十四日ノ閣議ノ内容ニ就キマシテ、昇格問題ニ關スル、或ル一部報導ヲ  
 ニ不正確極マルモノデアッタ、若シ文部當局ニ於テ計畫シテ居ル其全部ガ公ニセラレマシタナラ  
 バ、或ハ誤解ヲ防ギ得タカモ知レマセヌ、然ルニ此二十五日ノ東京ノ新聞ニ、昇格問題ニ就テ現  
 レマシタル其記事ハ不幸ニシテ不正確ナルモノデアリマシテ、色々誤解ヲ惹起サシメタノデア  
 リマス、此計畫ノ一部ガ十一月二十五日ノ紙上ニ漏レタト云フコトガ、即チ幾多ノ騒ギノ始マリ  
 デアルノデアリマス、其時ニ其二十四日ノ閣議ノ事ニ就キマシテ二十五日ノ紙上ニ現レマシタ  
 ル記事ガ甚ダ不正確デアリマシテ、之ヲ傳ヘ聞キタル各方面ニ於テ、種々ノ騒ギヲ始メタノデア  
 ル、自分ハ昇格ニナル等デアアルト思ッテ居ッタ所ガ、茲ニ發表サレタモノ、中ニ這入ッテ居ナイガ、  
 或ハ新聞記事ニ現レテ居ル——昇格スベキモノト思ッテ居ッタ學校ガ、アノ學校ガ昇格スルナラ  
 バ、自分ハ當然這入ッテ居ラナケレバナラスノニ、昇格ニナラナイノハドウ云フ譯デアアルトカ、十  
 一月二十五日及ソレヨリ引續イテ新聞記事ニ漏レタコトガ、各學校ニ於テ種々ノ騒ギヲ起サセ  
 ル種トナッタノデアリマス、即チ文部大臣ノ答辯書ノ中ニ於キマシテモ、昨年末他ニ漏洩シタル  
 爲メ一層紛糾ヲ重ネ云々ト申シテ居ラレルノハ、即チソレデアリマス、斯ウ云フ關係デ、學校騒  
 動ト云フモノガ一層烈シクナッタノデアリマス、是ハ敢テ文部當局者ガ漏シタノデモナケレバ何  
 デモナイ、此門ニ就テ貴族院ニ於テモ質問ガ現レマシテ、然ラバ其際ニ其計畫ノ一部ヲ漏シタト  
 云フノハドウ云フ方面ノドウ云フ人ガ漏シタノデアアルカ、ソレガ判ッテ居ルカト云フコトヲ質問



セラレマシタガ、何人カ其漏シタ者ハ今日ニ至ルモ尙ホ不明デアルト云フコトヲ、文部大臣ガ答ヘラレテ居ル、故ニ斯ウ云フ關係カラ學校騒動ト云フモノガ一層紛糾ヲ重ネルコトニナッタノデアリマスカラ、ソレヲ文部大臣ガ三月十四日ノ答辯書ニ於テ説明セラレテ居ルト云フノハ、是ハ事實ノ儘ニ述ベタノデアアル然ルニ之ニ對シテ憲政會ノ諸君ガ更ニ決議案ヲ提出セラレテ、爰ニ事實ノ真相ヲ偽ルモノデアアル、食言ノ罪ヲ累加スルモノデアアルト、斯ノ如クニ言ハル、ノハ實ニ驚入タル次第デアアル、實ハ私ノ推察スル所ニ依レバ、憲政會ノ諸君ハ初メ貴族院ニ於ケル文部大臣ノ演説ヲ注意シテ讀マナカッタモノデアラウト思フ、其速記録ヲ注意シテ讀マザリシガ爲メニ文部當局ガ自分デ計畫ノ一部ヲ漏シタノデアアル、カノ如クニ諒解セラレタノデアアル、其誤解ヲ出發點トシテ此質問書トナリ、次デハ此決議案トナッタノデアアリマシテ、全ク誤解ヨリ出デタル此諸君ノ騒ギハ、甚ダ御氣ノ毒ニ存ズルノデアリマス、尙ホ下岡君ハ此席ニ於テ其提案ヲ説明セラ、ニ當リマシテ、國務大臣ナルモノハ、天皇ニ直隸シテ云々デアアル、文部大臣ガ自分ハ此昇格問題ニ就テノ意見ヲ改メナイニシテモ或ハソレヲ實行スルニ内閣ト云フモノモアル、教育會議ト云フモノモアル、色々ナル機關ヲ經ネバナラヌト云フコトハ、分リ切ッテ居ル、ソレガ爲メニ、或ハ事ヲ思フ如クニ進行シ得ナイノハ、已ムヲ得ナイト云フコトデアアルガ、ソレハ怪シカラナイト云フコトヲ諸君ガ言ハレルサウシテ天皇ニ直隸スルモノデアアルカラ、内閣ニモ頓著セズ、何事デモ自由ニ爲シ得ルカノ如キ議論ヲ下岡君ハ爲サ、ルノデアリマス、實ニ是ハ國務大臣ナル者ノ地位ニ就テノ官僚的ノ議論デアアルト私ハ思フノデアリマス官僚政治家ハ内閣中ニ於ケル所ノ國務大臣ノ地位ナルモノヲ顧ミナイ、大臣ハ天皇ニ直隸スル、同僚トカ内閣ノ閣議ノ如何トカ、ソノナコトニ頓著シナイデモ宜シイ、直接ニ天皇ニ直隸シテ自分ノ思フ儘ヤレバ宜イ、斯ウ云フコトヲ言フノハ、官僚家ノ言フコトデアアル、立憲政治ニ於テハ國務大臣ガ爰ニ如何ナル意見ヲ有スルトモ、此内閣ヲ無視シテ内閣會議ヲ無視シテ、勝手放題ノ事ヲ爲スト云フコトハ出來ナイ下岡君ヨリシテ、大臣ノ地位ニ就テ、私ハ餘リニ官僚的ナル議論ヲ聽クコトヲ甚ダ遺憾ニ思フノデアリマス、加之下岡君ハ斯ク言ハレルノデアリマス、昇格ノ問題ニ就テ、自分ノ意見ト云フモノガ

十分實行セラレナイト云フコトデアアルナラバ、責ヲ引クベキデハナイカ然ルニ此昇格問題ハ未ダ其終結ニ達シテ居ラナイノデアリマス、文部大臣ノ希望、文部大臣ノ計畫、此計畫ハ總テ葬ムラレルカ、否ヤト云フコトハ、マダ決定シテ居ル問題デハナイ否文部大臣ハ此昇格問題ニ就テノ平素ノ希望、平素ノ意見、此實行ノ爲メニ今尙ホ現ニ努メツ、アルノデアリマス而シテ政府ニ於テモ此大體ノ希望、大體ノ意見ト云フモノハ、認メラレテ居ル、ソレガ爲メニ、總理大臣ノ下ニ於テ調査委員ヲ造リ、此問題ノ實行上ニ就テノ其方案ヲ今既ニ研究セラレ、加之既ニ大體ノ骨組ハ出來テ、大體ノ骨組ハ既ニ決定セラレタト云フコトヲ總理大臣ハ申シテ居ルノデアリマス、然ラバ即チ此昇格問題ハ今ヤ實行ノ途中ニアルノデアアル、骨組ハ出來タ骨組ハ既ニ決定セラレタ、之ヲ更ニ實行スルニ於テハ、今一段ノ手順ヲ盡セバ、宜イマデニ運ビツ、アルノデアリマス、然ラバ則チ此問題ナルモノハ、實行セラレズト云フ決定ヲ受ケタノデハナイ、否今ヤ實行セラレントスル途中ニアルノデアアル斯ノ如キ場合ニ於テ、文部大臣ガ何ガ故ニ責ヲ引カザルヲ得ナイノデアアルカ文部大臣ハ其希望、其意見ヲ徐々ニ進行シツ、アル場合ニ於テ、何ガ故ニ責ヲ引カザルヲ得ナイノデアアルカ要スルニ此問題ニ就テ憲政會諸君ノ提出セラレタル決議案ハ、何等價値ナク、何等ノ理由モナク、何等ノ權威モナキモノト云フコトハ既ニ明白デアアルト思フ、彼等ガ囂々トシテ騒グト云フコトハ其證據デアアル道理ニ於テ頼ム所ガアルナラバ靜ニ吾々ノ言フコトヲ聽クベキ筈デアアル議論ヲ以テ十分ニ戰フコトガ出來ナイカラ、彼等ハ囂々騒イデ吾々ノ議論ヲ遮ラントスルノデアアル要スルニ初メニ申シタ如ク、此問題ハ——既ニ文部大臣ガ所謂食言ヲシタト云フ問題ガ、本議場ニ於テハ最初ノ不信案決議ノトキニ於テ否決サレテ、既ニ否認ノ宣告ヲ與ヘラレテ居ル、況ヤ貴族院ニ於テモ此問題ヲ以テ問責問題トシテ、彈劾ノ問題トスベキ値打ノアルモノデナイト云フコトガ宣告サレタ、即チ死セル問題ニ對シテ此値打ナキ生命ナキ問題ニ對シテ、是ダケ言葉ヲ費シタト云フコトハ、要スルニ唯ダ同僚ニ對スル尊敬ノ餘リデアルト御承知ヲ願ヒタイ

高木正年君ノ賛成演説



少シ静ニ御聴キヲ願ヒタイノデアリマス、私ハ先ツ林毅陸君ニ敬意ヲ表シマス爲メニ一言林君ノ長イ御演説ニ對シテ御答ヲ致シテ置キタイト思フノデアリマス、御答ト云フヨリハ寧ロ簡單ニ之ヲ批評致シテ見ヤウト思フノデアリマス、林君ノ御演説ハ極メテ長時間デアリマシテ、數千萬言ヲ重ネラレタノデアリマスガ、私ハ二ツノ言葉ヲ以テ林君ニ敬意ヲ表シテ置キタイト思フノデアリマス、能ク御聴キヲ願ヒタイノデアリマス、元來此問題ハ的確ノ問題デアッテ、衆議院ニ於テ下岡君及其他ノ人々ニ文部大臣ガ發言セラレタト云フコトノ此間ニ矛盾ガアルト云フコトガ問題トナッテ居ル、所謂新ナル食言問題ナルモノハ、即チ此二ツヨリ胚胎シテ居ルノデアリマス、私ハ林君ノ御演説ガ騷擾ノ間ニ終リマシタ爲メニデス、多ク聽クコトヲ漏シマシタケレドモ、此問題ハ初メニ申スガ如ク、事實トシテ、世ノ中ノ人ガ盡ク承認シテ居ル問題デアリマス吾々ガ此壇上ニ於テ或ハ官報其他貴族院ノ議事筆記ニ於テ之ヲ見ルノミデハナイノデアリマス、下岡君ガ引例セラレマシタ所ノ遠イ宮城縣ノ兒童スラモ此問題ニ就テハ疾クニ二枚舌ナル言葉ヲ傳唱シテ居ルデアリマセヌカ能ク事實ヲ天下公衆ガ認メテ居ル、此問題ニ對シテ林君ハ食言シテモ宜イト云フ御議論ナラ或ハ聽クベキ筋ガアルカモ知レヌノデアリマス、食言デナイト云フガ如キコトハ、況ヤ漏シタコト、發表シタコト、發意デアッタコト、斯ク話シタト云フコトノ此二ツノ區別ヲ付ケテ御辯駁ニナルコトハデス、如何ニモ解シ難キコトデアッテ、是コソ所謂官僚式ノ辯駁ト言ハナケレバナラヌコトデアルト私ハ思フノデアリマス今一ツ林君ニ答ヘテ置キタイノハ……私ハ極メテ咽喉ガ惡イノデアルカラ、靜ニ御聴ヲ願ヒタイ、諺ニ言多キモノハ品少シト云フ言葉ガアリマスガ、確ニ林君ノ御演説ハ此一言ヲ以テ評シマス更ニ林君ノ爲メニ幸ナノハ、此議場ガ騷然デアッタコトデアリマス、幸ヒ林君ノ一言一句悉ク聽取レタナラバ、私ハ其恩惠ニ依ッテ此壇上ニ二三時間ハ起ツ事ガ出來タカモ知レマセヌ、是ハ彼我ノ幸ヒデアルト私ハ思フ、皆様ノ幸ヒデアルト思フノデアリマス靜カデアリマスレバ極メテ私ノハ短カイ、私共ハ世ノ中ニ起ッテ居リマスニハ、自分ノ主義主張ガ容レラレナカッタ場合ニ於キマシテ、政黨ニ在ッテハ、其黨派ヲ去ルノハ當然デアリマシテ、臺閣ニ在ッタナラバ、自カラノ主張ガ内閣ニ容レラレザル

トキハ去ルト云フコトガ、是ガ政治家ノ常道デアリマス私共ハ文部大臣ニ難キヲ責メルノデハナイ、政治家ノ常道ヲ採ッテオ歩キナサイト云フコトヲ教ヘルト云フヨリハ、寧ロ今日ニ於テ之ヲ促スノデアリマス、何モ少シモ不思議ナ所ノ吾々ノ議論デハナイ、詭辯デハナイ、最モ能ク分リ切ッテ居ル事柄デアリマスルガ、只ダ私ガ政友會ノ諸君ニ申上ゲルノハ、元來此問題ハ國民ノ人格ニ關スル問題デアリマス一體議會ノ問題ニハ幅ノ廣イモノガアリ、幅ノ狭イモノガアル、永久ニ互ル所ノ思想上ノ問題モアレバ、只ダ短キ所ノ時期ノ問題モアリマス、豫算ノ如キハ大切ナ問題ト云ッテモ、多クハ年度ニ關係シテ居ル、思想上ノ——永久ニ互ッテ國民思想上ニ惡影響ヲ及ボスト云フ問題ノ如キハ——如何ニモ此問題ハ永久ニ互ルベキ問題、有體ニ申セバ黨派ヲ超越シタ問題、國民思想ノ問題デアルト斯様ニ申サンケレバナラヌト思ヒマス假ニ政友會ノ方ガ今ノ内閣ガ廢メラレテ、後ノ内閣ニ對シテ、議會ニ御立チニナルトキニ、大臣ガ失言ヲシタ其失言ガ多クノ人心ニ影響スルト云フ場合ニ、諸君ハ黙ッテ御出ニナルト云フ御考デアリマスカ、又前ノ内閣ノ人ガ失言サレタ場合ニ、政友會ノ方ハ其内閣ヲ或ハ陰デハ御助けニナッテモ、表面助ケルト云フコトヲ表白シナイ場合ニ、是等ノ大臣ノ失言ヲ其儘看過スト云フコトハ、一體出來ルノデアリマスカ、何故私ガ此問題ガ永久ニ互ッテ、思想上ノ大問題デアルカト云フコトヲ一言申上ゲテ見ヤウト思フ、元來文部大臣ハ如何ナル職責ヲ有シマスカ、是ハ私中橋文部大臣ヲ離レテ、爰ニ論議シテ見マス、憲法ノ所謂第五十五條ノ國務大臣ハ輔弼ノ責任ヲ有スト云フコトニ就テ、伊藤公ハ如何ナル解釋ヲシテ居ルカ、此箇條ハ極メテ多クノ文字ヲ以テ居リマスガ、其中ノ骨子タルモノハ何デアアルカト云フト、國務大臣ハ憲法及法律ノ支柱デアルト申シテ居ル、私共ガ此問題ニ就テ特ニ疑問ト致シテ居ルノハ、文部大臣ハ如何ニシテ教育勅語ニ對シテ精神的ノ責任ヲ盡スコトガ出來ルヤ否ヤト云フコトガ問題デアルノデアリマス教育勅語ハ法律デモナイ、憲法デモナイ、併シ教育ノ上ニ於テハ確ニ精神的ノ一大根本法デアルト云フコトガ言ハレルノデアリマス、寧ロ此點ニ於テハ法律以上デアアル、文部大臣ハ各學校ニ對シ何ノ爲メニ教育勅語ヲ頒タレタノデアリマスカ、如何ナル時代ノ内閣員ト雖モ、如何ナル後ノ内閣員ト雖モ、苟モ教育勅語ノ存



在スル間、此教育勅語ト相容レザル所ノ行爲ガアッタナラバ、果シテ文部大臣ハ其職責ヲ盡シ得タリト言ハレルデアリマセウカ、是ハ私ハ爰ニ申ス迄モナイコトデアリマス、教育勅語ハ如何ナル事ヲ精神トシテ居ルカ、多クノ言葉ハ在リマシテモ、其中テ殊ニ必要ナルノハ義務觀念ヲ旺ニスルト云フコト、信義ヲ守レト云フ此二ツガ教育勅語ノ一大精神デアルト言ハネバナラヌデアリマス中橋文部大臣ガ如何ニ輔弼ノ責任ヲ盡シ得タカ、義務ハ即チ責任デアリマス、如何ニ世ノ中ニ對シテ守ルベキ所ノ信義ヲ守リ得タカト云フ此點ニ於テ、確ニ疑問デアルト云フコトハ、何人モ疑ハナイノデアリマス、林毅陸君ハ教育家ヲ以テ任ジテ居ラレル、林君御自身ノ立場ニ於テモ、若シ御自身ノ言ハレタコトガ社會ニ影響ガアル、學校ノ生徒ガ之ヲ信ジテ昇格ノ運動ヲスル、之ヲ信ジテ學校騒動ガ起ル、此場合ニ前ニ言ッタコトハ事實デアアル、漏シタコトハナイ、話シタノデアアルガ、漏シタノデナイト云フヤウナ、斯ル辯疏ヲ以テ打消スコトガ出來ルト御考ニナルカ、私共ハ恐ラクハ一個人ト雖モ斯ノ如キ場合ニ、其責任ハ免レナイト思ヒマス責任觀念ノ最モ薄イ支那古昔ノ歴史ヲ讀ンデ見マシテモ、食言ト云フモノハエライ罪深キモノデアルト云フコトヲ言ッテ居ルノデアアル、左氏ノ僖公十六年ノ記ヲ讀ンデ見マスルト「我レ我カ言ヲ食ムハ天地ニ背クナリ」ト書イテアル、責任觀念モ無ク只ダ信義ノ一事ヲ以テ立ッタル支那ノ古キ教ノ上ニ於キマシテモ、既ニ食言ト云フモノハ天地ニ背ク罪惡デアルト云フコトヲ言ッテ居ルノデアリマス、私惟フニ諸君ガ如何ニ此問題ニ就テ辯疏ナスツテモ、議會ニ於ケル二百八十ノ方々ノ御議論ハ姑ク之ヲ論外トシテ、多クノ國民ノ上ニ於テ、況ヤ小學兒童ノ上ニ於テスラ、文部大臣ノ言葉ハ確ニ是等ノ多クノ兒童ノ上ニ於テ、現任文部大臣ハ信任ヲ問ハレテ居ルト言ハナケレバナラヌノデアリマス況ヤ國民投票ヲ以テ文部大臣ノ信任ヲ問ハレ果テタリト、斯様ニ申シテモ是ハ決シテ無理ナル言デハナイト私ハ信ズルノデアリマス下岡君ハ殘骸ニ鞭ツヤウデアルト言ハレタガ、私ハ同感デアリマス、現内閣ノ運命ハ最早旦夕ニ迫ッテ居ルノデアアル、此場合ニ此殘骸ニ鞭ツト云フコトハ、如何ニモ吾々之ヲ爲スニ忍ビナイト思ヒマスケレドモ、一面此問題ヲ考へ來リマスレバ、一ハ教育ノ將來ニ互ッテ惡化ヲ及ボスコトヲ防キ、一ハ現任文部大臣

中橋國務大臣ハ辯明ヲ爲ス

只今上程ニナッテ居リマスル決議案ハ、學校問題ニ關シテデアリマス、此學校問題ニ關シマスル件ハ、尙議場ニ於キマシテモ最初ヨリ屢、御討議ニナッタ次第デアリマス、又貴族院ニ於キマシテモ數十日ニ互リマシテ、激烈ナル討論ガアツタ譯デアリマス今日既ニ定論ノ在ルコトダト私ハ確信シマス故ニ此決議案ニ對シマシテハ、私ハ自分ノ意見ヲ吐ク必要ハナイト思フ次第デアリマス、唯ダ此所デ一言申シテ置キタイノハ、未ダ曾テ私ハ食言ヲ致シタコトハ無イノデアリマス既ニ食言ヲ致シタコトハ無イノデアリマスルカラ、食言ノ累加スルコトモ決シテ無イノデアリマス此點ヲ確言致シテ置キマス、私ハ此場合、憲政會ノ諸君ニ希望ヲ述ベテ置キタイト思フ憲政會ノ諸君ハ屢次決議案ヲ當議場ニ提出ニナッテ、屢次敗レテ御出ニナル、其決議案ノ趣旨タルヤ材料タルヤ多クハ薄弱デアルト思フノデアリマス諸君ガ我國ニ於ケル一大政黨ノ一デアテ、必ズ是ハ後ニ政局ニ當ル御方ニ相違ナイ、斯ノ如キ諸君ハ須ク國民ノ信用ヲ博スルダケノ御行動ヲ爲サルガ宜カラウト私ハ思フ又果シテ當期議會ニ於ケル諸君ノ御行動ハ、國民ニ向ッテ信賴ヲ博スルノ行動デアツタカ、ドウデアツタカ私ハ諸君ニ望ム我國ノ第二ノ大政黨、必ズ他日政局ニ御當リニナラナクチャナラヌ、之ガ爲メニ願クバ今少シク誠意アル御行動ニ出デラレ、今少シク眞面目ナル御行動ヲ執ラレンコトヲ希望スル次第デアリマス

次テ院議賛成者少數ニテ本案ヲ否決セリ



一八 議員中野寅吉君ヲ懲罰委員ニ付スルノ件

右ハ十年三月十七日箕浦勝人君外七名提出決議案(南滿洲鐵道會社ニ對スル監督責任ノ件)ニ對スル鵜澤總明君ノ反對演說中議長ハ中野寅吉君ヲ懲罰委員ニ付スル旨ヲ宣告ス

一九 議員三木武吉君ヲ懲罰委員ニ付スルノ件

右ハ十年三月十七日箕浦勝人君外七名提出決議案(南滿洲鐵道會社ニ對スル監督責任ノ件)ニ對スル森田茂君ノ贊成演說中三木武吉君ハ議長ノ命令ニ服從セサルニ依リ議長ハ同君ヲ懲罰委員ニ付スル旨ヲ宣告ス

二〇 議員横山勝太郎君ヲ懲罰委員ニ付スルノ件

右ハ十年三月十八日日程ニ入ルニ先チ議長ハ横山勝太郎君ニ勸告ヲ爲シ横山君之ニ應答ス  
議長奥繁三郎君ノ勸告

横山勝太郎君ニ御照會シマスガ、一昨日議長ヨリ横山君ノ演說中ノ或ル言葉ニ對シテ、御注意ヲ申上ゲタ點ガ二點アリマシタ、横山君ハ速記ヲ見タ上ノコトニスルト云フ御言葉デアリマシタガ、多分速記テ御覽デシタデセウ、議長モ速記ヲ調べマシタガ、議長ハ其中ノ一點憲法皇室典範

ノ引用セラレタルコトニ就テ御注意ヲ申シマシタコトハ是ハ演說ノ前後ノ聯絡等ヲ調べマシタルト、議長ガ御注意申上ゲタヤウナ廉ヲ發見シマセヌ、故ニ此點ニ對スル御注意ハ議長ニ於テ撤回致シマス、ソレカラ内務大臣ニ對シテノ御發言ハ、矢張議長ガ注意致シタヤウニ、不忠不義ノ臣ト云フコトデアリマス、内務大臣ガ冷カナル態度デアリマス以上ハ私ハ上皇室ニ對シテ不忠不臣ト申サレテ居リマス、其前ニモアリマス是ハ不穩當ト認メマスカラ取消ノコトヲ勸告致シマス

横山勝太郎君ノ應答

極メテ簡單デアリマスカラ此席ヨリ一言ヲ御許ヲ願ヒタイ、一昨日ノ議場ニ於テ、只今議長ヨリ御注意ノ點ニ對シテ、當時私ヨリ斯ク申上ゲテ置キマシタ「只今議長ノ御忠告ガゴザイマシタガ、私ハ國務大臣ニ對シテ無禮ニ當ルト云フ點ニ就テハ、議長ト私ト見解ヲ異ニ致シマスガ、私ガ斯ク申シタノハ、上皇室ニ對シテ恐懼ノ至リニ堪ヘザルガ故ニ斯ノ如キ言論ヲ致シタノデアリマス、故ニ内務大臣ニシテ、此表參道ノ問題ニ關シテ責任ヲ明カニセラレタ曉ニ於テハ、私ハ斯様ナ言ヲ取消スカモ知レマセヌガ、今日ノ如ク内務大臣ガ冷カナル態度デアリマス以上ハ、私ハ上皇室ニ對シテ不忠不臣ト申シマシタ言葉ハ取消シマセヌ」ト斯ク御答致シテ置キマシタ、其後深切ナル議長ノ御忠告ニ基イテ、詳細速記録ヲ調査致シマシタ、成程速記録ノ上ニ於キマシテハ、議長御忠告ノ如キ文章ニ相成ッテ居ルト云フ事柄ハ私モ之ヲ承認致シマス、然レドモ當時議長モ御承知ノ通り、當日ノ議場ノ光景ハ、其原因那邊ニ在ルカハ存ジマセヌケレドモ、非常ナル騷擾紛擾ヲ醸シタル議場デゴザイマシテ、私ノ發言ガ悉ク一言半句モ間違ナク速記ノ上ニ現ハレテ居ルカドウカモ、私トシテモ非常ニ疑ヲ持ッテ見ルベキ狀況デアッタト云フ事柄ハ、御承知ノ通りデアリマス、デ議長ノ御忠告ノ通り、私ハ徒ラニ國務大臣ニ對シテ無禮ノ言語ヲ弄スルト云フ心事ハ毛頭持ッテ居リマセヌ、此故ニ當時私ノ申上ゲマシタ趣意ハ、此明治神宮參道ノ問題ニ關シテ、内



務大臣ハ直接ノ責任ハナイケレドモガ、東京市經營事業ニ關シテハ、其事項ガ内務行政ノ一部タル關係ニ於テ内務大臣ハ責任ガ有ルモノデア、然ルニ今日ニ至ルマデ内務大臣ガ其責任ノ有ル事柄ヲ、事實ノ上ニ於テ御現シナラヌト云フ點ハ、私ハ甚ダ上皇室ニ對シテモ、不忠不臣トナル次第デアルト斯様ニ申上ゲタノデアリマス、此故ニ内務大臣ニシテ今少シク言動ヲ明瞭ニセラレテ、無論直接ノ責任ハ無イケレドモガ、内務行政ノ一部トシテ、責任ハ有ルモノデアルト云フ事柄ヲ明瞭ニシテ呉レマスルナラバ、私ハ無論斯ノ如キ發言ヲ爲スノデアリマセヌ、無論斯ノ如キ發言ハ取消シテモ宜シウゴザイマスガ、今日ノ程度ニ於キマシテハ、過日斷言致シマシタ通りニ、私ハ誠心誠意上皇室ニ對スル關係ニ於テ、内務大臣ノ爲サレマスル行動ハ、甚ダ穩當ヲ缺イテ居ルト信ジマスカラシテ、其意味ニ於テ前日ノ私ノ發言ハ取消ヲ致シマセヌ、併ナガラ深切ナル議長ノ注意ノアル所ハ、私ハ之ヲ服膺致シテ置ク考デアリマス是ダケヲ申上ゲマス

質疑應答ノ末議長ハ左ノ取消ヲ命ス  
更メテ横山君ニ申シマス、横山君ガ不忠不義ノ臣ト内務大臣ニ對シテ言ハレタノハ無禮ノ言ト認メマス、仍テ之ガ取消シテ命令シマス

横山勝太郎君ハ右議長ノ命令ニ服從セサルニ依リ議長ハ同君ヲ懲罰委員ニ付スル旨ヲ宣告ス

二 議員佐々木千秀君ヲ懲罰委員ニ付スルノ件

右八十年三月二十四日下岡忠治君外二名提出決議案(中橋文部大臣ノ責任ニ關スル件)ニ對スル林毅陸君ノ反對演說中佐々木千秀君ハ議長ノ退場命令及制止ニ服從セサルニ依リ議長ハ同君ヲ懲罰

委員ニ付スル旨ヲ宣告ス

第七項 懲罰事犯

大正十年十二月二十八日本院ハ各部ニ於テ懲罰委員ヲ選舉ス委員ハ同日委員會ヲ開キ委員長及理事ノ互選ヲ行ヘリ而シテ本期議會ニ於ケル懲罰事犯ノ件ヲ摘録スレハ即チ左ノ如シ

一 議員鈴木富士彌君懲罰事犯ノ件

右ハ大正十年一月二十七日議長宣告ノ結果(本節第六項(四)參看)懲罰委員ハ審査ノ末議院法第九十六條第一項第三號ニ依リ五日間ノ出席停止ヲ命スヘキモノト決シ二月一日報告書ヲ議長ニ提出シ又懲罰委員横山勝太郎君外九名ハ懲罰事犯ニ非スト認メ少數者意見書ヲ提出セリ  
二月一日議事日程ヲ變更シテ本件及次件(二)ヲ一括シテ院議ニ付シ衆議院規則第九十七條ニ依リ秘密會議ヲ開ク  
次テ公開議場ニ復シ議長ハ秘密會議ノ結果ヲ報告シ本件ハ委員會ノ報告ヲ採用シタルニ依リ鈴木富士彌君ニ對シ左ノ宣告ヲ爲ス



議院法第九十六條第一項第三號ニ依リ五日間ノ出席停止ヲ命ス

二千五百五十

二 議員鈴木富士彌君懲罰事犯ノ件

右ハ十年一月二十七日龍野周一郎君ノ動議可決ノ結果(本節第六項(五)參看)懲罰委員ハ審査ノ末議院法第九十六條第一項第三號ニ依リ五日間ノ出席停止ヲ命スヘキモノト決シ二月一日報告書ヲ議長ニ提出セリ

二月一日議事日程ヲ變更シテ本件及前件(一)ヲ一括シテ院議ニ付シ衆議院規則第九十七條ニ依リ秘密會議ヲ開ク

次テ公開議場ニ復シ議長ハ秘密會議ノ結果ヲ報告シ本件ハ委員會ノ報告ヲ採用シタルニ依リ鈴木富士彌君ニ對シ左ノ宣告ヲ爲ス

議院法第九十六條第一項第三號ニ依リ五日間ノ出席停止ヲ命ス

三 議員中野寅吉君懲罰事犯ノ件

右ハ十年三月十七日議長宣告ノ結果(本節第六項(一八)參看)懲罰委員ハ審査ノ末議院法第九十六條第一項第一號ニ依リ公開シタル議場ニ於テ譴責スヘキモノト決シ三月二十二日報告書ヲ議長ニ

提出セリ

三月二十三日議事日程ヲ變更シテ本件及次件(四)、(五)ヲ一括シテ院議ニ付シ衆議院規則第九十七條ニ依リ秘密會議ヲ開ク

次テ公開議場ニ復シ議長ハ秘密會議ノ結果ヲ報告シ且本件ハ委員會ノ報告ヲ採用シタルニ依リ中野寅吉君ニ對シ左ノ宣告ヲ爲ス

議院法第九十六條第一項第一號ニ依リ議員中野寅吉君ヲ譴責ス

四 議員三木武吉君懲罰事犯ノ件

右ハ十年三月十七日議長宣告ノ結果(本節第六項(一九)參看)懲罰委員ハ審査ノ末議院法第九十六條第一項第三號ニ依リ四日間ノ出席停止ヲ命スヘキモノト決シ三月二十二日報告書ヲ議長ニ提出シ又懲罰委員森下龜太郎君外六名ハ懲罰事犯ニ非スト認メ少數者意見書ヲ提出セリ

二月二十三日議事日程ヲ變更シテ本件及(三)、(五)ヲ一括シテ院議ニ付シ議長ハ衆議院規則第九十七條ニ依リ秘密會議ヲ開ク

次テ公開議場ニ復シ議長ハ秘密會議ノ結果ヲ報告シ且本件ハ委員會ノ報告ヲ採用シタルニ依リ三木武吉君ニ對シ左ノ宣告ヲ爲ス



議院法第九十六條第一項第三號ニ依リ四日間ノ出席停止ヲ命ス

五 議員横山勝太郎君懲罰事犯ノ件

右ハ十年三月十八日議長宣告ノ結果(本節第六項(二〇)參看)懲罰委員ハ審査ノ末議院法第九十六條第一項第三號ニ依リ三日間ノ出席停止ヲ命スヘキモノト決シ三月二十二日報告書ヲ議長ニ提出セリ

二月二十三日議事日程ヲ變更シテ本件及(三)、(四)ヲ一括シテ院議ニ付シ衆議院規則第九十七條ニ依リ秘密會議ヲ開ク

次テ公開議場ニ復シ議長ハ秘密會議ノ結果ヲ報告シ且本件ハ委員會ノ報告ヲ採用シタルニ依リ横山勝太郎君ニ對シ左ノ宣告ヲ爲ス

議院法第九十六條第一項第三號ニ依リ三日間ノ出席停止ヲ命ス

六 議員佐々木千秀君懲罰事犯ノ件

右ハ十年三月二十四日議長宣告ノ結果(本節第六項(二一)參看)懲罰委員ハ審査ノ末議院法第九十六條第一項第二號ニ依リ公開シタル議場ニ於テ謝辭ヲ表セシムヘキモノト決シ三月二十五日報告

書ヲ議長ニ提出セリ

三月二十五日議事日程ヲ變更シテ本件ヲ院議ニ付シ衆議院規則第九十七條ニ依リ秘密會議ヲ開ク

次テ公開議場ニ復シ議長ハ秘密會議ノ結果ヲ報告シ佐々木千秀君ノ入場ヲ許シ且本件ハ委員會ノ報告ヲ採用シタルニ依リ佐々木千秀君ニ對シ議院法第九十六條第一項第二號ニ依リ謝辭ヲ表スルコトヲ命シ佐々木千秀君登壇シテ左ノ謝辭ヲ述フ

謝辭要領

自分儀大正十年三月二十四日ノ會議中議長ノ發言禁止ノ命令ニ從ハス更ニ退場ヲ命セラレタルモ尙之ニ從ハス議場ノ秩序ヲ紊亂シタルハ議院ノ神聖ノ爲ニ恐縮ノ至リニ堪ヘス茲ニ謹テ謝辭ヲ表ス

第八項 請願

大正九年十二月二十八日本院ハ各部ニ於テ請願委員ヲ選舉ス委員ハ同日委員會ヲ開キ委員長及理事ノ互選ヲ行ヒ大正十年一月二十六日委員長ハ全委員ヲ分チテ四科ト爲シ各分科主査ヲ選定シ其ノ所屬ハ各員ノ希望ニ依リ之ヲ定メ以テ請願ヲ審査セリ

本期議會ニ於テ本院ノ受理シタル請願ハ三千三百四十通ニシテ請願委員ハ審査ノ末議院法第六十



四條第二項ニ依リ院議ニ付スヘキモノト議決シ特別ノ報告ヲ爲シタルモノ二千八百二十八通(本節第一款參看)院議ニ付スルヲ要セスト爲シ且議員ヨリ院議ニ付スルノ要求ナキヲ以テ委員會報告ノ通確定セルモノ五百四通審査未了ノモノ八通ナリ而シテ院議ニ付スルヲ要セスト確定セルモノノ内政府ニ參考トシテ送付スヘキモノト議決シタルモノ四百七十七通、不採釋ト決シタルモノ二十七通ナリ特別報告ニ係ル請願ノ内二千五百十五通ハ採擇ニ決シ三百十三通ハ同種議案又ハ請願議決ノ結果採擇ト看做シ請願書全部ヲ政府ニ送付セリ(第四十四回帝國議會衆議院報告第四ノ三參看)特別報告ニ係ル請願ノ討議及表決ハ左ノ如シ

一 朝鮮農事改良株式會社補助豫算ニ關スル請願外五十件

(特一乃至一三、一九乃至五五)

右ハ大正十年二月十二日報告書ヲ議長ニ提出セリ

二月二十五日各請願ヲ一括シテ院議ニ付シ請願委員長植場平君ハ委員會ノ經過及結果ニ付左ノ報告ヲ爲ス

只今議題ニナリマシタ日程第十八ヨリ第六十七マデヲ一括シテ御報告ヲ致シマス、此諸案ニ就

キマシテハ紹介議員諸君ノ熱誠ナル御説明ヲ承リ、又政府當局ノ意見モ徴シマシテ、委員諸君ハ深切丁寧ニ所謂審議ヲ盡シマシテ、總テ理由アル請願ナリト認メマシテ、之ヲ採擇ニスルモノニ決シマシタノデアリマス、此採擇至リマス内容ハ、時々速記録ヲ御手許ニ差上ゲテ居リマスカラ御覽下サツテ御諒解ニナツタコト、心得マス(中略)、請願委員會ノ決議ノ如ク御贊成アラムコトヲ希望致シマス、此段御報告申上ゲマス

院議異議ナク各請願ヲ採擇ニ決シ即日右請願全部ヲ政府ニ送付セリ

二 比布村ニ區裁判所出張所新設ノ請願外三十二件

(特五六乃至六四、六八、七〇乃至七三、七五乃至七七、七九、八〇、

八二乃至九三)

右ハ二月十二日報告書ヲ議長ニ提出セリ

三月一日各請願ヲ一括シテ院議ニ付シ請願委員長植場平君ハ委員會ノ經過及結果ニ付左ノ報告ヲ爲ス御報告ノ前ニ一寸請願委員會ノ經過ノ概要ヲ御參考ニ申上テ置カウト思ヒマス、請願委員會ノ經過並ニ概報ハ昨二十八日迄ニ請願受理ノ總數ハ二千六百五十七件デアリマス、之ヲ第四十一議會會期ノ終了迄ノ受理ノ總數ニ比較致シマスルト、之ヲ超ユルコト五百六十件デアアルノデアリマス、而シテ今二月一日マデニ委員會ノ審査ヲ終了致シマシタノガ、千八百一件デアリマス、之ヲ報告別内譯ヲ致シテ見マスルト、採擇即チ院議ニ付スベシト議決致シマシタモノガ、千五百五十四件デアリマス、政府ニ參考トシテ送付スベキモノト議決致シタモノガ、二百三十五件デア



リマス、本院ニ於テ採擇スベキモノニ非ズト議決致シマシタモノガ十二件デアリマス、尙ホ委員  
會ニ於テ審査中ニ屬シテ居リマスモノガ、八百五十六件アルノデアリマス、然ルニ尙ホ續々毎日  
多數ノ請願ヲ受理シテ居ルノデゴザイマスカラシテ、請願委員ノ諸君ハ一層ノ御勉勵ヲ願ヒタ  
イト云フコトヲ一言加ヘテ置キマス、更ニ一言致シタイノハ、御報告ヲ致シテ置キマシモノ、中  
デ、本院ニ於テ法律若クハ建議等ノ件ヲ可決致シテ居リマスルモノト同種類ニ屬スルモノト、特  
別ノ報告ハ省キマス、併シ報告ハ省キマスケレドモ、一件書類ハ總テ院議ニ付セラレタモノト同  
様ニ、政府ニ送付スルコトニ相成ルノデアリマスカラ、ドウカ御了承ヲ願ッテ置キマス、本日ノ日  
程ノ三十四乃至六十四ハ、總テ請願特別報告ニ屬スルモノデアリマシテ、此各案ニ對シマシテ御紹  
介議員諸氏ノ熱誠ナル御辯明ヲ承リ、又政府當局者ト委員トノ間ニ質疑應答ヲ盡シマシテ、審議  
ノ結果各案トモ請願ノ理由アルベキモノト認メマシテ採擇ニ決シマシタ次第デアリマス(中略)  
右御報告ニ及ビマス

院議異議ナク各請願ヲ採擇ニ決シ即日右請願全部ヲ政府ニ送付セリ

三 室子神社及阿古師神社昇格ノ請願外百二十一件

- (特九七、九八、一〇〇、一〇一、一〇四、一〇七、一〇八、一一三乃至  
一三一、一三七、一三八、一四〇、一四一、一四三、一四四、一四六乃  
至一五三、一五五、一五六、一五八、一六〇乃至一六四、一六九、一  
七〇、一七四乃至一九四、一九八、一九九、二〇四、二〇五、二〇七  
乃至二一二、二一四乃至二一七、二一九、二二一乃至二二九)

右ハ二月十八日及二十五日、報告書ヲ議長ニ提出セリ

三月二十三日各請願ヲ一括シテ院議ニ付シ請願委員長植場平君ハ委員會ノ經過及結果ニ付左ノ報  
告ヲ爲ス

只今議題ニナリマシタ日程六十ヨリ百五十七ニ至ルマデノ諸案ニ就テハ、請願特別報告デアリ  
マス、此諸案ニ對シマシテハ、委員ト政府委員トノ間ニ深切ニ質問應答ヲ重ネマシタ結果、總テ  
理由アル請願ト認メマシテ、院議ニ付スベキモノト決定ヲ致シタノデアリマス、本會ニ於キマシ  
テモ、滿場一致ヲ以テ請願委員會ノ決定ノ如ク御確定アラントヲ希望致シマス、茲ニ序ナガラ  
請願委員會ノ經過ヲ報告致シタイト思ヒマス、請願委員會ノ經過ハ、昨日マデニ即チ二十二日マ  
デニ受理致シマシタ請願ノ件數ガ、三千二百二十二件デアリマス、内審査終了致シマシタモノガ  
三千七十二件、之ヲ内譯ヲ致シマスルト、採擇即チ院議ニ付スベキモノト決定致シマシタモノガ  
二千六百件デアリマス、政府ニ參考トシテ送付致シマスコトニ決定致シマシタモノガ四百四十  
九件デアリマス、不採擇即チ本院ニ於テ採擇スベキモノニ非ズト決セラレマシタモノガ、二十三  
件デアリマス、審査未了ノモノガ二百五十件デアリマス、併セテ御報告ヲ申上ゲマス

院議異議ナク各請願ヲ採擇ニ決シ即日右請願全部ヲ政府ニ送付セリ

四 高等試験令改正ノ請願外百四十四件

- (特二三〇乃至二三四、二三六乃至二三九、二四六乃至二五〇、二五



- 二乃至二六〇、二六三乃至二八六、二九一、二九三、二九五、二九七、二九九乃至三〇四、三〇六乃至三一六、三一八、三二〇、三二二、三二四、三二六乃至三三八、三三九、三四一、三四三、三四五、三四七、三四九、三五〇、三五二、三五四、三五六乃至三五八、三五九、三六二乃至三六六、三六八、三七〇、三七二乃至三七八)

右ハ三月四日及十二日報告書ヲ議長ニ提出セリ

三月二十四日各請願ヲ一括シテ院議ニ付シ請願委員長植場平君ハ委員會ノ經過及結果ニ付左ノ報告ヲ爲ス

只今上程ニナリマシタ諸案ハ、請願委員ノ特別報告デアリマス、此諸案件ニ就キマシテハ、委員ト政府委員トノ間ニ慎重ナル應答ヲ重ネマシテ、尙ホ政府委員ノ意見ヲ徴シマシテ、慎重審議ヲ致シタ結果、總テ採擇ニ決シマシタノデゴザイマス、此經過ニ就キマシテハ、速記録ニ讓ルコトニ致シマシテ報告ヲ略シマス(中略)右御報告申上ゲマス

院議異議ナク各請願ヲ採擇ニ決シ即日右請願全部ヲ政府ニ送付セリ

### 五 賣藥印紙稅全廢ノ請願外五十件

- (特三八〇乃至三八五、三八七、三八九、三九六、三九七、三九九乃至四〇一、四〇六、四〇九乃至四二二、四二五、四二七乃至四三二、

四三九乃至四五二)

右ハ三月十八日報告書ヲ議長ニ提出セリ

三月二十五日各請願ヲ一括シテ院議ニ付シ請願委員長植場平君ハ委員會ノ經過及結果ニ付左ノ報告ヲ爲ス

只今議長ノ御宣告ノ通り日程ノ九十ヨリ百三十八ニ至ル四十九件、一括シテ御報告申上ゲマス、此請願ニ對シマシテハ慎重審議ヲ致シタ結果、各案共相當理由アル請願ナリト認メマシテ採擇ニ決シタ次第デアリマス、其内日程ノ九十四朝鮮ニ衆議院議員選舉法施行ノ請願デアリマス、之ニ就キマシテハ一言ヲ加ヘテ置ク必要ガアルノデアリマス、即チ委員會ニ於キマシテ報告ノ場合ニ敢テ一言ヲ致シテ置クヤウニト云フ決議ガアリマシタ、其決議ニ從ッテ一言ヲ致シマス、此請願ハ衆議院議員選舉法ヲ朝鮮ニ施行セラレタシト云フノデアリマス、辭ニ之ヲ案ジマスルニ、日韓——日鮮待遇ヲ異ニセザルコトハ、日鮮併合ノ大詔ニ依リマシテ炳然タルコトデアリマス、偶、無暴ノ舉ヲ企テル如キ者ノ輩出ハ、偏心懷疑ニ出ルニ依ルモノデゴザイマシテ、本請願ノ如ク穩健ナル方法ニ依ルモノハ、誠意アルモノト認メタノデアリマス、請願委員會ハ朝鮮文化ヲ促進セシメンガ爲メ、此請願ヲ採擇ニ決シタ次第デゴザイマス、然レドモ其施行ニ就キマシテハ、諸多ノ準備ヲ要スル所アルコトヲ深く信ジテ居ル次第デゴザイマス、何卒委員會ニ於テ決シマシタル通り、本議會ニ於キマシテモ、御採擇アランコトヲ希フ次第デゴザイマス、之ヲ併セテ御報告ヲ致シマス、(中略)右御報告申シマス

院議異議ナク各請願ヲ採擇ニ決シ即日右請願全部ヲ政府ニ送付セリ



六 義務教育費國庫負擔額増加ノ請願外二千百十二件

(特六五乃至六七、一三二、一三三、一九五乃至一九七、二八八乃至二九〇、三五四乃至三五六、三八六、四〇二、四〇五、四三三、四三三、四五四乃至四五八、四六〇乃至四六八、四七三乃至四七五、四七七乃至五〇四、五〇六乃至五一六、五一八乃至五三六、五三八乃至五四九、五五一乃至五五三、五五五乃至五九五、五九七乃至六〇一、六〇五乃至六〇八、六一一乃至六一九、六二二乃至六二八)

右ハ二月十二日、十八日、二十五日、三月四日、十二日、十八日、二十二日及二十四日、報告書ヲ議長ニ提出セリ

三月二十六日各請願ヲ一括シテ院議ニ付シ請願委員長植場平君ハ委員會ノ經過及結果ニ付左ノ報告ヲ爲ス

只今上程ニナリマシタ、各案ハ、議長御宣告ノ通り請願委員ノ特別報告デアリマス、此各案ニ就キマシテハ慎重審議致シマシタ結果、各案共相當ノ理由アル請願ト認メマシテ、採擇ニ決シマシタノデアリマス(中略)右御報告申シマス

院議異議ナク各請願ヲ採擇ニ決シ即日右請願全部ヲ政府ニ送付セリ

第三章 質問及答辯

本會期ニ於テ議員ヨリ提出シタル質問主意書ハ總テ七十九件ニシテ内六件ニ對シ口頭ヲ以テ、一件ニ對シ口頭及書面ヲ以テ答辯アリタル外全部書面ヲ以テ答辯アリタリ而シテ質問ハ各省ノ所管ニ涉レリ

今質問及答辯ヲ摘録スレハ左ノ如シ

一 在外朝鮮人ノ取締並朝鮮統治ニ關スル質問

第四十二回帝國議會ニ於テ政府ハ上海滿州西伯利等ニ於ケル朝憲紊亂ノ行爲アル不逞朝鮮人ノ團體乃至自稱假政府等ヲ吹ケハ飛フ如キモノニシテ敢テ介意スルニ足ラスト斷言セリ一箇年ヲ經過シ彼等ノ教唆煽動ニ基ク獨立陰謀運動最熾烈惡化ヲ極メツツアル今日猶其誤リシコトヲ自覺セサルカ

二 在外朝鮮人ノ自稱假政府又ハ英米兩國議會ノ朝鮮人ノ獨立運動ニ對スル決議案或ハ又外國人ノ本國其ノ他ニ於ケル團體乃至個人ノ該運動援助行爲ノ絕對價值如何ハ之ヲ問フノ必要ナシ唯此等カ朝鮮獨立ノ陰謀ヲ企劃シツツアル朝鮮人ノ對照物ト爲ル上ニ於テハ甚大ナル



危險物タルコトヲ知ラサルヘカラス故ニ本員ハ第四十二回帝國議會豫算委員會ニ於テ政府ニ對シ質問ヲ爲スト同時ニ此等陰謀團ハ必ス我カ國家國民ニ取リテ危險且ト利益ナルヲ以テ豫メ之ニ備フル所ナカルヘカラサルコトヲ警告シ置キタルカ果シテ揮春事件間島事件等ヲ惹起スルニ至リタリ之レ政府カ在外朝鮮人陰謀團ニ對スル誤信又ハ取締對應策等ノ怠慢ヨリ起リタルモノト思惟スルノ外ナシ若然ラサルトセハ之ニ對シテ政府ノ執リタル處奈何

三 豫知シタル揮春事件及間島事件ヲ未然ニ防ク能ハス遂ニ英米兩國人等ヲシテ帝國陸軍ノ不法行爲問題ヲ揚言セシムルニ至リ又該地方ニ對スル帝國ノ出兵駐兵撤兵ニ關シ支那ト國際關係ヲ紛糾セシムルニ至リタルハ政府ノ一大失態ナリ之カ顛末及前後策奈何

四 ニコライエフスクニ於テ在留邦人中特ニ婦人小兒ノ虐殺ヲ行ヒタル五百乃至一千名ノ朝鮮人ハ已ニ大正七年四月頃ヨリ彼地ニ於テ露西亞人支那人等ノ共產黨黨員ト共ニ盛ニ朝鮮獨立運動ヲ試ミ排日行爲ヲ爲シ大正八年四月ニハ排日露西亞人ト共ニ軍隊ヲ組織シ我カ軍ヲ欺キ武器ノ配給ヲ受ケタルノ事實アリ政府ハ之ニ氣付キ何等カノ對策ヲ講シタルコトアリ

五 朝鮮獨立ノ陰謀ニ連座シ檢舉セラレタル支那安東縣在住英人「シヨウ」ノ罪狀ハ朝鮮人ノ組織セル自稱上海假政府ナルモノノ逆行行爲ト關係スル所ナキカ

六 呂運亨等上海假政府員ト稱スル者カ支那安東縣ニ交通部ナル陰謀遂行機關ヲ設置シタルコト及其ノ後ノ行爲ハ朝憲ヲ紊亂スル犯行ニシテ制令違反ノ罪狀ヲ構成スルモノト思惟スヘキ事實アリ又彼等不逞鮮人ノ行爲ハ朝鮮内ニ行ハルル獨立運動ト重大密接ノ關係ヲ有シ獨立運動者ノ標的トナリ民心ヲシテ益陰惡ナラシメタルコトハ一般ノ認ムル所ナルニ政府ノ態度及措置ハ其ノ然ラサルモノノ如ク爲ニ朝鮮民心ノ惡化ヲ招致セリ政府カ不逞鮮人ヲ優遇シ又ハ犯罪ヨリ免レシムルノ態度ニ出テタル理由奈何

七 朝鮮併合ノ目的ヲ完成セムトスルハ教育ノ力ニ俟タサルヘカラサルモノ最多シ然ルニ大正八年三月騷擾以來一般鮮人父兄ハ邦人教師ニ就キ子弟ヲシテ教育ヲ受ケシムルヲ欲セス兒童モ亦却テ耶蘇教宣教師等ノ學校ニ通學スルヲ好ミ官公立學校ニハ休校ノ止ムナキニ至レルモノアリ又授業ヲ爲スモ教師ノ言一度國體ニ及ヒ君カ代ノ唱歌ニ至レハ生徒ハ一齊ニ足踏シテ妨害スル等狼藉ヲ極ム爲ニ邦人教師中ニハ寺内總督時代ノ憲兵制度ノ復活ヲ希望スルモノアルニ至レリ是レ果シテ何事ヲ意味スルカ而シテ朝鮮人青少年ノ精神教育ヲ如何ニシテ普及完成セムトスルカ

八 在鮮歐米人中殊ニ宣教師ノ言行及彼等ノ設立ニ係ル學校教會等ニ於テハ獨立思想ノ鼓吹宣傳排日運動ノ教唆煽動ヲ爲ス事實アリ然ルニ政府ハ之ニ對シ直接ノ取締ヲ爲ササルノミナ



ラス間接ニモ彼等ノ本國政府ニ交渉シテ取締ノ舉ニ出テタルヲ聞カス外國人ト云ヘハ腫物ニ觸ルルカ如キ態度ヲ爲スカ故ニ鮮人ノ外人ニ對スル誤信ヲモ大ナラシメ公安ヲ紊ルコト甚シ政府ノ所信奈何

九 朝鮮統治ニ關シ文化政策ノ採用即チ日鮮人差別待遇廢止一視同仁等ノ聲明ノ如キハ頗ル宜シ然ルニ事實ハ朝鮮人ノ人材ヲ壓迫シ登用ノ途ヲ塞キ各方面ニ於テ差別的待遇ヲ爲シツツアリ之レ統治上ノ矛盾ニシテ排日運動ノ原因ナリ若矛盾ナシトスレハ朝鮮人材登用鮮人官吏實業家企業家等優遇ノ事實ノ説明ヲ求ム

十 文化政策ヲ標榜シ言論尊重ノ一事トシテ從來許可セラレサリシ諺文新聞發刊ヲ許可スルト稱シナカラニ新聞ニ局限許可シタルコトカ抑不可解ナリ而モ一度新聞紙發刊セラレ未タ數箇月ナラサルニ發行停止ニ停止ヲ重ネ斷禁セラレタルモノスラアリ中ニハ社長ト八百長のニ發行ヲ停止シタル爲他ノ關係者ヲシテ許可セサル以前ヨリモ更ニ甚シキ不平ヲ叫ハシムルノ失態ヲ演シ新聞政策ハ無益ニ止マラス有害トナレリ其ノ經過ノ説明ヲ求ム而シテ又彼等朝鮮人青年ニ新聞紙發行ヲ許可スレハ獨立運動ヲ鼓吹シ自由ノ要求ヲ爲スノ言論ヲ逞ウスルハ苟モ朝鮮人ヲ知ルモノノ何人モ豫知スル所ナルカ當局ハ此事情スラ知ラスシテ濫ニ新聞發刊ヲ許可シタルモノナルカ

十一 文化政策ヲ標榜シナカラ朝鮮人ニ自治ヲ許シ參政權ヲ與ヘ徵兵ノ義務ヲ負擔セシムルノ意志ナキカ若其ノ意志ナシトセハ一視同仁ハ無意味ニ終リ日韓併合ノ主旨ハ滅却セラレ朝鮮ヲ植民地扱トシ朝鮮人ト日本人トヲ差別待遇ヲ爲スコトトナラサルカ之ニ對スル政府ノ方針奈何

十二 朝鮮併合ノ功勞者中僅ニ少數貴族ノミ恩賞ヲ受ケ事實上ノ功勞者タル學西北會員一進會員等ノ大多數ハ何等行賞ニ與ラス之レ實ニ反總督政治ノ運動起ル最大原因ノ一ヲ爲シタルモノナルカ近來警察機關ノ弛廢ニ伴ヒ此等功勞者中親日派ノ人々ニ對スル獨立陰謀團ノ迫害激甚ヲ加ヘ來リ生存ヲ脅カサルニ至レリ而モ反逆人トモ稱スヘキ陰謀團員ハ懷柔政策ノ名ノ下ニ却テ優遇ヲ享ケ又ハ罪ヨリ逃レシメラレタリ例ヘハ呂運亨ノ如キ鄭安立ノ如キ即チ之レナリ此ノ奇怪ナル現象ハ今ヤ併合ノ功勞者親日派ノ鮮人等ヲ驅テ皆不逞ノ徒ト化セシメツツアリ今夏ヲ埃タスシテ治鮮上實ニ由々敷大問題ヲ惹起セムトスルノ徵候アリ政府ハ之ニ對シ如何ナル處置ニ出テムトスルカ

十三 海外ニ去テ不穩文書ヲ作製シ之ヲ鮮人ニ配付シ又ハ武器ヲ携ヘテ鮮人良民及官吏ヲ教唆煽動シ脅迫シ殺傷シテ益獨立運動ヲ熾烈ナラシメムト企劃セル不逞鮮人中ニハ政府ニ招待セラレ自由ニ帝都ニ出入シテ陰謀宣傳ヲ爲セルモノスラアルニ拘ラス朝鮮内地ニ在テ教唆



サレ煽動サレタルモノハ却テ警察ニ拘留セラレ中ハニ獨立宣傳ノ謄寫版刷一枚ヲ貰フテ懷中シタルカ爲又ハ群衆ト共ニ萬歳ヲ一聲叫ヒタルノ故ヲ以テ刑律ニ照ラサレタル者スラアリ斯ノ如キハ新聲明ノ一視同仁ノ精神ト撞著シ國法ノ權威ヲ損スルコト甚シク統治失敗ノ原因ナリト思惟ス政府ノ所見奈何

十四 總督交迭ト共ニ官吏ノ大交迭ヲ行ヒ上ハ勅任官ヨリ下ハ警部巡查ニ至ルマテ朝鮮又朝鮮人ニ對スル何等ノ理解ナキ人物ヲ引用シ來リテ一種ノ水野閥ヲ作り前總督時代ヨリ勤績ノ少數官吏ヲ呼フニ在來種ヲ以テシ俸給支給方ニ於テ彼等ヲ虐待シ更ニ又朝鮮人官吏ニ對シテモ寧ロ新聲明ト反對ノ事實ヲ示シ居レリ其ノ弊ノ及フ所測ルヘカサルモノアラムトス眞ニ朝鮮統治ノ禍根タリ政府ハ今ニシテ之ヲ芟除スル意思ナキカ

十五 不逞鮮人ノ跋扈甚シク爲ニ郡衛面役所等ノ吏員ハ多ク辭任シ之ヲ補充スル能ハス殊ニ國境方面甚シク事務休止ノ状態ニ在ルモノアリ又或ハ此等行政事務所ヲ駐在所ニ合併シテ辛フシテ執務セルモノモアリ斯ノ如クムハ新總督ノ百ノ改革モ千ノ新法令モ唯總督府内机上ノ事而已ニシテ何等治鮮上ニ貢獻スル所ナシ政府ハ之ニ對シテ如何ナル處置ヲ執ラシムトスルカ

十六 朝鮮ノ經濟ハ併韓後十年ニシテ國庫補給金一千萬圓ヲ要スルニ至リ更ニ大正十年度ニ於テハ事業公債ハ三千五百萬圓國庫補給ハ千五百萬圓ニ増額セラレ更ニ資源ヲ得ル爲驛屯土ノ拂下トナリ新稅ノ賦課トナリ國庫鮮人共ニ困憊ス而モ其多額ノ警備費ニ支出セラレ居ルニ反シ人心ハ日ニ惡化シ安寧秩序愈紊レトス之レ全ク新統治策ノ失敗ヲ語ルモノナリ政府ノ之ニ對スル所見如何

十七 寺内總督時代憲兵制度ノ批難セラレタルハ憲兵ヲシテ單ニ警察行政ヲ取扱ハスルニ止メス寧ロ憲兵萬能ノ政治ヲ行ハシメタルカ爲ナリ而モ總督交迭ト共ニ不用意ニ此ノ制度ヲ廢止シテ失態百出シ今ヤ警察官ノ大增員ヲナシ軍隊ヲ増派シ更ニ又憲兵ヲ増遣スルノ計劃ヲ立テ施政ノ根本ヲモ疑ハシムルニ至リ國費濫費ノ嫌アリ之レ治鮮上何等ノ定見ナキノ結果ナリト思惟ス之ニ對スル政府ノ説明ヲ求ム

十八 朝鮮人ノ自發的農事改良開墾水利等ノ事業ヲ營ム會社ヲ壓迫シ又在來ノ官民投資額莫大ナル此ノ種ノ會社例ヘハ東拓會社殖産銀行等ヲ排斥シテ殊更ニ朝鮮人疑惑ノ最多キ朝鮮農業改良株式會社ト稱スル營利會社ニ對シ同一性質ノ他會社ニ與ヘラレサル各種ノ特權ヲ附與シ國庫ヲシテ結局二千四百萬圓ノ補給ヲ契約セシムルカ如キ豫算案ヲ議會ニ提出スルコト二回ニ及ヒタリ其ノ眞意ヲ解スルニ苦ムノミナラス朝鮮產業界ノ爲ニ憂ヘサル能ハス政府カ他ノ同一目的ノ經驗アル會社其ノ他有益ナルモノヲモ壓迫排斥シ特別ニ一營利會社ニ



特權ヲ與ヘ之ニ補給迄モ與ヘムトシタル理由ハ産業政策ノ方針ニ基キシモノカ而モ今期議會ニ其ノ提案ヲ見サルハ議會ノ意志ヲ尊重シタル爲カ將又産業政策ニ變更ヲ來シタル爲カ其ノ説明ヲ求ム

十九 第四十一回帝國議會ニ於テ朝鮮輕便鐵道ニ對スル年七朱ノ補助法案ヲ提出シナカラ其ノ握リ潰シノ儘ニ委シ閉會トナルヤ否ヤ行政命令ヲ以テ年八朱ノ補助ヲ爲シタルカ如キハ政治ノ不信義ヲ語ルモノナリ其ノ理由奈何而シテ此ノ補給金ハ前渡金多キニ拘ラス事業ハ進捗セス中ニハ内容紊亂セルモノアリト云フ朝鮮事業界ヲ紊スコト甚タシ當局監督權行使ノ程度ニ於テ詳細ナル説明ヲ求ム

二十 京城現物取引所設置許可ニ際シ種々怪聞ヲ耳ニセルカ中ニモ朝鮮人ノ出願ヲ壓迫シ僅ニ一萬株ヲ配分シテ之ヲ口實ニ願書ヲ却下シタルカ如キハ非道ナリ而モ日本人側ノ權利株配分ヲ受ケタルモノノ中ニハ如何ハシキモノアリト云フ之レ又産業上統治上看過スヘカラサル問題ナリ政府ノ所見奈何

二十一 近時朝鮮ノ官有地拂下ケ貸下ケ等カ利權賣買ノ目的ヲ以テ一部政商ノ左右スル所トナリ殊ニ朝鮮人ノ願出テハ概却下セラレ爲ニ鮮人ハ生存ノ安定ヲ脅カサルノ感ヲ生シ排日本人反總督政治運動ノ瀾漫之ニ依テ甚シキヲ加フルニ至レリ誠ニ朝鮮開發上ヨリ見ルモ亦

治鮮ノ大本ヨリ見ルモ遺憾至極ナリ政府ノ之ニ對スル所見奈何

大正九年十二月二十七日山道襄一君ハ右質問主意書ヲ提出シ十年二月一日趣旨辯明ヲ爲スニ先チ原、内田、田中各國務大臣ハ書面ヲ以テ左ノ答辯ヲ爲セリ

- 一 質問書中彼等ノ教唆煽動ニ基ク獨立運動最熾烈惡化ヲ極メツ、アル云々ノ文字ハ果シテ如何ナル事實ヲ指シタルモノカ其事實ヲ舉示スルニ非レハ質問ノ趣旨明瞭ナラサルモ近時不逞運動ハ寧ロ著シク減少シ偶偶國外ヨリ來ル不逞者ノ煽動ニ對シテモ亦鮮内ノ民心之ニ雷同スル者尠キニ至レリ
- 二 滿洲方面ニ於ケル不逞鮮人ノ取締ニ付テハ事支那政府ニ關スルヲ以テ琿春事件又ハ間島事件ノ突發スルニ先チ屢々支那政府ニ交渉シテ之カ取締ヲ求メタリ不幸ニシテ琿春事件ノ發生ヲ見タルモ是レ決シテ政府ノ誤信又ハ怠慢ヨリ起リタルモノト謂フ可カラス
- 三 琿春事件又ハ間島事件ニ關シ外國人中帝國軍隊ノ不法行爲ヲ云爲セシ者アリシモ是レ全ク事實ノ誤解ニ基クモノナリ又該地方ニ對スル帝國ノ出兵駐兵撤兵ニ關シテハ始終支那政府ト良好ノ關係ヲ保持シ之ヲ紛糾セシメタルコトナク從テ政府ニ於テ何等ノ失態アルコトナシ
- 四 本項ニ記載スルカ如キ事實ヲ認メス



- 五 安東縣在住英人「シヨウ」事件ハ目下審理中ニ屬シ茲ニ事實ノ真相ヲ言明スルコトヲ得ス
- 六 制令違反ノ罪狀ヲ構成スル行爲アル者ニ對シテハ我法權ノ及フ限り之ヲ嚴罰シテ假借スル所ナシ又政府ニ於テ不逞鮮人ヲ優遇シ或ハ犯罪ヨリ免レシメタルコトナシ
- 七 騷擾當時官公立學校中一時休校ノ已ムナキニ至リシ事實アルモ幾何ナラスシテ悉ク舊ニ復シタルノミナラス向學心ノ發達著シキモノアルニ鑑ミ一層教育ノ普及改善ヲ計ルノ必要ヲ認メ目下内鮮有識者ヲ以テ教育調査會ヲ組織シ將來ノ教育方針ニ付キ慎重審議ヲ重ネツツアリ
- 八 外國人ト雖モ朝鮮獨立ニ關スル犯罪行爲アレハ之ヲ檢舉シテ憚ル所ナキハ言フ俟タサル所ニシテ未タ嘗テ外國人ニ對シテハ腫物ニ觸ル、カ如キ態度ヲ執リタルコトナシ
- 九 人材登用ニ付キテハ朝鮮人ト内地人トノ間何等差別ヲ設クルコトナキヲ以テ朝鮮人ノ人材ヲ壓迫シ其ノ登用ノ途ヲ塞キタルカ如キ事實アルコトナシ實業家企業家ニ對スル政府ノ態度ニ付テモ亦同様ニシテ何等ノ差別ヲ設クルコトナシ
- 十 朝鮮人ニ於テモ言論ヲ尊重スルコトハ内地ト異ル所ナシ唯安寧秩序ヲ妨害スルノ事項ヲ認メムルニ至リテハ已ムヲ得ス相當ノ處分ヲ爲ササル可カラス
- 十一 朝鮮ニ於テハ漸次地方自治ノ政策ヲ行フノ必要ヲ認メ既ニ其ノ基礎ヲ作りタリ尙漸次諸般ノ制度ヲ内地同様ニ形成スルニ至ラシムヘキコトハ政府ノ期待スル所ナリ

- 十二 朝鮮併合ノ功勞者ヲ冷遇シ陰謀團員ヲ優遇シタル事實ナシ
- 十三 海外ニ在ル不逞鮮人中政府ニ招待セラレタル者ナシ且帝都ニ於テ犯罪行爲アリト認メタル者ニ對シテハ其ノ朝鮮ニ在ル者ト同様相當ノ處分ヲ爲シツツアリ何等國法ノ權威ヲ損スルコトナシ
- 十四 朝鮮總督府内ニ於テ一種ノ水野閥アルヲ認メ且總督府官吏ニ對シ任官ノ新舊ニ依リ待遇ヲ異ニスルコトナシ又鮮人官吏ニ對シテ聲明セル方針ニ基キ優遇ノ方法ヲ講シタリ
- 十五 一昨年朝鮮騷擾ノ際ハ下級行政官吏不安ヲ感シ事務滯滯ノ傾向アリシト雖モ爾來平穩ニ復スルニ從ヒ大體ニ於テ鮮内孰レノ地ニ於テモ官公吏ハ各安シテ其ノ職務ノ鞅掌シ事務益舉ルヲ認ム
- 十六 朝鮮ノ統治ハ文化ノ進展制度ノ整理ニ伴ヒ一年ハ一年ヨリ經費ノ増加ヲ來スヘキハ已ムヲ得サル所ナリ然レトモ之カ爲メ民力困憊セルカ如キ現象ハ之ヲ認メス
- 十七 時勢ノ進歩ニ伴ヒ憲兵制度ヲ普通警察制度ニ改ムルノ必要ヲ認メ之カ改正ヲ行ヒシカ爾來警察力ノ充實ニ伴ヒ良好ノ成績ヲ舉ケツツアリ而モ警察官ノ員數ニ至リテハ將來更ニ増員ノ必要ヲ認ムルコトアルヘシ
- 十八 朝鮮人ノ自發的農事改良會社トハ如何ナルモノヲ指スカ質問ノ趣旨明瞭ヲ缺ク東拓、殖



産銀行ニ對シ政府ハ未タ嘗テ之ヲ壓迫シタルコトナク又嘗テ壓迫ヲ受ケタリト訴ヘシ者アルヲ聞カス若シ其レ農事改良會社ニ至リテハ朝鮮人多數ノ希望ニ出ルモノニシテ寧ロ財政ノ許ス限リハ一日モ速ニ其ノ設立ノ實現ヲ希望スル次第ナリ

十九 第四十一回帝國議會ニ提案シタル朝鮮輕便鐵道補助法ニ依ル補給金ハ七朱ナリシモ其ノ後經濟界ノ狀況ニ鑑ミ鐵道普及ヲ促進スル爲メ必要ナリト認メ輕便鐵道ニ對スル補給ハ之ヲ八朱ニ變更スルコトトセリ事業ノ進捗セサルハ内容紊亂ノ爲ニ非スシテ寧ロ一般經濟界ノ不振ニ原因スルモノ多シ當局ニ於テハ其ノ督勵ヲ怠リタルコトナシ

二十 京城現物市場ノ設置許可ニ付テハ政府ハ朝鮮人側ニモ公平ニ株式ノ配當ヲ行フヘキコトヲ發起人ニ注意シタルニ過キス鮮人出願者中之ニ對シ異議アリシヲ聞カス

二十一 官有地拂下貸下等ニ付テ特ニ朝鮮人ノ出願ヲ却下シ其ノ生存ヤ安定ヲ脅シタル事實ナシ右ニ對シ山道襄一君ハ意見ヲ述ヘタリ

二 在外朝鮮人ノ取締並朝鮮統治ニ關スル再質問

一 在外朝鮮人取締ニ關スル政府ノ態度怠慢ヲ極メ國家ノ爲ニ遺憾ニ耐ヘサル事實多シ其ノ責任如何ニセムトスルカ

二 在鮮外國人ノ行動ニシテ朝鮮統治ニ惡影響ヲ及ホス事實多シ政府ハ之ニ對シ如何ナル處置ヲ採リ又ハ採ラムトスルカ

三 在鮮人ノ教育徹底ヲ缺キ統治ノ根本ヲ誤ラムトスルハ遺憾ニ耐ヘス政府ハ智育ノミナラス精神教育ニ對シ如何ナル方法ヲ採ラムトスルカ

四 現在ノ朝鮮統治方策ハ一視同仁ノ大精神ニ副ハサルモノト思惟セラルル事實多シ之ヲ根本的ニ改革スルノ意志ナキカ

五 政府ハ朝鮮ノ民心ハ平穩ナリト云フニ拘ラス年々警務機關ヲ擴張スルノ必要アルハ矛盾ノ甚タシキモノニ非スヤ

六 朝鮮ニ於ケル産業上ノ施設ハ日鮮人ノ生存及企業ニ對シ脅威ヲ與フルコト甚シキモノアリ爲ニ人心惡化セリト思惟サルル事實アリ政府ノ所見奈何

十年二月一日山道襄一君ハ右再質問主意書ヲ提出シ未タ日程ニ上ラサルニ先チ原國務大臣ハ二月十五日書面ヲ以テ左ノ答辯ヲ爲セリ

一 在外朝鮮人ニ對シテハ常ニ周到ノ注意ヲ拂ヒ外交上相當ノ措置ヲ講シツ、アリテ何等怠慢アルコトナシ



- 二 在鮮外國人ニ對シテハ朝鮮統治ノ方針ヲ了解セシムルニ努メツ、アリ而シテ其ノ行動ニシテ朝鮮統治ニ惡影響ヲ及ホス場合ニ於テハ適當ノ處分ヲ行ヒ毫モ假借スル所ナシ
- 十三 朝鮮人ノ精神教育ニ關シテハ併合ノ本旨ヲ貫徹スヘク民度事情ニ應シ適切ナル處置ヲ執リツツアリ
- 四 現在ノ朝鮮統治方策ニ於テ一視同仁ノ大精神ニ副ハサルカ如キ事實ヲ認メス殊ニ一昨年官制改正以來新ニ施設シタル事項ハ凡テ斯ノ方針ニ出テタルモノナリ
- 五 騷擾以來安定ヲ缺キタル朝鮮ノ民心ハ漸次平穩ニ歸シツツアリト雖今尙ホ其警察力ハ朝鮮ノ面積人口ニ比例シ且將來ノ發展ニ伴フ事件ノ増加ニ應シ之ヲ充實スルノ必要アルハ當然ニシテ其ノ間何等ノ矛盾ナシ
- 六 産業上ノ施設ニ關シテ人心ノ惡化セル事實ヲ認メス

三 小農救濟ニ關スル質問

今ヤ小農ハ農產物價格ノ下落ニヨリ其ノ所得ハ以テ其ノ生産費ヲ償フニ足ラサルノミナラス地方ノ公課及生活費愈重キヲ加フルカ爲ニ其ノ生計ヲ支持スル能ハサルノ窮狀ニ在リ若夫レ此ノ窮狀永續セムカ遂ニ農民ノ思想ヲ惡化シ食糧生産ノ根源ヲ枯渴セシムルニ到ルヤ必セリ仍テ政

府ハ速ニ當面ニ處スル救濟策トシテ農產物生産費及農家生活費ノ輕減ヲ謀リ將來ニ互リ農產物及一般生活必需品ノ價格平準ヲ保ツニ必要ナル政策ヲ樹立シ以テ國民生活ノ安定ヲ謀リ思想ノ惡化ヲ豫防スヘキ必要アリト認ム政府ノ所見果シテ如何

九年十二月二十七日土井權大君ハ右質問主意書ヲ提出シ十年二月一日提出者ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

極メテ簡單ニ質問ヲ試ミマス、政府モ御承知ノ通り、大正八年末ノ統計ニ依リマスルト、我國總戶數ノ五割四分ハ農家デアリマス、而シテ其中小農ニ屬スル部分、即チ小作農デアルトカ、若クハ小作兼自作農ノ戶數ハ幾割ヲ占メテ居ルカト申シマシタナラバ、七割占メテ居ル次第デアリマス、然ルニ御承知ノ通り近時公租公課ガ重クナッタト同時ニ、農產物以外ノ日用品ノ物價ハ、餘リ低落致シマセヌ、之ニ反シテ農產物デアアル所ノ米デアルトカ、藪、或ハ小麦、斯ノ如キモノ、價格ト云フモノハ、益、低落致シテ居リマス、斯様ナル事情ヨリ致シマシテ、此小農ハ生活困難ニ陥ッテ居ル、國民ノ多數デ、而モ思想健實デアアル所ノ小農ガ、今日生活難ニ陥ッテ居ルト云フ状態デアリマス、故ニ此現状ヲ若シ弱肉強食自然淘汰ノ儘ニ放任致シテ置キマシタナラバ、由々シキ問題ガ將來起キハシナイカ、斯ウ憂慮致シマシタガ、故ニ、茲ニ小農救濟ニ關スル質問ヲ致ス次第デアリマス、而シテ第一ニ御尋致シマスルノハ、自作農創設維持、並ニ小作人保護ノ件、此事ニ就テ御尋ヲ致シタイノデアリマス、御承知ノ通り近時各所ニ小作紛争ナルモノガ起キテ居リマス、特ニ最モ小作紛争トシテ甚ダシイモノハ、何所デアアルカト申シマシタナラバ、是亦御承知ノ通り岐阜縣デアリマス、併シ其小作紛争ノ詳細ナル事ニ就キマシテハ、私モ一應取調ベハ致シテ居リマスガ、此公開ノ席上デ赤裸々ニ申上ゲルコトハ如何ナモノデアアルカト思ヒマスルガ故ニ、其事ハ



御遠慮ヲ致シマスガ、日本ニ於テ餘リ類例ノナイ農業警察ノ設置マデモ致シテ、之ヲ鎮撫致サレ  
 ツ、アルニ拘ラズ、何等其效ノナイト云フコトモ、御承知ノ通りデアリマス、又思想ガ最モ健實  
 デナケレバナラス在郷軍人ノ一團ヲ團結ヲシテ、地主征伐ニ掛ッテ居ルト云フコトモ御承知ノ通  
 リデアリマス、而モ他府縣ヨリ致シマシテ、他府縣ノ小作者ヨリ致シマシテ、如何ナ方法ヲ以テ  
 地主ヲ征伐スルカト云フコトモ岐阜縣ニ稽古ニ來ル、岐阜縣ニ傳授ヲ受ケニ來ル、斯ウ云フヤウ  
 ナ状態デアルト云フコトモ御承知デアル、ソレ以上ハ申シマセヌ、兎モ角モ危険ナル思想ガ今ヤ  
 岐阜縣ニハ傳播致シマシテ、過激ナル行動トナッテ居ルト云フコトハ隱スベカラザル所ノ事實デ  
 アリマス、其原因ハ固ヨリ地主ノ貪慾貪婪ニ原因シタコトモアルノデアリマセウガ、併ナガラ翻  
 テ之ヲ冷靜ニ考ヘマシタナラバ、彼等小農小作農ノ生活不安ヨリシテ、斯ノ如キ危険ナル思想、  
 斯ノ如キ過激ナル行動トナッテ居ルノデアラウト私ハ考ヘルノデアリマス、所謂極産ナキ者ハ恆心  
 ナシ——其状態ニ陥ッテ居ルノデハナイカ、惡事ハ千里、必シモ是ハ岐阜縣ノミノ問題ニ止リマセ  
 ズシテ、斯ノ如キ事ト申スモノハ、置郵シテ命ヲ傳フルヨリモ早シ、必ヤ此過激ナル思想ト云フ  
 モノガ、日本全國ニ傳播シマシナイカ、或ハ過激ナル行動ト云フコトヲ日本ノ小農ガ學ビハシナ  
 イカ、斯ウ案ヅルノデアリマス、仍テ政府ハ此時ニ當ッテ相當ノ對策ヲ講ゼラレ小作人ヲ保護シ、  
 更ニ進ンデハ小作農ヲ獎勵スルト云フコトノ策ニ出デラレル所ノ、必要ヲ御認ニナルヤ否ヤ、御  
 承知ノ通り彼ノ丁抹ナドニ於キマシテハ、小農法ヲ制定致シマシテ、相當ノ農家ニハ相當ノ土地  
 ヲ與ヘル、例ヘバ日本デ申上ゲマシタナラバ、一町歩ナラ一町歩、一町五段歩ナラ一町五段歩ノ  
 土地ヲ篤農者ニ與ヘル、而モ其土地代ヲ支拂フニハ三十箇年ノ年賦ヲ以テスル、而モ其金利ト云  
 フモノハ、一年二朱乃至三朱ト云フ極メテ安イ所ノ利息ヲ附シテ居ル、而シテ其土地ハ大地主ヨ  
 リ強制徵收ノ方法ヲ以テ國家ニ之ヲ徵收シ、而シテ之ヲ小農ニ與ヘルト云フ所ノ小農法ノ制定  
 ガ出來マシテ、丁抹ニハ農業法ト云フモノガ非常ニ盛ニナリ、特ニ此小農ト云フ者ハ、思想ガ堅  
 實デアルト云フコトハ、御承知ノ次第デアリマス、我國ニ於キマシテモ、此際丁抹ノ制度ニ倣ウ  
 テ自作農法ヲ制定シ、維持シ、小作農ヲ保護スル必要ガアルト私ハ考ヘルノデアリマス、併ナガ

ラ茲ニ三ツノ條件ガアリマス、唯ダ其制度ダケヲ學ビマシタ所ガ、必シモ農業ガ盛ニナルト云フ  
 コトハ言ヘマセヌ、必ヤ農産物ノ生産費ト、農産物ノ價格ト相償フダケノ方法ヲ執ルト云フコト  
 ガ、第一條件デゴザイマス、第二ト致シマシテハ、農民ノ——所謂小農ノ生活ガ安全ニ出來得ル  
 ト云フノガ條件デアリマス、第三ハ少クとも三十箇年賦ナラ年賦デ土地ヲ買入レタナラバ、其  
 土地ヲ三十箇年ニ償還シ得ラル、ダケノ利得ト云フモノヲ、毎年ニ於テ生活費生産費以外ニ殘  
 スト云フコトノ條件ガ必要デアリマス、其條件ヲ果シテ具備スルヤ否ヤト云フコトヲ研究致シ  
 マスル所ノ先決問題、所謂準備問題トシテハ、農家經濟調査機關ナルモノヲ設置シナケレバナラ  
 ス、果シテ今日ノ農民ハ如何様ナル生活ヲ致シテ居ルカ、收支ノ計算ニ於テ幾ラノ利益ガアリ、  
 幾ラノ損失ガアルカト云フコトノ農家ノ經濟ニ關シ、調査機關ト云フモノヲ設置シナケレバナ  
 ラヌ、更ニ調査スルノミナラズ、其準備行爲ト致シマシテハ、色々農民ガ土地ヲ擔保トシテ金ヲ  
 借入レル場合ニ、如何ニシテ低利ナル資金ヲ供給スルカ、所謂庶民金融、農村金融ノ機關ヲ設置  
 スルト云フコトニ就テ、十分ノ準備、十分ノ用意ガ必要デアラウト私ハ考ヘルノデアリマス、斯  
 ノ如ク致シマシテ農民ノ思想ノ緩和ヲ圖リ善導ヲ圖リ、小農救済ニ關スル對策ト云フモノヲ、此  
 際ニ於テ至急ニ樹立スル必要アリト思フノデアリマス、果シテ政府ハ小作農ヲ、如何ニシテ保護  
 スルト云フ御考ヲ持ッテ居ラレマスカ、又自作農ヲ如何ニシテ獎勵スルト云フ御考ヲ持ッテ居ラ  
 レマスカ、是ガ即チ私ノ問ハントスル所ノ第一デアリマス、第二ハ農家經濟調査機關設置ノ件デ  
 アリマス、政府ハ曩ニ農商務省管下ニ、小作制度調査會ヲ設置サレテ居リマス、是ハ申スマデモ  
 ナク本邦小作制度改善ノ、根本方策ノ研究調査ヲ爲サル所ノ機關デアリマス、而シテ地主ト小作  
 トノ利益ノ分配ヲ公平ニシ、更ニ小農ヲ保護致サウト云フコトノ目的デアルト云フコトハ明瞭  
 デアリマスルガ、然ルニ世間往々說ヲ爲シテ曰ク、此小作制度調査會ニ對シテ斯ウ云フ疑ヲ懷イ  
 テ居ル者ガアリマス、第一ノ疑ハ、近時小作問題ガ日本ニ隨分ヤカマシクナラント致シツ、アル  
 ガ爲メニ、此際小作制度調査會ノ如キモノヲ設ケテ、小作者ヲ釣ル成程政府ハドウカシテ吳レル  
 デアラウト云フガ如キ考ヘテ、小作者ニ持タセテ居ルノデハナイカ、所謂羊頭ヲ掲ゲケ狗肉ヲ賣



ル所ノ策ニ出テ居ルノデハナイカ、斯ウ云フ悪口ヲ言フ者モアリマス、又中ニハ彼ノ工業労働者保護ノ目的ヲ以テ、工場法ノ制定ノ際ニ當リ、十年間ノ日子ヲ費シ調査シタモノデアル、然ルニ十年間ノ其後ニ出來上ツタ所ノ工場法ハ如何デアルカト云ヘバ、資本案ノ利便ト相成ツテ、工業労働者ノ何等利益ニハナリマセヌ、第一ニ外國ノ工場法ヲ換骨脱體シタニ過ギマセヌ、或ハ此度ノ小作制度調査會デ、小作法ヲ多數ノ日子ヲ費シテ作ツタ、其結果地主ノ味方トナツテ小作者ノ不便ナルガ如キコトハナイカ、斯ウ云フ疑ヲ爲ス者ガアルノデアリマス、成程其疑ハ御尤デアル、深ク其原因ヲ調査致シマスト云フト、其疑ガ出ルノデアル、何故デアルカト申シマスナラバ、小作農ノ制度ヲ調査セントスルニ就テハ、其先決問題トシテ、必ヤ此農家經濟ノ調査ト云フモノ、機關ヲ設置シナケレバナラヌノデアル、其事ガ何等出來テ居ラヌノデアリマス、特ニ此農家經濟調査機關ト申シマスモノハ、獨リ小作者ノ收支計算ヲ計ルノミナラズ、自作者ノ生活費ハドウデアルカ、又彼等ノ收支計算ハ如何デアルカト云フコトヲ考ヘル、極メテ重要ナル機關デアリマス、然ルニ此重要ナル農家經濟調査、此經濟調査機關設置ニ關スル費用ガ、本年豫算ニ何等要求サレテ居ラヌ、是ハ如何ナル譯デアリマスカ、之アルガ爲メニ前段申上ゲマシタ如キ疑ヲ爲ス所ノ者ガ多イノデアリマス、一言以テ蔽ヘバ畫龍點睛ヲ缺ク龍ヲ畫ヘテ眼ガ抜ケテ居ルノデアル、農家經濟調査機關ノ設置、此重要ナル機關ガ抜ケテ居ルノデアリマス、故ニ前段申上ゲマシタ如キ疑ノ抱クノハ尤デアル、斯ウ私ハ申スノデアル由來小作制度調査會ハ制度其物ノ調査デアリマス、決シテ實地調査ナドヲ致スベキモノデナイ、實地調査ト云フコトハ、必ヤ此農家經濟調査機關ト云フモノヲ設ケテ、實地調査ヲ行ハナケレバナラヌノデアル、時ニ昨年私ガ政府ニ對シテ質問ヲ致シマシタ時ニ、政府ハ如何ナル御答ヲナスツタカト申上ゲマスレバ、農家ノ經濟調査機關ハ極メテ必要ナル、之ヲ普遍的ニ、而モ繼續的ニ行フ所ノ必要ヲ政府ニ於テ夙ニ認メテ居ル、斯ウ申サレテ居ルノデアル、然ルニ本年ノ豫算ニ於テ、農家經濟調査ニ關スル費用ノ要求ナキハ如何デアルカ、此事ヲ私ハ御尋致スノデアル、又此機關ヲ完全ニ設置スル意思ナキヤ否ヤ、其必要ヲ認メザルヤ否ヤ、是デアリマス、第二ハ農村金融機關ノ件デアリマス、由來農村ノ金融機關ハ、御承知ノ通り大

ニシテハ勸業銀行、農工銀行小ニシテハ普通銀行ガ取扱ツテ居リマス、併ナガラ是等ノ金融機關ハ、悉ク中農以上ノ金融機關デアツテ、何等小農ノ金融機關ニナツテ居ラヌト云フコトハ、私ガ申上ゲマセストモ、政府モ能ク御承知ノ通りデアリマス、寧ろ農工銀行ノ如キモノガ、中農衰亡機關デナイカト云フ如キ今日ノ狀態デアリマス、而モ此勸業銀行ハドウデアルカト申シマスナラバ、其監督ハ唯ダ大藏省ノミガナスツテ居ル、故ニ大藏省ハ唯ダ此大都市ノ市街地、或ハ工場土地不動産、斯ノ如キモノニ金ヲ貸スコトニ就テハ甚ダ御機嫌ガ宜シイガ、地方ノ小農ナドニ金ヲ貸スコト云フ如キ事ニ就テハ、餘リ御考ナサツテ居ラヌ、ソレガ爲メニ遂ニ此勸業銀行ナドガ都市ニ利用サレルトカ、若クハ大地主ニ利用サレルトカ云フ如キ弊ガアルノデアリマス、故ニ此勸業銀行、農工銀行ナドニ於テ、矢張農商務省モ監督上一員ニナルト云フコトニナツタナラバ宜イノデアアル、農商務省ト大藏省ノ共同監督ト云フコトハ、現ニ市街地信用組合ニ於テハ、雙方ノ共同監督ヲナサツテ居ル、其例モアルコトデアリマス、然ルニ此頃ハ農工銀行ト勸業銀行ヲ合併セシメヤウト云フ如キ議ガ、政府ニアルト云フコトデアリマス、斯ノ如ク相成リマシタナラバ、益、此勸業銀行ナドハ、市街地ノ不動産貸付ト云フコトニ重キヲ置ク、若クハ大地主ノ利用ニ供セラル、ト云フコトガ多ク相成リマシテ、何等小農ノ金融機關ニ利便ヲ與ヘナイ、斯ウ云フ事ニナリハシマイカト云フコトヲ私ハ心配スルノデアリマス、故ニ此際ニ當ツテ農村ハ農村ノ金融獨立ヲ圖ルベシスウ私ハ考ヘルノデアリマス、勸業銀行モ農工銀行モ、追々此小農ト縁ガ遠クナルノデアリマセウ、然ラバ小農ノ金融機關ハ何デアアルカト申上ゲマシタナラバ、差當リ今日ニ於テハ産業組合法ニ依ル信用組合デアリマス、併ナガラ信用組合ハ——御承知ノ通り、極メテ組織ガ小サイ、又何等聯絡系統ト云フモノガ付イテ居リマセヌ、更ニ最モ缺點トスベキハ、中央ニ何等信用組合ヲ統一スル所ノ機關ガアリマセヌ、更ニ怪ムベキハ此信用組合、産業組合ニ對シテ、監督検査ト云フモノガ極メテ不行届デアリマス、ソレ故ニ今年デゴザイマシタカ、昨年デアリマシタカ、養蠶資金トシテ一千萬圓ノ低利資金ヲ貸サレテ、或ハ産業組合ノ手ヲ經テ貸スノデアル、信用組合聯合會ノ手ヲ經テ貸スノデアル、斯ウ政府ハ聲明サレテ居リマスケレドモ、其實際ニ於キマシテハ、



決シテ普遍的ニ小農ノ懷ヘ低利資金ト云フモノハ這入ッテ居リマセヌ、或ハ信用組合ノ聯合會ニ於キマシテ、其金ガ餘ッダガ爲メニ、銀行ニ預ケルトカ或ハ公債ヲ買フトカ、或ハ地方債券ヲ買フトカ云フコトニナッテ居リマス、其原因ハ何レニ在ルヤト申シマシタナラバ、甲乙丙丁ノ信用程度ノ調査ガ平素ニ於テ付イテ居ラヌ、ソレ故ニ低利資金ヲ貸サウト云フ時ニハ、必ヤ擔保ヲ入レロ、必ヤ財產家ニ保證ヲセヨ——所ガ財產家ト雖モ、サウ澤山ノ信用保證ヲスルコトハ出來ナイ、サレバト云ッテ小農ハ擔保物品ガ無イ、斯ウ云フヤウナ状態デアリマス、是等ハ取りモ直サズ尙ホ常ニ甲ノ組合ガ信用ガ有ル、乙ノ組合ガ信用ガ無イト云フコトノ検査監督ガ行届カヌカラデアリマス、モウ一ツニハ平素ヨリ致シマシテ、何等ノ聯絡系統ガ無イ、斯ウ云フ所カラ致シマシテ斯様ニナルノデアリマス、其他信用組合ノ弊害、又今日ノ産業組合ノ弊害ハ枚擧ニ違アリマセヌ、先ズ一例ヲ申上ゲマスレバ斯ノ如クデアリマス、故ニ此際私ハ中央信用組合ヲ設置シテ、此中央信用組合ガ更ニ各府縣ニ其支部ヲ設置スル、各府縣ハ更ニ郡、郡ヨリシテ町村ニ及ボス斯ウ云フ系統ノ農村金融機關ヲ設置シタナラバドウデアアルカ、斯ウ考ヘテ居ル次第デアリマス、言葉ヲ換ヘテ申上ゲマシタナラバ、今日設立サレテ居リマス所ノ各町村ノ信用組合ヲ基礎トシテ、此信用組合ヲ更ニ其郡ノ聯合會ヲ造ッテ、一郡ノ聯合會ハ進ンデ一府縣ノ聯合會ヲ造リ、一府縣ノ聯合會ハ進ンデ中央ニ大ナル中央庶民銀行、中央信用組合ト云フモノヲ設置スベシ、斯ウ私ハ考ヘル次第デアリマス、斯ノ如ク致シマシタナラバ、今日ニ於テ農村金融ノ途ヲ圓滿ニ、而モ完全ニ開クノミナラズ、今ヨリ農村金融ノ獨立ヲ致シマシテ、後日自作農創設資金融通ノ準備ヲ爲ス場合ニ於テモ、極メテ便利ト私ハ考ヘルノデアリマス、政府ノ所見ハ果シテドウデゴザイマセウカ、農村金融機關ノ獨立ト云フコトニ就テ、如何ナル御考ヲ持ッテ居ラレマスカ、此事ヲ承リタイノデアリマス、第四ハ農村教育ニ關スル件デアリマス、御承知ノ通り今ヤ國民教育ハ普及ヲ致シテ居リマス、併ナガラ農村ニ於キマシテハ、農業技術ニ關スル教育ト云フモノガ甚ダ不徹底デアアル、普及シテ居ラヌ、或ル地方ニ於キマシテハ、非常ニ熱心ニ農村ノ技術教育ト云フコトヲヤッテ居ル所モアルガ、他ノ地方ニ於テハ何等其點ニ就テ注意ヲ致シテ居ラヌト云フヤウナ状態

デアリマス、更ニ進ンデ此農村ノ精神教育ニ、農業ト云フモノハ國ノ爲メニ致スベキモノデアアル又趣味ノアルモノデアアル而モ前途ニ希望ノアルモノデアアル、斯ノ如キ教育ヲ施サナケレバナラヌノニ拘ラズ、今日ノ國民教育ノ弊トシテ、往々此農村ヲ嫌ッテ或ハ都會ニ出ヅルトカ、或ハ農業ヲ嫌ッテ他ノ業ニ従事スルガ如キ状態ニ相成ッテ居リマス、農家ノ子弟ニ斯ノ如キ考ヲ持ッテ居リマセハ色々ノ原因モアルデアリマウガ、私ハ農村教育ト云フ事ガ忽ガセニナッテ居ルノデナイカ、農業技術教育ガ忽セニナッテ居ルノデナイカ、斯ウ考ヘマス、更ニ進ンデハ民力涵養ノ講話デアルトカ、色々政府ニ於キマシテモ、御努メニナッテ居リマスガ、此農村ニ對スル社會教育ト云フコトガ缺ケテ居リハシマイカ、此事ヲ考ヘルノデアリマス、所謂此思想ガ惡化スルトカ、若クハ過激ナル行動ヲ爲ストカ云フ點ニ於テハ、固ヨリ物質上ノ原因モアルデアリマセウケレドモ、一ツハ教育上ノ缺點デアリマス、農村ニ對スル社會教育ガ普及シテ居ラヌ所ノ結果デナイカ、斯ウ私ハ考ヘテ居ル次第デアリマス、故ニ此際政府ニ於キマシテハ、農村ニ對シ農業技術教育ノ普及ヲ圖ラレテ、進ンデハ精神教育ノ發達ヲ圖ラレテ、更ニ進ンデハ農村社會教育ヲ實行スル必要ガアルト思ヒマス、政府ノ所見ハ果シテドウデアリマスカ、又御同感デアルトスラバ、其方策ニ就テハ如何ナル方策ヲ御持ニナッテ居ルノデアアルカ、承リタイノデアリマス、第五ハ農務省ノ新設ノ件、是ハ隨分問題ニナッテ居ル案件デアリマスガ、元來我國産業ノ基本ハ、御承知ノ通り農業、工業、商業、是デアリマス、孰レモ重要ナル産業デアリマス、孰レヲ重ク、孰レヲ輕ク取扱フベキモノデアリマセヌ、併ナガラ政ヲ行フ上ニ於キマシテ、一ツノ省ニ於テ農工商ヲ全部取扱フト云フコトハ、ドウデアアルカト私ハ思フノデアリマス、(中略)今ヤ世界大戰後時運ノ發展ト共ニ、産業事務ト云フモノハ愈々繁多ヲ加ヘマシテ、到底一省一大臣ニ於テハ、行政事務繁多ニ流レル虞ハナイカト私ハ考ヘルノデアリマス、現ニ食糧政策ノ失敗ヨリシテ倒潰サレタル、寺内内閣ヲ引繼ガレタル所ノ現原内閣デアリマス、此原内閣ハ成立當時ニ於テ直チニ此食糧政策ノ根本樹立ヲ致サナケレバナラヌ筈デアアル、所謂食糧政策デ倒レテ、其食糧問題ノ後ニ出デラレタル原内閣デアリマスガ故ニ、此食糧政策ノ根本樹立ト云フコトニ就テハ、御注意ヲ爲サラナケレバナラヌ筈ニモ拘ラズ、今日ニ於



テ彼此レト此問題ヲ論議セラレテ居ル状態デアリマス、之ニ就テモ餘程遲レテ居ル、現ニ大藏大臣ナドハ、食糧政策中ノ最モ重要ナル米價問題ニ就キマシテモ、未ダ輿論ノ喚起ガナイ故ニ、之ヲ放任スルノデアルト云フ如キ口吻ヲ此間モ漏ラサレテ居リマス、又農商務大臣モ此米價問題ニ對シテ、飽迄モ農民ニ同情ハスルガ、併ナガラ一方貿易業者デアルトカ、商工業者ノ利害ヲモ考慮シナケレバナラヌ、斯ウ唱ヘラレテ、右顧左盼ノ爲體デアリマス、併シ是等ハ決シテ大臣ノ罪デアルトハ申シマセヌ、内閣ノ罪デアルトハ申シマセヌ、制度ノ罪デアアル、繁多ナル産業事務ヲ一省一大臣ニ任セテ置クガ故ニ斯ノ如ク相成ルノデアアル、斯ク斷定スルノデアリマス、即チ農商務省ノ事務ハ極メテ繁多ニシテ、農事ニ對スル周到適切ナル注意ガ缺如シタ結果デアアル、所謂制度ノ罪デアアル、農業方面ハ唯今沿革ヲ申上ゲタ如ク、何レノ方面ヨリ眺メマシテモ、缺ケテ居リハスマイカ、斯ウ私ハ推定致スノデアリマス、殊ニ況ヤ將來ハ食糧問題ト云ヒ、交通ノ問題ト云ヒ、思想ノ問題ト云ヒ、將タ農業勞働問題ト云ヒ、又農村ノ思想問題ト云ヒ、種々ナル農業ニ關係スル社會問題ガ簇出シツ、アル時代デアリマス、是ガ適切ナル解決ヲ俟ツモノハ甚ダ多イノデアアル、農務行政ハ一層多端ニナルデアリマセウ、既ニ御承知ノ通り歐米列強ニ於キマシテハ、農務省ノ獨立ハドノ國モ致シテ居ル、更ニ進ンデハ食糧省、進ンデハ勞働省ノ設立サヘモ致シテ居ルヤウナ状態デアリマス、我國ニ於キマシテモ、此際ニ當リ即チ産業立國ノ大本ヨリシテ、此繁雜ナル産業事務ヲ分配シテ、今日ノ農商務省デヤラシテ居ル事務ノ分割ヲ斷行セラレ、農務省ヲ新設サレル必要アリト私ハ認メルノデアリマス、若シモ其必要ナシトシテ、此産業ノ複雑ナル時代ニ於テ、尙ホ一省一大臣ヲ以テ此事務ノ整理ヲ致サウ、産業ノ行政ヲ取扱ハウ、料理シヤウト云フ御考デアッタナラバ、益、此産業問題ハ複雜ニ相成リマシテ、日本ノ産業發達ニ非常ナ障碍ヲ與ヘハスマイカ、斯ウ私ハ考ヘルノデアリマス、政府當局ノ御意見ハ如何デアリマスカ、農務省新設ト云フコトニ就テ、如何ナル考ヲ有ッテ居ラレマスカ、私ノ質問ハ是ダケデアリマス、斯ク申シマスト如何ニモ百姓ノミヲ味方シテ居ルガ如ク、又小農ノミヲ味方トシテ居ルカノ如ク聞ユルカモ知レマセヌケレドモ、國ヲ保ツ上ニ於キマシテハ、御承知ノ通り第一ニハ國防ノ必要ナ

ルコト、第二ニハ食糧ノ必要ナルコト、第三ニハ善良ナル思想ノ必要ナルコト、是等ハ御承知ノ通りデアリマス、即チ第一ニ兵、第二ニ食、第三ニ心、兵、食、心而シテ此食ト云ヒ、兵ト云ヒ又堅實ナル思想ハ、何所ニ在ルカト申シマシタナラバ、農村デアリマス、故ニ今ニ當ッテ此農村ノ亡ビザル前ニ當ッテ農村ヲ擁護シ、農村ノ維持確立ヲ計リマスコトハ、是ハ取リモ直サズ國ヲ保ツ所以ナリト考ヘマシテ、以上ノ質問ヲ致シマシタ次第デアリマス、ドウカ然ルベク御答辯ヲ願ヒタウゴザイマス

之ニ對シ山本、床次各國務大臣ハ二月十四日書面ヲ以テ左ノ答辯ヲ爲セリ

政府ハ農産物生産費減少ノ爲ニハ栽培技術ノ發達改良農具使用ノ普及肥料其ノ他ノ低價供給等ヲ期スル爲各般ノ施設獎勵ヲ爲シ農家ノ生活費ヲ輕減シ生計上ノ緩和ヲ圖ル爲ニハ産業組合等ヲ督勵シテ之ニ當ラシムルト共ニ民力ノ涵養生活ノ改善ヲ獎メツツアリ尙將來一層是等ノ施設獎勵ニ力ヲ致スヘク食糧ノ充實安定ニ關シテハ食糧局ヲ新設スルト共ニ臨時財政經濟調査會ノ答申シタル所ヲ參酌シ適當ナル施設ヲ爲サムトス次ニ小作農ノ保護自作ノ維持創設ニ關スル事項ハ目下小作制度調査委員會ニ附議シ調査中ニシテ農家經濟調査ハ農會ニ補助シテ之ヲ行ハシメツツアリ農村ノ金融機關ニ付テハ一層産業組合ノ普及發達ヲ圖ルト共ニ聯合會ノ活動ヲ促ス様獎勵ヲ加エ其ノ目的ヲ達セシムトス

四 司法官ノ待遇ニ關スル質問



近時司法部ニ於ケル諸般ノ施設稍改善ノ途ニ就キ舊來ノ面目ヲ一新シタリト雖司法官ノ待遇尙行政官ニ比シ一段ニ低位ニ在ル爲秀才動モスレハ司法部ヲ去ラムトスルノ弊風アリ加フルニ部内人材ノ配置宜シキヲ得サル爲裁判所ニ對スル國民ノ信賴日ニ疎薄ナラムトスルノ傾向アリ洵ニ國家心腹ノ大患タリ政府ハ如何ナル方策ヲ以テ此ノ憂フヘキ現象ヲ矯革セムトスル乎司法大臣ノ所見如何

九年十二月二十七日鈴木富士彌君ハ右質問主意書ヲ提出シ十年二月一日提出者ハ趣旨ノ辯明ヲ延期ス

大木國務大臣ハ二月一日書面ヲ以テ左ノ答辯ヲ爲セリ

司法官待遇ハ年來ノ宿題ニ屬ス政府ハ事情ノ容ス限リ倍々之カ向上ヲ圖リ以テ優獎ノ途ヲ講セムトス又人材ノ配置ニ就テハ近年尤モ意ヲ用キテ施爲シ來リタルモ尙ホ將來一層人材ノ網羅養成ニ勉メ各廳ノ人員ヲ適當アラシムルト共ニ適材ヲ適所ニ配置シテ其ノ實績ヲ舉クルコトヲ期セムトス

五 東京市政監督ニ關スル質問

一 今ヤ東京市政ノ綱紀全ク亂レ道路修築工事及瓦斯料金値上問題等ニ關シ市參事會員、市會

議員及吏員中ヨリ數多ノ瀆職嫌疑者ヲ出シ其ノ醜態ヲ極ム内務大臣ハ從來如何ナル監督ヲ爲シ又將來如何ナル監督ヲ爲サムトスル乎

二 這回ノ醜惡ヲ暴露スルニ至リタル其ノ原因ハ那邊ニ在リトスルヤ

三 現内閣ハ弊害多キ現行市制度ヲ改正スルノ意思ナキヤ

四 東京市會ノ現狀ヲ見ルニ節義廉恥靡然トシテ全ク地ヲ拂ヒ或ハ財閥ニ阿諛迎合シテ其ノ下風ニ甘ムスルモノアリ或ハ唯々トシテ奸惡ノ命ニ之レ從フ既ニ公盜タルノ惡名ヲ冠セラルルモ洒然トシテ處決スルノ道ヲ知ラス甚シキニ到リテハ司法官憲ノ糺彈ヲ受ケ捕ヘラレテ獄ニ役セラルルモ頑トシテ未タ引責處決セス尙市民ノ膏血ヨリ出ツル歲費ヲ私スル者アリ其ノ厚顏無恥驚クノ外莫シ彼等ハ全ク公人タルノ德操ヲ無視シ善良ナル市民ノ感情ヲ破壞シ延テ一般國民ノ風教ヲ害スルノ甚シキモノト認ム内務大臣ハ何故ニ斯ノ如キ醜名紛々タル市會ヲ解散セサル乎本員等ハ内務大臣カ公正ナル輿論ニ鑑ミ斷乎トシテ即時東京市會ヲ解散シ以テ人心ヲ一新シ墮落セル市政ノ刷新ニ資セムコトヲ望ム内相ノ所見如何

九年十二月二十七日横山勝太郎君外二名ハ右質問主意書ヲ提出シ十年二月一日提出者(横山勝太郎君)ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ



私ハ近時我ガ帝都ニ於ケル極メテ重大ナル、又極メテ不祥事件デアリマスル所ノ、東京市政曠廢ノ問題ニ就テ、聊カ質問ヲ試ミタイト考ヘマス、事柄ハ僅ニ東京ナル一地方ノ問題デゴザイマスカラ、甚ダ小問題デアルト御認メニナル御方モアルカモ知レマセヌガ、併ナガラ申スマデモナク東京市ハ、全國ノ模範都市トナルベキ責任ト、實質ト有シテ居ルデアリマス、其中央ノ模範都市ニ於テ、今回ノ如キ一大不祥事ノ起ッタト云フ事柄ハ、全國ノ自治制ニ甚ダ惡シキ影響ヲ與ヘルト考ヘマス、其結果ハ我ガ帝國ノ憲政ノ運用上ニ、一大障礙ヲ來スモノデアルト思ヒマス、カラシテ、此見地ヨリ致シマシテ、甚ダ問題ガ重大デアルト存ジマス、第一ニ御尋致シタイト點ハ、此東京市政ノ運用ニ關シテ、内務大臣ハ從來如何ナル監督ヲ爲シ來ッタカト云フ點ニ就テ承リタイ、東京市政ハ申スマデモナク、内務行政ノ一部デアリマシテ、而モ最モ重要ナル内務行政ノ一部デアアル、從來吾々ノ見ル所ヲ以テスレバ、全然閑却セラレテアルカノ如ク考ヘラレマス、試ミニ當面ニ問題ニ就テ諸君ノ御記憶ヲ喚起シタイト思ヒマス、事柄ハ今日市ノ可ナリ高級ノ吏員ニシテ、瀆職ノ嫌疑ニ依ッテ牢獄ニ投セラレテ居ル者ガ既ニ十數人アルト云フ事柄ハ、御了承ノ通りデアリマス、又東京市ト密接ノ關係ヲ有ッテ居リマス所ノ民營ノ會社ガ、此事件ニ連座致シマシテ、其會社ノ重要ナル位置ニ在ル堂々タル紳士ガ、續々牢獄ニ投セラレテ居ルト云フ事實モ御承知ノ通りデアリマス、而シテ一面ニ於テ我帝都ノ住民トシテ最モ恥ツベキ事柄ハ、市民ノ代表者ヲ以テ任ジテ居ル所ノ市會議員ナル者ガ、續々牢獄ニ投セラレ、ノ一事デアリマス、試ミニ私ハ其名前ヲ朗讀致シテ置キマス、市會議員ニシテ過日來牢獄ニ投セラレタル者ガ、實ニ十一人アルデアリマス、曰ク高橋義信、曰ク根岸治右衛門、曰ク酒井泰、曰ク増野豊、曰ク中村鐵二、曰ク安住佐太郎、曰ク松山傳十郎、曰ク辰澤延次郎、曰ク淺川保平、曰ク棚橋一郎、曰ク山口憲、以上十一人デゴザイマス、此外ニ他ノ瀆職問題ヲ以テ刑事ノ訴追ヲ受ケテ居リマス者ガ渡龜造、此外ニ前市會議員デアリシ者ニシテ、此瀆職事件ニ連座シタル者ガ斯波厚、斯ノ如キ多數ガ牢獄ニ投セラレテ居リマス、吾々ノ推測ニ依リマスレバ、是ヨリ進ンデ此事件ガ發展致シマスレバ、尙ホ更ニ幾多ノ市民ノ代表者タル市會議員ガ、牢獄ニ投セラレルト云フ事柄ハ、決シテ安斷デハナイト

私ハ考ヘテ居リマス、不幸ニシテ世間ノ噂ニ依リマスレバ、殊ニ新聞紙ノ傳フル所ニ依レバ、此院內ニモ此事件ニ連座ヲシテ、牢獄ニ投セラレネバナラナイ、運命ニ陥ル人ガアルト承ッテ居リマス、斯ノ如キ醜態ヲ演ズルニ至ッタノハ、何ガ問題デアルカト申シマスレバ、其第一ハ曰ク道路問題デアリマス、道路問題、殊ニ明治神宮ノ表參道ノ道路ニ關シテ、此問題ノ端緒ヲ作ッタト云フ事柄ハ、洵ニ恐多イ次第デアルト私ハ考ヘルデアリマス、此表參道ノ問題ニ就テハ、詳シイ數字ヲ持ッテ居リマスルガ、今日ハ其數字ノ全部ヲ朗讀スルコトハ廢シマス、其大體ヲ申上ゲマスレバ、明治神宮ノ御造營ニ關シマシテ新設セラレタル道路ノ工費ハ大凡幾許ヲ要スルカト申シマスレバ、合計實ニ九十二萬九千七百五圓約一百萬圓ノ莫大ナル工費ヲ費シテ居ルデアリマス、而シテ此東京市ノ道路ノ問題ニ關シテハ、曩ニ大正九年ノ五月二十五日ニ、恐多クモ上皇室カラ三百萬圓ノ御下賜ガアッタト云フ事柄ハ、吾々市民トシテ忘ルベカラザル事柄デアリマス、又此表參道ノ道路ノ新設ニ關シテモ、相當ナル御内帑金ノ御下賜ガアッタト云フ事柄モ、私ノ記憶致シテ居ル所デアリマス、即チ帝ノ都道路ノ問題ニ關シテハ、上皇室ニ於カレマシテモ、最モ多ク御宸襟ヲ惱サレテ居ルデアリマス、而シテ斯ノ如ク難有キ御恩命ニ浴シテ居ルニモ拘ラズ、市ノ代表者タル市會議員、若クハ市ノ吏員、請負業者ガ、不正ナル手段ニ依ッテ此大切ナル金錢ノ幾部ヲ私シタト云フ事柄ハ、獨リ自治ノ問題トシテ、吾々論難攻撃セザルベカラザルノミナラズ、實ニ上皇室ニ對シ奉リ、最モ恐懼ノ至リニ堪ヘヌモノデアリマス、一體斯ウ云フ事項ニ就テ、内務大臣ハ其當時何ヲ致シテ居ッタカ、私ハ此責任ヲ問ハナケレバナラヌト考ヘマス、内務大臣ハ御承知ノ通り、自治行政ノ一部デアルト云フノ關係、即チ内務行政ノ一部デアルト云フノ關係上、法律上内務大臣トシテ、當然此監督ノ責任ヲ負ハナケレバナラヌト私ハ考ヘル、此内務大臣トシテ監督並ニ責任ハ姑ク別問題トシテ、床次内務大臣ハ、官制ノ命ズル所ニ依ッテ明治神宮造營局ノ副總裁ヲ致シテ居ルト云フ事柄ハ、職員錄ニ依ッテモ了承スルコトガ出來マス、又明治神宮造營局評議員會ノ會長ヲ務メテ居ラレルト云フ事柄モ、職員錄ニ依ッテモ了承スル、内務大臣トシテ當然ノ責任ガアルノミナラズ、明治神宮ノ御造營ニ關シテハ、特殊ノ責任ト義務ヲ有ッテ居ルニ



モ拘ラズ此重大ナル問題ニ關シテ、何等ノ監督ノ責ヲ盡シテ居ラナイ、何等謝罪ノ途ヲ講ジテ居  
 ラナイ、單ニ一地方ノ小ナル自治問題ニ就テ、内務大臣ガ責任ヲ負ハネバナラヌト云フ問題トハ  
 私ハ非常ニ其選ヲ異ニスルト考ヘテ居リマス、宜シク内務大臣ハ、此點ニ就テ此國民ノ代表者ノ  
 前ニ、ドウ云フ監督ヲシテ居ッタ、ドウ云フ責任ガアルト云フ位ハ、辯明アツテ然ルベキモノト私  
 ハ考ヘマス、次ニ今回ノ事件ノ起リマシタル原因ハ、申スマデモナク東京瓦斯株式會社ノ瓦斯料  
 金値上問題デアリマス、此問題モ詳シク申シマスレバ、非常ニ時間ヲ要スルコトデアリマスカラ  
 シテ、問題ノ梗概ヲ申上ゲマスレバ、年九朱ノ配當ヲ得タイ、ソレニ就テハ一千立方尺一圓ノ値  
 上ヲシナケレバナラヌ、一千立方尺一圓ノ値上ハ當時ノ計算ニ依リマスレバ、約六割ノ値上デア  
 ヲテ、之ヲ金額ニ換算致シマスレバ、約四百萬圓ト云フ増收ヲ得ネバナラヌト云フ事柄デアアル、此  
 問題ハ瓦斯會社ノ數字ガ信用スベキモノデアアルカ、ドウカト云フコトハ姑ク別問題ト致シマシ  
 テ、東京市民トシテハ、無論斯ノ如キ多額ノ瓦斯料金ノ値上ニ應ズル理由ガアリマセヌ、此故ニ  
 當面ノ責任者タル東京市會ニ於テモ、又民間ノ有志ニ於テモ、約一年ニ互ツテ論難攻究ヲセラレ  
 テ、結局約二割ノ値上——金額ニ見積リマスレバ、一年約二百萬圓ノ値上ト云フコトニナツテ、事  
 件ハ落著致シタノデアリマス、其案ノ提出ハ大正七年十月デアリマシテ、落著ハ大正八年九月三  
 十日ニ決定ヲ致シタコトニナツテ居リマス、此問題ニ就テ坊間傳フル所ニ依レバ、瓦斯會社ハ四  
 十萬圓ノ金ヲ費消シタト云ヒ、或ハ六十萬圓ノ運動費ヲ投ジタリト稱シテ居リマスガ、事固ヨリ  
 的確ナ證據ハアリマセヌ、然レドモ今日警視廳並ニ檢事局ノ努力ニ依ツテ續々檢舉セラレマス委  
 員ノ顔觸ト、員數ニ就テ調査致シテ見マスレバ、當時瓦斯料金値上問題ノ委員ハ十五人デアリマ  
 シタガ、其委員中ノ六人マデ、今日最早牢獄ニ投セラレテ居ルノデアリマス、十五人ノ中六人ハ  
 會社カラ何カ頂戴ヲシテ居ルト云フコトハ、殆ド爭ヘナイヤウデアリマス、十五人ノ中六人マ  
 デ買收サレテ居ルノデアリマスカラ、如何ニ反對側ノ議論ガ論争ヲ致シマシテモ、反對ヲ致シマ  
 シテモ是ハ到底委員會ニ於テハ、市民ノ側ノ要求ヲ貫徹スルコトハ、出來ナイト云フコトハ、明  
 カナ事實デアアル、而シテ此委員十五名ノ中ノ一人某委員ノ如キハ、身中學校長ノ職ニ在リナガラ

委員會ヲ召集シテ置イテ、サウシテ會社ニ都合ガ惡イト云フノデ、行衛ヲ晦シマシテ、ドウシテ  
 モ委員長ガ居ナイカラ會議ヲ開クコトガ出來ナイ、後日其行衛ヲ搜查致シマスレバ、箱根ニ行ッ  
 テ碁ヲ打ッテ遊デ居ッタト云フヤウナ無責任極マル行動ヲ致シテ居ル者モアル、又此委員ノ中ニ  
 ハ瓦斯問題ガ東京市會ニ提出ニナルト云フ噂ガアル時分カラ、モウ既ニ瓦斯會社ノ奴隸ノ如キ  
 態度ヲ執ツテ、贊成ヲシテ居ッタ人ガアリマス、瓦斯ノ料金ノ値上ヲスレバ、自分ノ臺所ノ費用ガ澤山  
 掛ルノデアリマスカラ、瓦斯會社ノ計算ヲ調べ、市當局ノ説明ヲ聽イテ、已ムヲ得ザルニ及ンデ始  
 メテ之ニ贊成ヲスルト云フガ人情デナクテハナラヌ、又道理デナクテハナラナイ、然ルニ自分ノ  
 臺所ノ費用ガ嵩ムト云フコトヲ知リシ、瓦斯會社ノ値上案ガ出ルト云フコトヲ聞クト、一番初メ  
 ニモウ御先棒ニナツテ、運動シテ居ル人ガアッタノデアリマス、サウ云フ人ガ此議席ニ著イテ居ルヤ  
 否ヤハ合斷言スル限ニ非ズ、洵ニ奇態ナ話デアリマス、吾々ガ今日夕必要デアル所ノ薪炭ノ如キ  
 ——米屋サンノ店頭ニ行ツテ米ノ價上ヲシテ吳レト言ヒ、薪屋ノ前へ行ツテ薪ノ値上ヲシテ吳レ  
 ト言ウタナラバ、其人ハ狂人ガ馬鹿デアアルト謂ハナケレバナラヌ、然ルニ瓦斯問題ニ就テハ、瓦  
 スノ料金ノ値上サレ、バ、自分ノ不便デアアル、不都合デアアルニモ拘ラズ、説明モ聽カズ、數字モ見  
 ナイ中カラ大運動ヲヤツテ居ル、ソコデ吾々料金ニ關シテ反對運動ヲ致シテ居ッタ者ハ、其時分カ  
 ラ彼等ハ怪シイト見テ居ッタ、日常ノ生活ニ必要ナ物資ノ値上ヲサレルノニ、其手先ニナツテ運動  
 ヲスルト云フ馬鹿者ハ一體無イ筈デアアル、故ニ警視廳ナリ、檢事局ナリガ、今日此瓦斯問題ニ就テ  
 非常ナル努力ヲシテ檢舉ヲスルコトニ就テハ、多大ナル感謝ヲ表ルモノデアリマスケレドモ、其  
 當時ニ方ツテ官憲ハ何ヲシテ居ッタカ、殊ニ内務大臣ハ何ヲシテ居ッタカ、彼等ガ自由自在ニ數萬  
 圓若クハ數十萬圓ノ金ヲ投ジテ運動ヲシタリ、買收スルコトヲ見テ居ッテ、而シテ今日ニ及ンデ  
 約一箇年後ニ及ンデ、漸ク之ヲ檢舉スルト云フヤウナ事柄ハ、無キニハ優ルケレドモ、市民側カ  
 ラ申シマスレバ非常ナル不滿デアアル、殊ニ市政監督ノ責任者デアアル所ノ府知事ナリ、内務大臣ト  
 云フモノハ、果シテ何ヲシテ居ッタカ、吾々ハ怪訝ノ至リニ堪ヘヌノデアリマス、即チ斯ノ如ク道  
 路問題若クハ瓦斯問題ニ就テ、殆ド今日ハ既ニ五十人ノ人ガ牢獄ニ投セラレテ居リマス、此當面



ノ問題ダケデ、東京市政ガ如何ナル状態デアるかト云フ事柄ハ御分リデアラウト考ヘマス、尙ホ私ハ最モ簡單ニ、從來政府ノ監督ノ方法ガ其宜シキヲ得テ居ラナイト云フ事柄ヲ立證スル爲メニ、一ノ問題ヲ提供シテ、諸君ノ御記憶ヲ喚起シテ置キタイト考ヘマス、東京市ニ養育院ナルモノガアリマス、從來三十數萬圓ノ豫算ヲ持ッテ居リマス、鰥寡孤獨、行路病者ト云フヤウナ者ヲ保護スル所デアリマシテ、救濟事業ノ一ツトシテ最モ神聖ナル事業デアアル、此養育院ノ問題ニ就テモ、屢、新聞ニ現ハレ、雜誌ニ現ハレ、東京市會議場ニ現ハレマシテ、此養育院問題ノミヲ論ジテモ一日ヤ半日ハ掛リマスガ、私ハ最モ甚シイ例ヲ擧ゲテ置キマス、養育院ニ濫澤男爵ノ信任ヲ忝シタル某吏員ガ居リマシタ、明治二十七年内務省デモ免職ニナッテカラ、一昨年迄養育院ニ居ッタノデアリマスガ、其約三十年間ニ色々ナ惡事ヲヤッテ居ル、其惡事ノ中デ最モ酷イノハ、養育院ノ地面ト養育院ノ建物ヲ利用シテ、豚ヲ數十頭飼ヒマシタ、其豚ノ中ニハ大キイ豚モ小豚モアリマスガ、要スルニ數十頭ノ豚ヲ養育院ノ地面ヲ利用シテ飼ッタ、其豚ニハ何ヲ食ハスカト云フト養育院ノ殘飯ヲ食ハセル、其豚ヲ賣ッタ其錢ハ誰ガ懷中ニ入レルカト云フト、養育院ノ收入ニハナラナイ、人ノ物資ヲ利用シテ錢ヲ儲ケ、其錢ヲ自分ノ方ノ懷中ニ入ッテ來ルト云フ勘定デ、隨分都合ノ好イ勘定ダラウト思フ、ソレカラ鶏ヲ飼フ、矢張養育院ノ米ヲヤッテ、養育院ノ庭デ鶏ヲ飼ヒ、此鶏ヲ賣ッテ錢モ何處ニ入ルカハモウ論ゼズシテ分ッテ居ル、畑ヲ利用シテ野菜ヲ作り、野菜モドシドシ賣ッテ、自分デ錢ヲ取ル養育院ノ構内ニ家屋ガアリマスガ、其家屋モ空家デアルト稱シテ人ヲ入レテ置イテ、其家賃ダケハ自分ガ取ル、養育院ノ構内ニ某請負者ヲ入レテ、養育院ノ看護婦ヲ使用シテ其御機嫌ヲ取ル、有リト有ユル罪惡ヲ三十年間ニヤッタ、ソレデ私ハ其問題ガ、餘リニ新聞紙ニヤカマシクナリマスルシ、雜誌ニヤカマシクナリマシタノデ、非公式ニ市長ニ質問致シマスルト云フト、新聞ニ書イテアル程澤山數ハ無イケレドモ、其中ノ四ツヤ五ツハアル、ソレハ致方ガナイト斯ウ言フ、ソコデ不肖ハ大正七年中ニ田尻市長ヲ通ジテ、養育院ノ院長タル市參與男爵濫澤榮一ニ對シ、五回出席ヲ要求致シマシタ、東京市ニ出テ此養育院ノ問題ヲ、貴方ハ三十年間扱ッテ居ルノダカラ、此疑問ニナッテ居ル所ノ事項ヲ説明シテ吳レト云フ要求ヲ、正式

ニ市長ヲ通シテ致シマシタケレドモ、五回トモ出席致シマセヌ、翌日ノ新聞ヲ見ルト、帝國「ホテ」デ友人ト酒ヲ飲ンダトカ、何所デ酒ヲ飲ンダトカ、金儲ニハ駈歩イテ居ルケレドモ、ドウシチモ東京市會ニ出テ來ナイ、而シテ二十幾萬圓カノ金ヲ持ッテ行ッテ居ル、一體此問題ニ就テ、内務大臣ガ知ラヌト云フトコトハアリマセヌガ、何トモ監督ヲシナイ、殊ニ濫澤男爵ニ就テハ、此席デハ甚ダ御氣ノ毒デアリマスケレドモ、元來濫澤男爵ハ東京市民デハナイ、瀧ノ川ノ町民デアアル、法律ノ規定ニ依ッテ、市ノ名譽職トナッテ、參與ノ職ヲ務メマスルノニハ市民タルノ資格ヲ要スルト云フトコトハ法律ノ命令スル所デアアル、濫澤男爵ハ瀧ノ川ニ居ッテ瀧ノ川ノ町民デアアル、瀧ノ川町ニ居ッテ選舉權ヲ有ッテ居ルノデアアル、ソレガ東京市ノ公民デアルト云ッテ、市參與ノ職ニ居ルノデアリマスガ、是ハ法律ヲ無視シテ居ルモノデアアル、是モ市會ノ問題ニシタケレドモ、少數ニ多數仕方ガナイ、濫澤男爵ハ東京市民デアルト僭稱シテ市參與ニナッテ居ルト云フトハ、内務省ノ役人ハ能ク知ッテ居ル等デアアル、然ルニ毫モ關係シナイ、知ラヌ顔ヲシテ居ル、非公式ノ場合ニヤカマシク言フト、或人ナドハ斯ウ申シマシタ、ソレハ資格ハ無イケレドモ、寄附金ヲ募ルニ都合ガ宜イカラア、シテアルノダ、——成程寄附金ヲ取ルニハ都合ガ好イカモ知リマセヌガ、法律ヲ無視シ、人ヲ欺イテ寄附ヲ求メルト云フ事ニ就テハ本員賛成シナイ、斯ウ云フ事項ニ向ッテ、内務大臣ハ何等監督ヲシナイ、此濫澤男爵ガ瓦斯ノ値上問題ガ起ッタ時ニ、如何ナル態度ヲ執ッタカト云フト、瓦斯ノ値上ノ案ヲ東京市會ニ提出スルニ當リマシテ、午前八時カラ晩マデハ、田尻市長ヲ自動車ニ乗セテ各瓦斯會社ノ工場ヲ歩イテ、ドウシテモ瓦斯ト云フモノハ斯ウ云フ組織ニナッテ居ルノデアアルカラ、非常ニ經費ヲ要スル、故ニドウシテモ値上ヲシナケレバナラヌト云フトコトヲ吹込シタノガ、此濫澤榮一デアリマス吾々市民ノ代表者トシテ、三十萬圓ノ豫算ヲ持ッテ居ル市參與ニ對シテ、公ニ説明ヲ求メタケレドモ遂ニ出テ來ナイデ、一私立會社ノ瓦斯値上ヲスル場合ニ方リマシテ、瓦斯會社ノ手先ニナッテ、市長ヲ自動車ニ乗セテ伴レテ廻ルト云フトハ、公私混同ノ甚シキモノト謂ハナケレバナラヌ、是等モ内務當局者ハ何等監督ヲシナイ、是ガ養育院問題ノ梗概デアリマスルガ、モット詳シイ事ガ御必要デアリマスルナラ、材料ハ山ノ如



クニ持ッテ居リマスカラ、何時デモ申上ゲマス、次ニハ交際費ノ問題デス、交際費ノ問題ハ、是ハ電氣局ニモアリマスルシ、市ノ本廳ノ方ニモアリマスル、隨分澤山ノ交際費ガアリマス、此交際費ヲ市ノ役人ガ、何カ自分ガ私ノ恩惠ニ依ッテ貰ッタ金錢デアルカノ如クニ考ヘテ居ッテ、勝手放題ノ費消ノ方法ヲヤル、其一例ヲ申シマスルト、奥田市長ガ存生中某高級吏員ガ、數萬圓ノ交際費ノ説明ヲシナイ、帳面ヲ自宅ニ持ッテ歸ッテ、ドウシテモ持ッテ來ナイ——其高級吏員ハ當時休職ニナッテ居リマス、ソレデ市會議員ノ方ニ於テ其説明ヲ求メタノデ、奥田市長ハ、次會ニ其帳面ヲ持ッテ來テ説明ヲスルカラ待ッテ吳レ、マダ其帳面ガ出テ來ナイ、又奥田市長ガヤッテ來テ、間ニ合ハナイカラ數日待ッテ吳レト言フ、ソレデ數日此市會ノ方ニ對シテ説明ヲ延期セラレタ、最後ニ奥田市長ガ市ノ委員ノ前デ謝罪ヲセラレマシタ、一體此市ノ吏員ガ、交際費ト云フモノヲ政府ノ機密費ナシカノヤウナ考ヲ持ッテ、收支ヲ辯明スル義務ガ無イト言ッテ居ル、殊ニ帳面モ無イノデアアル、今後ハ電氣局ノ交際費ト云フモノハ、自分ガ收支ヲシテ明瞭ニスルカラ、是デ打切ッテ吳レト云フ話ガアリマシテ、ソレデ漸ク解決シタト云フ例ガアリマス、之ニ由ッテ觀テモ、是マデ數萬圓ノ交際費ト云フモノガ、ドウ云フ状態ニナッテ居ルカト云フコトハ、殆ド攻究スル必要ガアリマセヌ、殊ニ最近ノ問題トシテ諸君ニ傳ヘテ置キタイト思ヒマス事ハ、内務省デハ既ニ監察官ヲ御派遣ニナッテ、御調査中デアリマスカラ御分リニナッテアリマセウガ、是ハ新聞ニモ出テ居リマス、實ニ驚クベキ惡事デアリマス、其内容ハ唯今讀上ゲマスルガ、要スルニ市ノ助役ハ、七千圓八千圓ト云フ莫大ノ年俸ヲ取ッテ居ルニモ拘ラス、一ツノ仕事ガ出來上レバ、仕事ノ出來上ッタ毎ニ謝金ヲ取ッテ居ル、何カ少シ六ケシイ仕事ガ出來上リマスルト、一々禮金ヲ取ッテ居ル、其一二ヲ爰ニ讀上ゲテ置キマス、大正八年中ノ十一月ニ、祝典事務慰勞ト云フ名儀デ、永井助役ガ百五十圓、山崎助役ガ百三十圓、戸野助役ガ百三十圓、ソレカラ大正八年ノ十二月ニ市事務ニ勤勞ヲシタト云フ名儀デ、永井助役ガ六百三十圓、山崎助役ガ四百五十圓、戸野助役ガ四百二十圓、ソレカラ公設市場食堂住宅事務慰勞ト云フ名儀デ、矢張大正八年十二月ニ永井助役ガ二百圓、山崎助役ガ三百圓、戸野助役ガ二百圓、ソレカラ青年教育調査事務慰勞ト云フ名儀デ、大正九年三月ニ

永井助役ガ七十圓、ソレカラ水道給水事務統合準備功勞ト云フ名儀ノ下ニ、矢張同年三月永井助役ガ百五十圓、山崎助役ガ百五十圓、戸野助役ガ二百圓、ソレカラ矢張同年三月ニ流行性感冒豫防慰勞ト云フ名儀ノ下ニ、永井助役ガ二百圓、山崎助役ガ二百圓、戸野助役ガ二百二十五圓、國勢調査慰勞ト云フ名儀ノ下ニ、同年三月ニ永井助役ガ七十五圓、山崎助役ガ二百圓、戸野助役ガ七十五圓、ソレカラ社會局創設慰勞ト云フ名儀ノ下ニ、同年四月ニ永井助役ガ二百五十圓、山崎助役ガ百五十圓、戸野助役ガ百五十圓、ソレカラ療養所建設事務慰勞ト云フ名儀ノ下ニ、大正九年七月ニ永井助役ガ一千圓、山崎助役ガ一千圓、戸野助役ガ一千圓、ソレカラ同年ノ七月ニ——是ハ盆ダラウト思フ、事務勉勵ト云フ廉デ、永井助役ガ六百二十五圓、山崎助役ガ四百七十五圓、戸野助役ガ四百五十圓、之ヲ結局合計シテ見マスルト云フト、大正八年ノ十一月カラ大正九年ノ七月マデノ九箇月間ニ、永井助役ガ合計三千三百五十圓、山崎助役ガ合計三千五百圓、戸野助役ガ合計三千六十圓ト云フ、驚クベキ金額ヲセシメテシマッタ、此外ニ年俸ハ貰ッテ居ルノデアアル、是ハ當然ノ仕事ヲシタ當然ノ事務デアアルニ拘ラス、僅ニ九箇月間ニ各助役ガ、三千圓ト云フモノヲ黙ッテ取ッテシマッタ、此事柄ハモウ顯著ナル事實デ、而モ驚クベキ事ハ、吾々ノ方デハ罪惡ダト思ウテ居ルノニ、彼等ノ方デハ之ヲ賞罰ノ「賞」ノ字ノ方ニ入レテ居ル、能ク履歷書ナドヲ出シマス、ト履歷ヲ書キマスガ、其中ノ「賞」ト云フ中ニ這入ル慰勞金トカ何トカ云フ名義デアリマスカラ、色々仕事ヲシタノデアリマセウガ、斯ウ云フコトガ現ニ行ハレテ居ル、之ヲ内務省デハ些トモ知ラナイ、騒ギガ起ッテカラ監察官ガ來テ、夜ヲ日ニ繼イデ始メテ之ヲ發見シテ居ル、隨分手緩イ監督デアリマス、ソレカラソレカラモウ一ツ例ヲ擧ゲテ置キマスガ、内務省ガ何ヲ監督シテ居ルカト云ウコトニ就テ、大正九年ノ四月ニ電車ノ値上ガ提案セラレマシテ、東京市民中産階級以下ノ或者ハ、非常ナル迷惑ヲ致シテ居ルト云フ事實ハ論スルマデモアリマセヌガ、此ノ電車値上ノ問題ガ奇怪至極ノ問題、初メ東京市長ガ電車ノ料金値上問題ト云フモノヲ參事會ニ提出致シマシタ時ニハ、約六百萬圓ノ增收ヲ得レバソレデ宜シイ、ソレデ五錢デアルモノヲ六錢ニシテ、往復十二錢ヲ取リタイト云フ案ヲ出シタ所ガ、參事會ハドウ云フ關係デアリマシタカ、ソレデハ少ナ



カラウカラ、モット値上ヲシタラ宜カラウト云フノデ、市長ガ六錢往復十二錢デ宜シイト云フモ  
 ノヲ、參事會ニ於テ七錢ニシテ、往復十三錢ト云フコトニ値上ヲシタ、所ガ市長ノ方デハ異論ノ  
 アル譯デアアリマセヌ、モット値上ヲセイト云フノデアリマスカラ——ソレデ之ヲ東京市會ヘ持ッ  
 テ來ルト、東京市會ガドウ云フ決議ヲシタカト云フト、又一錢ノ値上ヲシテ七錢デ往復十四錢ト  
 云フコトデ、之ガ今ノ料金デアル、其當時ノ計算ニ依ルト、二百萬圓ダケハ年々餘計取ラレルコ  
 トニナツテ居リマス、吾々ノ考ヘル所ニ依レバ、東京市長ガ往復十四錢ト云フ提案ヲ致シマシテ  
 モ、成ベク中産階級以下ノ者ノ爲メニ、往復十三錢ニシテ吳レトカ、十二錢ニシテ吳レトカ言フ  
 ノガ、私ハ市民ノ代表者トシテ、當然ノ責任デアルト考ヘマスガ、東京市會デハ高ク致シマシタ  
 ノデアリマス、此問題ハ新聞ニモアリマス、吾々反對者ハ斯様ナ馬鹿氣タ事ハナイト論難攻撃シ  
 タノデアリマスケレドモ、多數デ可決ニナツテ居リマス、内務當局ハ何故許可ヲシタカ、事柄ハ小  
 サイヤウデアリマスケレドモ、年々二百萬圓市長ガ要求スル以外ニ錢ヲ取ラル、理由ハ無い、コ  
 ンナ事モ知ラズニ内務省ガ官判ヲ捺シテ居ル、モウ一ツ最近ニ發見シタ例デ、甚シキ市當局ノ失  
 態デアルコトヲ申上ケテ置キマスガ、是ハ砂利問題ニ關係ガアリマスガ、昨年ノ秋ニナリマシテ  
 東京市ハ追加豫算ヲ出シマシテ、サウシテ御承知ノ通り家屋稅ナドノ非常ナ値上ヲ致シテ參リ  
 マシタ、其増稅ノ委員會ノ席デ大正九年ノ豫算ヲ決定スル時分ニ、砂利ノ購入費百二十萬圓許カ  
 リヲ協贊ヲシタ覺ガアル、其百二十萬圓ノ金ハドウナツテ居ルカト云フコトヲ聽キマシタ所ガ、  
 ソレハ一文モアリマセヌ、後半期ノ一箇月カ二箇月過ギタ時分デアリマス、ソレハ怪シカラヌ、百  
 二十萬圓デ今年度ハ行ケルト云フコトデ決定シタノデアルガ、今日ニナツテ一文モ無イト云フノ  
 ハドウ云フ譯ダ、——暫ク躊躇ヲ致シテ居リマシタガ、永井助役曰ク、アレハ實ハ一年分ト申シマ  
 シタガ、半箇年分ノ豫算デアリマスト斯ウ言出シタ、ダカラ六月ノ三十日デ使切ツテ居ル譯ダ、併  
 ナガラ豫算ヲ提出スル時分ニモ、説明スル時分ニモ、是ハ大正九年度ノ砂利ノ購入費デアルト云  
 フコトヲ言ウテ請求シテ、吾々ガ協贊シタ、今ニ及ンデ金ヲ使ツテシマッタ、無クナツテカラ、アレ  
 ハ半年分デアルト言フニ至ツテハ、甚シク市民ノ代表者ヲ胡魔化スモノデアアル、詐欺取罪同様に

モノデアアル、サウ云フ事ヲヤッタノデアリマスカラ、仕方ガアリマセヌガ、サウ云フ事ガ現ニ行ハ  
 レテ居リマス、内務當局ハ無論御知りニナツテ居ルカ知リマセヌガ、内務行政ノ一部トシテ監督  
 ノ責任ガアルナラバ、此位ノ事ハ監督シテ然ルベキダト私ハ思ヒマス、斯ノ如キ状態デアツテ、東  
 京市ノ現状ハ腐敗墮落ト云フコトヲ通り越シテ、殆ド形容ノ辭ニモ私ハ苦シミマス、殊ニ先刻モ  
 申上ゲタ通り——唯今内務大臣ガ御出席ニナリマシタカラ、更ニ一言致シテ置キマスガ、今回ノ  
 明治神宮表參道ノ醜態ハ、先刻モ一言致シマシタ如ク、恐多クモ明治神宮ノ御扉ニ、泥土ヲ投ケタ  
 ト同様ノ大失態デアルト私ハ思フ、斯ノ如キ醜態ヲ演出シテ、明治神宮ノ尊嚴ヲ冒瀆シタルコト  
 ハ甚シイモノデアアル、是ハ内務行政ノ一部デアルト云フ點カラシテモ、内務大臣ハ其監督上ノ責  
 任ハ辭スルコトガ出來マセヌト同時ニ、先刻申上ゲマシタ如ク、明治神宮造營局ノ副總裁ヲナサツ  
 テ居ルノハ内務大臣床次竹二郎デアアル、明治造營局評議員會ノ會長ハ、内務大臣床次竹二郎ト職  
 員錄ニ書イテアリマス、職員錄ニ書イテアルガ、事實此所ニ御在ニナル内務大臣ハ何モ監督ヲシ  
 ナイデ、是デ内務大臣職責ガ務マリ、又上皇室ニ對シ奉リテ、明治神宮造營局副總裁、明治神宮評  
 議員會ノ會長タル職責ガ務マルカドウカ、是ハ單ニ一市議代表者ノ言ニ非ズシテ、東京市民二百  
 萬ノ言ツテ居ル事柄デアアル、否ナ國民全體ノ私ハ要求デアルト考ヘマス、斯ノ如ク皇室ニ對シテ  
 大不敬罪ガ行ハレテ居ルニモ拘ラズ、床次内務大臣ハ此點ニ就テハ如何ナル監督ヲスル、如何ナ  
 ル責任ガアルカト云フ御考ヲ持ツテ居ラル、ノデアアルカ、之ヲ私ハ聽キタイト思フノデアリマス  
 要スルニ上來述ベル所ヲ略言スレバ、斯ノ如キ大失態ガ東京市ニハ連日連夜行ハレテ居ルニ拘  
 ラズ、何等ノ監督ノ責ヲ盡シテ居ラナイ、若シ盡シテ居ルト云フト云フナラバ、ドウ云ウ監督方  
 法ヲ執ツテ居ッタト云フコトヲ、具體的ニ御説明ヲ願フ、ソレデ尋テ起ルベキ問題ハ、既往ノ事ハ  
 一段落ヲ告ゲルトシテモ、將來ハドウナサルカト云フ問題、是マデノヤウニ打棄テ、置イテ事件  
 ガ起ツタ時分ニ監察官ヲ遣ツテ、帳面ヲ調べルト云フダケデ濟マセル積リデアルカドウカ、第二ノ  
 事項トシテ御尋ヲ致シタイノハ、斯ノ如キ醜態ヲ帝都ノ中央ニ於テ演出スルニ至リシ其原因ハ  
 何デアアルカ、是ハ吾々ノ見ル所ヲ以テスレバ市長、助役、其他高級吏員、總テノ吏員ノ素質ガ悪イ



之ヲ具體的ニ申シマスレバ、人ノ名前ヲ申上ゲテ論ジタイノデアリマスガ、ソレハ私ハ遠慮ヲ致シマスルガ、要スルニ吏員ノ素質ガ他都市ノ吏員ノ素質ニ較ベテ、甚シク低下致シテ居ル、一言ニシテ申シマスルナラバ、東京市當局ニハ人材ガ居ナイ、殊ニ科學思想ニ通ジテ居ル專門家ガ居ナイ、人材ハ直チニ拋出サレル、賄賂ヲ取ル時ニ、賄賂ノ仲間入りヲスレバ繼續シテ行クコトガ出來ルケレドモ、其仲間ヲシナイト、何時カ邪魔ニナツテ拋リ出サレル、時ニ學者ガ出ルケレドモ、從來ノ舊イ吏員ガ寄ツテタカツテ寤メテ、學者ハ他ニ放逐シテシマウ、斯ノ如ク今日ノ東京市ガ構成ヤラレテアル此弊害ヲ馴致スルニ至リシ原因ハ、兎角内務省カラ官吏ノ古手ヲ彼所ニ送込ム爲メデアアル、是ハ名前ヲ言ハヌデモ大抵分ツテ居ルト思フ、其間ノ消息ヲ申上ゲマスレバ、或ル高級吏員ヲ採用シタイト云フ時分ニ内務省アタリニ相談ニ行キマス、誰カ地方ノ内務部長ヲ罷メテ、モウ二三年遊ンデ居ル、彼レヲ使ツタラ宜カラウ、彼レハ内務省ノ官吏ヲ罷メテモウ餘程ニナル、彼レヲ使ツテ宜カラウト云フヤウナコトデ、要スルニ内務省アタリカラ見マスレバ、既ニ多少古キニ屬シテ居ル者ヲ持ツテ來テ、東京市ニ入レル傾向ガアリマスカラ、今日ノヤウナコトニナツテ來ル、而シテ監督ノ不行届、惡イ吏員ヲ以テ東京市ヲ構成シテ居ル、其上ニ内務大臣ハ何等監督ヲシナイ、ソレデハ東京市ノ自治制ガ圓滿ニ行ハレヤウガナイ、行ハレタラ奇蹟デアアル今日ノ如クナルノハ當前デアアル、是ハ内務大臣ガ責任ヲ負ハナケレバナラヌト私ハ思フ、殊ニ私ガ内務大臣ニ御話ヲシテ置キタイト思フ事柄ハ、監督ヲナサル方ノコトハ、或程度マデハ忍耐ガ出來マスガ、下ラヌ邪魔ヲサレテハ困リマス、——監督十分デアルト云フ點ハ、或程度マデハ忍耐ガ出來マスガ、市政ノ運用ヲ妨害スルニ至ツテハ恕スルコトガ出來ナイ、ドウ云フ點ガ市政ヲ妨害シタカト申シマス、其一、二ノ證據ヲ擧ゲテ置キマス、政府ガ東京市政ノ運用ノ妨害ヲ爲シタト云フ例ハ、澤山アリマスガ、私ノ記憶シテ居ル一、二ノ例ヲ申上ゲマスレバ、第一ニ大正七年度ニ於テ、東京市電氣局ハ三千五百五十萬圓ノ龐大ナル豫算ヲ提出致シマシタ、此三千五百五十萬圓ノ中デ、大正七年度ニ於ケル割當ハ約九百萬圓、ソレデ私ハ此三千五百五十萬圓ノ大豫算ヲ決定スル際ニ、大正七年度ノ割當ハ實ニ九百萬圓ト云フ莫大ナル金額ニナツテ、此約一千萬圓ニ近い

金額ヲ、今年度ニ於テ消化スルコトガ出來ルカ、ドウカト云フコトヲ聽キマシタ、サウスルト市長モ電氣當局モ、無論今年度ニ於テ立派ニ使ツテ見セル、ソレダケノ金ハ必要デアルト同時ニ、吾等ノ方デハ使用致シマスト明言シタ、所ガ翌年度ニ於テ決算ヲ見ルト、僅カ六十一萬圓シカ使ツテ居ラヌ、九百萬圓ノ金ヲ要求シテ六十一萬圓シカ金ヲ使ツテ居ナイ、ソレデハ先約ガ違フデハナイカ、吾等ノ方デハ九百萬圓ノ金ガ要ル、立派ニ使ツテ見セルト言ツテ出シタモノガ、僅ニ六十一萬圓シカ使テ居ナイト云フコトハ、無爲カ、無能力、無責任カト云フコトヲ詰問致シマス、電氣局長ハ答辯シテ曰ク、ソレハ吾等ノ罪デアリマセヌ、此三千五百五十萬圓ノ、協賛ヲ經テ實際ニ認可ノ出願ヲ致シタノハ、大正七年五月ノ末日デアアル、ソレヲ幾ラ催促シテモ當局ハ之ヲ認可シナイ、漸ク大正七年ノ十二月末日ニナツテ、此三千五百五十萬圓ノ豫算ノ認可ヲシタト云フ、成程ソレデハ如何ニ金ガアツテモ市政ノ運用ガ出來ナイ、是ハ當然ノ事デアアル、是ハ當局者ガ市政ノ監督ヲ爲サラヌノミナラズ、妨害ヲシタ一ノ例デアリマス、最近ノ例デアリマス、妨害ト云フ惡意ハ無カッタカ知レマセヌガ、非常ナ怠慢デアアル、殊ニ甚シキハ第二ノ事例トシテ申上ゲタイ、是ハ内務大臣ニ申上ゲルノハ、少シ御氣ノ毒デアアルカモ知レマセヌガ、大正九年七月十九日ニ決定シタル、例ノ水道料金値上問題デアリマス、アレハ六割七分五厘ノ値上デアリマシテ、是モ吾等ハ反對致シマシタガ、已ムヲ得ナイトシテ當時ノ可決ニナルト同時ニ市當局者ハ之ヲ出願シタノデアリマスガ、大藏大臣ハドウシテモ之ヲ認可シナイ今握潰シテ居リマス、事情ヲ聞ケバ此案ヲ認可スルト、東京市ニ於テハ公債ヲ募ル、東京市ニ於テ公債ヲ募ルト、大藏省ノ公債政策ニ影響スルカラダト云フコトデアアル、若シサウ云フ理由デ許サナイト云フナラバ、早ク許サナイト云フ理由ヲ示シテ却下スベキデアアル、半年以上モ大藏大臣ノ手許ニ握ツテ置イテ之ヲ許可シナイ、而シテ一面ニ於テ市政運用ガ十分ニ行カヌト言フ、行カウ筈ガナイ、是モ私ハ監督不行届デアアル若クハ市政ノ運用ヲ妨害シタル、一ノ例トシテ申上ゲテ置キタイノデアリマス、之ニ對シテ當局ハ如何ナル考ヲ有ツテ居ルカ、現ニ大正九年二月ノ東京市會ニ於テ、市會議員ノ質問權ヲ剝奪致シマシタ、是等モ重大ナル市政ノ墮落デアアル、腐敗デアリマス、此事柄ヲ内務大臣ハ知ツテ居リナガラ何モ關係シナイ、其質問權剝奪ノ事情ハ、今日ニナツテ



始メテ分リマシタ、瓦斯料金値上問題デ非常ニ八釜シカッタ當時デアッテ、色々議員カラ質問サレテ  
 ハドウ云フ檻樓ガ出ル、ドウ云フ缺點ガ出ルカ分ラヌカラ、彼等ノ方面デハ非常ニ苦痛デアルカラ  
 ヤッタト云フコトデアアル、今日十幾人ノ市會議員ガ獄ニ投ゼラレテ、始メテ此質問ノ權利剝奪ノ事情  
 ノ了解ガ出来タノデアリマス、斯ウ云フ質問ト云フ事柄ハ、議會ニ於テモ市會ニ於テモ、議員ノ重  
 要ナル發言權デアアル、ソレヲ現ニ制限セラレタト云フコトガアッテモ、内務大臣ハ少シモ構ヒナ  
 シ、勝手ニヤッタラ宜シカラウト云フ風ヲシテ居ル、市制ノ規定ニ依ルト第一次府知事、第二次ハ  
 内務大臣ガ監督權ヲ有ッテ居リマスケレドモ、ソレハ殆ド死文徒法デアルト私ハ思フ、何トカ東  
 京市ノ病根ヲ調査セラレテ、其由ツテ來ル所ヲ探究セラレ、相當ナル監督權ノ行使ヲシナケレバ  
 ナラヌト思ヒマスガ、從來ハ先刻來私ノ論ズル通りデアアル、此點ニ向ッテ私ハ、是非當局ノ御答  
 辯ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、第三ノ項目トシテハ制度ノ問題デアリマス、是ハ他ノ議員カ  
 ラモ質問ガ出テ居リマスルシ、又舊イ問題デアリマスルカラ、賢明ナル諸君ノ前デ多クヲ論ズル  
 必要ハアリマセヌ、要スルニ今日ノ東京市政ヲ運用スル法律デアアル所ノ市制ナルモノハ、二重監  
 督ノ制度ニナッテ居ル、是ガ一ノ妨害デアリマス、是ハ現行制度ノ改正ノ項目トシテ御攻究ヲ願  
 ヒタイ、此故ニ東京市ト東京市府トハ、何時デモ競争ヲヤッテ居ル、公設市場ノ問題ガ起レバ、東  
 京市モ金ヲ出シテ公設市場ヲ設ケ、東京府モ競争シテ公設市場ヲ設ケル、住宅問題ガ起レバ、東  
 京市ト東京府トガ競争ヲシテヤッテ居ル、公設市場トカ住宅問題トカ云フモノハ、市ノ吏員ヤ府  
 ノ役人ノ虚榮ノ爲メニスルモノデハナイ、住民ノ利益ノ爲メニスルデアルカラ、彼等ガ競争ス  
 ル必要ハ無イケレドモ、競争ヲシテ居ル、是ハ矢張制度ノ罪デアルト私ハ思フ、又警視廳ナドモ  
 サウデス、市街自動車ヲ許シタ内情ニ就テモ、私大ニ論及シタイト思ヒマスケレドモ、内務大臣  
 ハ能ク御承知デアリマセウカラ申上ゲマセヌガ、東京市ノ交通機關ヲ統一シナケレバナラヌト  
 云フコトハ、官民ノ輿論デアアル、ソレデ初メ東京市ノ電氣局ガ出願シタノニ、之ニ口實ヲ設ケテ  
 却下シテ置イテ、却下ノ翌日、而モ自動車會社ニ許可スルト云フニ至ッテハ、市政ヲ監督ヲスルノ  
 デアルカラ、市政ヲ蹂躪スルノデアルカラ、殆ド私ハ其監督方法宜シキヲ得ザルニ呆然タラザルヲ得ナ

イ、殊ニ東京市ノ諒解ヲ得ズシテ、彼ノ芝浦埋立地ノ岸壁ニ火葬典禮株式會社ヲ許可スルニ至ッ  
 テハ、何タル血迷ッタル方法デアルカ、芝浦ノ海岸ハ諸君ノ御承知ノ通りニ、東京市ノ玄關口デア  
 ル、日本内地ノ人ガ往來スルニ當リマシテモ、西洋各國ノ人ガ往來スルニ當リマシテモ、帝都ニ  
 來ルニハ必ズ通過セザルヲ得ザル玄關口デアアル、其玄關口デ毎日々々火葬ヲ許可スルニ至ッテハ  
 何タル血迷ッタル許可ノ方法デアリマスルカ、ソレモ内務大臣ハ知ラヌ顔ヲシテ御在デニナ  
 ル、斯ノ如キ事ガ行ハレテ居ッテモ、何等ノ監督ノ方法ヲ執ラナイ、ソレカラ參事會ノ制度——是  
 モ惡イ、是ハ惡イト云フコトニ止メテ置キマス、最後ニ唯ダ一言致シテ置キタイモノハ、市會議  
 員ノ選舉ニ關スル階級制度ノ問題デアリマス、此階級制度ヲ徹底セザルベカラザル事柄ハ、衆議  
 院議員選舉ニ於テ、普通選舉ヲ採用スベカラズト稱スル論ト、同一程度若クハソレ以上必要ナル  
 問題デアアル、今日東京市ノ市政ガ腐敗墮落致シマシタル最大原因ハ、私ハ此ニ在ルト斷言シテ憚  
 ラヌ者デアアル、尙一例ヲ舉ゲテ置キマス、日本橋區ノ一級ノ有權者ガ、何人アルカト云フコトヲ  
 調査シテ見マスルト云フト、日本銀行、株式取引所、三井銀行、森岡平右衛門、三井物産株式會社、  
 第一銀行、水橋義之助、此外七人ガ日本橋區ノ有權者デアアル、而シテ是ハ定員ガ二人デアリマス  
 カラシテ、一票デモ二票デモ貫ヘバ直グ當選シテシマウ、ソレカラ極端ナル例ハ、麴町區ノ一級  
 デアリマス、株式會社日本勸業銀行、日本郵船株式會社、タッタ二人ガ一級有權者デアアル、是モ定  
 員二人デアリマスカラ、ドチラカ一票ヲ取レバ議員ニナレル、麴町ハ二級ニ於テ僅ニ五人、日本  
 橋ハ二級ニ於テ百二十六人、京橋區ハ一級ガ第十五銀行外十六人、定員二人、二級ガ二百四十二  
 人大要デアリマスガ斯ウ云フ事ニナッテ居ル、翻ッテ各區ニ於ケル二級議員ノ投票ノ數ヲ調べテ  
 見マス、多イ者ハ千四百カラ千五百ノ投票ヲ取ラナケレバ當選ハ出来ナイ、一面ニ於テハ勸業  
 銀行ノ一票ヲ貫ッテ當選シテ居ル者ガアリ、郵船會社ノ一票ヲ貫ッテ當選シテ居ル者モアル、此ニ  
 東京市ノ市會ノ腐敗墮落ヲ來スノ病根ト云フモノガ存在スルト考ヘマス、此故ニ今回牢獄ニ投  
 ゼラレテ居ル所ノ人々ハ、ドウ云フ方法ニ於テ選舉セラレテ居ルカト云フコトヲ調べテ見マス  
 ト、二級議員ガ四人、一級議員ガ四人、合計十二人、各階級皆十四人宛



アル、悪イ事ヲスル奴ハ何所ニモ居ルラシイ、ソレデ各階級カラ四人宛ノ刑事被告人ヲ出シテ居  
 ルト云フ點カラ見レバ、案外此制度ハ公平デハナイカト云フ御考ノ人ガアルカモ知レマセヌガ、  
 事實ハサウデハナイ、先刻申上ゲマシタ如ク、日本橋ノ如キハ二級有権者ガ僅ニ百二十六人、京  
 橋區ノ如キハ二級有権者ガ僅ニ二百四十二人、麴町區ハ二級有権者ガ僅ニ五人デアリマス、斯ウ  
 云フ關係デアリマスカラシテ、實際上ノ状態ヲ調査致シマスト云フト、二級以上ノ議員ト云フモ  
 ノハ、二票カ三票デ當選シテ居ル議員ガ澤山アルノデアアル、此故ニ十二人牢獄ニ投ゼラレテ居  
 テ、八人マデハ財閥ノ代表者デアアルト云フト私ハ斷言シテ憚ラヌ者デアアル、此故ニ階級選舉  
 フ廢シテ、中産階級以下ノ者ニ——中産階級ノ者モ同様ニ投票權ヲ有チ、同様ニ選舉スルト云フ  
 コトニナツタナラバ、所謂普通選舉ヲ施キマシタナラバ、私ガ惟フニ今回ノヤウニ多ク牢獄ニ投  
 ゼラレル者ガナクテ、濟ミハシナイカト私ハ斯ウ考ヘル、何レニ致シマシテモ、同一ノ資格ヲ有  
 スル市會議員ニシテ、或者ハ千四百五十ノ投票ヲ持タナケレバナラズ、或者ハ一票デ當選ガ出來ル  
 ト云フヤウナ極端ナル選舉制度ハ、斷ジテ此際ニ於テ排斥シナケレバナラヌト私ハ考ヘル者デ  
 アリマス、此邊ニ就テ、内務大臣ハ如何ナル御考ヲ持ッテ居ラレマスルカ、承ル所ニ依レバ内務省  
 ノ方面ニモ、階級撤廢論者ガアルヤウデアリマス、二級論者モアルヤウデアリマス、孰レニ致シマシテ  
 モ目下ノ市制ハ、到底今日ノ自治制ヲ運用スルニハ不適當ナル法律デアルト云フトハ、爭フベカ  
 ラザル事デアルト思ヒマスガ、是等ノ問題ニ就テ當局ノ御意見ヲ承リタイ、最後ニ第四トシテ御  
 尋ヲ致シタイノハ、内務大臣ハ市制第六十二條ノ規定ニ於テ、内務大臣ハ市會ニ解散ヲ命ズル  
 コトヲ得ト云フ權利ヲ持ッテ居ラレマス、此市制ニ基ク解散權ト云フモノヲ、何ガ故ニ今日東京  
 市會ニ對シテ御適用ニナラナイカ、今日東京市會ハドウ云フ有様デアアルカト云フトハ、私ガ先  
 刻申シテ居ル通り、多クヲ論ズル必要ハアリマセヌ、既ニ十二人ノ市會議員ガ牢獄ニ投ゼラレテ  
 居ル、七十五人中十二人ガ牢獄ニ投ゼラレテ居ル、而シテ加藤議長ヲ首メ二人ノ辭職者ガアル十  
 四人ノ缺員同様ノ有様ニナツテ居リマス、新聞ヲ御覽ナサレテモ、又内務大臣ノ監督權ノ範圍内  
 ニ於テモ、御了承デアラウト思ヒマスガ、マダ、縛ラレル議員ガ澤山アルノデアアル、是カラ將

來幾何ノ人ガ監獄ニ投ゼラレルカト云フ事柄ハ姑ク別ノ問題ト致シマシテ、兎ニ角十四人ノ缺  
 員ヲ生ジテ居ル、其十四人缺員ヲ生ジテ居ル外ニ、今八人許リ——辭職ヲシタイト云フノデ、辭  
 職願ヲ書イテ持ッテ居ルモノガモウ八人アリマス、ソレカラ東京市ニ於テ發行セラレテ居リマスル  
 有力ナル數多ノ新聞ニ於テ、個々ノ市會議員ノ意見ヲ御質シナツテ居リマス、貴方ハ總辭職ヲスル  
 ノガ宜イカ、解散ヲスルノガ宜イカト云フ御尋ヲシタ際ニ、多クノ市會議員ハ、總辭職ノ適當デア  
 ルト云フトコトヲ言ッテ居ル、總辭職ガ出來ナケレバ、解散モ已ムヲ得ヌト云ッテ居ル(中略)今日ノ  
 場合ニ於テ今ノ東京市會ハ必要デアアル、アレハ解散ヲシナクテモ宜イト云フ人ハ一人モ無イ、恐  
 ラク此衆議院ノ議場ニ於テモ、私ハアルマイト思ヒマス、唯ダ一人新ニ當選セラレタ後藤市長ガ  
 今ノ市會議員ヲ對手ニデモ、市政革新ハ不可能デハナイ、今ノ議員ヲ解散セズト雖モ、市政ノ廓  
 清ハ出來ルト云フト豪語シテ居ラレマスケレドモ、併ナガラ既ニ十二人ノ刑事被告人ヲ出  
 シ、二人ノ辭職者ヲ出シ、是ヨリ將ニ幾多ノ牢獄ニ投ゼラルト云フ際ニ當ッテ、後藤市長ハ如何ナ  
 ル方法ニ於テ、此市會ト云フモノヲ利用スル積リデアリマスカ、或ハ新聞紙ノ惡口デアアリマセ  
 ヌガ、後藤市長ハ東京監獄ニ東京市會ヲ召集スルノ外其途ナキモノト私ハ憂ヘル者デアアル、東京  
 市會ヲ東京監獄ニ開クト云フトコトニナレバ、洵ニ是ハ帝都ノ不面目至極ノ事デゴザイマスガ、併  
 シ事實已ムヲ得ヌ事デアアル、而シテ此東京市會ノ腐敗墮落ト云フトハ、東京市民ニ如何ナル  
 影響ヲ及ボシテ居ルカト云フトコトニ就テ、私ハ一言致シテ置キマス、諸君新聞紙ニモ現ハレテ居  
 リマスガ、昨年度ノ暮カラ今年度ニ掛ケテハ、納税ノ滯税ノ數字ガ非常ニ殖エテ居ルト云フ事ト  
 ハ、御承知ノ通デアリマス、私ノ區ニ於ケル某組合ノ有志ガ決議ヲシマシテ、昨年末ノコトデア  
 リマスガ、明年ノ三月一杯、營業稅ヲ納メルコトヲ猶豫シテ貫ヒタイト云フ決議ヲシタ人ガアリ  
 マス、ソレカラ又或ル町内ニハ、市會議員ナドガ賄賂ヲ取ル錢ヲ吾ガ正直ニ納メル必要ハ無イ  
 カラシテ、モウ少シ待ッテ貫ヒタイ、サウ云フト口實ヲ以テ納税ノ延期ヲ申出テモ、徵稅吏ハ  
 如何トモスルコトガ出來ナイ、寧ロ同情ヲ表シテ歸ル是ハ私一家ノ私言デハナイ、現ニサウ云フ  
 コトヲ申シテ居ル人モアリマスシ、新聞紙ニ明瞭ニ其事實ヲ報道致シテ居ル、私ハ東京市民ガ、市



會議員ノ十ヤ十五人牢獄ニ投ゼラレタト云フコト、其一事ニ依ッテ納税ヲ怠ル人ハアルマイト思ヒマスガ、併ナガラ唯ダノ一人デモ半人デモ、納税ヲ爲スニ就テ納税遅延ノ口實ヲ與ヘルニハ至ッテハ、東京市會ノ腐敗ト云フモノガ、如何ニ惡影響ヲ東京市民ニ與ヘタカト云フコトヲ私ハ憂ヘル者デアアル、而シテ一面ニ考ヘテ見マスト云フト、東京市會議員ハ此所デ數字ヲ申スノモ甚ダドウデアラウカト考ヘマスガ、一年八百圓ノ歳費ヲ取ッテ居リマス、此一年八百圓ノ歳費ヲ取ッテ居ル者ガ、監獄ニ行ッテモ矢張取ッテ居ル、僅カナ金ヲ市會議員ノ十人ヤ十五人ガ取ラウガ取ルマイガ一億以内ノ豫算ヲ有ッテ居ル東京市ハ、餘リ困難ハ致シマスマイケレドモ、是ガ市民ノ思想ノ上ニ如何ナル影響ヲ及ボスカ、私ハ爰ニ大正五年度ノ數字ヲ讀ンデ御目ニ掛ケタイノデアリマス、大正五年度ニ東京市ニ於テ市税ノ延滞ヲ致シマシテ、督促令狀ヲ受ケタ者ガ十六萬七千八百八十二人アリマス、是ガ結局ニ於テ、財産差押ノ處分ヲ受ケタ者ガ三千四百八十二人、約三千五百人ト云フ者ガ財産ノ差押ヲ受ケテ居リマス、其金額ハ幾ラニナルカト云フコトヲ調ベテ見マスト、僅ニ五千十圓デアリマス、之ヲ一人當リニスルト云フト、諸君一圓四十八錢ノ割合デアル、東京市ニハ一圓四十錢ノ市税ヲ納メルコト能ハズシテ、財産ノ差押ヲ受ケル者ガ三千四百八十二人アルト云フ事實ハ、看過スベカラザル事實デアリマス、此中ニハ人力車夫ガ其税ヲ納メルコトガ出來ナイデ、車ヲ競賣ニサレタト云フ事實モ無論包含シテ居ルノデアアル、然ルニ東京市民ノ代表者タル所ノ公人ガ賄賂ヲ取ッテ、牢獄ニ投ゼラレテモ、尙ホ一年八百圓ノ歳費ヲ取ッテ居ルト云フコトヲ、彼等下層階級ノ人民ガ見マシタナラバ、如何ナル考ヲ起スデアリマセウカ、是ニ於テカ吾々ハ納税ヲ眞面目ニスルハ馬鹿デアアル、吾々ハ納税ヲ眞面目ニシタクナイト云フ考ヲ持ッノハ、當前ノ事柄デアアル、内務大臣若クハ原總理大臣ハ、頻リニ思想問題ヲヤカマシク言ハレマスケレドモ、吾々ノ虞ル、所ハ外來思想ニ非ズシテ我が日本内部ノ人民、内部ノ公人、内部ノ市會議員ト云フヤウナ者ガ斯ノ如キ事ヲシテ、下層民ニ惡思想ヲ傳染セシムルト云フ事柄ノ方ガ、最モ大ナル危險思想デアルト私ハ考ヘル事柄ハ小サイト仰セニナルカ知ラヌガ、問題ハ小サイト所カラ起ッテ來ルノデ、此事柄ヲ御考ニナリマシタナラバ、今ノ腐敗シタル、墮落シタル、十

數人モ牢獄ニ投ゼラレタヤウナ市會議員ヲ包容シテ居ル所ノ市會ヲ、何ノ必要アッテ存續セシメテ置クノデアリマス、何ガ未練ガアル、此市會ニ——東京市ニ東京市民ト云ハ、官民上下ヲ舉ッテ、新聞雜誌ヲ舉ゲテ、今ノ東京市會ハ惡イト斷定シテ居ルニモ拘ハラズ、内務大臣ハ何ガ故ニ之ヲ解散セザルカ何ガ故ニ之ニ未練ヲ持ツカト云フコトニ就テ、私ハ疑ヲ持ッ、申スマデモナク市會ハ市民ノ選出シタルモノデアッテ、市民ノ信用ノ上ニ立タナケレバナラスト思ヒマス、市民ガ信ゼザル所ノ市會ト云フモノハ、市會トシテ決シテ圓滿ニ其事務ヲ處理シテ行クコトハ出來マセヌ、然ルニ今日ハ先刻來私ノ申上ゲマシタ如ク、全ク東京市民ノ信用ヲ失墜致シテ居ルノデアアル、東京市民ノ信用ヲ失墜致シテ居ル所ノ東京市會ト云フモノヲ、何ガ故ニ内務大臣ハ解散スルコトガ出來ナイカ市制百六十二條ヲ一瞥爲スツタナラバ、法文ノ意味ハ御分リデアラウト思フ市制百六十二條ハ、内務大臣ハ市會ノ解散ヲ命ズルコトヲ得ト書イテアル、其理由ハ何モ無イ、此市會ト云フモノガ、果シテ輿論ノ信用ガアルカドウカ、市民ノ信用ガアルカドウカト云フコトヲ御考ニナツタナラバ、直チニ當然發動シナケレバナラヌ、權利ヲ、此ニ規定致シテ居ルノデアアル原内閣ナリ若クハ寺内内閣ハ、如何ナル口實ニ依テ衆議院ヲ解散致シマシタカ、此解散ノ當否ニ就テ私ハ争ヒマセヌ、併ナガラ現原内閣ガ——衆議院ヲ解散セラレタル理由ヨリモ、床次内務大臣ガ市制百六十二條ノ規定ニ於テ有ッテ居ラレル權利ト云フモノハ、モット明瞭ニシテモット有力ナル權利デアルト私ハ思フ、既ニ市會議員七十五人中十二人監獄ニ行ッテ居ル、二人辭職ヲ致シテ更ニ續々捕縛ニ就カントスル際ニ方ッテ、之ヲ解散スルコトニ就テ何等ノ異存ハ無イ、何人モ之ニ對シテ、異存ヲ挾ム者ハ無イノデアリマス、現内閣ハ平民内閣ト稱シテ、非常ニ輿論ヲ重ンジテ居ラレルノデアリマスガ、輿論ヲ重ンジニナルナラバ、東京市民ノ輿論モ重ンジテ貫ヒタイ、私ハ爰ニ現内閣ノ床次内務大臣ノ同僚デアアル所ノ、大木法相ノ御話ヲ紹介致シテ置キタイト考ヘマス、大木法相ハ昨年ノ十一月中ニ、斯ノ如キ話ヲ公ニ致シテ居ラレマス、「市ノ當局者ハ砂利ヲ食ツタト云フデハナイカ、隨分胃袋ノ頑丈ナ奴モアレバアルモノダ禽ニハ火喰鳥ト稱スルモノガアルガ將來ニ火喰人間ガ現ハレルカモ知レヌ、以前ニハ鐵管ヲ喰ヒ塵芥ヲ喰ッタモノガ東京市ニ



ハアツタ、一體ドンナ人間ガ集ッテ居ルカ知レヌガ帝都タル東京ノ自治ハ實ニ危殆ニ類シテ居ル云々ト内務大臣ノ友人デアル、同僚デアル所ノ大木司法大臣ハ市ノ醜類ヲ目シテ火喰鳥同様ノ人間デアル、實ニ腸胃ノ頑丈ナ奴ト罵ッテ居ルノデアル、斯ノ如キ者ガ居ル市會ヲ、何ガ故ニ解散ヲスルコトガ出来ナイカ、何ガ故ニ輿論ヲ無視シテ居ル所ノ東京市會ト云フモノヲ、存續シテ置カナケレバナラヌカ、之ニ私ガ疑ヲ持ツノデアリマス、私ハ今日ハ既ニ市會議員ヲ辭職ヲ致シマシタ、東京市民ノ輿論ヲ代表シテ、茲ニ東京市會ノ解散ヲ要求スル者デアリマス、而モ寸時モ早ク解散ヲ望ムノデアリマス、此數箇ノ事項ニ就テ、内務大臣ノ明瞭ナル御答辯ヲ要求致シマス

之ニ對シテ床次國務大臣ハ同日口頭ヲ以テ左ノ答辯ヲ爲セリ

御答致シマスガ、我が此東京市ニ瀆職嫌疑事件ノ起リマシタコトハ、洵ニ遺憾ナ次第デアリマス、殊ニ私監督ノ地位ニ居ル者トシテハ、一層ニ左様思フ次第デアリマスガ、ソレニ就テ段々御質問デアリマシタガ、内務省ノ市町村ニ對スル監督ハ自ラ是ハ市制ノ條項ニ依ッテ居ル次第デ、今後ト雖モ、尙ホ之ニ十分注意ヲ致スヨリ外ハゴザイマセヌ、其中ニ明治神宮造營局副總裁トシテ云々ト云フ御言葉デアリマシタガ、是ハ能ク間違ガアルヤウデアリマスカラ、此際正シテ置キタイト思ヒマス、東京市デ經營致シマシタ參宮道トハ、神宮造營局ニ於テハ全ク關係シナイコトデアリマス、是ハ内務大臣ノ監督上ハ關係ガアリマスガ、造營局トシテハ何等全ク關係ノ無イコトデアリマスカラ、是ハ爰ニ明ニシテ置キタイト思ヒマス、嫌疑事件ハ目下司法裁判ニ繫屬中デアリマスカラ、其原因等ニ就テ、今此所デ御答ヲスルコトハ致サヌ次第デアリマスガ、大體ニ於テ色々ニ箇條ヲ擧ゲテノ御話デアリマシタガ、大體私ノ爰ニ考ヲ申上ゲテ御答ニ致シテ置キタイト思ヒマスルノハ、固ヨリ内務省トシテハ、制度ニ依ッテソレト監督ヲ致シ、又將來ニ於テモ一層其徹底ヲ努メナケレバナラヌ次第デアリマスガ、元來自治體ハ自ラ成ベク之ヲ監督シテ、自ラ治ムベキ氣風ヲ養成スルベキデアルト思フノデアリマス、ソレデ私ハ監督スル上ニ於テモ出來

得ル限り自治ノ發動ニ俟チタイト思ウテ居ルノデアリマス、話ノ中ニ、或ハ市長ナリ、其外ノ人ガ、或ハ當ヲ得ナイ、又吏員ノ任命ガ當ヲ得ナイト云フヤウナ御話モゴザイマシタガ、ソレハ如何ニアルニ致シテモ、是等ニ就テデス、元々是ハ内務省自ラノ仕事デハナイ事ハ、私ガ申上ゲルマデモナク内務省ガ任命スル譯デナシ、況ヤ其吏員ノ如キハ、市ノ當局者ガ任命スル次第デアリマスガ、仕事ヲ致スニシテモ、其外ノ事ヲ致スニシテモ、市ガ自ラ宜シク自治的ニ是ハ爲スベキコトデアルコトハ、申スマデモアリマセヌ、内務省自ラ仕事ヲ致スノデアレバ、或ハモット踏込ンダル仕事モ出來ヤウ、モット自分デモ満足スルコトガ出來ルカモ知レマセヌガ、此所ハ餘程用心ヲスベキデアルト思ヒマス、多少手ノ届カヌ所ガアリ遺憾ナ事ガアツテモ、出來得ル限りハ自ラ處理セシムルト云フノガ自治ヲ發達スル所以デアツテ或ハ進ンデ立入ッテ監督ヲ致スト云フコトハ、却テ自治體ノ本旨ニ反イテ、自治ノ發達ヲ圖ル所以デナカラウト云フ考ヲ持ッテ居ル次第デアリマス、大體ハ右様ナ考ヲ持ッテ臨ンデ居ル次第デアリマスガ、次ニ市政ノ改正ニ就テハ目下考慮シテ居ル所デアリマス、或ハ地方制度ノ改正ヲ致ス際ニ、幾分其改正ニナルコトモ其間ニハ含ンデ居ルカト思ヒマスルガ、免モ角今調査考慮中デゴザイマス、御話ノ二重監督ナリ、或ハ選舉ノ制度ノ如キナリ、何レ相當ノ機會ニ於テ御話ヲスルコトガアラウト思フ、ソレカラ其次ニ目下市會議員ノ中ニ瀆職嫌疑者ヲ多數出シテ居ルニ就テハ、寧ろ解散ヲシタラドウカト云フ御質問ガアリマシタガ、是ハ左様ニ私ハ考ヘマセヌ、市會議員ノ地位ハ決シテサウ輕イモノトハ思ヒマセヌ、今日ノ狀況ニ於テ、監督權ヲ以テ進ンデ解散シナケレバナラヌ理由ヲ發見シナイノデアリマス、ソレ故ニ今日ハ御質問ノ如キ考ヲ持ッテ居リマセヌ

右答辯ニ對シ横山勝太郎君ハ更ニ質疑ヲ爲ス

唯今内務大臣カラ、極メテ粗略ナル御答辯ガアリマシタ、私ノ質問ニ對シテハ一ツモ御答ニナツテ居ラヌ、更ニ重ネテ御答辯ヲ願ヒタイト思フノハ、明治神宮ノ造營工事ニ關シテ、私ノ質問ノ趣旨ヲ間違ッテ居ル、内務大臣トシテハ責任ガ有ルガ、明治神宮造營局副總裁トシテハ責任ガ無い



ト云フ御話デアリマシタガ、近頃奇怪至極ナ、無責任ナル答辯ヲ聽クモノト甚ダ遺憾ニ思ヒマス、既ニ内務大臣トシテ、責任アリト云フコトヲ御認ニナリシマタ以上ハ、責任アルト云フダケデハイカニ譯デアリマス、責任ガアレバ、其責任ヲ法律上又政治上、明ニスル途ハ如何ナスタラ宜イノデアリマスカ、責任アリト言ッダケデハ一モ答辯ニナラヌ、ソレカラ明治神宮造營局副總裁トシテ責任ガ無イト云フ御話デアリマシタガ、恐ラク床次内務大臣ノ答辯ノ趣旨ハ、明治神宮其モノ、造營ニ關シテハ責任ガ有ル、監督ノ職責ハ有ルケレドモ、明治神宮ノ外部ニ屬スル道路ノ問題ニ就テハ、關係ガ無イト云フ御話デアラウト思ヒマスガ、ソレハ單ニ一片ノ法律上ノ問題トシテハ、其議論デ宜イカ知レマセヌガ、併シナガラ明治神宮造營局總裁トシテハ、其議論ヲ承認スル譯ニ參リマセヌ、即チ明治神宮ヲ御造營ナサルニ就テハ、明治神宮其モノガ完成シタケデハ、明治神宮造營ノ目的ヲ達スルコトニナリマセヌ、明治神宮造營ガ完成シタ曉ニ、忠君愛國ノ國民ガ明治神宮ニ參詣ラスルニ、如何ナル方法ニ依ッテ行クノデアリマスカ、飛行機デ行ク譯デアリマセヌ、汽車ガ行ク譯デアリマセヌ、必ズ或ル地點カラ、道路ニ依ッテ行カナケレバナラヌノデアリマス、サウスレバ明治神宮造營ト云フ精神ノ法律上ノ責任ハ、單ニ副總裁トシテ之ヲ負フケレドモ、其外ハ海デアラウガ沼デアラウガ、司法大臣ノ自動車ガ落込マウガ責任ハ無イト云フノハ、副總裁トシテノ地位ヲ辱シメタル、詭辯デハナイカト考ヘマス、此造營工事が完全ニ完成スルコトガ必要デアルト同時ニ、造營工事ノ外部ノ構造ガ、如何ナル程度ニマデ、如何ナル範圍ニマデ完全ニ行ハレルカト云フコトニ就テ、當然御監督ナサナケレバナラヌ責任ガ有ルト思フ、ソレデモ責任ガ無イト仰シヤルカ、更ニ明瞭ナル御答辯ヲ得タイト思ヒマス、ソレカラ市會ヲ解散スル點ニ就テ、市會議員ノ地位ノ重イノミナラズ、現下ノ事情ニ於テ、解散ヲスル必要ヲ認メヌト云フヤウナ、御話ナレバ、説明ヲ聽ク必要ハアリマセヌ、吾々モ諒解シテ居リマス、併ナガラ衆議院議員ノ地位ト雖モ、極メテ重大ナルモノデアリマス、其重大ナル衆議院ニ對シテモ、現内閣ハ隨分亂暴ナ名目ヲ設ケテ解散ヲシテ居ルデハナイカ、併ナガラ是ハ吾々ノ方デハ不當デアリ、理由ガ無イト云フノデアリマスガ、政府ニ於テハ相當理由ガアルト云フ御話デアアル、東京市會ト

云フモノハ、果シテ如何ナル状態ニ在ルカト云フ事ハ先刻來申上ゲル通りデ、誰ニ尋ネテモ其通りデアアル、此ニ一升ノ日本酒ガアルト假定シテ、其日本酒一升ノ中ニ一合ノ水ヲ投ズレバ、日本酒トシテ價值ハ無イ東京市會議員七十五人中既ニ十二人マデ腐敗シテ居ル、一割五分位腐敗シテ居ルコトハ明瞭ニナッテ居リマス、東京市會トシテノ眞價ハ全ク失ッテ居ル、市會議員個々ノ地位ト云フモノハ固ヨリ重大デアリマスカラ、斯ノ如キ醜類ト團結シテ形造ッテ居ル東京市會ハ決シテ名譽アル市會トハ思ハレヌ、尊重スベキモノトハ思ヒマセヌ、此東京市會ヲ解散スベカラズト云フ論ヲ唱ヘラル、ノハ、後藤市長ト内務大臣ノミデアアル、内務省ノ若イ官吏ノ御方ト御協議ニナッテ御覽ナサイ、東京市民ノ輿論ヲ代表シテ居ル、眞ニ公人トシテ耻カシクナイ人間ハ一人モ居ラヌト思フ、何所ヘ行ッテ聞イテ見テモ、東京市會ハ解散スベキモノデアアル、總辭職スベキモノデアルト云フ輿論ハ内務大臣ノ耳ニハ果シテ響イテ居ルノデアリマスカ、響イテ居ラヌノデアリマスカ、此點ニ就テ再應内務大臣ノ御答辯ヲ煩シタイト考ヘマス

之ニ對シ床次國務大臣ハ再ヒ左ノ如ク口頭ヲ以テ答辯ヲ爲セリ

御答致シマスガ、神宮土木工事に内務大臣トハ關係ガアリマス、併ナガラ明治神宮造營局副總裁トシテハ、何等關係ガアリマセヌ、是ハ官制ヲ御覽下サルコトヲ願ヒマス、後ノ御質問ニハ御答スル必要ハ無イト考ヘマス

六 帝國軍隊カ鮮人ヲ虐殺シ學校及教會ニ放火セリトノ事件ニ關スル質問

一 大正九年十月三十日(天長祝日ノ前日)ヲ期シ間島各地ニ於テ帝國出征軍隊ニ依リ行ハレタル鮮人殺戮並學校、教會燒却事件ノ真相如何



殊ニ右ハ什麼ナル必要什麼ナル動機ニ因リ敢行セラレタルモノナリヤノ説明ヲ求ム  
蓋琿春ニ馬賊ノ一團襲來シ帝國領事館ヲ燒却シ多數ノ同胞ヲ慘殺シタルハ大正九年十月二  
日午前二時ノ事ナリキ尼港ノ慘事猶未タ人ノ腦裏ニ新ナル際重ネテ此ノ報ヲ得タル世人ハ  
一樣ニ憂愁ノ氣ニ打タレ只管當局ノ機宜ヲ誤ラサラムコト同胞ノ損害ノ少カラムコトヲ祈  
願シタリキ幸ニシテ朝鮮北境ニ在リシ我カ守備隊ハ急速ニ行動ヲ開始シ既ニ同月九日ニ至  
リテハ琿春、間島一帶ノ地ハ我カ軍隊ノ威力ヲ以テ其ノ秩序ヲ維持スルコトヲ得ル状態ト  
ナリ同日ヲ以テ我カ外務省ヨリ事件ノ經過ヲ發表シ國民始メテ愁眉ヲ開クコトヲ得タリ爾  
來我カ軍隊ハ専ラ匪徒ノ追擊剿滅ニ從事セシト雖倅ニ何等ノ大事ナクシテ經過シツツアリ  
タリ

然ルニ越エテ十一月初旬ニ至リ我カ軍隊ハ十月三十日即チ天長祝日ノ前日ヲ期シ同時ニ間  
島各地ノ鮮人部落ヲ包圍シ脱出セムトスル鮮人ハ悉ク之ヲ射殺シ部落内ニ在ル者ハ建物ト  
共ニ之ヲ燒殺セリトノ報導專ラ世ニ行ハレ内地並ニ在支那ノ外字新聞ハ一樣ニ此ノ事實ヲ反  
覆掲載シ痛ク我カ軍隊ノ行爲ヲ非難セリ吾人ハ初メ此ノ報導ニ耳ヲ貸ササリキ思ヘラク規  
律節制ノ嚴正ヲ以テ誇トナス帝國軍隊ニ豈此ノ事アラムヤ是レ蓋彼ノ排日外人等ノ爲ニス  
ル所アリテ構造スル捏造ノ虛說ニ外ナラシト然ルニ十一月六日ニ至リ左記軍司令部發表ヲ

見ルニ及ヒテ前記外字新聞紙ノ報導カ必スシモ根柢ナキ虛說ニアラサルカ如ク察セラレ恐  
怖措ク能ハサリキ曰ク

#### 陰謀團ノ巢窟ヲ燒拂フ

間島局子街南方約三里ノ獐巖洞ニ不逞鮮人潛在シ我後方連絡隊ヲ脅威セントシツツアル  
ヲ偵知シタ我軍ハ去月三十日午前八時該部落ヲ包圍シ不逞鮮人等ヲ搜索シタ處同地ノ耶  
蘇敎學校ニアツタ不逞鮮人等ハ我包圍ヲ突破シテ逃去ヲ企テタカラ之ヲ射殺シ尙學校ヲ  
搜索シタルニ多數ノ獨立新聞「大韓獨立」ヲ書セル紙片及軍資金其他有力ナル不逞行爲ノ  
材料ヲ發見押收シ不逞者陰謀ノ巢窟タル同校ヲ燒却シタ(軍司令部發表、京城來電、十一  
月六日大阪毎日新聞掲載)

其ノ後復タ陸軍省ハ右同様ノ行爲ハ前記獐巖洞ノミナラス龍井村附近ノ部落並南平洞ニ於  
テモ敢行セラレタルモノニシテ其ノ日時ハ孰レモ大正九年十月三十日ナリシコトヲ發表セ  
リ更ニ陸軍省ヨリ間島ニ特派セラレタル水町大佐ハ我カ軍ノ射殺シタル鮮人ノ内ニハ無辜  
ノ良民モアリシナラムモノ々ノ良否ヲ審査スルニ於テハ多數ノ不逞者ヲ遁ス恐アリタル爲  
此ノ包圍射殺ヲ行ヒタル旨ヲ發表セリ(次項參照)

思フニ大正九年十月三十日ノ當時ハ我カ軍隊カ間島一帶ノ秩序ヲ維持スルノ實力ヲ具ヘタ



ル時ナリシナリ而シテ前記獐巖洞、龍井村、南平洞ノ地ハ孰レモ我カ軍ノ前線ニハ非スシテ我カ軍ノ後方從テ其ノ勢力圈内ノ地域ナリトスル時斯地ニ於テ疑ハシキハ之ヲ捕ヘ其良否ヲ審理スルコトヲ得サリシモノトハ信スヘカラス若果シテ逮捕審訊ヲ爲スコトヲ得サリシ特別ノ事情アリトスレハ其ノ事情如何

次ニ假ニ不逞ノ徒ノ陰謀密會ノ場所ニ用キタリトスル濫ニ建造物ヲ燒却スルハ何ノ目的ニ出テタルモノナリヤ建造物ハ死物ナリ不逞ノ別アルナシ不逞ノ徒ヲ掃蕩シ去ラハ却テ之ヲ善良ノ目的ニ使用シ得ルニ非スヤ現ニ彼ノ地ハ互寒堪ユヘカラス多數ノ良民ハ朔風酷烈ノ夜眠ルニ處ナクシテ身ヲ溝壑ニ寄セ死ノ至ルヲ待チツツアリト云フニ非スヤ

終リニ此ノ殺戮行爲ヲ爲スニ付何故ニ特ニ天長祝日ノ前日ヲ選ヒタリヤ之ヲ以テ士氣振興ノ爲ナリト云フ者アリ恐クハ事實ニ非サルヘシ奈何假ニ天長祝日ヲ期シテ士氣ヲ作興スルノ眞意ハ毫末モ存在セストスルモ斯ノ如ク解セラルルノ行動ヲ執ルハ適當ナリヤ先帝特ニ軍人ニ勅諭ヲ賜ハリ由ナキ勇ヲ好ミテ猛威ヲ振ハハ世人軍人ヲ豺狼ト同視スルニ至ラムト誨ヘ賜ヘリ何ソ茲ニ顧ミル所ナカリシ

要スルニ前記鮮人部落ノ一齊包圍事件學校教會燒却事件ニ付内外ノ疑團ヲ氷解スル爲詳細丁寧ナル説明アラムコトヲ求ム

二 本件ニ付水町大佐カ「フート」其ノ他ノ宣教師ニ與ヘタル陳述書ニ對スル責任ヲ明示セラレタシ蓋水町大佐ハ右慶殺並放火ノ事件ノ事實ヲ調査スル爲陸軍省ヨリ彼ノ地ニ特派セラレタルモノノ如シ同大佐ハ間島現場ニ至リ大正九年十二月一、二日ノ頃前記宣教師其ノ他ニ示ス爲長文ノ陳述書ヲ發表セリ此ノ陳述書タルヤ全體ニ互リ不謹慎ナル文字ヲ以テ充タサル今其ノ一、二ヲ摘記セハ(一)大佐ハ日本軍隊ノ燒却セシ家屋ノ中ニハ教會及學校ノ存在シタルハ遺憾ナレトモ此等ノ建物ハ不逞鮮人ニ依リ使用セラレタルカ故ニ既ニ其ノ神聖性ヲ喪ヒタルモノナリト陳述セリ然レトモ此ノ陳述ノ裏面ニハ教會學校ハ不逞鮮人カ使用シタルコト以外ニ何等軍事上ノ必要ナクシテ燒却シタルコトノ承認ヲ包含スルモノニ非スヤ(二)又大佐ハ我カ軍ニヨリ射殺セラレタル鮮人中ニハ無辜ノ者モアリタルナラム然レトモ一々之ヲ審査スルニ於テハ多數ノ不逞者ヲ逃去セシムルノ恐アリタリト陳述セリ是レ我カ軍隊カ無辜ノ良民ヲ殺戮セシコトヲ是認スルト同時ニ事ノ速ナラムニハ無辜ノ者ヲ不逞ノ者ト併セ殺スモ可ナリトノ怖ルヘキ主張ヲ包含スルモノナリ(三)大佐ハ更ニ我カ軍隊ノ爲シタル所ハ狂暴ナリシナラムモ未タ貴國(英國ヲ指ス)ダイヤ一將軍カ印度ニ於テ敢行セシモノニ及ハスト陳述セリ是亦驚クヘキ不謹慎ノ言ニ非スヤ他ノ非ヲ撥クモ我ノ非ヲ辯護スルニ足ラス是レ故意ニ他ノ感觸ヲ害スル無用有害ノ言辭ナリ(四)大佐ハ更ニ宣教師等カ



寫眞ヲ以テ鮮人ノ屍體中半燒ノ者アルヲ示シ是レ我カ軍ノ鮮人ヲ燒殺シタルモノナリト訴ヘタルヲ斥ケテ曰ク「十月三十日ニ於ケル屍體ハ之ヲ火葬ニ附シタレトモ薪ノ缺乏シタルト其ノ翌日カ我カ 天皇ノ誕生祝日ナリシ爲兵士ヲ早ク營所ニ歸ラシムル必要アルヲ以テ屍體ノ燒ケ盡ササリシモノヲ生シタルナリ人ヲ燒殺シタルコトナシ」ト蓋我カ軍カ特ニ天長祝日ノ前日ヲ選ヒテ士氣作興ノ爲此ノ暴舉ヲ爲セシトノ說ハ斯ル陳述ニ胚胎スルモノナルヤモ知ルヘカラス翌日天長祝日ナルコトハ屍體ヲ半燒ノ儘放棄スルノ理由トナラス此ノ陳述ハ天長節ヲ祝賀スルカ爲ニハ非人道ノ行爲ヲ爲スモ可ナリトノ主張ヲ含ムカ如クニモ解セラルル最不敬ノ言辭ナリ

果セルカナ此ノ陳述ハ全世界ヲ驚倒セリ各外字新聞ハ之ヲ論議シ英國議會ハ之ヲ問題トス我カ外務省ハ會テ之ヲ以テ水町大佐一個人ノ陳述ナリト公示セリ而モ水町大佐若ハ陸軍省ハ未タ此ノ陳述ヲ取消サス此ノ陳述ノ爲我カ帝國ノ世界ニ於ケル聲價ヲ害セシコト幾何ナルヤヲ知ルヘカラス

陸軍省ハ何故ニ之カ取消ヲ命セサルヤ又之ヲ水町大佐一個人ノ行爲トスレハ是レ濫ニ文書ヲ以テ政治上ノ陳述ヲ爲シタルモノニシテ陸軍刑法ニ牴觸スルノ行爲ナリ軍法會議ノ開カレサルハ怪シムヘシ右ノ次第ナルヲ以テ冒頭掲記ノ如ク水町大佐ノ陳述書ノ責任ニ付當局

ノ明答ヲ要求スルモノナリ

十年一月二十二日清瀨一郎君ハ右質問主意書ヲ提出シ二月一日趣旨辯明ヲ爲スニ先チ田中國務大臣ハ書面ヲ以テ左ノ答辯ヲ爲セリ

一 我軍カ特ニ天長節祝日ノ前日ヲ選ミテ一舉ニ間島諸部落ノ掃蕩ヲ實施セル如ク傳フルハ事實ニ反ス我軍ハ十月中旬以後十二月上旬ニ互ル間連日各地ニ匪徒ヲ索メテ掃蕩ヲ實施シ此間特ニ時期ヲ劃シタル事ナク偶々天長節祝日ノ前日ニ際シ獐巖洞等ノ掃蕩ノ必要ヲ生シタルニ過キス

獐巖洞ノ掃蕩ハ該地ニ匪徒數百集合シテ其ノ附近南陽坪ニアル我兵站支部ヲ襲ハムトスルノ情報ニ接シ之ヲ實行シタルモノニシテ十月三十日夜ヨリ三十一日朝ニ互ル出來事ナリ龍井村附近ノ出來事ト稱スルハ其ノ東方約一里半ニアル瑞典洞ノ掃蕩ノ事ニシテ其ノ目的ハ不逞團同地ニ集合シ我後方連絡線脅威ヲ企圖シアルヲ偵知シ之レヲ掃蕩シタルモノニシテ十月二十九日ヨリ三十日ニ互リ實施セリ南平洞ハ茂山對岸ノ地ニシテ匪徒ノ武裝團隊約百五十集合シ鮮内ニ向テ侵襲ヲ爲サムトスルノ情報ニ接シ茂山守備隊カ同地ノ掃蕩ヲ決行セシモノニシテ十月三十一日夜ヨリ十一月一日ニ互ル出來事ナリ



彼ノ外字新聞カ我軍ハ審問ヲ行フコトナク無辜ノ民ヲ殺戮セル如ク傳フルモ當時我軍ノ行動ニ抵抗シ或ハ搜查中逃竄ヲ企テ射殺セラレ若クハ戰場附近ニ在リテ彼我ノ流彈ニ中リテ死傷セル等戰鬪行爲ニ伴フ當然ノ損害ノ外無抵抗ノ婦女子ヲ殺害シ或ハ無辜ノ良民ニ危害ヲ加ヘシカ如キコトナシ

鮮人所有ノ學校及教會等若干ヲ燒却セシハ事實ナルモ之等ハ悉ク豫メ其屋内ヲ搜索シ不穩文書匪徒ノ軍需諸品其他ヲ發見シ之レカ不逞者ノ根據巢窟タル證據歷然タルモノニシテ之レヲ放置スルトキハ再ヒ彼等ノ利用スル所トナリ我軍ニ危害ヲ及ホスト判定シタルモノニ對シテノミ實施シタルモノトス

二 水町大佐ノ「フート」ニ送リタル所謂陳述書ハ全ク水町個人ノ私信ニシテ何等政府ノ意志ヲ代表セルモノニ非サルコトハ外務當局ヨリ當時既ニ之レヲ表明セリ從テ右信書ノ内容ニ關シ政府ニ於テ責任ヲ負フヘキ限リニ非ス

水町大佐ノ該行爲ハ陸軍刑法ニ牴觸ス云々トノ事ナルモ該書面ハ水町大佐ガ在龍井村外國宣教師ニ宛テタル信書ニシテ決シテ之レヲ衆人ニ公表シタルモノニ非サレハ假リニ其内容カ政治ニ關スルトスルモ陸軍刑法ヲ適用スヘキ限リニ非ラス

該書類カ水町個人ノ信書タル以上其内容ニ對シ政府カ辯明スル限リニ非ラスト雖モ清瀨君カ

該書類ニ就テ懸念セララル、諸點ニ關シテハ下ノ如シ

- 一 教會學校等ハ不逞鮮人カ使用シタルコト以外ニ何等軍事上ノ必要ナクシテ燒却シタルコトナシ
- 二 我軍隊ハ掃蕩ヲ迅速ナラシムル爲無辜ノ者ヲモ不逞者ト併セ殺シタルコトナシ
- 三 天長節ヲ祝賀スル爲ニハ非人道ノ行動ヲ爲スモ可ナリト信シタルコトナシ

七 帝國軍隊カ鮮人ヲ虐殺シ學校及教會ニ放火セリトノ事件ニ關スル再質問

- 一 日本軍隊カ無辜ノ鮮人ヲ殺戮セリトノ世評ヲ生シタル原因如何
- 二 政府ハ獨立思想ヲ有スル鮮人ハ何等ノ外形的行爲ヲ爲ササルモ斯ル思想ヲ有スルノ事ヲ以テ之ヲ殺戮スル方針ナリヤ
- 三 教會學校等ヲ燒却スルヲ要シタル軍事上ノ必要如何

十年二月三日清瀨一郎君ハ右再質問主意書ヲ提出シ未タ日程ニ上ラサルニ先チ田中國務大臣ハ二月十五日書面ヲ以テ左ノ答辯ヲ爲セリ

- 一 日本軍隊カ無辜ノ鮮人ヲ殺戮セリトノ世評ヲ生シタル原因ハ從來多數ノ不逞者ト親交深カラ



サリシニ、三ノ者カ我軍隊掃蕩當時ノ現狀ヲ實見セス單ニ掃蕩後ニ於ケル戰場ヲ巡視シ戰死者中ニ自己ノ知己アルヲ發見シ之ニ多大ノ同情ヲ表シ且匪徒一味ノ鮮人ノ哀訴ヲノミ耳ニシ爲ニ我軍ノ行動ニ關シ著シク誤リタル推測ヲ爲シ我軍カ慘虐至ラサルサキ手段ヲ敢テシタルカ如ク各地ニ傳ヘタルト又一ツハ匪徒カ我軍ノ中傷宣傳ニ努メタルトニアリ

二 政府ハ獨立思想ヲ有スル鮮人ハ何等外形的行爲ヲ爲ササルモ斯カル思想ヲ有スルノ故ヲ以テ之ヲ殺戮スル方針ニアラス

三 我軍カ燒却シタル教會學校等ハ匪徒ノ武力行動上ノ根據地トシテ其ノ證跡明瞭ナルモノニシテ之ヲ其ノ儘存置スルトキハ再ヒ彼等ノ集合場トナリ之ヲ根據トシテ我軍ヲ脅威シ或ハ之ニ據ツテ我軍ニ抵抗スル等ノ虞レアリテ之ヲ排除スルノ必要アリシニ依ル

### 八 都市政策ニ關スル質問

都市カ電氣瓦斯ノ如キ公共的事業ヲ營ム會社トノ間ニ事業ノ買收報價金ノ納付等ニ關シ報價契約ヲ締結セルモノ多シ之ニ對スル政府ノ所見如何

十年一月二十二日板野友造君ハ質問主意書ヲ提出シ二月十五日提出者ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

私ハ先般都市政策ニ關スル質問主意書ヲ提出致シテ置キマシタ、其質問ノ趣旨ヲ極メテ簡單ニ此所デ申述ベテ置キタイト存ジマス、質問ノ要旨モ簡單デアリマス、「都市政策ニ關スル」ト云フ文字ハ色々ナ事ガ包含致シマスルガ、私ガ本日此所デ承ラント欲スル所謂都市政策ナルモノハ、極メテ範圍ガ狭イ、先ヅ其質問ノ第一トシテ承リタイト存ジマスルノハ、都市——先ヅ私ハ之ヲ市街地ト云フ意味デ此文字ヲ使ッテ居リマスガ、此都市ニ於テ、即チ市街地ニテ電氣事業、即チ電鐵ノ事業デアルトカ、或ハ電燈事業デアルトカ云フヤウナ電氣ニ關スル事業、又ハ瓦斯ニ關スル事業、是等ノモノハ現在ニ於テハ、多クハ會社ガ之ヲ經營致シテ居リマス、其大部分ハ商會社ガ之ヲ經營シテ居ルノデアリマスルガ、斯ノ如キ事業ハ、都市自身ヲシテ經營セムト云フコトガ、最モ適當デアルト私共ハ思ッテ居ルノデアリマスルガ、此點ニ對スル政府ノ御所見ハ如何デアルカト云フコトヲ、先ヅ第一ニ伺ハント欲スルモノデアリマス、其譯ヲ私此所デ簡單ニ申述ベテ置キタイト存ジマス、是等ノ電氣事業若クハ瓦斯事業ハ、之ヲ——都市ノ公營トスル方ガ適當ト信ジテ、政府ノ意見ヲ聽ク所以ヲ簡單ニ述ベテ置キタイト思ヒマス、第一ハ私共ノ信ズル所ニ依リマスルト、是等電氣事業若クハ瓦斯事業ト申ス如キモノハ、其事業ノ性質上カラシテ、各自ガ勝手ニ此事業ヲ經營シテ競争ヲスルト云フコトハ、出來ナイ性質ノモノデアアルノデアアル、事業ノ性質ガ各自ノ自由競争ヲ許サナイ、ソレデアリマスルカラ、何レノ都市ヲ見マシテモ、瓦斯事業ヲ經營シテ居ルトカ、或ハ電氣事業ヲ經營シテ居ル者ハ一若クハ二デアッテ、多數ノ者ガ相互ニ競争ヲシテ居ルト云フヤウナ事實ハ斷ジテアリマセヌ、是ハ性質ガ許サナイカラデアアル、所謂獨占的事業デアアルノデアリマスルガ、其性質ガ獨占デアリマスルノミナラズ、其事業ノ對手方トナリ、其事業家トナリマスル者モ亦其住民ノ殆ト全部デアアル、少クトモ住民ノ大多數デアリマスカラシテ、其事業ノ遺方、即チ事業ノ經營ノ施設經營ノ巧拙如何、若クハ適否如何ハ直チニ其都市ノ住民ニ重大ナル關係ヲ及ボス結果ヲ來スノデアリマス、此點カラ見マスレバ、是等ノ事業ハ公共的的性質ヲ有スルノデアリマスルガ故ニ、是等ノ事業ハ現今ニ於テハ、實際ハ私人若クハ會社ガ經



營致シテ居リマスルガ、斯ノ如ク唯ダ自己ノ營利ノ爲メニミヤツテ居ル所ノ、會社ナドノ經營ニ一任スベキモノデハナイ、宜シク是ハ都市自ラヲシテ經營セシムベキモノデアルト斯様ニ信ズル、是ハ事業ノ性質カラシテ、私共斯様ニ信ズルノデアリマス、ソレカラモウ一ツ之ヲ都市ノ公營トスル方ガ適當デアルト存ジマスルノハ、此電氣ナリ瓦斯ナリノ事業ニ依ツテ生ズル收益ト、都市ノ財源トノ關係デアアル、言ヒ換ヘテ申シマスルナラバ、是等ノ事業ニ依ツテ得タ收益ヲ以テ、都市ノ事業計畫ノ財源タラシメヤウト云フ見地カラ見テ、是等ノ事業ヲ都市ニ經營サセタイト斯ウ思フ、現在ノ都市ノ有様ハ此所デ委シク説クコトハ致シマセヌ、多少間接ニモナリマスルシ、又此所デ説カナケレバ、御解リニナラヌヤウナ問題デモアリマセヌカラ、此所デ委シク説クコトハ致シマセヌ、致シマセヌケレドモ、現在此時勢ノ進運ニ伴ツテデス、都會ニ於テモ、或ハ地方ニ於テモ、時代ノ要求ニ應ジテ諸般ノ設備ヲ爲サナケレバナラヌ、其仕事ハ益、多端デアアル、之ニ處スルノ事務ハ愈々繁劇ヲ加ヘテ來ツテ居ルコトハ、申スマデモアリマセヌ、殊ニ都市ハ田舎ニ較ベテ見マスレバ、一層緊急ノ事業ガ多イト云フコトヲ、亦更メテ申スマデモナイノデアリマス、所ガ是等全國ノ都市ニ於テ、焦眉ノ急、若クハ緊急ノ仕事トシテシナケレバナラヌ事ハ澤山アルニ拘ラズ、實際此仕事ヲ片附ケテ、サウシテ要求ニ應ズルダケノ仕事ヲシテ居ル都市ハ何所ニ在ルカト云フト、私共ハ遺憾ナガラ之ヲ見出スコトガ出來ナイノデアリマス、是ハ一々各都市ニ就テ申ス必要モ無イト考ヘマスガ、先ヅ都市中ノ大都市デアアル東京市ハ如何デアアルカ、京都市ハ如何デアアルカ、又大阪市ハ如何デアアルカ、其現狀ハ果シテ要求ニ應ズルダケノ、施設經營ヲ致シテ居ルノデアアルカドウカト申シマスレバ、私共ハ何レヲ見マシテモ、十分爲スベキ仕事ガアツテモ、未ダ是ガ整理サレテ居ラヌ、是ガ設備ガ出來テ居ラヌト申シテ少シモ差支ハナイト存ジマス、大都市タルノ面目、大都市タルノ要求ニ相當スルダケノ施設經營ヲドノ大都市ガ致シテ居リマス、ト小都市ガ致シテ居リマス、手取早ク之ヲ申シマスナラバ、是等都市ニ於ケル教育ノ有様ハ如何デアリマス、又交通ノ有様ハ如何ニ相成ツテ居リマス、衛生ノ施設ハドウデアアル、社會的ノ事業、是等ノモノハ今日如何ナル状態デアアルカト見マスレバ、誠ニ心細イ次第デアリマシテ、漸ク其緒

ニ就イテ居ルモノモアリ、又ハ業半バニ在ルモノガアツテモ、何レモ是等ノ點ニ就テ、遺憾ナク設備ヲ致シテ居ルモノハ無イノデアリマス、私ハ斯様ニ申シマスルガ、京都ナリ東京ナリノ事ヲツイ申シマシタカラ、一言ダケ其實ヲ爰ニ擧ゲテ置キマス、先ヅ此小學教育ノ事ニ就テ申シマスレバ、市町村ハ御承知ノ通り、小學校ノ義務教育ヲ負擔致シテ居リマスガ、此負擔ヲ果スダケノ經費ガ十分デナイガ故ニ、今日尙ホ授業料ヲ徴收シテ居ルト云フノガ現在ノ有様デアアル、理窟カラハ授業料ヲ取ルト云フコトハ、之ヲ説明スルコトガ出來ナイト思ツテ居ル、元來是ハ經費ノ都合上已ムヲ得ザルガ故ニ、之ヲ取ツテ居ルモノト見ルノ外ハナイト思ヒマス、又各都市ニ就テ見マスノニ、殊ニ大都市ニ就テ之ヲ見ルニ、學校ノ教室ガ足ラナイ、教室ヲ増築スルダケノ經費ガ無イ、教室ガ不足ヲシ、教員ガ足ラナイト云フガ爲メニ、所謂二部教授ナルモノヲ行ツテ居ルノデアアル、即チ午前ト午後トニ分ケテ、或ル生徒ハ午前ニ教育ヲ受ケ、或ル生徒ハ午後ニ教育ヲ受ケルト云フヤウニ二部教授ヲヤツテ、サウシテオ茶ヲ濁シテ居ルト云フ如キコトモ、經濟ノ不足カラ來ルモノモアリマスガ、誠ニ慘メナ次第デアルト申スノ外ハナイト考ヘマス、唯今交通ノ事ヲ申シマシタカラ、是モ一ツダケ私ハ爰ニ申シテ置キマスガ、日本ノ大都市ニシテ第一位ニ居ル東京ノ道路ハ如何デアリマス、日本ノ東京ト云フ此大都市ノ道路ハ如何デアリマスカ、是モ私ガ爰ニ申スマデモナク、皆様ノ御承知ニ相成ツテ居ル次第デアツテ、天氣ノ日ニハ殆ド埃目ヲ覆フト云フ有様デ、一朝雨降トナルト、所謂泥濘脚ヲ沒スルト云フ風デ、連モ道トシテ完全ナ效用ヲ爲シテ居ラヌノデアリマス、二三年前デアツタト思ヒマスガ、或ル外國人ガ東京ノ道ヲ見テ、サウシテコンナニ泥ガ澤山アル、道路ガコンナニ深イナラバ、何かオカシナ物ヲ穿イテ歩いて居ルヤウデアアルガ、寧ロ舟ヲ出シテ、舟デ往來シタ方ガ便利デアラウト云フ話ヲシタコトガアツタヤウニ記憶致シマス、随分皮肉ト申シマスルカ、辛辣ト申シマスルカ、誠ニ遺憾ニ堪ヘナイ酷評デアリマスケレドモ、此酷評ガ事實ニ適合シテ居ルノデ、如何トモスルコトガ出來ナイノデアアル、我が首都タル東京ニ於ケル道路ガ既ニ斯ノ如キモノデアリマスカラ、都市ノ仕事ハ誠ニ御粗末デアリ、爲スベキモノモ一切爲サレテ居ラヌト云フコトハ、此一事ニ依ツテ見テモ明カデアルト考ヘマス、



斯様ニ都市ノ缺陷ヲ數ヘ舉ゲルコトハ、私ノ此質問ヲスル所以ノ趣旨デアリマセヌカラ、是以上ハ省キマスガ、何故ニソレナラバ各都市ガ斯ノ如ク御粗末千萬デアリ、斯ノ如ク不體裁ナルコトヲ以テ我慢シテ居ルノデアルカ、是ダケハ此所デ一言シテ置キタイト考ヘマス、各都市ハ決シテ現狀ニ甘ンジテ居ルノデアリマセヌ、怠ケテ以テ爲スベキコトヲシナイノデアアリマセヌ、ソレデハ何故ニ現狀ノ儘デアルカト申シマスレバ、是ハ爲サザルニ非ズ爲サナイノデアアル、簡單ニ申シマスレバ、金ガ無イカラ如何トモスルコトガ出來ナイノデアアル、經濟ガ許サナイカラ、泥ノ海デアアルコトヲ認メナガラモ、之ヲ如何トモスルコトガ出來ナイト云フノデアアル、斯様ニ申シマスレバ、左様ニ困ルナラバ、各都市ハ宜シク法律ノ許ス所ニ依ッテ税金ヲ取立テ、ドソノ爲スベキ仕事ヲシタラ宜イデハナイカ、ト云フ人ガアルカモ知レマセヌガ、是ハ現在ノ都市ノ有様ニ於テハ、今日以上税金ヲ取ルコトハ出來ナイノデアアル、事實ニ於テ法律ノ許ス極度マデ、負擔力ノ所謂絶頂マデ既ニ徵收シテ居ルノデアアリマスガ故ニ今日以上税金ヲ取ルト云フコトハ事實許サレナイ、ソレデアリマスカラ市制ニモ認メテ居リマス如ク、市税以外ノ收入ヲ以テ、市ノ費用ニ充テルト云フ方針ヲ執ルノ外ハ無イ、斯様ナ點カラ見マス、電氣ニ關スル事業、若クハ瓦斯ニ關スル事業ニ依ッテ生ズル收益ノ如キハ、都市ノ財源ト致シマシテハ、洵ニ好個ナモノデアアルト云フコトヲ私共ハ認メルノデアリマス、斯様ナ譯デ財源ト云フ方面カラ見テモ、是等ノモノヲ市營タラシメルコトガ適當デアリハシナイカト思フ、先ヅ大體ニ於テ此等ノ事業ヲ市營トスルト云フ、根本ノ御考ガ有ルカ、無イカ此事ヲ御伺ヲ致シタイ、ソレカラ質問ノ第二ハ唯今申シマシタ電氣、若クハ瓦斯等ノ事業ハ、其性質ガ公共的デアアル、公益的ノモノデアアル、又一面ニ於テ其收益ガ立派ナル都市ノ一大財源デアアルト云フノ關係カラシテ、都市ヲシテ是等ノ事業ヲ直接ニ經營セシメルコトガ適當デアアルト云フコトガ言ヒ得ラレルナラバ、更ニ進ンデ之ヲ現在ハ——例ヘバ十年後若クハ十五年後ニハ、其事業ヲ市ノ方ヘ買上ゲル、今ハ會社ガ經營ヲシテ居ルケレドモ、一定ノ年限ノ後ニハ之ヲ市ニ買上ゲルト云フコトヲ定メ、サウシテ其年限ノ來ル迄ノ間ハ、年々一定ノ報償金ナルモノヲ拂ハス、會社ヲシテ報償金ヲ都市ニ拂ハス、何々會社ヲシテ報償金ヲ東京市ニ

拂ハスト云フヤウナ風ニ、買收期限ノ到達スル迄ノ間ハ、報償金ヲ都市ニ拂ハスト云フコトニスル、現在今之ヲヤツテ居リマス、大低ナ都市、是ハ大都市デナクトモ、市ト名前ノ付カヌ町若クハ村ニ於テモ、是等ノ事業ヲ經營スル者カラシテ、所謂報償金ヲ取ッテ居ル、所謂報償契約ヲ拵ヘテ居リマスガ、此様ナ内容ヲ持ッテ居ル報償契約ナルモノガ、殆ド全國ノ都市ニ於テ締結サレ、且ツ是ガ遵奉サレテ居ルノデアリマスルガ、之ニ對シテハ私ハ十分此契約ヲ尊重シ、且ツ之ヲ獎勵保護スベキモノデアアルト確信ヲ致シテ居リマスル、此點ニ就テ政府ノ御所見ハ如何デアルカ、甚ダ疑ハシキモノガアルガ故ニ、此點ハ特ニ政府ノ御方針ヲ承リタイト存スルノデアリマス、理論ト致シマシテハ、ドウシテモ唯今申上ゲマシタル内容ヲ含ム報償契約ナルモノハ之ヲ尊重シ、且ツ之ヲ獎勵保護スベキモノデアアルト云フコトハ、理論上ハ私殆ド多言ヲ要セザルモノガアルト信ズルノミナラズ、此報償契約ヲ尊重シ、且ツ獎勵スベキモノデアアルト云フコトハ、本員一個ノ解釋ニ非ズシテ、長ク此政府ノ執リ來レル方針デアリ、解釋デアアルト云フコトヲ爰ニ一言致シテ置キタイト存ジマス、ソレハ第二十七議會ニ於テ此報償契約ノ事ガ問題ニナリマシタ、明治四十四年三月七日ニ當時ノ内務大臣平田男爵カラシテ都市ノ公營、即チ瓦斯、電氣ニ關スル事業、是等ノモノハ都市ヲシテ公營セシメルコトガ適當デアアルト云フコトヲ、議會ニ答ヘラレタ事實ガアルノデアリマス、官報號外ニ依ッテ示サレテ居ル所ヲ、極ク簡單デアリマスルカラシテ、私爰ニ朗讀シタイト思ヒマス、此二十七議會ニ於テ内務大臣ガ當議會ニ答辯シタル所ニ依レバ、市内ニ於ケル電氣鐵道、電燈、瓦斯供給等ノ事業ハ都市ノ經營ニ依ラシムルハ最モ適當ナリトスルモ都市ノ現況ハ未ダ全然是ガ經營ニ當ルノ域ニ達セザルモノアリ、仍テ政府ハ當該都市ノ財政ト一般ノ公益ニ鑑ミ都市ノ公營ヲ利益ナリト認ムル場合ニハ努メテ其經營ニ付キ指導獎勵ヲ與ヘ若シ私人ノ經營ニ待ツノ已ムナキ場合ニハ特許命令ヲ附シ又ハ市ト營業者トノ協約ニ依リ都市ノ利益ヲ保護シ併セテ地方事業ノ開發ヲ期スルニ付キ常ニ注意ト考慮ヲ怠ラズ之ヲ要スルニ這般事業ノ發展ハ勢ヒ都市ノミノ經營ニ待ツコト能ハザルノ現況ナルヲ以テ私人ノ經營ニ委スルモノアリト雖モ、事業ノ發展ヲ妨ゲザル限リ都市ノ公益ヲ保護セムコトヲ期ス、尙ホ將來ハ一層慎重ニ



調査ヲ遂ゲ以テ右ノ目的ヲ達セシムルコトヲ努ムベシ、右及答辯候也、明治四十四年二月七日、内務大臣法學博士男爵平田東助「此答辯ニ依ッテ當時ノ内務大臣ガ都市ノ實力ガ之ヲ許サナケレバ仕方ガナイケレドモ、然ラザル限リハ、都市ヲシテ之ヲ直營セシムルコトガ最モ適當デアルト云フ意味ヲ、當議會ニ於テ言明サレテ居ルノデアリマス、加之此舊イモノハ之ヲ姑ク措キマシテモ最モ新シイ事實モアル、最モ極ク簡單デアリマスカラ、私爰ニ讀上ゲテ之ヲ明ニ致シテ置キマス、是ハ憲政會ノ代議士小山松壽君ノ問ニ答ヘラレタモノデアリマス、即チ第四十一議會ニ於テ、都市計畫法案審査ノ委員會ニ於テ、大正八年三月十二日、此委員會ニ於テ小山代議士ト床次内務大臣トノ間ノ問答ヲサレタモノガ、委員會ノ速記ニ掲載サレテ居リマス、是モ極メテ簡單デアリマスカラ一寸讀ンデ置キマス、」小山松壽君唯今申上ゲマシタ關係カラ」——是ハ小山君ノ問デス——「都市ノ市民ヲ得意トシテ居リマスル會社、即チ電燈、電鐵、瓦斯ト云フ獨占會社ト其市トノ間ニ報償契約ヲ締結シテ居ル者ガアルノデアリマス大阪ニ於テ問題トナリ續イテ名古屋ニ於テ問題トナリ續イテ東京ニ於テ問題トナリ、其他都市到ル處ニ獨占會社ト報償契約ノ關係ヲ持ッテ居ル此獨占會社トノ間ニアル所ノ報償契約ハ一法人ノ契約デアリマスルガ此所ハ主務大臣ノ御見解トシテ之ヲ御認メニナルヤ否ヤ此事ハ將來ノ都市計畫ヲ致シマスル上ニ於テソレハ關係ヲ有ツコトニナツテ參リマスカラ大體ノ御方針ヲ承ッテ置キタイト思ヒマス」——此問デス、——小山代議士ノ問ニ對シテ、國務大臣床次竹二郎君ハ斯ウ答ヘテ居ル、「ソレカラ報償契約ト云フモノハ大體ドウ考ヘルカト云フ御話デアリマスルガ、是ハ今日モ各地行ハレテ居ルヤウデアリマスルガ、大體ハ今日迄ノ慣例ニ依ルコトガ宜イト思ッテ居リマス」斯ウナツテ居ル、從來ノ慣例ヲ尊重スルト云フコトニナツテ居ル、尙ホ其終ノ方ニ、道路法二十八條等ニ關係ヲ有ツカト云フコトヲ附加ヘテ、道路法實施ノ後ニ於ケル報償契約ニ就テ、尙ホ慣例ヲ尊重スルモノデアルト云フコトガ附言ヲサレテ居ルノデアリマス、今簡單ト云フ誰方カノ御聲ガアリマシタガ、極メテ簡單デアリマス、モウ暫クデアリマスガ、私ハ此報償契約ニ對シテ政府ノ行動ニ矛盾アルガ故ニ、今日之ヲ明ニ致シテ置キタイト思フ、斯ノ如クニ報償契約ニ對シテ、政府ハ從來ノ慣例ヲ

尊重スルト云フコトヲ、一昨年ノ議會ニ於テ言明致シテ居ルノデアリマス、所ガ驚クベキハ二十七年議會ニ於テ、是等ノ事業ノ直營ヲ理想デアルト答ヘタル内務大臣アリ、四十一議會ニ於テ報償契約ハ從來ノ慣例ヲ尊重スルト云フコトヲ、現内閣大臣カラ答ヘラレテ居ルニ拘ラズ、昨年九月ニ至ッテ遞信省ト内務省ノ兩省ガ、大阪市ト大阪電燈株式會社、此二社ノ間ニ丁度報償契約ニ基因シテ、報償契約ノ解釋ニ關係ヲシテ、大阪市ト電燈會社トノ間ニ複雑ナル交渉ヲオツ始メテ居タ最中、遞信省、及内務省ノ方カラシテ此報償契約ハ不都合ナルモノデアアル、然ルベカラザルモノデアルト云フ意見ヲ以テ、遞信省ノ方カラハ、斯様ナ契約ハ速ニ改正ヲスルヤウニト云フ意見マデ附ケテ、其點ニ就テ通牒ヲ發スルニ至ッタノデアリマス、洵ニ晴天ノ霹靂デアアル、即チ近ク大正八年ノ三月四十一議會ニ於テ、現内務大臣ガ報償契約ヲ尊重スルコトヲ言明シテ居ルノニ、漸ク一年經ツカ經タナイ大正九年ニ至ッテ、突然トシテ是ガ不都合ナモノデアリ、然ルベカラザルモノデアルト云フコトノ御取扱ヲ受クルニ至リマシテハ、此契約ニ關係致シテ居ル者ハ孰レニ從ッテ宜イカ、殆ド適從スル所ヲ知ラズト云フコトニナルノデアリマス、此事ハ私此所デ特ニ御伺ヲ致シマスノハ、事ノ起リハ大阪ニ起ッタノデアリマスケレドモ、今日ノ日本ト致シマシテ、殆ド瓦斯ナリ、電氣ナリノ事業ニ就テ報償契約ノ無イ都市ハ無イト云フテモ宜イ程ニ澤山關係ヲ持ッテ居ル、大低ナ都市ハ此報償契約ト關係ヲ持ッテ居ルノデアリマスカラ、之ニ對スル政府ノ方針、政府ノ解釋ナルモノハ、是等ノ關係者ニ取ッテハ洵ニ重大ナル關係ヲ持ッノデアリマス、斯様ナ譯デアリマスカラ、願クハ遞信大臣、及内務大臣ヨリシテ、此點ニ對シテ、懇切ニシテ且明快ナル御答辯ヲ賜ランコトヲ望ミマス、最後ニ私御尋ヲ致シタイト存ジマスルノハ、他ノ點デアアリマセス、最初大正九年ノ九月二十八日ニ遞信省ノ方カラ内務省ヘ照會ヲシタ書面ニハ、電氣事業ノ基礎ヲ鞏固ニスルガ爲メニ云々ト云フノデ、遞信省ノ電氣事業ニ關スル方針ヲ開始サレタ書面ヲシイ、サウモ讀メル、ソレデアリマスカラ、此遞信省ノ電氣事業ニ關スル方針ナルモノト、若シ報償契約ガ抵觸スルト云フナラバ、所謂報償契約ハ不都合デアアル、是ハ遞信省ノ電氣事業ニ關スル方針ト抵觸スルト云フヤウナ御意見デアアルナラバ、此遞信省ノ意見ナルモノハ、宜シク全國ニ



周知セシムル必要ガアル、少クモ報償契約ヲ締結セル都市ニハ、之ヲ知ラシムルノ必要ガアルコトハ當然デアアルノデアアル、所ガ私共ノ知ル所デハ、報償契約ガ不都合デアアルトカ、改正ヲシロトカ云フヤウナ命令ラシイ書面ハ、當時電燈會社ト喧嘩ヲシテ居ル、大阪市ダケヘ來タヤウニ承知ヲ致シテ居ル、遞信省ノ大方針ヲ大阪市ダケニ知ラス必要ハ無イカラ、私ノ知ル所ガ誤リテ、普ク天下ニ此方針ハ内務省ト遞信省ト出サレタモノデアアルト思ヒマスルガ、不幸ニシテ此大阪ダケヘ此事ガ示サレタモノデアアルト致シマスルナラバ、何ガ故ニ當時大阪ノミニ此通牒ヲ發セラレタノデアアルカ、遞信省ノ電氣事業ニ對スル方針ハ、大阪市ノミニ知ラスレバ十分ナリトセラレル所以ノ理由ノ説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

之ニ對シ床次内務大臣ハ三月二十五日書面ヲ以テ左ノ答辯ヲ爲セリ

- 一 電車電燈及瓦斯等ニ關スル事業ハ之ヲ都市ノ公營事業ト爲スヲ大體ニ於テ都市行政上適當ナリト認ム
- 二 所謂報償契約ハ法令ノ範圍内ニ於テ其ノ存在ヲ認メタリ將來ニ於テモ亦然リトス

九 義勇奉公ノ精神衰退ニ關スル質問

内閣總理大臣原敬氏ハ大正十年ノ新年ヲ迎フルニ當リ義勇奉公ノ精神カ我カ國民ヨリ著シク衰退セル事實ヲ指摘シテ大ニ戒飭スル所アリタリ由來我カ國民ハ義勇奉公ノ精神ニ富ミ忠君愛國ハ我カ國體ノ精華ニシテ復タ國民性ノ真髓タリ然ルニ此ノ國體ノ精華タル義勇奉公ノ精神ニシ

テ近時頓ニ衰退減耗セルハ我カ國民性ニ一大缺陷ヲ呈セル反映トモ云フヘク洵ニ國家將來ノ爲寒心ニ堪ヘサルナリサレハ原首相ハ邦家ノ前途ヲ憂慮スルノ餘斯ク年頭ノ始言トシテ我カ國體ヲ動搖セシムヘキ一大弊根ヲ指摘シ國民ノ自省ト發奮ヲ促スニ當リテハ必スヤ一面ニ於テ此ノ精神ヲ作興スヘキ適切ナル方策ヲ講セサルヘカラス唯徒ニ片々タル所感ヲ陳ヘテ此ノ大精神ノ振興ヲ期スヘキニ非サルナリ原首相ハ何カ故ニ天下國民ニ向テ此ノ戒告ヲ爲スニ先チテ切實適良ノ方策ヲ實行シ以テ此ノ大精神ヲ旺盛ナラシメ國民思想ノ健全ナル發達ヲ期スルニ努メサリシヤ敢テ問ハム原首相ハ單ニ一片ノ戒告ヲ以テ其ノ目的ヲ達成セリト思惟セルカ將又此ノ戒告ト相俟テ既往ノ施設ノミヲ以テ足レリト爲スカ更ラニ適切ナル方策ヲ講シテ此ノ大精神ノ振興ニ勗メムトスルカ明快懇切ナル答辯ヲ求ム

十年一月二十五日田中萬逸君ハ右質問主意書ヲ提出シ二月十五日趣旨辯明ヲ爲スニ先チ原國務大臣ハ書面ヲ以テ左ノ答辯ヲ爲セリ

國民ヲシテ義勇奉公ノ精神ニ敦カラシメル爲ニハ政府ハ常ニ周到ノ注意ヲ怠ラス而シテ本年初頭ニ際シ我國民間ニ此精神ノ衰退シツアルヤノ事實ニ言及シタルハ之ニ依リ國民ノ反省ヲ促サムトシタルナリ



右ニ對シ田中萬逸君ハ意見ヲ述ヘタリ

一〇 山東牛檢疫制度ニ關スル質問

大正九年七月九月ノ二回橫濱市ニ大正九年十二月本年一月大阪市ニ牛疫發生シタルハ其ノ病毒  
カ山東牛檢疫所ヨリ洩レタルモノト認ム是レ我カ國畜産界ノ脅威ニシテ之カ根本救濟ハ一刻ノ  
遲疑ヲ容サス政府ハ檢疫制度ノ缺陷ニ對シ速ニ之カ改廢ノ意志ナキヤ

十年一月二十五日小橋藻三衛君ハ右質問主意書ヲ提出シ未タ日程ニ上ラサルニ先チ山本國務大臣  
ハ二月十五日書面ヲ以テ左ノ答辯ヲ爲セリ

山東牛ニ付テハ政府ニ夙ニ病毒浸入ノ虞アルヲ認メ生牛輸入ニ制限ヲ加ヘ檢疫後直ニ指定屠場  
ニ於テ屠殺スル食用牛ニ限り之ガ輸入ヲ許シ檢疫ニ付テハ其ノ萬全ヲ期スル爲檢疫所ノ新設擴  
張ヲ行ヒ其ノ設備ヲ整ヘ又檢疫所ニ隣接シテ屠場ヲ設ケシメ山東牛ハ專ラ此屠場ニ於テ屠殺セ  
シムルコトトシ且近クハ積出ニ先チ輸出地ニ於ケル帝國官憲ノ監督ノ下ニ免疫血清ノ注射ヲナ  
シタルモノニ非レハ之ヲ輸入スルコトヲ得サルコト、シタリ尙彼地帝國官憲トモ協議ノ上一層  
徹底的檢疫施設ヲ爲ス考ナリ

一一 滿洲ニ於ケル土地商租ニ關スル質問

大正九年七月二十日日本院ニ於テ滿洲ニ於ケル土地商租權行使ニ關シ政府ノ執レル處置及成行如  
何ニ關スル本員ノ質問ニ對シ政府ハ同年七月二十五日書面ヲ以テ之カ答辯ヲ爲セリ

之ニ依レハ我カ政府モ支那側カ日支條約ノ趣旨ヲ沒却スルカ如キ態度仍改マラサルヲ認容セリ  
其ノ後政府ハ之ニ對シ如何ナル處置ヲ採リシカ又其ノ結果如何仍政府ハ支那側ニ態度如何ニ拘  
ラス本邦人ノ商租契約ハ漸次相當ノ増加ヲ示シツ、アリト云ヘリ果シテ然ラハ此等ノ商租契約  
ハ如何ナル形式ニ依リ又其ノ效果ハ完全ニ目的ヲ達シ居ルト認ムルヤ如何

十年一月二十五日古賀三千人君ハ右質問主意書ヲ提出シ二月十五日趣旨辯明ヲ爲スニ先チ内田國  
務大臣ハ書面ヲ以テ左ノ答辯ヲ爲セリ

商租ニ關スル條約規定ヲ十分ニ活用セムコトハ政府ノ常ニ希望スル所ニシテ之カ爲其ノ後商租  
規則對案ノ再調査ヲモ爲シ居レル次第ナルカ支那ノ政情目下尙ホ我希望實現ニ便ナラス政府ハ  
可成速ニ我目的ヲ達スル様努力シツツアリ

商租規則ノ規定ナキニ拘ラス現ニ商租行ハレ居ルカ右ニ關スル契約ノ形式ニ付テハ條約ニ別段



ノ規定ナキヲ以テ當事者ハ便宜各種ノ形式ニ據リ居レリ商租地中現ニ利用ニ著手サレタルモノニ在リテハ概ネ相當ノ效果ヲ擧ケ居レルカ如シ

一 府縣行政監督ニ關スル質問

立憲政治ハ責任政治ナリ若夫レ職ニ在ルモノ忠實其ノ職ニ盡ササルモノアラム乎亂楮茲ニ端ヲ發シ其ノ影響恐ルヘキモノアリ

如今内務大臣監督ノ下ニ在ル府縣知事ノ爲ス所ヲ見ルニ彼等ノ眼中政友會ノ黨利黨益ヲ計ルノ外一片愛國ノ至誠ナシ從テ國家ノ基礎タル町村自治ヲ破壞シテ黨爭ノ巷トナシテ顧ミス況ヤ府縣行政ヲ黨勢擴張ノ具ニ供シ以テ縣民一般ノ福利ヲ蹂躪シテ恬然タルニ於テヤ其ノ甚シキハ公金ヲ横領セル警察署長ヲシテ榮轉セシムルカ如キ官紀ノ頹廢其ノ極ニ達ス而モ局ニ膺ルモノ官威ヲ弄シテ恥ヲ知ラス而シテ黨勢擴張ノ爲ニハ縣費ノ不法支出ヲ敢テシテ顧ミルナシ或ハ教育問題ヲ利用シテ黨勢擴張ニ努力シ或ハ織物組合ヲ脅威シテ黨派ノ犠牲ニ供シテ顧ミス又道路法實施ヲ利用シテ政黨擴張ノ具トシ以テ縣ノ交通路ヲ紊亂シ民心ヲシテ不安ノ境ニ立タシムルニ到ル

茲ニ於テカ民衆ハ行政官廳ヲ怨ミ民心益惡化シ來ルヲ見ル爲政ノ局ニ在ルモノ最留意ヲ要ス

然ルニ内務大臣ハ偏頗不公平ナル府縣知事ノ行爲ヲ是認セルモノノ如シ此ノ如クシテ輔弼ノ責ヲ完ウシタリトナス乎明確ナル答辯ヲ求ム

十年一月二十七日木曾三四郎君ハ右質問主意書ヲ提出シ二月十五日提出者ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

内務大臣、竝ニ内務次官ノ御出席ヲ願ヒマシタガ見エヌヤウデスカラ、傍聽筆記ニ於テ答辯ヲシテ戴クヤウニ特ニ此事ヲ願ッテ置キマシテ、質問ノ趣意ヲ申上ゲマス、私ガ此ノ府縣行政監督ニ關スル質問主意書ヲ提出致シマシタノハ、是ハ一黨一派ノ問題關係デ出シタノデハナイノデアリマス即チ行政官廳ヲシテ、信用アリ權威アラシメタイト云フ意味カラ、此質問書ヲ出シタノデアリマス、即チ國家ノ行政官ナルモノガ一タビ信用ガ失墜シ、權威ガ地ニ墜ツルヤウニナリマスト、國ノ行政ト云フモノガ洵ニ憂フベキ結果ニナリマス、其關係デ此行政官廳ト云フモノニ敬意ヲ拂ヒ、國民ヲシテ安定ノ念ヲ益、増サシムルト云フ意味ニ於キマシテ、此質問書ヲ出シノデアリマス、總理大臣モ此行政官ヲシテ信用アリ權威アラシムルト云フコトニ就テハ、御同感ト見エマシテ、先頃貴族院ニ於テ仲小路君ガ總理大臣ニ質問セラレタ其中ニ、總理大臣ハ行政官ヲシテ政黨擴張ノ爲メニ、鐵道、若クハ港灣、若クハ道路ト云フヤウナモノヲ利用致シマシテ、其擴張ノ爲メニ盛ニ宣傳ヲ行政官ニサセヤセヌカ、若クハ其結果町村自治マデ破壞サセヤセヌカト云フ貴族院ノ仲小路君ノ御質問ガアリマシタ、所ガ斯ウ云フ事ハ毛頭無イ、若シ行政官ニ左様ナ事ガアルトスレバ、相當ナル處分ヲ致スト斯様ナル御答辯ニナッテ居リマス、惟フニ此點ハ私共ト總理大臣ト同シ意見ヲ持ッテ居ルノデアアル、然ルニ同シ意見ヲ持ッテ居ルガ、事實ハ總理大臣ノ御答辯ヲ裏切ッテ居ル、ソレ故ニ此點ヲ特ニ御同様國ヲ憂フル點カラ正シキ御答辯ヲ願ヒタイ、此意味カラ此答



辯ヲ促ス氣ヲ出タノデアリマス、一體私ガ考ヘテ居リマスノハ、此原總理大臣ノ爲ス事ハ、政黨擴張ト云フ事ハ、朝ニ立テバ必ズ傳統的デアルヤニ思ハレテ居ル、何故ニ左様ニ申スカト云フト、前ニ内閣ニ立タレテ内務ノ位地ニ原君ガ居ラレタ時ニモ、矢張政黨擴張上ニ於テハ官憲ヲ利用致シマシテ、盛ニ知事若クハ以下ノ屬僚其他ヲ利用シマシテ、政黨ノ擴張ヲシタ事實ガアル、是等ヲ見マスト政友會ト云フモノハ、傳統的ニ官憲ヲ濫用致シマシテ、政黨ノ擴張ヲスルモノデア  
 ル、私ハ澤山ノ議論ハ申サナイ、事實ハ一ツノ雄辯デアリマスカラ、事實ヲ一ツ申上ゲテ諸君ノ判斷ヲ願ヒ、官憲ノ意見モ伺ウト思フ、デ今ノ原總理大臣ガ、内務大臣ノ時代ニモ能ク斯ウ云フ事ヲ致シテ居ル、手短ナ一例ヲ舉ゲマス、大正二年ニ、内務大臣デアッタ時ニ群馬縣ニ大芝惣吉ナル者ヲ知事トシテ寄越シマシテ、此時ニハ政友會ナルモノハ至ッテ微力デアリマシタ、其際何ヲ致シタカト云フト、大芝知事ト共謀ヲ致シマシテ、學校整理案ナルモノヲ出シテ、有力ナル非政友系ニ屬スル方面ノ中學校ヲ廢スト云フヤウナ案ヲ拵ヘ出シテ、而シテ此案ニ存廢ニ依ッテ非政友系ノ縣會議員ヲ威カシ、ソレガ爲メニ學校ノ廢校ト云フコトハ恐ルベキ事デアルト云フノデ、已ムヲ得ズ私共同士デアッタ縣會議員數名ガ——時ノ内務大臣原敬君ノ下ニ、知事ガ注意ヲシテ學校整理案ナルモノハ出スコトヲ止メルカラ、オ前達政友會ニ入レト云フコトデ、其當時參事會員三名ト云フモノガ政友會ニ入ッタ、是等ハ事實ガ證明シテ居ル、當時私共ト一緒ニ居ッタ者ハ學校ガ潰サレル、教育問題ガ郡ニ於テ蹂躪サレルカラ、已ムヲ得ナイカラ入ルト云フコトデ、當時私共ト同ジ仲間ニ居ッタ參事會員デアアル澤園吉、若クハ今井今助、若クハ岡田又八、斯ウ云フ三人ノ人達ガ政友會ニ入ッテ、是等ノ學校問題ト云フコトデ脅威サレテ、已ムヲ得ズ郡ノ利益ノ爲メニ自己ノ政治上ノ節義ヲ變ヘテ、犧牲的ニナッテ、サウシテ政友會ニナッタ事實ガアル、是ハ原サ  
 ンガ内務大臣ノ時デアリマシタ一ツノ實例デアリマス、斯ウ云フ風ニ傳統的デアアル、今ノ内務大臣床次君ハドウカト云フト、相當ニ智識モアリ、學問モ御有リナサル人デアアル、隨分公平振リニ、或ハ民力涵養ノ宣傳トカ云フモノヲ致シマシテ、一萬八千回宣傳ヲシテ、聽衆ガ五百萬人アッタカ云フコトヲ議會ニ御報告ナサレマシタガ、而モ其宣傳振リハ洵ニ公平ノヤウデアリマスケレ

ドモ、事實ハ矢張原敬ガ内務大臣デアッタ時ニ政黨擴張ヲスルト同様ノ方針ガ、所謂政黨擴張ノ爲メニハ、種々ノ官憲ヲ各方面ニ利用致シマシテヤッタ事實ガアル、床次君ハ原敬君程政黨ト云フモノニ長キ歴史ヲ持ッテ居ラヌ人ダケニ、此點ニ於テハ眞面目ニ答辯シテ下サルカト思ヒマスカラ、事實ヲ舉ゲテ、原敬君ノ内務大臣デアッタ當時ノ其型ヲ履ンデ居ルヤ否ヤト云フコトヲ確メテ、原總理大臣ガ貴族院ニ於テ、政黨擴張ト云フヤウナコトハ決シテ致シテ居ラナイ、若シ致シタトシタナラバ、其官吏ハ相當ナ處置ヲスルト云フコトマデ明言シテアルガ、此事ヲ事實ヤッテ居ルカドウカト云フコトヲ、縣民ニ代ッテ確メテ見タイト私ハ思フ、先ヅ第一ニ伺ヒタイノハ、内務大臣ノ監督ノ下ニアッタ宮城縣ノ投票ノ偽造問題ハ、天下ノ人心ヲシテ實ニ驚カシタ、ソレハ何デアアルカト云フト、偽造ノ投票ガ六百十五、而モ同一ノ筆跡デアルト云フコトハ、裁判所ノ調ニ依ッテモ明カデアアル、此事ハ内務大臣監督ノ下ニアル知事ガ、何人ヲシテ之ヲ爲サシメテ此ニ至ラシメタノデアアルカ、此關係ニ就テノ處分ハ如何ナサレタノデアアルカ、此點ハ行政監督ノ上ニ而モ選舉權行使ノ上ニ重大ナル影響ヲ及ボスモノデアアルト私ハ思ッテ居リマス、此點ニ就テ一ツ伺ッテ見タイト思ヒマス、是ハ明ニ行政監督ニ於テ重要問題デアアルト思ッテ居リマス、今一ツハ北海道八區ノ選舉ニ於テ、淺川浩君ガ當然當選シテアルベキ筈ナルニ、行政官憲ノ手ニ於テ、多數ノ投票ヲ無効投票ナリト判決ヲ致シマシテ、當選スベキ淺川浩君ヲ當選サセナイデ、大久保虎吉君ヲ當選サセテ、所謂當選資格無キ者ヲ此議場ニ送り、サウシテ臨時議會ニ於テハ、其大久保君ガ職務ノ幾分ヲ果シタト云フヤウナ、甚ダ不條理ナ狀態ニナッテ居リマス、是ガ大審院ノ正シキ判決ニ依リマシテ、淺川浩君ガ當選者トシテ茲ニ現ハレテ、正シカラザル大久保君ガ當選者デナイト云フコトノ判決ヲ得テ、大久保君退キ、淺川君ガ此議場ニ現ハレタコトニナッタノデアアルガ、是ハ何カト云ヘバ、是亦内務大臣監督ノ下ニ在ル北海道ノ行政官憲ガ、正シカラザル行ヲ爲シマシテ、ソウシテ當選者デアアル所ノ淺川君ヲシテ、當選者タラシメナイト云フ此事實ハ、大審院ノ判決ニ於テ明白デアリマス、此點ニ向ッテ内務大臣ハ、如何ナル處置ヲシタカト云フコトヲ伺ヒタイ、秋田縣第二區ニ於テ今一ツ伺ヒタイ、秋田縣ニ於テモ村山喜一郎君ガ當選者デアアルノ



ニ、池田龜治君ヲ當選者トシテ、是亦行政官憲ノ惡シキ干涉ノ手ニ於テ、池田龜治君ヲ當選者トシテ先頃迄臨時議會ヨリ引續イテ議會ニ列席サレタ、當選者ナラザル人ヲ此議會ニ送テ置イテ、而シテ其結果ハドウデアアルカト云ヘバ、投票ヲ官憲ノ手ニ於テ偽造ヲ致シタ、其結果ハ郡書記二名ガ刑事被告人トシテ獄ニ投ゼラレタ、是ハ誰人ガ責任者デアアルカ、或ハ知事ガ責任者デアアルカ、郡長ガ責任者デアアルカ、モット有力ナ責任者ガアルニ違ヒナイガ、犠牲者トシテ郡書記二名ガナッタト云フ憫ムベキ状態ニナツテ居ル、是亦府縣行政ヲ監督スル所ノ内務大臣ガ、斯ル正シカラザル不都合ナル行ヲ爲シタコトヲ恬トシテ顧ミナイ何等ノ處分ヲシタト云フコトヲ未ダ私共聞イテ居ラナイ、總理大臣ノ御言葉ニアルヤウニ、相當ナ處分ヲスルト云フナラバ、之ニ向ッテ處分ヲシナケレバナラヌ、何等之ニ向ッテモシテナイノデアアル、此點ニ就テモ内務大臣ニ私ハ伺ヒタイト思フ、是等ハ皆ナ與黨ヲ選出セシガ爲メニ選舉干渉ヲシタ事實デアアル、是ハ矢張天下ノ人心ノ惑ヲ解ク爲メニ、明白ナル答辯ヲシテ貫ヒタイト思フ、更ニ伺ヒマスノハ、仲小路君ニ答ヘタ町村自治ヲ破壞致サナイ、斯ウ云フコトデアアル、黨勢擴張ノ爲メニ町村自治ヲ破壞シナイト云フコトデアアルガ、事實ハ行政官憲ガ惡シキ壓迫ヲ致シマシテ、町村自治ヲ破壞シタ事實ハ幾ラモアル、此事實ハ澤山アリマスルガ、之ヲ擧ゲマスト云フト時間ヲ徒費致シマスカラ、一二ノ實例ヲ擧ゲテ之ニ向ッテノ答辯ヲ願ヒタイト思フ、即チ知事、若クハ郡衙ノ行政官ガ下ラナイ所ノ干涉ヲ致シマス爲メニ、町村長ガ其職ニ居ルコトヲ屑シトシナイデ、職ヲ罷メニシテシマッタ、ソレガ爲メニ町村自治ガ紊亂ノ形ニナツテ來タト云フ事實ハ幾ラモアル、一例ヲ擧グルナラバ、群馬縣ニ於テハ吾妻郡高山村ノ如キハ、其方面ニ道路ヲ拵ヘテヤル、縣道ヲ拵ヘテヤル、ソレニ拵ヘテヤルノニハ、政友會ニ入レバ拵ヘテヤルト云フノデ、盛ニ勸誘ヲシタノデアアル、所ガ政黨ニ入ラナケレバ道ガ出來ナイト云フノハ、甚ダ意義ヲ爲サヌト云フノデ入ラナイ、ソレガ爲メニ大正八年ヨリ九年ト云フ風ニ連續的ニ此方面ニ、政友會ノ黨派ノ擴張ト云フ意味カラ盛ニ勸誘ヲ致シマシタガ入ラス、結局人民ノ低イ方面ニ於テ盛ニ勸誘ヲ致シマシタ結果、町村長ニ願ッテ、村長様ガ御入りニナラバ皆入ルト云フヤウナ形ナノデ、村長ハ自分ハ相當ノ年齢ニ達シテ居ルガ故ニ、晩年ヲ

縣道編入ノ爲メニ、政治上ニ自己ノ清節ヲ變ジテマデモ道ヲ拵ヘテ貫フト云フコトハ甚ダ屑シトシナイ、斯ウ云フヤウナ所カラ、自己ガ村長デ居レバ政友會ニ入會シロト云フコトヲ盛ニ脅威サレルガ、之ヲ辭職シテシマヘバ何等用ノ無イ話ダト云フ所カラ、高山村ノ村長奈良五郎作ト云フ人ハ、昨年ノ九月ニ罷メニシテシマッタ、ソレガ爲メニ外ノ方面ノ人達ガ政友會ニ入りマシテ、村長ガ更リマシテ、サウシテ兎モ角モ其沿道ノ道ヲ縣道ニ入レル所ノ諮問案ヲ出シマシテモ決議シテ、今ヤ内務省ノ認可ヲ申請手續ニナツテ居リマス、是ハ町村役場ノ主腦者タル所ノ村長ガ政友會ニ入會ヲ條件トシテ、道路ヲ拵ヘテヤルト云フ所ノ脅威カラ村長ガ辭職マデシテ、自分ガ其晩年ノ一身ノ清節ヲ汚スコトガ厭ダト云フノデ罷メニシタ、サウ云フ變化モアル、之ニ就テハ矢張仲小路君ノ問ウタ町村自治ト云フモノヲ破壞スル形ニナリハシナイカ、斯ノ如クニシテ迄モヤツテ居ル、更ニ又同シ群馬縣ノ吾妻郡ノ伊參村ノ村長モサウデアアル、伊參村ハ模範村デアアル、此模範村ガ或ハ水田ノ問題トカ、總テノ水利權ノコトヲ縣廳ニ願フニ就テモ、政友會ニ入會ヲ脅威サレテ、入會スレバ此問題ガ早ク許可ニナルト云フコトヲ脅威サレマスル爲メニ、自分ガ其村長ノ職ニ居ル爲メニ斯ウ云フヤウナコトヲ脅威サレルカラ、職ヲ罷メニスレバ宜シイト云フノデ、即チ當時ノ村長デアアル綿貫宇十郎ト云フノハ模範村長トシテ、此人ガ村長ニナリマシテカラ村治ガ能ク擧ッタ、非常ナ功績ノアル人デアアルガ、餘リニ政友會ニ入會セヨト云フコトヲ脅威サレル爲メニ其煩ニ堪ヘズ、自ラ職ヲ擲ッテ辭職シタト云フ、斯ウ云フヤウニナツテ居リマス、是等ハ矢張仲小路君ガ總理大臣ニ質問ニナツタ、政黨擴張ノ爲メニ町村自治ヲ破壞シハシナイカト云フ、之ニ能ク當ッテ居ル、此綿貫村長ガ罷メマシタ爲メニ、模範村ヲ築上ゲタマデ自治ノ爲メニハ盡クシタ人デアリマスガ、其人ガ罷メマシタ爲メニ、相當ナ村ノ自治ノ上ニ缺陷ヲ來シタト云フコトハ隠レナキ事實デアアル、是等モ内務大臣ハ如何ナル觀察ヲ持ッテ居ルカ、政黨擴張ノ爲メニハ所謂行政官憲ヲ利用シテ斯様な事ニマデ致シテ居ル、殊ニ町村自治ト云ヘバ一番國ノ基礎デアリマスカラ、小ナルガ如クシテ最モ大ナル事柄デアアル、此點ニ向ッテハ、相當ノ注意ヲ拂フベキコトデアアルト私ハ思フ、ソレ故ニ特ニ此點ニ就テ質問ヲ致シタノデアリマス、次ニハ府縣行政ヲ



黨勢擴張ノ爲メニ供シ、以テ國民一般ノ福利ヲ蹂躪シテ恬然タリ、此事實ヲ伺ハウト思フ——一昨年デアリマシタカ、即チ大正八年ノ九月縣會議員ノ選舉ニ對シマシテハ、各府縣共隨分縣廳ノ官憲ガ正シカラザル干渉ヲ致シマシテ、自己ノ黨與ヲ縣會ニ殖ス爲メニ努力シタモノデアアル、是ハ事實ヲ擧ゲマスレバ各府縣共隨分澤山アリマス、是亦澤山擧ゲマシテモ、却テ其煩ニ堪ヘマセヌカラ——二ノ實例ヲ擧ゲテ内務大臣ノ答辯ヲ願ヒタイト思フ、即チ大正八年ノ九月ノ縣會議員選舉ニ於テ、群馬縣ニ於テハ大芝知事ガ居ラレテ、土木課長ヲ利用シテ、盛ニ自己ノ黨派ノ者、即チ政友會ノ者ヲ選出セシムルガ爲メニ努力ヲ致シタ、此土木課長ハ安永俱作ト申シテ、當時九月二十五日ノ選舉ノ當日デアリマシタ、此選舉ノ日ニ際シマシテ、彼ハ吾妻郡ニ出張シテ、サウシテ九月十七日ヨリ二十一日ノ間出張シテ居リマシテ、其時ニ北村技手ヲ從ヘ、並ニ其方面ニ土木ノ管區所ガアリマス、其土木管區所ノ武藤ト云フ主幹ヲ從ヘテ、高山村、名久田村トカ、中ノ條、或ハ坂上デアルトカ、岩島村、長野原、斯ウ云フヤウナ町村ニ沙汰ヲシテヤリマシタ、電話ヲ道路ノ視察ニ出張シタノデアアルカラ、其村ノ主ナル者ヲ召集シテ役場ニ置ケト云フコトヲ傳達ヲシテ置キマシテ、其役場ヘ參リマシテ、自ラハドウ云フ風ニシタカト云ヘバ、部下ノ土木技手ヲ連レテ參リマシタ上ニ、自分ノ與黨タル即チ政友會ノ候補者タル——小池、田村ト云フ兩名ノ政友會ノ候補者ニ立ッテ居ル、此兩名ノ者ヲ一絡ニ連レテ、サウシテ參リマシテ、一方小池ト云フ者ガ取リマス區域ニハ、小池ト云フ者ヲ連レテ參リマスシ、田村ト云フ者ガ得票トスベキ區域ニハ、田村ト云フ者ヲ連レテ行ク、兩方ノ取ルベキ場所ニハ兩人ヲ連レテ參リマシテ、役場ヘ行ッテ打合せタ、サウシテ道路法ガ實施ニナリマシタカラ、即チ九年ノ四月ヨリ道路法ガ實施ニナル、此實施ハ知事ノ意見一ツニ依ルノデアアルカラ、知事ノ意見ニ副ウタ縣會議員ヲ出サネバナラヌト云フ勸誘ヲシタ、サウシテ盛ニ自分ノ與黨ヲ出ス爲メニハ盡力ヲ致シタノデアリマス、殊ニ長野原ノ町役場ナドヘ參リマシタ時ニハ、小池、田村ト云フ兩縣會議員候補者ヲ連レテ行ッテ、サウシテ其所ニ於テ話ヲ致シタ、其時ニ其附近ノ村落ノ村長ナリ有力者ニ出張スルヤウニ沙汰ヲシテ置キマシタノデ、其長野原ノ役場ヘ附近ノ町村トシテ來ルノハ、草津、六合、嬭戀ト云フ村落ノ村

長、並ニ有力家ガ來ルヤウニ沙汰ヲシテ置キマシタ、所ガ嬭戀ノ役場カラハ誰人モ來ナカッタ、其時ニ安永土木課長ガ訓示ヲシ、其傍ニ縣會議員ノ候補者兩名ガ行ッテ居ルヤウナ譯デ、其一名タル小池ト云フ者ガ言フノニ、嬭戀村カラハ誰モ役場カラ、人モ何モ來テ居ラヌ、惟フニ道路ハ要ラナイノダラウ、要ラナイノナラ廢シテヤルト云フ位ニ放言ヲシタ、此一事實ヲ以テモダ、所謂縣ノ行政官更ト候補者ガ結托ヲシテ、投票ヲ自黨ノ者ニ得ントスルニ努力シタト云フコトハ、明カデアルト私ハ思フ、是等ニ對シマシテハ、行政官ガ權力ヲ濫用シテ、自分ノ黨與ノ者ニ投票ヲ取ラウトシタト云フコトガ能ク判ッテ居ルト思フ、是等ニ就キマシテハ、如何ナル處置ヲ床次内務大臣ハ執ラレテ居ルカ、此點ニ就テ特ニ伺ヒタイト思フ、更ニ又此出張シタ時ニ附加ヘテ水利權ノ請願ヲシテ居リマス、水利權ノ小サナモノニナリマス、縣廳限リデアリマスカラ、是亦大田村デアアルカ、或ハ高山ト云フヤウナ、村落ノ出願シテ居ル區域ノ村長、若クハ有志者ヲ喚ビマシテ、同ジク此水利權ノ認可ヲ早く得タイト思フニハ、知事ノ意ニ副ウタ郡會ノ候補ヲ選出スルコトニ努力スルコトガ宜イト云フヤウナコトヲ言明シテ居ル、即チ當然行政官ノ盡スベキ任務デアルノニ、其權利ヲ濫用致シマシテ、其認可權ノ濫用ヲ以テ、サウシテ自己ノ黨派ニ投票ヲ得ントシタ此事實デス、是等ノ如キハ皆ナ土地ノ者ガ、餘リニ濫用モ甚シイト云フノデ憤慨シテ居ルノデアアル、是等ハ正シキ事實デアリマスカラ、特ニ此事ニ就テ明カナ答辯ヲ煩シタイト思フノデアリマス、更ニ此郡馬縣ニ於テ最モ甚シイノハ、極端ニ大芝知事ガ政友會關係デアリマスカラ、政友會ト云フモノニ努力ヲ致シテ居レバ、少シ位曲ッタ事デモ、便宜ヲ與ヘテヤルヤウナ事實ガ澤山ニアル、隨ッテ總テノ方面ニ官權ヲ濫用シテ居ル、其濫用ノ事實デス、與黨側ノ人ニ恩惠ヲ與ヘルコトヲ、明白ニ多數人ニ知レルヤウニヤッテ居ル、斯ノ如クシテ政友會ニ入レバ、適切ナル利益アルモノナリト云フコトヲ、民衆ニ知ラシメルヤウニヤッテ居ルノデアリマス、ソレデスカラ極ク小サナ事例デアリマスガ、群馬縣ニ於テハ今マデノ例ニ於テモ、郡長ナドノ死ニマシタ時ニハ、知事ガ會葬スルト云フヤウナコトモ無ク、部下ノ理事官位キヲ會葬サセルコトニナッテ知事ガ立會ッタト云フヤウナコトハ無イ位デアッタ、然ルニ御用新聞ノ一記者ガ死ンダト云フヤウナ



事ガアレバ——昨年ノ十二月デアリマスガ、其等ニ對シマシテハ、知事、並ニ警察部長、内務部長ト云フヤウナ者ガ殆ド——日曜日デナイ職務ヲ縣廳ニ出テ執ルベキ日デアアルニ拘ラズ、職務ヲ棄テ、サウ云フ方面ニ會葬スル位ニマデ、小サナ事ニ注意シテ居ル、所謂國ノ行政官吏ガ當然職務ニ從事スベキ其時間ヲ棄テ、サウシテ斯ウ云フ事ニマデ努力ヲシテ居ル、是モ小サナ事デアアルガ、矢張民衆ノ上ニ國家ノ行政官吏ガ、甚ダ穩ナラザル行ヲ私的ニヤツテ居ルト云フコトガ民衆ニ適切ニ利クノデアリマス、是等ノ點ハ、矢張行政官憲ト云フモノガ、官紀維持ニ於テ甚ダ頽廢シテ居ル事實ヲ證明シテ居ルノデアアル、是等ニ就テハ、民力涵養ヲ宣傳スル内務大臣トシテハ、由々シキ大事デアリマス、自分自ラハ人民ニ向ッテ、奉公ノ心ヲ養フベシト云フヤウナ事ヲ盛ニ唱ヘマシテ、自ラ國家ノ官吏トシテ爲ス所ノ事ハ、殆ド私的行動ヲ爲シテ恬トシテ顧ミナイ、サウシテ國民ガ粒々ノ汗ヲ絞ッテ出シタ其租稅ニ依ッテ衣食スル官吏ガ、斯ノ如キ行ヲシタトスルナラバ、民衆ノ觀念ト云フモノ所謂行政官ニ對シテ甚シク惡化シテ參リマスノハ、是ハ當然ノ事デアリマス、是等ハ床次内務大臣トシテハ、特ニ考慮ヲ要スベキ事デアラウト思フ、ソレカラ之ニ書イテアリマスガ其甚シイノハ——官紀ノ頽廢甚シキ實例ハ、公金ヲ橫領シタト云フ事實ガ盛ニ新聞ニ唱ヘラレタ其警察署長ヲシテ、恬然職務ニ居ラシムルト云フコトデアアル、是等ノ事モ諸君ノ眼カラ見タナラバ、小サイカモ知レマセヌガ、苟モ國政ヲ論議スル上ニ於テハ最モ注意スベキ事デス、是ハ何デアアルカト云フト、矢張選舉干渉ノ上ニ好ク働イタ警察ノ署長デアアルカラ、大目ヲ使ヒマシテ馘首スルコトモシナイデ、榮轉ヲサセテ使用シテ居ルト云フ事實、是ハドウ云フ事デアアルカト云ヘバ、大正八年ノ十二月ノ二十二日デアリマシタカ、群馬縣ニ起ツタ事實デ、群馬縣ノ碓井郡ノ安中警察ニ起ツタ事實デアリマス、不用品拂下ヲ致シマシテ、其拂下ヲシタ半額ト云フモノハ、警察ノ署長ガ懷中ニシテシマッタ、之ガ爲ニ部下ノ巡查三名ガ申報ヲ致シマシタ、所ガ申報シタ其巡查ハ譴責ヲ受ケ、サウシテ直チニ轉署ヲサセラレタト云フ、サウ云フ譯デアリマス、所ガ其安中ノ署長タル野木村ナル者ハ轉署モサレナイデ其盡其處ニ居ッテ、暫ク經ッテカラ會計法違反トシテ、若干ノ罰金ヲ科セラレタノミデ、其後時ヲ經テ沼田ノ警察署長ニ榮轉ヲシタト

云フ事實デアアル、是等ハ此問題ガ翌年ノ二月ニ發覺致シマシテ、二月ノ報知新聞ヤラ、地方ノ新聞ニ橫領署長トシテ有名ナルモノデアッタ、而モ是等ノ問題ガ人民ノ惡事ヲ時ニハ摘發シ、時ニハ惡事ヲ未然ニ防グ警察官憲ガ斯様ナ事ヲ行ッテ、之ヲシテ當然糺スベキ事ヲ糺サヌデ、サウシテ却ッテ榮職ニ居ラシメルト云フヤウナコトハ、國ノ行政ノ權威ノ上ニ、恐ルベキ結果ヲ招クデハナイカト私ハ斯様ニ思フ、之ヲシモ與黨ニ便宜ナル働ヲシタカラ其儘使ッテ置クト云フコトナラバ、國家ノ行政機關ト云フモノハ、實ニ將來恐ルベキモノデアルト私ハ思フ、更ニ驚クベキモノハ、群馬縣ニ於テハ縣費ノ不法支出ヲ恬然ヤツテ居ル、民力ノ涵養ヲ宣傳シ、殊ニ官紀ノ振肅ヲ時々唱ヘテ居ラル、内務大臣ノ下ニ、縣費ノ不法支出ヲ敢テシテ、是亦内務大臣ガ更ニ之ヲ顧ミナイト云フニ至ッテハ、驚カザルヲ得ナイ、是モ理窟ヲ言フヨリハ、事實ヲ申上ゲテサウシテ内務大臣ノ答辯ヲ得タイト思フ、ソレハ昨年ノ四月縣道廢止ニナリマシテ、所謂縣費支辨ト云フ從來縣道デアッタ所ノ其廢道ニナッテ、今日ハ一種ノ里道ニナッテ居ル、其里道ニナッテ場所ヲ、平氣デ縣知事ガ此方面ニ向ッテ縣費ヲ支出シテ居ル事實ガアル、何故ニ是ハ出シテ居ルカト云フト、此方面ノ縣道ハ廢止シタガ、一箇年縣道ヲ廢止シテ其沿道ノ者ニ直接ニ苦痛ヲ與ヘテ、其間其苦痛ニ對シマシテ、政友會ニ入レ、政友會ニ入ッタナラ、其苦痛ヲ免レルト云フ適切ナル事實ヲ人民ニ知ラシメテ、サウシテ與黨ノ效能ヲ發揮スルト云フ爲メニ斯様ナ策ヲ執ッタ、ソレガ爲メニ即チ一箇年縣道ヲ廢止シテ、縣費支辨ヲ中止シテ置キマシテ、舊道路ヘハ唯ダ隠レテ此方面ニ縣費ノ支出ヲシタト云フ、斯ウ云フ事實デアアル、ソレハ場所ハ何所デアリマスカト云フト、所謂以前縣道ノ名ニ於テハ十石峠ト申シマス、是ハ昨年ノ大正九年ノ四月ヨリ縣道ヲ廢シテシマッタ、即チ縣費支辨道デナイ場所ニ道路工夫ヲ此處ニ配置シテ置キマシテ、サウシテ、道路ノ修理ヲサシテ置キマシタ、今日唯今モシテ居リマス、是ハ縣道デモ何デモナイ、更ニ又豐岡、中野道ト云フモノガアル、是モ亦其中デ豐岡、里見間、此間ヲ廢道ニシテシマヒ、昨年ノ四月ヨリ廢止シテ、現在廢道デ縣道デモ何デモナイ、其場所ニ矢張縣費支辨トシテ、道路工夫ヲ配置シマシテ修理修繕ヲサセテ居ル、是ハ縣費支辨ニスベキ場所デナイ所ニ、縣費ヲ支辨ヲシ



テ居ル、此半面ヲ見レバドウダト云ヘバ、是ハ將來人民ヲ遊説致シマシテ、政友會ニ入ッタナラバ  
 縣道ニ入レテヤルト云フ一ツノ謎デアッタ、其爲メニ果タセル哉昨年ノ十一月、十二月ニ開カレ  
 タ群馬ノ縣會ニ於テ、此兩方ノ場所ハ沿道ノ者ガ政友會ニ入ッタ爲メニ、縣道ニ編入ノ諮問案ヲ  
 出シマシテ決議ニナッタ、今マダ是モ内務省ニ認可申請ヲシテアル、併ナガラ現在ハ昨年ノ四月  
 ヨリ今日ニ至ルマデ、マダ縣道デアリマセズ、此縣道デナイ所ニ縣費支辨ノ道路工夫ヲ配置シテ、  
 修繕修理ヲ爲サシメテ居ルト云フコトハ、是ハ不法支出デ——支出スベカテザル所ニ縣費ヲ支  
 出スルト云フコトハ不法支出デ、此不法支出ヲ爲サシメテ、内務大臣ハ如何ナル監督ヲ此點ニ於  
 テ爲スツテ居リマスカ、此點ニ於テ私ハ伺ヒタイト思フ、其次ニハ教育問題ヲ利用致シマシテ、盛  
 ニ黨勢擴張ヲシテ居ル、事實是ハ各府縣ニ澤山アリマスカ、事例ヲ澤山舉ゲマスレバ時間ガ經チ  
 マスカラ、唯一簡所ダケ申上ゲヤウト思フ、是ハ群馬縣ガ機業地デアル有名ナル桐生デアリマス、  
 桐生ニ町立中學校ガアリマス、其桐生ノ町立中學校ハ大正八年ニ於テ群馬縣ノ縣會ガ、縣立ニ引  
 直シテ貫ヒタイト云フコトヲ決議シテ居ル、然ルニ此所ヨリ出テ居ル縣會議員ハ非政友デアリ  
 マス、ソレガ爲メニ大正八年ノ縣會ニ於テ、九年度ニ縣立ニ引直シテ貫ヒタイト斯様ナル決議ヲ  
 致シテ、更ニ此引直スニ就テノ手續ハ、縣參事會ニ委任スルマデノ決議ヲシテ居ルニモ拘ハラズ、  
 大正九年度ニ縣立ニ編入ヲシナカッタ、所ガ昨年ノ縣會ニ於テモ此實ガ見ヘナカッタデアリマ  
 ス、然ルニ此町立ノ中學校ヲ縣立ニ引直スニ就テハ、某土地ノ縣會議員ガ政友會ニ入り、其土地  
 ノ有力ナル人ガ政友會ニ入ルナラバ、縣立ニシテヤルト斯ウ云フコトデアアル、同時ニ足利ハ——  
 所謂桐生、足利ハ兩々相並ンデ居ル場所デアリマスカラ、足利ガ市制ニナリマシタニ就テ、桐生  
 モ今度市制ニナラネバナラヌト云フノデ、是亦此點ニ大芝知事ガ附入りマシテ、桐生ニ市制ヲ實  
 行スル上ニ於テモ努力シテヤル、其期間ノ如キハ二月十日マデニハ認可ヲ取ツテ、二月ノ十一日ニ  
 ハ市制實行ノ祝宴會ガ開カレルヤウニ努力シテ、ヤルト云フマデ約策シテ、サウシテ此方面ノ有  
 方面ノ有力家ヲ政友會ニ入レルコトニ努力ヲ致シタデアリマス、其事柄ハ昨年ノ縣會カラヤッ  
 テ居リマシテ、昨年ノ縣會中十二月ノ十日ノ日ニハ、從來桐生ニ於テハ縣會議員一同ヲ招ク招待

會ガ何時モアルノデアリマスガ、此年ニ限ッテ慣例ヲ破ッテ政友會與黨ノ人ダケヲ招イテ、サウシ  
 テ此時ニ桐生ノ町立中學校ヲ縣立ニ昇格シテヤル、市制ヲ來年ノ二月十一日カラ實施サセテヤ  
 ルト云フコトノ條件デ、サウシテ招待會ヲ催シタノデアリマス、而モ知事ガ此時演説シテ曰ク、  
 此御馳走ヲ戴イタ以上ハ喰逃ハ致サヌト言ハレテ居ル、是ハ新聞ニモ記載サレテ明白ナ事實デ  
 アル、知事トモアラウ者ガ、御馳走ヲ戴イテ喰逃ハ致サヌト演説シテ居ル、即チ喰逃ハシナイデ、  
 其報酬トシテオ前達政友會ニ入ッたら、桐生ノ町村中學ヲ縣立ニ引直シ、更ニ市制ヲ二月十一日  
 ニ實施スルヤウニ手續ヲシテヤルト、斯ウ云フコトデアアル、是等ハ明カナル事實ニシテ、當時有  
 カナル此土地ノ森宗作トカ、書上トカ云フヤウナ人達ガ入りマシテ、更ニ其翌年ノ即チ本年ノ一  
 月ヲ以テ、私共ハ同ジ歩調ヲ執ッテ居ッタ前原良太郎ト云フ縣會議員、即チ縣參事會員ガ政友會ニ  
 入會サレタノデアリマス、是ハ明ニ申シテ居ル、自分ハ其晩節ヲ汚スコトハ嫌ダ、ケレドモ土地  
 ニ市制ヲ實施スルコト、町立ヲ縣立ニ引直シテ吳レルト云フ、此事ガ官憲ノ手デ一日モ早ク出來  
 ルト云フコトデ、ソレガ縣會議員デアアル我レ一個人ガ入黨スレバ宜シイト云フコトデアレバ、桐  
 生市ノ爲メニ涙ヲ吞ンデ犠牲ニナルト、斯ウ云フコトデ知事ト默契ガ濟ンデ入黨致シタノデア  
 リマス、是ハ薄弱ニ非ズシテ、其土地ノ利益ヲ圖ル爲メニ、其前原良太郎ナル者ハ、已ムヲ得ズ四  
 圍ノ狀勢ガ斯ウシナケレバ、土地ノ爲メニ不利益ダカラヤッタノデ、サウ爲サシメタ者ハ誰ダト  
 云ヘバ、官權ヲ濫用シタ所ノ知事ガ斯様ナルマデニ致シタノデアアル、即チ民力ノ涵養ヲ宣傳スル  
 其手先ニ働イテ居ル知事ノ如キモノガ、斯様ナル官權ノ濫用ヲ致シマシテ、而シテ黨勢ノ擴張ヲ  
 致スト云フコトハ、行政官トシテアルベカラザル事ト私ハ思フ、政務官ナラバ格別デス、行政官  
 ハ一種ノ事務官デアリマスカラ、ソレガ政黨ヲ云爲シテ政黨擴張ノ爲メニ努力スルト云フコト  
 ハ、爲スベカラザル事デアアル、而モ斯様ナル事ヲシテ居ル、更ニ又嫌ラナクテ、是ダケデハマダ政  
 友會ト云フモノガ實權ヲ——機業地タル有力ナル桐生ノ實權ヲ握ルコトガ出來ナイ爲メニ、所  
 謂桐生織物組合ニマデ干涉シテ居ル、是等ハ東京ノ新聞ニ出テ居ルカラ御知りデアリマセウ、  
 即チ織物組合ガ昨年十二月ノ二日ニ組合員ノ選舉ヲ致シテ、選出ノ役員ノ認可申請ヲシテ居ル







斯ウ云フコトデ脅威ヲ致シタ、中ニハ已ムラ得ズ人民ガ政友會ニ入りマシテ、四月廢道ニナッタ場所ガ、政友會ニ入會シタ爲メニ復活シタ場所モアル、是モ亦一例ヲ擧ゲルナラバ、昨年四月政友會ナラザル、即チ憲政會關係方面ノ道路ガ廢道ニナッタ場所ガ五箇所アル、即チ三國後閑道、十石峠道、澁川原町道、豊岡中野道、草津澤渡道、斯ウ云フ方面ノ一部廢止ニナッタ所モアリ、全部廢ササレタ所モアル、是等モ皆憲政會ニ關係ノ場所デアリマス、此五線路ノ中デ、政友會ニ入ッタ爲メニ昨年ノ暮ニ兎モ角モ縣道ニ入ルト云フ諮問案ニ知事ガ編入ヲ致シテ、昨年ノ縣會ニ掛ケタ場所ガ二線アル、即チ三國峠、豊岡中野線ハ、沿道ノ者ガ政友會ニ入ッタ結果トシテ、昨年四月ヨリ現在廢道ニナッタモノモ、一箇年間廢道ノ苦痛ヲ人民ニ與ヘタ、其苦痛ノ結果、今日ハドウカ斯ウカ政友會ニ已ムラ得ズ入ラウト云フノデ、人民ガ入ッタ結果、是ガ縣道編入ノ諮問案ガ可決ニナッタ、是ガ今内務省ニ認可申請ニナッテ居リマス、是等ハ道路法ヲ適當ニ運用致シマセヌデ、黨勢擴張ノ爲メニ知事ガ惡シク運用致シタ、正シキ證據デアリマス、是等ハ亦内務省ニ土木局ナルモノガアリ、又道路課長ナルモノガアッテ、相當ノ頭ノ人ガ之ニ向ッテノ認可權ヲ運用シテ居ルモノト私ハ思ッテ居ル、然ルニ内務省ハ知事ガ亂暴ナル縣道諮問案ヲ決議サシテ、其認可ヲ申請シテ來レバ、之ニ向ッテ所謂認可權ヲ正シク運用ヲ致サナイデ、唯ダ唯ダ黨勢擴張ノ意味ニ縣道ガ擴張ニナレバ、ソレヲ其儘内務省、即チ内務大臣監督ノ下ニ在ル土木課長、道路課長ハ、之ヲマンマト認可ヲ致シテ居ルト云フコトハ如何ナル意義デアルカ、此點ヲ特ニ道路法實施ノ本旨ニ副ハナイ所ノ意義ヲ、内務大臣ニ承ッテ見タイト思フ、要スルニ私ガ斯ウ云フコトヲ申上ゲマスノハ、嚮ニ申上ゲマシタヤウニ、唯ダ自己一個ノ問題デアナイ、國ノ行政官ガ政友會ノ行政官デアルカ、國家ノ行政官デアルカト云フコトヲ人民ガ此頃疑ッテ來タ、此點ハ恐ルベキ結果ニナルノデアリマス、至ッテ小問題ノヤウデアリマスケレドモ、是ガ民心ヲ惡化セシムルコトハ偉大ナルモノデアアル、現在私ノ知ッテ居ル範圍ニ於テ當然縣道ニ入ルベキモノガ、知事ガ政黨的色彩ノ爲メニ、縣道ト云フモノニ落第ヲシテ廢道ノ苦痛ニ遭ッテ居ル、而モ其土地ノ人民ハ皆ナ同ジク縣費ヲ負擔シテ居ル、ソレデアルカラ理解アル所ノ人民ハ近來盛ニ憤慨致シテ居リマシテ、同

ジク縣費ヲ負擔シテ居リナガラ、甲ハ縣費ノ惠澤ニ浴シ、乙ハ縣費ノ惠澤ニ浴サナイト云フコトハ、大正ノ御代ニアリ得ベカラザル事デアアル、斯様ナル事ガアルナラバ、萬已ムラ得ヌカラ、所謂大正十年四月ヨリハ結束シテ、全村擧ッテ縣稅ヲ納メルト云フコトハ止メニシヤウト憤慨シテ居ル町村ガ幾ラモアルノデアアル、内務大臣ハ盛ニ思想問題ヤ何カニ就テ御心配ニナッテ居ル、外來ノ思想ガドウデアアル、社會主義ガドウデアアルト言ッテ御心配ニナッテ居ルガ、私ハ斯様ナ問題ハ左迄心配ハシナイ、サウ云フコトヲ云々スル人ハ、相當ニ能力アルノデアアルカラ、日本ノ國情ニ稽ヘテ左迄心配ハナイト思フガ、直接人民ヨリ租稅ヲ取ッテ、其租稅ヲ取ッテ行政官ノ行ガ、甲ニハ厚クシテ、乙ニハ冷淡、而モ冷酷ナル取扱ヲ與ヘテ居ルト云フコトニナリマス、租稅負擔ノ意義ヨリ考ヘテ、今申スヤウニ一部ノ町村ガ縣費ヲ負擔スルコトハ、甚ダ馬鹿氣ヲ居ルト言ッテ、縣費不納ヲ四月ヨリ致サウトマデ有力家ガ協議シテ居ルニ至ッテハ、是程民心ノ惡化ハ無イト思フ、内務大臣ノ言フ思想問題ト、所謂外カラ來ル過激派思想、社會主義ニ非ズシテ、内務大臣ノ監督ノ下ニ在ル行政官ガ、偏頗ナル處置、所謂政黨的色彩ヲ以テ、偏頗不公平ナル行政事務ヲ事實ノ上ニ於テ行フガ爲メニ、國民ニ惡シキ所ノ觀念ヲ與ヘ、之ガ爲メニハ稅租ハ國民ノ義務デアアルト云フ此大切ナル義務ヲデス、斷然止メニ致シテ縣費ハ納稅致サナイト云フヤウナコトヲ、有力ナル町村ノ人ガ申出ルニ至ッタ、斯ウ云フ思想ガ一番恐ルベキモノデアアルト私ハ思フ、此點ハ所謂一黨一派ノ問題デアリマセヌ故ニ、政友會ガ民間ニ下リマシテ野黨トナリマシテモ、憲政會ガ政權ヲ握ッテ朝黨トナリマシテモ、兎モ角モ町村自治ト云フモノハ最モ重キヲ置ガナケレバナラヌ、更ニ進ンデ府縣行政ト云フモノヲ、唯ダ政務官ノ手足ニノミ使ッテ、政黨擴張ノ道具ニ行政官ヲ使フヤウニナリマスレバ、モウ世ハ末トナリマシテ、唯ダ民心ヲ惡化シテ、國ノ行政ト云フモノ、權威ハ無クナルト私ハ思フ、如何ニ議會ニ絶對多數ヲ持チマシテモ、一步門ヲ出タナラバ、所謂此黨利黨慾ヲ以テ行政權ヲ濫用スルコトニナリマスナラバ、絶對多數ノ政友會諸君ノ立場モ無クナルト私ハ思フ、是ハ御互冷靜ニ考テ戴イテ、行政官廳ト云フモノヲ、御互ガ相當ヲ信用アリ、權威アルモノタラシメナケレバナラヌ、唯ダ黨勢擴張ノ爲メニ行政官廳ヲ利用スルト云フ



ガ如キ淺マシキ心掛ハ、止メニシテ戴キタイト私ハ思フ、ソレ故ニ私ガ内務大臣ニ特ニ伺ヒタイノハ、内閣大臣中世間ヨリ認メラレテ幾分カ智識アリ、相當見識アリト云ハル、内務大臣ガ部下ノ行政官憲ヲ政黨ノ方面ニ使ツテ、偏頗不公平ナル所ノ行爲ヲ致サシメルト云フコトハ、實ニ國家將來ノ爲メニ恐ルベキ事ダト私ハ思フ、既ニ民力涵養ヲ宣傳シテ居ラレル床次内務大臣ハ、特ニ此點ニ就テ一般ノ御考慮ヲ要セラレマシテ、私ガ伺ヒマシタ問題ハ僅カナル問題デアルガ、是ハ事實デアル、所謂事實ハ雄辯デス、此點ニ向ッテ明白ナル答辯ヲシテ戴キタイト思フノデアリマス

之ニ對シ床次國務大臣ハ三月八日書面ヲ以テ左ノ答辯ヲ爲セリ

一 選舉執行並取締ハ最モ公平ニ行ハレタリト信ス質問ノ如ク干涉ノ壓迫ヲナシ或ハ投票ヲ偽造シ或ハ又故意ニ不正ノ手段ヲ弄シテ當選人ヲ決定シタル事實ナシ

二 黨勢擴張ノ爲メ町村自治ヲ攪亂破壊セシコトナシ質問ノ群馬縣吾妻郡高山伊參兩村長ハ職務ヲ怠ル等村民非難ノ聲高カラムトスルニ及ヒ退職シタルモノニシテ政黨入會ヲ強制シテ辭職ノ已ムナキニ至ラシメタルモノニアラス

三 官紀ノ振肅ニ關シテハ機會アル毎ニ之ヲ促シ適當ナル監督ヲ行ヒ居レリ質問ノ群馬縣土木課長ハ偶縣會議員選舉當時風水害被害狀況視察ノ爲メ出張シタルコトアルモ選舉ニ干涉セシメタル事實ナキハ第四十三議會ニ於ケル質問ニ對シ答辯セシ通ニシテ又同縣下安中警察署長ガ公金ノ取扱ヲ爲スニ當リ會計法上ノ手續ヲ誤リタルコトアリシモノ之ヲ横領費消シタル事實ナ

キハ勿論縣道ヲ廢止セシ沿線ニ特ニ道路工夫ヲ配置シタル事實ナシ

四 道路問題教育問題等ヲ利用シテ政黨擴張ノ具ニ供シタルコトナシ

府縣道ノ認可ハ常ニ路線ノ位置其他關係地方開發ノ要否等慎重調査ヲ爲シ居レリ從テ質問ノ如ク群馬縣下ニ於テ關係地方ノ政黨異動ニ依リ不正ニ道路法ヲ運用シ或ハ故意ニ縣道編入ノ遲延ヲ計リタル事實アルヘキ等ナシ又吾妻郡立實科高等女學校教員ノ退職ハ全ク本人ノ意思ニ基クモノニシテ桐生中學校縣立引直ノ件ハ手續遲延ノ爲メ大正九年中ニ實現スルコト能ハサリシモ本年既ニ其ノ實現ヲ見其ノ間何等政黨擴張ニ利用シタルカ如キ事實ナシ

五 桐生織物組合役員ニ就テハ其ノ選舉ニ關シ不正ノ行爲アリ目下前橋地方裁判所ニ於テ審理中ナルノミナラス役員ノ進退ニ關シテ紛糾中ニ在リ爲メニ未タ認可ノ運ヒニ至ラサルモ之ヲ黨派ノ犠牲ニ供セル事實ナシ

右ニ對シ木檜三四郎君ハ意見ヲ述ヘタリ

一三 西伯利派遣軍並薩哈噠州占領軍ニ關スル質問

西伯利派遣軍並薩哈噠州占領軍ノ情況ヲ國民一般ニ知悉セシムルハ喫緊ノコトナリ殊ニ左記諸項ノ如キハ具體的ニ公表スルヲ至當ナリト認メサルヤ若至當ナリトセハ此ノ機會ニ於テ書而ヲ



以テ詳細ナル説明ヲ附シ答辯アラムコトヲ望ム

- 一 民舎ハ兵營ニ於ケル駐屯ノ情況
- 二 防寒ノ設備、防寒具ノ支給
- 三 勤務練兵娛樂
- 四 風紀軍紀
- 五 交通(水陸並無線電信)
- 六 運輸(港灣、船舶ノ數及噸數、碎氷船)
- 七 衛生(患者ノ數及種類)(敦賀港檢疫所ハ頗ル完全ニ落成シアルニ拘ラス數箇月間一人ノ檢疫ヲ受ケタル者ナシト聞ク其ノ理由如何)
- 八 給養(飲食物ノ種類)
- 九 氣象並氣溫
- 十 土民並外國人トノ關係

十年一月二十七日仙波太郎君ハ右質問主意書ヲ提出シ趣旨辯明ヲ省略セリ之ニ對シ内田、田中各國務大臣ハ三月十八日書面ヲ以テ左ノ答辯ヲ爲セリ

浦潮及薩哈噠州派遣軍ノ情況

第一 民舎若クハ兵舎ニ於ケル駐屯ノ狀況

一、兵營ノ情況

イ、浦潮派遣軍

大正八年四月我派遣軍改編ノ當初ハ列國軍ノ駐屯ト避難民ノ集合等トニヨリ一般家屋ノ不足ヲ訴ヘツツアリシモ大正九年四月露軍ノ武装解除實施以來露國官憲ノ建築物ハ我軍ノ任意使用ヲ許スニ至リシヲ以テ部隊ノ收容ハ大ニ寛裕ナラシムルヲ得目下殆ント皆完全ナル露國煉瓦造兵營ヲ使用シ唯高等司令部及之ニ伴フ職員宿舍ノ一部ノミ位置ノ關係其ノ他ノ爲メ民有家屋ヲ借入レ使用シツツアリ而シテ建物内部ノ設備ハ實用ヲ主トシ且過去冬營ノ經驗ニ依リ其ノ改善ヲ計リタルヲ以テ冬營上何等ノ支障ナシ

ロ、薩哈噠州派遣軍

兵營其ノ他ノ建築ハ昨年八月上旬其ノ工ヲ起シ同年十月中旬之ヲ完成セリ其ノ新築建物ハ約八千七百餘坪ニシテ露國官有建物ヲ修繕應用セルモノ約一萬一千六百餘坪ナリ兵室ノ幅員ハ一人當リ約一坪二合ニシテ其ノ割合ハ内地兵營ト異ナルコトナシ而シテ今回新築セシ建物ハ全部木造ニシテ各部ヲ防寒構造トナシ以テ冬營上遺憾ナキヲ期セリ即チ一部ハ校倉



式丸太組、大部ハ基礎ヲ丸太組トシ建物脚部周圍ニ盛土ヲ爲シ壁ハ厚板二重張内部ニ建築紙ヲ張り乾土ヲ填充シ床及天井モ亦二重厚板張其ノ間ニ乾土ヲ填充シ以テ防寒效力ヲ完全ナラシメタリ又露國在來ノ建物ハ總テ丸太組校倉式防寒構造ナルヲ以テ之カ修繕ハ屋根及内部ノ補修ニ止メタリ

二、駐屯ノ情況

以上述ヘタルカ如ク兩派遣軍ノ兵營ハ比較的完全ナルモノニシテ其ノ駐屯ノ情況ハ別紙要圖ノ如シ

第二 防寒ノ設備、防寒具ノ支給

一、防寒ノ設備

派遣軍ノ營舎ニハ全部採暖用トシテ露式煖爐若クハ置煖爐等ヲ備付ケ其ノ燃料ハ石炭及薪ヲ用ヒ不足ナク給與(露式煖爐一箇ニ付一日石炭十三貫若クハ薪二十五貫、置煖爐一箇ニ付石炭十貫、若クハ薪二十貫内外)シツ、アルヲ以テ極寒時ト雖何等支障ナキノ情況ニアリ而シテ其ノ燃料ハ西伯利及亞港附近ニ在リテハ現地ニテ購買シ需用ヲ充足シ得ヘク又之カ調辨困難ナル北樺太東海岸所在部隊ニ對シテハ結氷前冬季間所要量ノ追送ヲ了シアルヲ以テ何等懸念スヘキコトナシ

二、防寒具ノ支給

通常冬季用被服一揃(第八參照)及寢具用毛布四枚宛(薩哈噠州派遣軍ニハ木綿蒲團一枚宛ヲ加フ)ヲ給スルノ外防寒被服トシテハ從來ノ實驗ニ基キ制定シタル毛皮製ノ帽、胴著及羊毛製ノ襦袢、袴下、手套、靴下等將校下士卒總テ同様ノモノヲ各人ニ支給シアリ其ノ防寒被服ノ品目員數左ノ如シ

防寒 帽(兜形、毛皮裏附)

一箇

同 襦袢袴下

毛「メリヤス」厚地製

一組

同 手套

二組

同 靴下

二組

同 大手套(手套ノ上ニ襲用ス表地絨、毛皮裏附)

一組

同 胴 着(表地綿布、毛皮裏附)

一箇

同 襟(表地絨、毛皮裏附)

一箇

同 半 袴(袴ノ上ニ襲用ス表地綿布、毛皮裏附)

一箇

同 靴(表地防水綿布、毛皮裏ヲ附シ滑止メノ爲メ底部「フェルト」張)

一組

右ノ内薩哈噠州派遣軍ニハ、胴著ヲ支給セサルモ普通外套ト略、同制式ノ毛皮裏外套ヲ支給シ又靴ハ厚地「フェルト」製長靴トシ特ニ本「ネル」製襦袢、袴下ヲ貸與ス



又歩哨勤務等極寒時ノ屋外勤務ヲ顧慮シ懷爐及同灰ヲ追送給シツツアリ  
以上ノ如ク室内ニ於ケル採暖ハ勿論屋外勤務ノ際ニ於テモ防寒ニ支障ナキ様防寒具ノ給與ヲ實  
施シアリ

### 第三 勤務、練兵、娛樂

#### 一、勤務

嘗テ浦潮派遣軍カ黒龍、貝加爾地方迄モ作戰セシ當時ニ於テハ兵力ニ比シ行動ノ範圍甚々大  
ニシテ而モ情況暗澹隨所戰鬪行動ヲ必要トセシ爲メ我將卒ノ努力ハ實ニ絶大ニシテ克ク筆舌  
ヲ以テ盡シ能ハサル所ナリシカ皇軍ノ威力ニ依リ極東露領ノ情況逐次安定シ之ト共ニ昨夏後  
貝加爾地方ノ撤兵ヲ行ヒ引續キ哈府方面ノ駐兵ヲ撤シテ浦潮附近沿海州南部ノ小地域ニ其ノ  
守備線ヲ縮小シタルカ故其ノ勤務ハ漸次輕減セラレ目下ハ一般ノ警戒、居留民護衛及交通線  
ノ保護等概シテ平穩ナル守備勤務ニ服シツ、アリ然レトモ所謂「バルチザン」、不逞鮮人若ク  
ハ無賴ノ徒輩等所在出沒シテ危害ヲ加フルヲ以テ此等ニ對スル警戒討伐等ノ爲メ我將卒ノ奮  
勵苦心察スヘキモノアリ

樺太方面ハ浦潮方面ニ比シ情況更ニ平穩ニシテ其勤務ハ一般警戒ノ外郵便物遞送ノ護衛ナリ  
而シテ宿營力ノ關係上駐屯部隊ノ小ナル地ニ在リテハ此ノ特種勤務ノ爲メ下士卒ノ努力甚々

大ナルカ故時々部隊ヲ交代セシメ其ノ勤務ヲ平均シツ、アリ

#### 二、練兵

守備勤務ノ性質上部隊ヲ各所ニ分駐スルノ已ムヲ得サルモノアルカ爲メ又其勤務ハ內在屯在  
ノ部隊ニ比シ著シク繁多ナルカ爲メ充分ナル練兵ヲ實施スルコトハ不可能ナル状態ニアリ然  
レトモ教育ハ軍ノ任務遂行上須臾モ忽ニスルヲ得サルカ故銳意之カ實施ニ努メ教練、射擊、陣  
中勤務等ハ勿論特ニ比較的大部隊ノ集團駐屯セル地方ニ於テハ稍、大規模ノ行軍並野外演習  
等ヲ實行シツツアリ

#### 三、娛樂

浦鹽ニハ慰問俱樂部アリテ屢、各種ノ興業ヲ實施シ下士卒ヲ無料入場セシメ又日本基督青年  
會ノ娛樂場アリテ隨時新聞雜誌ノ閲讀、圍碁、將棋ノ娛樂ヲ爲シ得シムル等ノ設備アリ其ノ他  
ノ地方ニ駐屯スル部隊ニ在リテハ時ニ渡航シ來ル演藝者ヲシテ若干各隊ヲ巡廻演奏セシムル  
コトアルモ概ネ勤務演習ノ餘暇ニ於テ蓄音機、圍碁、將棋若クハ兵卒中ノ好者カ浪花節、落語、  
琵琶等ヲ行フコトアルニ過キス

尙將卒ノ犒勞慰安ノ爲メ清酒、煙草、甘味品等ノ加給品ヲ給與シ(第八給與參照)又各隊ニ酒保  
ヲ設ケテ廉價ニ各人ノ需要嗜好ニ應セシメ併セテ其慰安ニ資シツツアリ



又大正七年八月二十一日陸軍省告示ヲ以テ恤兵事務開始ニ關シ公示シ爾來陸軍大臣官房ニ於テ其事務ヲ取扱ヒツ、アルカ出征者ニ對スル國民ノ同情厚ク金品寄贈ノ情況(略)

右ノ如ク大正九年末迄ニ金員合計二五七、八四〇圓五四〇、慰問袋六六八、七〇一箇外ニ慰問品トシテ價額約五五、〇〇〇圓ノ多額ニ上レリ而シテ慰問品ノ内容ハ新聞、雜誌、繪葉書、酒、煙草、菓子、碁、將棋、日用雜品等ニシテ金員モ亦此種物品ヲ購入シ昨年末迄ニ西伯利方面ニ二十五回、薩哈噠方面ニ八回發送分配セリ、即チ一箇月一人當約三十錢内外ノ物品ト慰問袋約一個受領ノ割合ニシテ出征者ハ此熱誠ナル國民ノ同情ニ對シ頗ル感謝ノ意ヲ表シ陣中ノ勞ヲ慰メ餘暇ノ娛ヲ爲サシムルニ甚大ノ效果ヲ收メツツアリ尙恤兵金品受領ノ際ハ隨時官報ノ廣告ニ依リ發送ノ際ハ新聞雜誌ニ寄稿シ掲載方取計ヒツツアリ

#### 第四 軍紀、風紀

兩派遣軍ノ軍紀、風紀ハ確實ニ保持セラレ軍隊内ノ思想ニ動搖ヲ生スルカ如キ傾向ハ之ヲ認メス而シテ駐屯長キニ互ルモノ等ノ内ニハ間々軍人ノ本分ニ背キ不法行爲ヲ敢テシ或ハ凱旋後不平ノ口吻ヲ漏ス等若干ノ不心得者アルカ爲メ世上西伯利駐屯軍隊ノ思想惡化ヲ云爲スルモノアルカ如キモ是レ多クハ故ラニ事實ヲ誇張シテ爲ニセントシ若クハ特ニ過激主義者等カ帝國軍隊ヲ攪亂シ其ノ主義ヲ宣傳セントスル奸策ニ過キスシテ事實軍隊ハ健全ニ服務シ何等憂

慮スヘキ情況ニアラサルノミナラス一面ニ於テハ却テ忌ムヘキ過激主義ノ慘劇ヲ目撃シテ深ク其ノ覆轍ヲ戒メツツアルモノアリ然レトモ近代思想ノ傾向ニ就テハ深甚ノ注意ヲ拂フヲ要スルヲ以テ各部隊長ハ嚴ニ部下ノ非違ヲ戒飭スルト共ニ其ノ誘掖指導ヲ適切ニシ益、軍紀、風紀ノ緊肅ヲ圖リ帝國軍隊ノ威信ヲ保ツニ於テ遺憾ナキヲ期シツツアリ

#### 第五 交通

##### 一、西伯利方面

西伯利出兵ノ當初日、英、米、佛、支等ノ聯合各國ニ於テ協定セシ西伯利鐵道管理ニ關スル取極ハ目下尙依然存續セラレ我委員ハ東支南線、尼市以北ノ烏蘇里鐵道及黑龍鐵道ヲ管理シ米國委員ハ「オムスク」鐵道、後貝加爾鐵道、東支本線、及烏蘇里鐵道ノ一部ヲ管理スヘキコトトナリアルモ米國ハ昨年六月哈市及浦潮ニ少數ノ委員ヲ殘置シ其ノ他ヲ總テ歸還セシメ我國亦哈府ノ撤兵ト共ニ同地ニ在リシ管理委員ヲ引上ケシメシカ故ニ目下事實上聯合國管理ノ行ハレツツアルハ東支鐵道、及烏蘇里鐵道ノ一部ニ過キサル状態ナリ

又別ニ陸軍ハ其ノ駐屯地域内ニ於ケル鐵道交通及通信業務處理ノ爲メ目下野戰交通部、臨時鐵道隊及臨時通信隊ヲ派遣シ且「エフゲネフカ」浦潮間、「ボクラニーチナヤ」浦潮間、蘇城支線及哈市以東並以南ノ東支鐵道ニ於ケル重要ナル停車場ニハ我停車場司令部及所要ノ機關ヲ



配置ス

尙昨年四月上旬沿海州ニ於ケル露軍ノ武装解除事件ト共ニ烏蘇里鐵道沿線ノ過激派軍ハ殆ント全線ニ互リ鐵道電線ノ破壊ヲ行ヒ且總テノ勞働者及鐵道從業員罷業シ交通機關全ク停止スルニ至リシヲ以テ我派遣軍ハ自ラ之カ修理ヲ爲シ多大ノ苦心ト勞力トヲ以テ五月末浦潮ヨリ哈府ニ至ル間ヲ完成セリ而シテ「イマン」以南ハ全ク我軍ニ於テ復舊セシモノナルカ故ニ此ノ區間大部ノ鐵道運行ハ爾來引續キ軍ニ於テ實施セシカ露國當局ヨリ頻ニ其ノ還付ヲ請願シ來リシヲ以テ第十四師團ノ哈府撤退ト共ニ之ヲ還付セリ

尙現在ニ於ケル鐵道交通ノ状態ヲ述フレハ左ノ如シ

イ、東支線

東支本線ノ昨年十二月中ニ於ケル一般交通列車運行數ノ平均一日概シテ五列車ニ達シアルモ最近舊ノ「セメノフ」軍及「カッペリ」軍ニ屬セシ避難者輸送ノ不規則ナル運行ト互塞トノ影響ヲ受ケテ列車運行ノ遲延減少多ク又一般經濟上ノ不況ニ關聯シ鐵道ノ經濟状態ハ益々不良トナレリ

ロ、浦潮附近及烏蘇里線

我軍行動地域内一般ノ運行状態ハ概シテ良好ニシテ一般交通列車ノ一日平均運行回數ハ浦

潮尼市及浦潮「ボクラニイチナヤ」間約五列車、尼市「エフゲネフカ」間約二列車、蘇城支線約三列車ナリ然レトモ其ノ經濟状態ハ甚タ不良ニシテ燃料ノ支拂ニモ窮シ動、モスレハ之カ供給ヲ謝絶セラレントスル情況ニアリ

ハ、日本軍守備地域外ノ交通情況

烏蘇里線中「イマン」以北ハ日々定期列車一往復ノ運行アルモ線路ノ衰損、輪轉材料ノ不足甚シク其ノ運行頗ル不規則ナリ黑龍線モ亦線路及材料ノ衰損著シク其ノ交通状態依然良好ナラスシテ普通列車ノ運行ハ一週概ネ二回ニ過キス後員加爾線ハ知多滿洲里間ノ運行ヲ持續シアルノミ

又西伯利方面ノ我通信ハ臨時電信隊之ニ任シ主トシテ哈市ヨリ尼市ヲ經テ浦潮ニ至ル間及浦潮ヨリ朝鮮國境慶興附近ニ至ル間ノ有線電信電話ノ通信並哈市、尼市、「ルススキー」島其ノ他ニ於ケル無線電信所ノ通信ヲ擔任ス而シテ其ノ内地ニ至ル軍用通信經路ハ「ルススキー」島、金澤兩無線電信所ニ依ルモノト哈市、浦潮ヨリ夫々京城ニ至ル有線電信トノ二線アルヲ以テ通信ノ甚シク滯帶スルコトナシ

二、薩哈噠州方面

北樺太ニ配置シタル軍隊ノ後方連絡ヲ確保スル爲メ冬季海上交通斷絶ノ已ムナキヲ考慮シ陸



路交通ノ方法ヲ講セリ即チ道路ハ亞港ヨリ概ネ樺太ノ中央ヲ縱貫シ國境ニ於テ樺太廳ニ委託  
 修築セシ道路ニ連接スルモノト中途ヨリ分岐シテ石油坑ノ所在地タル「ヌイオ」及「チャイオ」  
 ニ連絡スルモノトノニシテ前者ハ概ネ内地ノ縣道程度、後者ハ概ネ輕車輛道ノ程度ニ構築  
 スル計畫ナリシモ實施ノ結果ニハ多少變更シタルモノアリ而シテ冬季北樺太ヘノ交通ハ南樺  
 太大泊ヲ起點トシ鐵路榮濱ヲ經由シ若クハ内路ヨリ上記道路ニ依ラサルヘカラス其ノ輸送機  
 關ハ犬橇、馬橇及馴鹿橇ノ三種ニシテ犬橇最モ輕快ナリ即チ單獨旅行ノ場合ニ於テハ天候及  
 道路良好ナラハ八十貫ノ重荷ヲ一日二十里ノ遠キニ輸送ス然レトモ普通一日十里ヲ基準トス  
 而シテ榮濱ヨリ亞港ニ到ルニハ平均概ネ十日乃至十四日ヲ要シ「デルベンスコエ」ヨリ「チャ  
 イオ」ニ到ルニハ五、六日ヲ要スルカ如ク沿道概ネ四里ヲ間シテ此ノ種交通ニ必須ノ驛舎ヲ設  
 ケ宿營給養ニ便ス

又薩哈噠方面ノ通信ハ薩哈噠電信隊之ニ任シ亞港ヨリ國境ニ至ル間並ニ亞港ヨリ「チャイオ」  
 ニ至ル間ノ有線通信電話ノ通信ヲ擔任スル外亞港「ヌイオ」ニ於ケル無線通信所ノ通信ヲ擔任  
 ス而シテ其ノ内地ニ至ル軍用通信經路ハ亞港ヨリ豊原及眞岡ヲ經由スル各有線電信——亞港  
 金澤間ノ無線電信トノ三線アルヲ以テ通信ノ甚シク滯滞スルコトナシ  
 尙昨年十二月ヨリ野戰郵便局ノ所在地タル亞港「ルイコフ」及「チャイオ」等ニハ公衆郵便、爲

替貯金及公衆電報ノ取扱ヲ開始セリ

第六 運輸

一、一般ノ情況

浦潮派遣軍並薩哈噠州派遣軍兩方面各別ニ交通船ヲ運行シ浦潮方面ニ對シテハ目下筑前丸、  
 新高丸、東郷丸及色丹丸ノ四隻總計約一萬噸ヲ使用シ宇品浦潮間ニ新高丸及東郷丸ノ二隻ヲ、  
 敦賀浦潮間ニ筑前丸ヲ充當シ色丹丸ハ之ヲ豫備船トシテ臨時ノ使用ニ供シ以テ兩航路共概ネ  
 每週一回宛運行シツアルモ近ク一隻ヲ減少スル豫定ナリ

薩哈噠方面ニ對シテハ中華丸及三國丸ノ二隻總計約三千噸ヲ充當シ亞港方面結氷期間(十二  
 月上旬乃至四月上旬)浦潮ヨリ碎氷船員加爾號ヲ借上ケ碎氷ニ任セシメ尙ホ交通船ニ耐氷裝  
 置ヲ施シ概ネ一旬一回小樽ヲ基點トシテ途中大泊ニ寄港シ亞港ニ運行セシメツツアリシカ先  
 般員加爾號ノ故障以來暫ク大泊若クハ情況ニ依リテハ内路ニ運行セシムルコトトセリ

二、港灣ノ情況

時局ニ關係シテ使用シアル港灣ハ浦潮方面ニ對シテハ宇品(途中門司寄港)敦賀ヲ起點トシ薩  
 哈噠方面ニ對シテハ主トシテ小樽港ヲ起點トシ大泊、亞港、「デカストリー」、尼港及内路等ノ  
 各港灣ヲ終點トス而シテ内地港灣ノ情況ハ特ニ説明ヲ要スルモノノ外之ヲ略シ外地港灣中ニ



三、關シテ述ヘントス、浦潮港ハ毎年十二月中旬ヨリ四月ニ至ル間氷結シ船舶ノ出入不可能ナルヲ以テ此ノ期間ニ於テハ露國海軍部其他二三ノ會社ヨリ所屬碎氷船ヲ商港務局ニ提供シ同局ハ更ニ其ノ所屬碎氷船ヲ加ヘ合計七乃至八隻ヲ以テ碎氷ニ任シ出入船舶ヨリ一定ノ料金ヲ徵收シツツアリシカ露國革命以來石炭ノ供給充分ナラス日本軍ヨリ其ノ不足額ヲ供給シ本冬ニ於テハ我軍ヨリ石炭三千五百噸ヲ供給シ運送船ハ勿論日本國旗ヲ掲クル船舶一切ニ對シ料金ヲ免除セシメ其ノ他ノ船舶ニ對シテハ總噸數一噸ニ對シ三十錢ヲ徵收スルコトニ協定セリ而シテ浦潮港ノ埠頭ハ東支鐵道所屬ノモノ、商港務局專用ノモノ、一般商船用ノモノ及舊軍港所屬ノモノ等アリテ目下我陸軍ニ於テ使用中ノモノハ東支鐵道所屬ノ一部ニ屬シ揚搭及海陸連絡共ニ至便ニシテ且碎氷作業最モ容易ナリ

ロ、亞港 亞港ハ殆ント一直線ノ海岸ニシテ而モ毎年十二月上旬乃至四月上旬ノ間結氷スル能カ故ニ港灣タルノ價値ニ乏シ然レトモ他ニ良好ナルモノナキヲ以テ北樺太ノ開發ハ本港ノ築港ニ俟タサルヘカラス

ハ、「デカストリー」 亞港ノ對岸ニ在リ良好ナル港灣ヲ成形ス結氷ノ關係ハ亞港ト略、同一ナリ

ニ、尼港 尼港ハ黑龍江口ニ位置シ水深淺ク而モ航路狹隘ナル間宮海峽ヲ控フルヲ以テ該地ヘノ航行ハ五月下旬乃至六月上旬ヨリ九月下旬ニ互ル期間ノミ之ヲ許ス

ホ、大泊及內路 大泊ハ一月ノ交僅ニ四、五日間結氷スルノミ、內路ハ十二月下旬乃至二月下旬ノ間結氷ス

ヘ、敦賀 敦賀ハ浦潮及內地トノ交通上至便ノ位置ニ在リ宇品ヲ基點トスルニ比シ航行日數一航海二日ヲ減シ出征部隊ノ交代等ニ際シテモ其ノ衛戍地ノ關係ニヨリテハ交通頻繁ナル山陽線及東海道線ノ鐵道輸送ヲ省略シ得ル等ノ利益ヲ有スルヲ以テ夙ニ之カ利用ヲ企テタリト雖歸還部隊ハ上陸ノ際檢疫ヲ爲スノ要アリ從來敦賀ニ此ノ設備ナカリシカ爲メ前述ノ利益ヲ收ムルコト能ハサリシカ今回檢疫所ノ設備完成セルヲ以テ今後ノ輸送上至大ノ便宜ヲ收メ得ルコトナレリ

三、輸送ノ情況

大正九年一月ヨリ同十二月ニ至ル浦潮方面輸送ノ情況ハ第十三及第十一兩師團ノ派遣、第五及第十四師團ノ歸還輸送ヲ主ナルモノトシ軍隊ノ外同地ニ輸送セシ軍需品ノ總計約六萬噸ニ達ス亞港方面ニ於テハ北部沿海州派遣隊並薩哈噠州派遣軍ノ輸送ヲ主トシ尙ホ道路、建築及鐵道人夫等合計約七千人ノ派遣及歸還一部人員ノ輸送ヲ實施シ軍隊ノ外糧秣、建築材料並鐵



道材料等ノ數量約四萬五千噸ニ達ス而シテ之カ爲メ使用シタル船舶ハ定期交通船ヲ合シ浦潮方面九隻月延使用總噸數二〇七、九五四噸、薩哈噠方面二十一隻月延使用總噸數九三、五五五噸ナリ

四、碎氷船ノ情況

冬期薩哈噠方面ノ海上交通ヲ成ルヘク長ク持續スルノ必要上露國海軍部所屬ノ碎氷船員加爾號ヲ借上使用中ナリ本船ハ千九百十七年上海ニ於テ建造シタルモノニシテ、總噸數約一、〇〇〇、實馬力約二、二〇〇、速力二二哩ヲ有シ速力約二二哩ヲ以テ厚サ約二尺ノ氷ヲ碎破シ得ヘク氷ノ厚サ五寸以下ナラハ普通速力ノ儘碎氷シツツ航行シ得ヘシト雖元來浦潮灣内ニ使用スルノ目的ヲ以テ建造シタルモノナルカ故炭水ノ最大搭載量ハ約一週間ノ航海ニ堪フルニ過キス又船體ノ構造モ外海ノ航海ニ適セサルヲ以テ之ヲ亞港方面ニ使用スル爲メ特ニ我海軍將校ヲ監督官トシテ乘組マシメ船長以下同官ノ指導ノ下ニ困難ナル任務ニ服シツツアリ而シテ本年一月中旬ノ遭難ハ前述ノ如ク炭水ノ携行量多カラサリシニ途中舵機ニ故障ヲ生シ且亞港ニ於テ氷上ヨリ炭水補給中突然氷ニ大龜裂ヲ生シタル爲メ沖合ニ漂流スルノ已ムナキニ至リタルモノナリ

第七 衛生

西伯利及薩哈噠州派遣部隊ノ内地港灣出發以降ノ患者數別表ノ如シ  
流行性感冒ハ内地諸部隊ニ發生セシト殆ント期ヲ同ウシ派遣部隊ニモ發生シ來リシヲ以テ各隊ハ極力其ノ防遏ニ勉メ有熱者ノ發見ニ努力シ輕微ノ有熱者モ咽頭其ノ他ノ氣道ニ炎症ヲ有スル者ハ總テ之ヲ重キニ從ヒ流行性感冒患者トシテ取扱ヒ隔離療養ヲ加ヘ以テ隊内流行ヲ防止セリ從テ左表ノ如ク感冒患者トシテ計上セラルル者ハ內務省ノ地方患者統計ニ比シ其ノ數多キカ如キ觀アルモ其ノ死亡率ニ至リテハ著シク少數ナリ即チ內務省ノ統計ニ依ル本年度流行性感冒患者百人ニ對スル死亡者ノ割合ハ二、一九(一月第二旬末迄ノ累計患者三一、九三)ナルニ派遣部隊ノ割合ハ〇、五六%ニ過キス

一月第二旬派遣部隊流行性感冒患者表(略)

虎列刺ハ昨年夏季西伯利各地ニ散發シ危險狀態ニ陥リシカ時機ヲ失セス豫防接種ヲ施行シ露國官憲ト協力シテ其ノ防遏ニ力メタル結果幸ニ大ナル慘害ヲ見スシテ終熄セリ  
「ベスト」ハ目下北滿地方ニ於テ露人及支那人間ニ漸次流行廣大シ一月二十日調ニ依ルニ初發以來二百七十六名發生セリト云フ病症ハ最モ危險ナル肺「ベスト」ニシテ最近更ニ南滿地方ニ侵入セシ形跡アリ浦潮派遣軍ニ於テモ專門ノ軍醫ヲ派シ極力其ノ防遏ニ努メツツアリ幸ニ未タ其ノ侵入ヲ見ス



尙從來陸軍ノ檢疫所ハ似島ノ一所ニ限ラレ爲ニ衛戍地ノ關係ニ依リテハ歸還輸送ニ迂回ヲ要シ不利不便鮮カラス乃チ大正九年五月末敦賀檢疫所設置ノ議決定シ六月以降設計ニ著手シ十月下旬起工十二月末竣工ヲ告ケタルヲ以テ爾後内部ノ諸設備ヲ整へ本年一月二十日該檢疫所ヲ開設スルニ至レリ而シテ一月二十四日既ニ西伯利ニ歸還者並船員約三百名及歸還被服類約千四百捆ニ對シ檢疫消毒ヲ實施シ爾後同地ニ上陸、揚陸スヘキ人馬物件ニ對シテハ悉ク檢疫及消毒ヲ實施スルモノナリ

第八 給與

浦潮及薩哈噠州派遣軍ニ屬スル軍人軍屬ノ給與ハ派遣ノ當初ニ於テハ一般ノ戰時給與ニ依リタルモ派遣地方ニ於ケル特殊ノ氣候、交通及物資ノ情況等ニ鑑ミ現時ニ於テハ概ネ之ヲ左記ノ如クニ改メ沍寒僻陬ノ地ニ在リテ勤務上其ノ遺憾ナキヲ期シタリ

一、戰時増給

一般俸給料ノ外下級者ニ厚クスルノ趣旨ヲ以テ左ノ戰時増給ヲ爲ス  
准士官以上及軍屬ニハ 俸給ノ四割  
下士以下（營外居住者 營內居住者） 給料ノ五割  
即チ下士以下ノ給額ハ左ノ如クニシテ衣食住及日用品ヲ總テ官給セラルルカ故ニ日常ノ費用

ヲ措辨セシムルニ足ル

下士以下戰時給料増給額（略）

二、糧食

派遣軍ノ糧食給與ハ將校下士卒總テ同様ニシテ其分量ハ戰時定量ヲ基準トシ約三千六百乃至三千八百「カロリー」ノ營養量ヲ給シ保健上ノ必要ヲ充足スルノミナラス紅茶砂糖等ノ防寒飲料ヲ給シ以テ酷寒地給養ニ適應セシメ又慰安ヲ顧慮シテ菓子類、酒、煙草等ヲ加給シ全般ニ互リ概シテ良好ノ給養状態ヲ保持シアリ其給與ノ品種分量ノ詳細（略）  
浦潮派遣軍ニ在リテハ以上糧食諸品中生肉、生野菜及麵麩ハ現地物資ヲ相當ニ購買利用シ得ルヲ以テ生物給養上ニ支障ヲ來スコトナク其ノ他ノ精米、精麥、罐詰肉、乾野菜、味噌、醬油、加給品等ハ内地又ハ朝鮮及南滿洲ヨリ圓滑ニ追送シアリテ補給上不安ナキノミナラス追送品ノ選擇ニ方リテハ品位ノ適當ナルハ勿論各品種ノ配合ニ遺憾ナキヲ期シツツアリ例ヘハ罐詰肉ノ如キ牛肉罐詰ノ外ニ鯉、鯖、鱈、鱒、秋刀魚、鮪、赤貝等十數種ヲ乾野菜ニ在リテモ切干大根、干瓢、干牛蒡、干蓮根各種豆類等是亦二十種ヲ超ヘ鹽乾魚、甘味品等亦同様數多ノ品種ヲ選ビ以テ嗜好ニ投合スルコトニカム  
薩哈噠州派遣軍ニ在リテハ燃料、生肉魚類等ノ一部ノ外現地物資ノ利用シ得ヘキモノナク且



ツ冬季間ハ結氷ノ爲輸送困難トナルヘキカ故ニ昨秋本年七月迄ノ所要量ヲ追送集積シアルヲ以テ補給上懸念ナキノミナラス其集積糧秣ノ配合ニ就テハ特ニ注意ヲ拂ヒ數多ノ品種ヲ撰ヒ嗜好ニ合致セシメ又生物給與ノ必要ニ鑑ミ北海道ヨリ生野菜ヲ追送貯藏セシメ豆類ヲ以テ豆芽菜ヲ製造スル等ノ處置ヲナシ又現地ニ於テ全ク生肉調辨ノ見込ナキ北樺太東海岸駐屯部隊ニ對シテハ生豚、生兔、生鶏ヲ追送スル等各種ノ方法ヲ講シ以テ之カ給養ニ遺憾ナキヲ期シアリ尙昨夏派遣部隊ニテ種子ヲ携行シ現地ニテ野菜ヲ若干栽培セシ實績ニ徴シ本夏ハ一層之ヲ栽培セシメ生物給與ヲ更ニ圓滑ナラシムル計畫ナリ

三、被服給與

派遣軍ニ於ケル被服給與ハ下士以下ニ對シテハ全部官給ニシテ出發ニ際シ平素戰時用トシテ貯藏シアル新品被服ノ各身體ニ適合スルモノヲ著裝セシメ尙著換用ヲモ貸與シ以テ洗濯修理等ノ場合ニ支障ナカラシメ又其ノ破損使用ニ堪ヘサルニ至レハ隨時換給シ常ニ需要ニ不足ナカラシムルト共ニ被服給與上帝國軍人ノ威容ヲ損セシムル如キコトナキ様注意ヲ拂ヒアリ又將校及准士官軍屬等ニハ防寒被服等特種ノモノ及寢具ニ限り貸與シ其ノ他ハ自辨セシム派遣軍下士卒ニ貸與シアル被服ノ種類及員數(略)

右ノ外極寒地ニ相應スル防寒被服ヲ貸與シアルコトハ既ニ詳記セシ所ナリ尙駐屯地方ニ依リ

蚊虻等ノ害虫多キ箇所アルヲ以テ之カ防護用トシテ將校以下一般ニ防蚊覆面(蚊帳地ニテ作リ軍帽ノ上ヨリ著裝使用ス)同手套(薄キ密織ノ木綿製)各一箇宛ヲ貸與シアリ又被服補修材料即チ石鹼、絲、針、手入油等ハ適時相等量ヲ支給シアリ

四、日用品給與

從來ノ戰役ニ於テハ出征部隊ニ屬スル者ノ所要日用品ハ各自ヲシテ自辨セシメタルモ今回ハ地方ノ交通物資ノ狀況等ニ鑑ミ左記標準ニ依リ日用品ヲ支給シ必要ニ應シ他ノ品種ヲ換給シ以テ各自ヲシテ日用必需品ニ缺乏スルカ如キコトナカラシメツツアリ

手	拭	二箇月ニ	一	筋	齒	磨	楊	技	三箇月ニ	一	本
齒	磨	粉	每月ニ	一	袋	落	シ	紙	每月ニ	五十	枚
鉛	筆	三箇月ニ	一	本	葉	書	同	右	三	枚	
半	紙	白紙	每月ニ	十	枚	狀	袋	同	右	五	枚

第九 氣象並氣溫

浦潮ニ於ケル既往十年間ノ平均氣溫、降水量、風向(略)

亞港ニ於ケル氣象(略)

浦潮、亞港間ニ於ケル緯度ノ差ハ約〇・八度ニシテ亞港ノ一年間ノ平均氣溫〇度ニ對シ浦潮ハ



六度ナレトモ一般氣象ノ關係ハ略々相近似ス  
而シテ人體ニ感スル寒冷ノ直感ハ單ニ氣溫ノミヲ以テ標準トナスコトヲ得サルハ勿論ナルモ  
風力、風向及氣濕等ハ容易ニ之ヲ他ノ地方ト比較スルコト能ハサルヲ以テ今氣溫ノミニ就キ  
他ノ地方トノ關係ヲ求ムルニ浦潮一月ノ平均氣溫ハ略々薩哈噠州南部及「ペトロパウロスク」  
ト相等シク七月ノ氣溫ハ略々北海道網走、日高平原附近ト相等シ又一年間平均氣溫ハ北海道旭  
川、根室附近ト相等シ

第十 土民並外國人トノ關係

一、西伯利方面

穩健ナル露人ハ大ニ我軍ヲ德トシ只管倚賴シ來ルモ一部ノ過激主義者ハ愚民ヲ煽動シ巧ニ宣  
傳ヲ行ヒ陰ニ陽ニ我撤兵ヲ促シツ、アルモ徒ニ其聲ノミ大ニシテ情況概シテ安定ナリ但シ不  
逞無賴ノ徒カ良民ヲ虐ケ掠奪ヲ恣ニスルコトアルカ故ニ此等ニ對シテハ相當ノ警戒ヲ加ヘ且  
其掃蕩ヲ實施セリ又在留外國人トノ關係ハ概ネ圓滑ニシテ特ニ指摘スヘキコトナシ只言語風  
俗ヲ異ニスルノ關係上時々個人トシテ彼我意志ノ疏通ヲ缺キ爲ニ多少ノ齟齬ヲ來スコト無キ  
ニアラスト雖相戒メテ國際關係ノ圓滿ヲ期シツ、アリ

二、薩哈噠方面

曩ニ尼港事件ノ發生スルヤ帝國ハ北部沿海州派遣隊ヲ編成シテ之ヲ該方面ニ派遣セリ當時住  
民ハ日本軍ノ來航カ復讐ノ爲ナルヘキヲ揣摩シ戰々兢々タルモノアリシカ軍ハ上陸ト共ニ宣  
言ヲ發シテ其理由説明シ救恤ヲ行ヒテ生活ノ窮乏ヲ緩和シ醫療ヲ施シテ病羸ヲ救ヒ而モ軍紀  
森嚴秋毫モ冒ス處ナク彼等ヲシテ悉ク愁眉ヲ開カシメタリ次テ薩哈噠州要地ノ占領ヲ聲明シ  
テ軍政ヲ布キ專ラ安寧秩序ノ維持ニカメ福利増進ヲ圖リツ、アルモ施政日尙淺ク加フルニ交  
通不便ニシテ我勢威普カラサルカ故ニ未タ實績ノ舉ケテ云フヘキモノ多カラス然レトモ有識  
階級タル官公吏ハ過激派ノ慘禍ヨリ免レ且軍ノ施政ニヨリ生活比較的安固トナリシ爲メ漸次  
親接セントスルノ傾向ヲ生シツ、アリ但シ外國ノ統治下ニ在ルヲ潔シトセス浦潮方面ニ渡航  
スルモノナキニアラス又勞働者中ニハ中流ノモノニシテ衣食ノ爲メ止ムヲ得ス勞役ニ服シツ  
ツアルモノアルモ其ノ多クハ皆文盲ニシテ何等識見ナク嚮背ノ基準ハ一ニ生活ノ難易ニシテ  
我軍ノ上陸當時ハ車馬物資ノ徵發ヲ受ケ動モスレハ反抗的態度ニ出テ又ハ惡口雜言ヲ敢テセ  
シモ我備役ニヨリ收入ノ途ヲ得加フルニ若干救恤廉賣等ノ恩澤ヲ被リシカ爲メ日本軍ヲ謳歌  
スルニ至レリ然レトモ元來思想低級ナルノミナラス從來囚人流竄ノ地釋放既ニ年アリト雖今  
尙餘類ノ居住スルモノ鮮カラス從ツテ彼等ノ思想ハ概シテ穩健ナラス流言蜚說ニ迷ヒ直ニ之  
ニ附和雷同スルカ故往々ニシテ我施政ヲ曲解シ或ハ過激派ノ宣傳ヲ信シテ我軍ニ反感ヲ抱ク



モノアリ尙地方一般ニ盜賊多キモ我軍ノ檢擧迅速ナルカ爲メ住民ハ大ニ之ヲ徳トセリ又昨秋我軍カ尼港撤退ノ際任命セシ同地ノ代表者ヨリ時々亞港ニ情報ヲ齎ラシツアルカ彼等ハ恭順ニシテ同方面亦概シテ平穩ナリ然レトモ「チタ」政權ノ權力カ逐次ニ進襲シ來リツ、アルハ事實ナルカ如シ

目下北樺太ノ人口概ネ露人五千四百、内地人千六百、朝鮮人八百、支那人三百五十ナルカ如ク亞港ノ日露人ハ合計約三千人ナリ

西伯利派遣部隊内地港灣出發以降患者表(略)

薩哈噠州派遣軍患者數(略)

大正九年自十一月一日獻立表(略)

一四 都市制度ニ關スル質問

一 大都市ト小都市ト同一ノ法規ヲ以テ律スルハ種々ノ點ニ於テ弊害尠カラスト信ス政府ノ所見如何

一 數度法律案トシテ若ハ建議案トシテ通過シタル所謂特別市制案ニ對シ政府ハ如何ナル調査ヲ爲シタルヤ其ノ經過並結果如何而シテ何レノ議會ニ於テ之カ成案ヲ提出スル見込ナリヤ

十年一月二十七日竹上藤次郎君外一名ハ右質問主意書ヲ提出シ二月一日提出者(竹上藤次郎君)ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

本員ハ數回議院ニ於キマシテ問題トナツテ居リマス所ノ、所謂特別市制ニ就キマシテ殊ニ今回ハ内務省ニ於カレマシテモ、都市制度ノ改正ヲ思立ツテ居ラレル際デアリマスルカラ、此機會ヲ得テ私ハ本問題ヲ政府ニ質問シ、弊害多キ所ノ現行市制ノ改正ノ端緒ヲ得、多數市民ノ精神の安定ヲ得セシメタイト思フデアリマス、サリナガラ此政府ノ答辯タルヤ、吾々ノ意思ニ合致シマセヌトキハ、吾々ハ又再ビ茲ニ建議案、或ハ法律案トシテ、議場ニ提出ヲセヌケレバナラヌデアリマスガ、故ニ大切ナル所ノ議場ニ、其手續ノ煩ヲ免ル、ガ爲メニ、ドウカ政府ハ許ス限リ、綿密ニ詳細ニ吾々ノ問ハントスル所ノ質問ニ對シテ、御深切ナル所ノ御答辯アラント切ニ希望スルモデアリマス、偕大都市ト小都市ト同一法規ヲ以テ律シマスルコトノ不自然ナルハ、最早論ヲ俟タヌデアリマス、斯ノ如キ不自然ナル法規ハ無イデアリマス、殊ニ近來思想上ノ問題ガ起リマシテ、極端ナルモノハ、議會ヲ無視シ、直接行動ニ出デナケレバナラヌト云フヤウナル、亂暴ナル言葉ヲ用キル所ノ者ガ發生ヲ致シマスルノハ、多クハ大都市ニ於テ發生ヲ致スノデアリマス、而シテ是ガ漸次地方ニ彌漫ヲ致シマスルノデアリマスカラ、此大都市ニ對スル所ノ法規ハ、最モ緊急ニ改正ヲナサナケレバナラヌデアリマス、而シテ市長ト知事トハ、監督者ト被監督者ノ關係ニ在リマシテ、親子兄弟ノ如キ最モ親シキ間柄デナケレバナラヌノニ、實際ハ之ニ反シテ、大抵ノ大都市ノ市長ト其府縣ノ知事トハ、多クハ其勢力ヲ争ヒマシテ、少シモ融和ヲシテ居ル所ヲ認メナイデアリマス、是ハ多ク原因モアリマセウガ、一ツハ市長ノ地位ガ前身ガ府縣ノ知事ヨリハ高キ者、或ハ勢力ノ多キ者ガアリマシタガ爲メニ、斯様ナル現象ヲ呈シテ居ルデアリマスガ、其結果ハ相互ニ争ウテ終リニハ感情ノ衝突ノ結果、自治制ノ根本ヲ誤ラシムルニ至



テ居ルノデアリマス、又先刻横山君モ申サレマシタ如ク、監督者タル所ノ府ト、被監督者タル所ノ市ガ同一ノ事業ヲ争ヒツ、アルノハ、多ク見受ケルノデアリマス、監督者ト被監督者トガ同一ノ事業ヲ企圖シ、之ヲ實行スルコトハ、甚ダ不合理千萬ノ事デアリマス、一例ヲ舉ゲマスレバ、數年前ニ於キマシテ、或大都市ニ所謂豚箱事件ヲ發生シマシタ、此原因ヲ搜ツテ見マスレバ、矢張知事ト市長ノ感情ノ衝突ノ結果、同一ノ所ニ同時ニ同一程度ノ工業學校ヲ起サントシテ、其争ノ結果、非常ナル不祥事ヲ生ジタノデアリマス、又何所ノ都市ニモ府縣ノ女學校ト市立ノ女學校トハ、相争ウテ居ル事實ヲ多ク認メルノデアリマス、又社會事業ノ如キモ、或府縣ガ公設市場ヲ設ケマスルト、市ハ又之ニ競争的ニ市設ノ公設市場ヲ設ケル、市ノ方ガ感化事業ヲ起シマスルト、府ノ方モ亦直チニ感化事業ヲ起シテ、御互ニ競争ヲ致シマスル結果、一ツデ宜イ仕事ガ二ツモ出來ル、唯ダ茲ニ困ルノハ市民ガ二重負擔ヲシテ、多クノ金ヲ税金トシテ取ラレナケレバナラヌノデアリマス、之ヲモット卑近ナル例ヲ以テ申シマスレバ、「トラック」ニ於テ競技者ト審判員ガ同ジ競技ヲ争ヒマシタナラバ、必ヤ公平ナル審判ヲ爲スコトガ出來ナイノデアリマス、丁度都市ト府縣ノ關係モ之ト同ジク、公平ナル所ノ知事ガ、如何ニ公平ナル冷靜ナル考ヲ以テ市ヲ監督セントシテモ是ハ到底理窟ニ於テハ出來マスケレドモ、實際ニ於テハ出來得ナイノデアリマス、尙又市會ニ於キマシテ訴願ノ起リマシタ場合、諸君モ御承知ノ如ク、訴願ハ三審制度ヲ採ツテ居リマス、第一審ハ市會ノ決議、第二審ハ府縣參事會ノ決議トナツテ居リマスルガ、現行ノ法規ニ於キマシテハ、市會議員ガ多ク府參事會員ヲ兼任致シテ居リマスル結果、市會ノ決議ト府參事會ノ決議ハ、同人ヲシテ決議ヲセシムル結果、第二審ノ制度ノ公平ナルモノハ打去ラレテ、第一審ト同ジ結果ニナルノハ火ヲ觀ルヨリモ明カナノデアリマス、尙又前段モ申述ベラレテ居リマス通り、市ヨリ主務官廳ニ對シテ進達スベキ——認可ヲ申請スベキモノハ、全部府縣知事ノ副申ヲ俟タナケレバナラヌノデアリマスガ故ニ、早キモ數箇月、遅キモノハ年餘ニ涉ツテ、認可ノ來ナイモノモ澤山アルノデアリマス、是ハ果シテ主務省ノ怠慢カ、或ハ府縣ノ怠慢カ、孰レカニハ屬シマスルガ、孰レニシマシテモ、數箇月或ハ年餘ヲ超ユルモノガアルノデアリマス、殊ニ前段申上ゲマスル如ク、市

長ト知事ノ衝突スル場合ニハ、到底副申サレズシテ、認可セラレナイヤウナ場合ガ起ルノデアリマスカラ、此點ニ於テ吾々ハ十分改良ヲ加ヘ、市ノ計畫ヲシテ無事ニ遂行スルコトノ出來ルヤウニシテヤラナケレバナラヌト思フノデアリマス、尙ホ次ニハ府縣ハ、大都市ニ向ツテ府縣費ノ分賦額ヲ命令ヲ致シテ居リマス、多クノ府縣ハ市ノ財政ニ疎クアリマスルガ故ニ、突然莫大ナル所ノ分賦ヲ致シマシテ、市ノ財政ヲ根本的ニ破壊スルヤウナル場合ヲ、私等ハ度々實驗シテ參リマシタノデアリマス、此點ニ於テモ尙ホ改良ノ餘地アリト思ヒマス、其外我國ノ大都市ノ區制ニ於キマシテハ實ニ區々デアリマシテ、統一ヲ缺イテ居ルノデアリマス、東京市ノ如キ十五六區ニ分レテ居ルカト思ヒマスガ、大阪市ノ如キ四大別サレテ居ル所モアリマス、尙又京都市ノ如キハ、大阪ノ約半數ノ人口デアアルモノガ、七十幾箇ノ區ニ分レテ、各區ニ區會ヲ持チ、區會議員ヲ持ツノデアリマスカラ、其制度ノ煩雜ナルコトハ到底御話ニナラヌノデアリマス、是等ノ事ニ就キマシテ、内務大臣ハ如何ナル御考ヲ持ツテ居ラレマスカ、尙ホ此大都市ヲ包含シテ居ル所ノ府縣ハ、市制ヨリハ一步ヲ進ンデ、府縣制ニ於テ特別府縣制ガ出テ居ルノデアリマス、ソレハ何所デアアルカト申シマスルト、東京、大阪、京都ノ如キ大都市ニ於キマシテハ、所謂三部制、市部會、郡部會、連帶會ノ三部制ヲ以テ、非常ニ差ノ無イ所ノ府縣デスラモ、斯ノ如ク別々ニ三部制ヲ採ル所ノ特別府縣制ガ出テ居リマスノニ、市制ニ於テハ僅ニ二三萬ノ人口ヨリ無イ所ト、數百萬ノ人口ヲ包容シテ居ル所ノ大都市トヲ、同一ノ法規ヲ以テ律スルト云フコトハ、非常ニ不可ナルモノデアルト思フノデアリマス、故ニ私ハ第一ノ問ト致シマシテ、大都市ノ事務ニ就キマシテハ、内務大臣之ヲ監督シ、市制中府縣知事、又ハ府縣參事會ノ職權ニ屬スルモノハ、内務大臣ニ專屬セシムルノ意思アルヤヲ御尋シタイノデアリマス、所謂二重監督ヲ廢シテ一重監督——一次監督トシテ、市政ヲ監督セラレマスルノ意思アルヤ否ヤト云フコトヲ御尋シタイノデアリマス、併ナガラ吾人ハ斯ノ如キ平凡ナル姑息的ノ官制ニハ、贊成ヲシ難イ者デアリマス、尙ホ一步ヲ進メマシテ、私ハ第二ノ問ヲ發シタイト思フノデアリマス、即チ大都市ハ府縣ノ區域外トシテ、府縣ト對立セシムルカ、若クハ行政區劃ヲ獨立セシメテ、市會及市長ノ權限ヲ擴張セシムルノ意思アルヤ否ヤ



ト云フコトヲ、御尋シタイノデアリマス、此點ニ於キマシテ誰方カノ御意見トハ違ヒマシテ、私ハ市制第六十二條ノ、内務大臣ガ市會ニ解散ノ權利ヲ持ツ如キハ、絕對ニ反對デアリマス、自治ハ自ラ治メルノデアリマス、市會ハ自ラ治メテ、市會ニ大臣ノ干渉ヲ許サヌマデニ、市會自身自ラ治メテ完全ニセヌケレバナラヌト私ハ思フノデアリマス、尙ホ第三ノ問題ト致シマシテ、數度法律案トシテ、若クハ建議案トシテ通過シタル所謂特別市制案ニ對シテ、如何ナル調査ヲ爲サレマシタカ、其經過、又何レノ議會ニ成案ヲ提出サレマスル御考デアリマスカ、次ニハ第四ノ問題ト致シマシテ、若シ特別市制ヲ實施セラレマスルナラバ、何レノ範圍ノ都市ニ於キマシテ及ボサレマスルノデアリマスカ、以上四ツノ問題ヲ内務大臣ニ伺ヒタイノデアリマス、ドウカ前段申上ゲマシタヤウニ御懇篤ナル御答ヲ願ヒタイト思フノデアリマス

之ニ對シ床次國務大臣ハ同日口頭ヲ以テ左ノ答辯ヲ爲セリ

唯今ノ御質問ニ御答致シマスガ、第一問ハ大小ノ都市ヲ同一制度デ律シテ居ルコトハ適當ト考ルヤ否ヤト云フコトデアリマス、ソレハ御考ノ通り區別スルコトガ出來レバ、其方ガ宜シカラウト云フ考ヲ持ツテ居リマスト云フコトヲ御答致シテ置キマス、次ニハ二重監督、又此大都市ヲ府縣カラ引離スコトハ如何、是迄此議場ニ現ハレタ大都市ニ關スル市制案ニ就テハ、如何ニ致シテ居ルカト云フコト、是ハ一ツニシテ御答致シマスガ、先ヅ所謂特別市制ト申シマスルノハ、之ヲ徹底的ニ施行スルコトニナリマスレバ、遂ニ市ヲ現在ノ府縣ヨリ分離スル結果ヲ來サナケレバナリマセヌ、其影響ハ頗ル大ナルモノガアリマス、即チ殘リマシタ所ノ府縣ヲ如何ニ致スカ、又ドウ云フ部分ヲ殘存ノ部分トスルカト斯ウ云フコトニ就テハ、目下何レノ大都市モ發展ノ途中ニ在リマス、如何ニ結局スルカマダ判ラナイ今日ノ狀態デアリマスルノデ、今日直チニ此狀態ニ應ジテ満足ナル案ヲ得ルト云フコトハ、洵ニ困難デアリマスルノデ、未ダ斯ク致セバ宜シカラウト云フ成案ヲ得テ居ラヌ次第デアリマス、次ニ是迄現ハレテ居ル所謂大都市ノ公共事務ハ、内務大臣ノ直轄ニ移スト云フ、是モ一見甚ダ容易イ如クデアリマスルガ、此事ハ監督上ニモ甚ダ

混雜困難ヲ惹起スコトニナリマスルノデ、單ニ二重監督ヲ廢スレバ宜シイト云フノミデハ、直チニ今日御同意スルコトガ出來ナイノデアリマス、サレバト申シテ、今日大小ノ都市ヲ同一ニ扱フデモアルマイト思ヒマスルノデ、益、調査ヲ進メテ、何時カ是ナラト思フ現在ノ狀況ニ照シテ、適當ナル成案ヲ得テ提出スルコトニ致シタイト思ヒマスルガ、取敢ヘズ現在ノ狀況ニ照シテ、大都市ノ一般行政事務ニ就テハ、出來ルダケ其權限ヲ擴張致スト云フヤウナコトナドニ就テ調査ヲ致シマシテ、此際解決ヲ告ゲタイト專ラ盡力ヲ致シテ居ル所デアリマス、或ハ近キ内ニ御目ニ掛ケルコトガ出來ヤウカトモ思ウテ居リマス

一五 福島縣若松市補闕選舉ニ於ケル干渉壓迫ニ關スル質問

一 内務省警保局長、内務大臣秘書官、及福島縣警察部長等ヲ若松市ニ出張セシメテ補闕選舉ニ於ケル干渉ヲ督勵セシメタル理由如何

一 選舉期日前一齊ニ若松市ノ米屋及質屋ノ臨時検査ヲ實行シタル理由如何

一 選舉當日ノ前夜憲政派ノ幹部十一名ヲ警察署ニ召喚シテ一夜之ヲ留メ置キシ理由如何

十年一月二十八日清水留三郎君ハ右質問主意書ヲ提出シ二月十五日趣旨辯明ヲ爲スニ先チ床次國務大臣ハ書面ヲ以テ左ノ答辯ヲ爲セリ

一 客年八月警保局長ノ若松市出張ハ 行啓地御警衛計畫實查ノ爲メニシテ選舉ニ關シテニア



ラス又福島縣警察部長ノ出張ハ御警衛計畫及選舉取締監督ノ爲メニシテ瀧代議士ハ石川氏ノ應援ニ赴キタル祕書官トシテノ資格ニアラス是等ニ對シ干涉ヲ督勵セシメタル事實ナシ

一 米屋及質屋ノ臨檢査察ハ警察取締上常時執行シ居ルモノニシテ選舉ト何等ノ關係ナシ

一 選舉前日違犯事實取調ノ爲メ關係者五名ニ對シ所轄警察署ニ出頭ヲ求メタル事實アルモ質問ノ如ク憲政派ノ幹部多數ヲ召喚留置シタル事實ナシ

右ニ對シ清水留三郎君ハ意見ヲ述ヘタリ

一六 秋田縣第三區補闕選舉ニ於ケル干涉壓迫ニ關スル質問

- 一 秋田縣山本郡能代湊町外七箇村ニ於ケル投票立會人ヲシテ全部政友派ヨリ選出シ憲政派ヨリノ要求ヲ拒否シタル理由如何
- 一 三百數十名ノ巡查ヲ特ニ山本郡ニ派出シ之ヲ政友派運動員ノ宅ニ宿泊セシメタル理由如何
- 一 能代湊町煙草元賣捌人ヲシテ強制的ニ政友派ノ推薦者タラシメシ理由如何
- 一 秋田木材會社ノ重役ヲシテ政友派ノ運動員タラシムヘク干涉シタル理由及田中農商務次官ヨリ書面ヲ以テ之ニ勸誘ヲ爲シタル理由如何
- 一 秋田縣知事カ能代湊町ニ出張シテ政友派ノ選舉本部ニ宿泊シ政友派ノ幹部ト打合セヲ爲シ

タル理由如何

十年一月二十八日清水留三郎君ハ右質問主意書ヲ提出シ二月十五日趣旨辯明ヲ爲スニ先チ床次、山本各國務大臣ハ書面ヲ以テ左ノ答辯ヲ爲セリ

- 一 投票立會人ノ選任ニ關シテハ豫メ通牒ヲ發シ不公平ノ處置ナカラシメタリ勿論町村ニ依リテハ兩派ヨリ適當ニ之カ選任ヲナシ得サリシ事情ノ爲メ同一政派ニ屬スル者ノミヲ以テシタル個所アリト雖必スシモ政友派ノミニハ限ラス憲政派ノ者ノミ選任セシ個所モアリタリ又能代湊町ノ如キハ之ヲ兩派ヨリ選任シタル次第ニシテ質問ノ如ク多數ノ町村ニ互リ政友派ニ屬スル者ノミヲ選任シタル事實ナシ
- 一 山本郡ハ客年五月ノ總選舉ニ際シ競争激烈ヲ極メ多數ノ違犯者ヲ出シタルノ事例ニ鑑ミ周到ナル取締ヲ爲シ斯ノ如キ違犯行爲ナカラシムカ爲持二百二名ノ巡查ヲ應援トシテ派遣シタルモ之ヲ政友派運動員ノ宅ニ宿泊セシメタル事實ナシ
- 一 能代湊町煙草元賣捌人ヲ強制シテ政友派候補者ノ推薦者タラシメタル事實ナシ
- 一 秋田木材會社ノ重役ヲシテ政友派ノ運動員タラシムヘク干涉シタル事實ナシ又田中農商務次官ヨリ書面ヲ以テ之ニ勸誘ヲ爲シタル事實ナシ



一 秋田縣知事ハ選舉取締狀況視察ノ爲山本郡内ニ出張シタルモ質問ノ如キ事實ナシ

一 市町村會ノ階級選舉制撤廢ニ關スル質問

政府ハ地方議會ノ階級選舉制ヲ撤廢スル目的ヲ以テ本期議會ニ市制町村制改正案ヲ提出シ其ノ目的ヲ達成セムトスル意嚮アリヤ

十年一月二十九日作間耕逸君外三名ハ右質問主意書ヲ提出シ二月二十二日(二月一日延期)提出者(作間耕逸君)ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

地方議會ノ選舉階級制ノ撤廢、並ニ公民選舉權ノ擴張ヲ目的トスル市制町村制改正ノ提案ハ、彼ノ陪審法案、並ニ常平倉案ト共ニ、現内閣ガ今議會ニ臨ムニ當リマシテ、先ヅ其初頭ニ提ゲテ立ツベカリシ等ノ所謂三大政策ト、政府自ラモ許セバ亦一般モ之ヲ認メテ居ッタ所デアリマス、然ルニ曷ゾ圖ラン陪審法案ハ樞密院ニ於テ今ヤ審議停頓ノ形ト相成リ、殆ド絶望ノ域ニ陥ッテ居ルノデアアル、又常平倉案モ經濟財政調査會ニ於キマシテ難産ヲ極メ、頗ル行惱ノ状態ニ居リマス、態ヲ見マシテハ、少カラス失望セシメラレマシタ者ハ獨リ本員等ノミデハアルマイト存ジマス、殊ニ地方制度ノ改正ニ就キマシテハ、前々議會ハ普選ノ爲メニ不幸ニシテ解散ヲセラレマシタ當時ニ於キマシテ、閣議既ニ其方針ヲ決定シ、内外ニ之ヲ宣明セラレテ居ル、即チ次ノ議會迄ニハ必ズ提案ヲ致スト云フコトヲ聲明セラレ、而シテ當時ノ沸騰シタル國論普選熱ヲ冷却スルノ用ニ供セラレテ居ル、又與黨タル政友會諸君モ爾來地方各所ニ於テ御演說ヲナサル際ニ、必ズ近キ將來ニ於テ、此提案ヲ致スト云フコトヲ公ニ提唱セラレテ居リマシタニ拘ラズ、臨時議會トハ申

シナガラ、前議會ニ於キマシテハ遂ニ提案ノコトナクシテ止ミ、又今期議會モ既ニ半バ以上ヲ經過致シマシタ今日、尙ホ未ダ提案ノ時期不明デアアル、提案ノ時期ガ不明デアリマスルノミナラズ、提案ノ用意サヘ成レルコトヲ未ダ耳ニ致シマセヌノハ、本員等ノ痛切ニ遺憾ヲ感ズル所デアリマス、斯クテ政府自ラ提案スルコトヲ爲サズ、而シテ他ノ野黨諸君カラ熱心ニ提案セラレマシタ所ノ分ハ、何ガ故ニヤ其進行ヲ阻止セラレテ居ル形ニナッテ居ルノデアリマス、斯ノ如キ状態ヲ以テ致シマシテハ、果シテ何レノ時カ國民ノ熱誠ナル此要求ヲ容レテ戴ク時ガゴザリマセウカ、殊ニ怪ムベキハ最近ニ至リマシテハ、又、形勢逆轉シ、其主義方針サヘモ、ドウヤラ確定シテ居ラナイ容子ニ見受ケラル、ノデアリマス、即チ全國各市町村ヲ通ジテ、悉ク選舉階級制ヲ撤廢スルト云フ方針ヲ執ラル、ノデアアルカ、或ハ又東京市其他六大都市ニハ尙ホ二級制ヲ存置シテ、其他ノ都市及町村ダケ別級別ヲ全廢スルト云フ方針ヲ執ラル、ノデアアルカ、將又市及特別ノ町ダケハ二級制ヲ存置シテ、其他ノ町村ノ階級ヲ全廢スルト云フ方針ヲ執ラル、ノデアアルカ、其主義サヘモ確立シテ居ナイヤウニ認メラレル状態ニ在リマスノハ、洵ニ本員等ハ政府ガ嚮ニ聲明ヲ自ラ抹消シ、多數國民ノ樂ミヲ以テ期待シテ居リマシタ所ニ裏切りガ出タモノデアリマシテ、此一事ヲ以テ致シマシテモ、現内閣ハ信ヲ天下ニ失フニ足ルト斷定ヲ致スノデアリマス、是ハ或ハ邪推カモ知レマセスケレドモ、政府ノ遣方ヲ見マスト云フト、普選ノ輿論勃興シテ、其攻撃ヤ政府ニ集中致シマス時代ニ於キマシテハ、政府ハ自ラヲ防衛スルノ具ト致シマシテ、急遽此案ヲ提出スルガ如ク裝ヒ、輿論ノ外面運動ガ一時靜マリカケルト云フト、復タ知ラザル眞似シテ此案ヲ提出急ガザルガ如キ態度ヲ執ラレマスノハ、洵ニ斯ル超政黨的ノ重大法案ヲ政略ノ爲メニ犠牲ニ供シテ願ミラレナカッタト申シマシテモ、ヨモヤ政府ニ於テモ辯明ノ辭ハ無カラウト心得ルノデアリマス、尤モ昨今ニ相成リマシテ與黨諸君ノ内部ニ中、此點ニ就テ議論ガ沸騰シ、紛糾ヲ極メテ居ルガ如ク、隨分御盛ニ採合ッテ居ラレルガ如ク拜見ヲ致スノデアリマス、ドウヤラ政府ハ此案ヲ與黨ニ注文サレテ餅ニ搗カレテ居ルヤウデアリマスガ、餘リ搗過ギラレテ居ルノデアアルマイカト考ヘル、其餅モ正月勿々差出シテ下サレバマダ結構仕合ニ存ジマスルケレドモ、二月モ



既ニ半バヲ過ギテ、其間取ツテ置イテ仕舞込マレマシテハ、折角ノ餅ニ徹ガ生ヘル、罅ガ割レカ、リマシタガ爲メニ、折角唯一確定ノ方針ヲ濟ム所ガ、五案ニモ六案ニモ説ガ割レテ來タモノニ外ナラナイト私共ハ斷定ヲ致ス、併シ有難イ事ニハ普選問題ノ起リマシタ先般、彼ノ選舉權ノ資格ニ就キマシテ、獨立ノ生計ト云フ問題ニ就キマシテ、本員等ノ屬シテ居リマス憲政會ノ一部ニ議論ガ闘ハサレマシタ際ニ、與黨諸君ハ色々ノ眼鏡ヲ以テ、色々ノ御批判ヲ下サレタノデアリマシガ、ドウヤラ其御批判ハ、今ヤ我黨ニハ無用ニ相成リマシテ、與黨諸君ノ政友會ノ方ニ御入用ノ次第ト相成リマシタカラ、豫テ受ケマシタル所ノ御批判ハ、其儘ソックリ茲ニ御返上申上ゲル機會ヲ得マシタコトヲ諸君ニ對シテ感謝致ス次第デアリマス、併シ與黨諸君ノコトデゴザイマスカラ、何レ結局ハ總裁一任トカ、又ハ幹部一任トカ、政府意ノ在ル所ニ柔順ニ聽從セラル、コトデアラウト察シテ居リマスガ、政府ガ果シテ衷心カラ、此地方制度ノ改正ニ熱心ト誠意トサヘゴザイマスレバ、本院ニ於ケル此案ノ通過ト云フモノハ、決シテ困難ノ事デハナイト信ズルノデアリマス、此邊ニ於ケル内務大臣、政府當局ノ御決心ハ如何デアルカ、即チ公民選舉ノ擴張ノ方ハ姑ク別ト致シマシテモ、選舉階級ノ全廢ヲ目的ト致シマシテ速ニ市制町村制ノ改正法律案ヲ本期議會ニ御提出ニ相成リマスル御覺悟ガアリマスカ、而シテ其御覺悟ヲ以テ、是非共本期議會ニ御提案ニ相成リマスルヤウ、其目的ノ遂行ニ努力シテ下サル所ノ確信ガアリマスカ否ヤ、若シ之レ有リト致シマシタナラバ、凡ソ御提案ニナリマス所ノ御見込ノ時期ハ何時頃ニ相成リマセウカ、又未ダ其期定マラズ、或ハ遅レルト云フコトデゴザイマスレバ、其事情ト理由トヲ爰ニ承リタイ又主義方針ニ關シマシテハ、果シテ全國各市町村ヲ通ジテ、級別全廢ト云フ御方針ヲ以テ遂行セラル、ノデアリマセウカ、本員等ノ考フル所デハ級別撤廢ノ必要ハ、地方町村ヨリ寧ロ大都市ニ於テ、一層切實ニ其必要ト理由ヲ認メルノデアリマス、マサカ此際ニ至リ、今更トナツテ不徹底ナル一部階級ノ存置ト云フヤウナ主義方針ヲ以テ、御提案ニハ相成ルマイトハ確信シテ居リマスケレドモ、若シサウデナイ特別ノ制限條件ヲ以テ、尙ホ一部階級ヲ存置スルト云フコトデアリマシタナラバ、ソレハ如何ナル理由ト事情ニ基クノデゴザイマセウカ、敢テ詳細ニトハ申シマ

セヌ、此點ニ對シマシテ、明確ノ御答辯ヲ願ヒタイノデアリマス

之ニ對シ床次國務大臣ハ同日口頭ヲ以テ左ノ答辯ヲ爲セリ

御答致シマスガ、地方制度ニ就テ改正ヲ致シタイ考ヲ以テ、今手續中デアリマス、一切ノ御質問ハ何レ提出ノ際ニ御答スルコトニ致シマス

一八 石油政策ニ關スル質問

石油ノ用途ハ近來益擴大ヲ告ケ其ノ供給ノ難易如何ハ直接國家ノ存亡安危ニ重大ナル關係ヲ有スルニ至レリ然ルニ我カ國ニ於ケル石油ノ產出高ハ需要額ニ比較シテ頗ル僅少ナルカ爲帝國ハ常ニ其ノ不足ヲ輸入ニ俟ツノ有様ナリ政府ハ速ニ石油ニ對スル根本政策ヲ樹立シ以テ之カ供給ノ獨立ヲ確保セサルヘカラス果シテ政府ハ如何ナル方法ニ依リ供給ノ獨立ヲ圖ラムトスルヤ

十年二月一日押川方義君ハ右質問主意書ヲ提出シ二月十五日提出者ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

石油政策方針ノ確立ニ就キマシテ、其有無ヲ伺ヒタイノデアリマス、今日ノ形勢ニ於キマシテハ、石油ハ國家ノ重要物品ノ一デアリマス、國ノ盛衰興亡ニモ關ハリマスルシ、殖産興業ノ盛衰消長ニモ關係ヲ致シマスルシ、必ズ此事ニ就キマシテハ、當局大臣タル者ハ適當ナル經綸ヲ具ヘラレマシテ確定シタル方針ヲ持ツテ居ラレマスル筈ト吾輩ハ考ヘルノデアリマス、然ルニ不幸ニシテ私共ノ調査致シマシタル所ニ依リマスレバ、悉ク無策無方針ノヤウニ見受ケラレマスル故ニ、甚



大之ヲ憂ノ一ツト考ヘテ居ルノデゴザイマス、石油ノ用途ハ艦隊、潛水艇、飛行機、自動車、是等  
 ハ申スマデモナク、或ハ「アルミニウム」ノ製造ニモ、護謨ノ製造ニモ、或ハ砲彈裝置ノ爲メニ  
 モ、種々ナル方面ニ必要ノアリマスルコトハ申スマデモナイコトデアリマスルガ、今日唯今伺ヒ  
 タイノハ、軍艦ノ燃料用トシテノ石油ニ就キマシテ、果シテ國家ハ此政策ガ間違ナク立テラレテ  
 居ルカドウダカト云フコトガ懸念ニ堪ヘマセヌ故ニ伺フノデアリマス、元來造船計畫ノ確定セラ  
 レマシタトキニハ、出帥準備トシテ必要ナル經綸ハ、共ニ立テラレベキ筈ノモノデアリマス、故ニ  
 製艦費ノ要求ノアリマシタトキニハ、軍艦ノ生命トナルベキ所ノ石油政策ト共ニ、議會ニ諮ラレ  
 ベキ筈ノモノデアルト吾輩ハ心得テ居ルノデアリマス、然ルニ製艦ヲ專ラ急ニ致シマスルコトニ  
 傾キ過ギマシテ、最モ大切ナル所ノ石油政策ハ、此所ヤ彼所ニ少額ノ費用ヲ海軍省カラ要求シタ  
 ルノミデアリマス、今日海軍省ガ石油ニ就テ施設シテ居ナサル方策ハ、臺灣ニ於ケル油田ノ試掘  
 ト、燃料代用ニ於ケル研究ト、其次ハ内地産、及外國産ノ石油ヲ購入致サレマシテ、之ヲ蓄藏ナサ  
 ルト云フ方針ノ外ニ見出スコトハ出來マセヌ、然ルニ内地産ノ石油ニ至リマシテハ、最モ軍艦用  
 ナドニハ用キルコトノ出來ナイ程少量ナルモノデアリマス、然レバ外國ノ石油ヲ御買入ニナリ  
 マシテ、之ヲ蓄藏ナサレヨリ外ニハ方策ハアリマス、併ナガラ其事タルヤ極メテ不便ナル  
 方法デアツテ、又不安定極マリナイコトデアリマス、此不便ト不安定ナル所ノモノヨリモ外ニ方  
 法ナシト致シマスレバ、ソレニ依ルモ亦可ナリデアリマスガ、若シ外ニ方法アリト致シマスレバ、  
 之ヲ等閑ニ附シテ居ラレマスルコトハ、職務上怠慢ノ責アリト吾々ハ心得ルノデアリマス、今試  
 ニ日本ニアリマスル所ノ石油ノ産出高ト、外國ニアリマスル所ノ石油ノ産出高トヲ、最近ノ統計  
 表ニ依ツテ見マスルナラバ、諸君ト共ニ必ズ是ハ由々シキ大事ヂヤト御考ナサルコトガアラウト  
 思フノデアリマス、最近ノ統計表ニ依リマスルト、合衆國ニ於キマシテハ、三億五千六百九十二  
 萬七千七百十六「バレル」ヲ一年ニ産出シマス、墨西哥ニ於キマシテハ、六千三百八十二萬八千  
 三百二十七「バレル」ヲ産出致シマス、露國ニ於キマシテハ、四千四十五萬六千八百八十二「バ  
 レル」ヲ出シマス、蘭領印度、英領「ボルネオ」ヲ含ミマシテ産出致シマス、高ハ千三百八十二萬

四千九百三十六「バレル」デアリマス、「ルーマニヤ」ハ八百七十二萬二千三百二十一「バレル」、印  
 度ハ八百四十五萬二千八百「バレル」、波斯ハ八百三十萬「バレル」、「ガリシヤ」ハ五百五十九  
 萬一千六百二十「バレル」、然ニ日本ハ僅ニ二百四十四萬九千六百九十九「バレル」デアリマス、其  
 他祕露ニモアレバ、「トクニダット」ニモアリ、埃及、「アルゼンチン」、獨逸、加奈陀、伊太利等、各所  
 ニアリマスガ、之ヲ省略致シマス、此産額ト日本ノ産額トヲ百分率ニ對照致シマスレバ、合衆國  
 ハ世界全國ノ石油ノ六割五分一厘ニ當リマス、墨國ハ一割二分四厘デアリマシテ、露國ハ七分八  
 厘六毛デアリマス、蘭領印度ハ二分五厘八毛、「ルーマニヤ」ハ一分七厘、波斯ハ一分四厘、「ガリ  
 シヤ」ハ一分五毛、日本ハ僅ニ四厘八毛デアリマス、日本ハ僅ニ世界各國ノ石油ノ百分率ノ四厘  
 八毛デアリマス、而シテ一昨年産出致シマシタル所ノ高ハ、三億五千六百二萬七千「バレル」ニ  
 シテ、同年ニ貯藏致シテ居リマスル高ガ一億二千二百八十萬「バレル」デアリマス、是等ト對照  
 致シマシテ日本ガ貯藏致シテ居リマスル所ノ石油ノ數量ハ、果シテ何程デアリマスルカ、是ガ海  
 軍大臣ニ明白ニ承リタイ所ノ點デアリマス、若シ我國ガ國防上ニ於テ、石油ノ自給自足ノ大策ヲ  
 立ツルコトガ無カッタナラバ、國民カラ租稅マデ徵收致シテ拵ヘマシタル今日ノ軍艦ハ、殆ト無  
 用ナル所ノ途ニ入ツテシマイハシナイカト虞レルノデアリマス、艦船ガ石油ヲ要シマスル、其數  
 量ノ夥シキコトハ、實ニ我等ヲ驚嘆セシムルノデアリマス、試ニ近頃竣成致シマスル所ノ長門戰  
 艦ニ就テ之ヲ見マシテモ、我輩ノ調ブル所ニ依リマスルト、彼ノ戰艦ハ二十四ノ「ボイラー」ヲ持ッ  
 テ居リマス、其二十四ノ「ボイラー」ノ中ノ二若クハ四ガ、石炭ヲ燃料トシテ用キルコトガ出來ル  
 モノニシテ、跡ニ二十、若クハ二十二ノ「ボイラー」ハ、必ズ重油專燒艦デアリマス、而シテ是ガ平  
 時ニ於テ一日ニ要スル數字ハ即チ百噸デアリマス、戰時ニ於キマシテハ、之ニ十五六倍シナケレ  
 バナラヌモノデアルト云フコトガ、専門學者ノ明示スル所デアリマス、然レバ此戰艦ニ就テノミ  
 申シマシテモ、有時ノ秋ニハ一日一千五六百噸ヲ要スル譯デアリマスルガ、之ヲ一年ニ累計致シ  
 マスルナラバ、其數量實ニ夥シキモノデアリマセヌカ、加之今日ニ於キマシテハ此數年ノ將來ヲ  
 考ヘマスレバ、必ズ年々歲々増シ來ル所ノ新戰艦ハ、重油ヲ燃料トシテ用キル構造デアルト云フ



コトハ、言フマデモナク分リ切ツタ事デアリマス、加之今日ニ於キマシテモ、驅逐艦ハ皆ナ悉ク石油専燃艦デアリマス、而シテ數年ノ後ニ必ズ完成致シマスル所ノ八八艦隊ガ出來上リマシタ時ニハ専門學者ノ明言スル所ニ依リマスレバ、必ズ三百萬噸ノ石油ヲ、一年ノ燃料トシテ貯藏シテ置ナケレバナラナイト申シマス、是ハ恐ラク誤ノナキ所ノ事ト考ヘルガ、果シテ左様デアリマスルナラバ、假リニ石油ガ一噸五十圓ト見マシテモ、三百噸ノ石油ノ代價一億五千萬圓デアリマス、而シテ外國ヨリ輸入致シマスルコトニ就キマシテハ、相當ナル所ノ所謂運送船ガ要リマス、幸ニ南洋ヨリノミ此石油ヲ買入レルモノト致シマシテモ、十回數ノ航海ガ出來ルモノト見マシテモ、之ガ爲メニ要スル所ノ所謂「タンクボート」ナルモノハ、一萬級ノ船ニシテ少クとも三十艘ヲ要スルノデアリマス、若シ一噸ノ造船費ガ三百圓要ルト致シマシテモ、此三十艘ノ造船費用ハ、少クとも千萬圓デアリマセヌカ、其外此三百萬噸ノ貯藏ヲ致シマスル所ノ「タンク」ナルモノハ、假リニ一ツノ「タンク」ニ六千噸ノ油ヲ貯藏スルト致シマシテモ、三百萬噸ノ油ヲ貯藏致シマスル爲メニハ、五百ノ「タンク」ヲ要スルデアリマス、其五百ノ「タンク」ト申シマスルモノヲ、假リニ「タンク」ノ價十萬圓ト見マシテモ、之ガ爲メニハ、五千萬圓ヲ要スルデアリマス、之ヲ合計致シマスルナラバ、即チ二億九千萬圓デアリマス、併ナガラ是ハ唯ダ單ニ一年ノ貯油ノコトヲ申スノデアリマス、若シ是ガ少クモ二年ノ間ノ準備ヲシナケレバナラスト致シマスレバ、之ニ倍額ヲ要スル譯デ、言ハズトモ分ツテ居ル、ソレノミナラズ此油ヲ、必ズシモ南洋ヨリソレダケノ多量ヲ買入レルト云フ保證ハ出來ナイ、或ハ北米合衆國ニ行クカ、墨西哥ニ依ッテ買入レルカト斯ウナリマスレバ、墨西哥ヨリ假リニ買入レルト致シマスナラバ、油ノ價ハ廉クテモ、一年二十回ノ航海ヲ得ルモノガ、墨西哥ト日本トノ間デハ、一年ニ二回シカ出來ナイデアリマス、然レバ三十艘ノ船デ足ルト申シマスルモノハ、ソレニ五倍致シマシタル、百五十艘ノ船ヲ要スル譯デアリマセヌカ、加之之ニ對シマシテハ土地ノ買入費用モ要リマスル、或ハ之ヲ運搬致シマスル費用モ要リマスル、又或ハ港灣ヲ改築シタリ、増築シタリ、或ハ築造シタリスル費用モ要リマス、是等ノモノハ唯ダ一年四百萬圓要ルトカ、繼續費デ之ヲ三年ノ間出シテ吳レトカ云フヤウナ事

柄デ、一體石油政策ガ立ッテ居ルモノト御思ナサルナラバ、是ハ我輩等ノ知ル所ニ依リテハ、非常ナル過デハナイカト斯ウ考ヘルノデアリマス、故ニ私ハ此事ニ就テ、非常ニ不廉デアッテ不安定ノ策ダト斯ウ申シタノデアリマス、而シテ私ガ三四年前ニ承リマシタ所ニ依リマスルト、海軍省ガ其當時所有致シテ居リマシタ所ノ「タンク」ハ僅ニ二十内外、其時貯油ヲ致シテ居リマシタ所ノ數量ハ僅ニ十萬噸内外、其時「タンクボート」ヲ持ッテ居リマシタ其數ハ僅々一二艘、今日ハ固ヨリソレカラ後、或ハ「タンク」ノ數モ五六十箇ニ増加致シマシタカラ、「タンクボート」モ六七十艘ハ建造セラレマシタラウ、或ハ「タンク」數ガ殖エテ、貯油モ必ズ二三十萬噸ハアルカモ知レヌ、併シ一方ニハ八八艦隊ノ成功ヲ日モ亦足ラズ待チツ、アル、此時ニ臨ミ石油貯藏ヲ致シマスルコトノ難キコトハ、艦隊ヲ造リマスルコトノ難キト同ジ位ノ日數ヲ要シ、費用ヲ要スルモノデアルカノヤウニ心得マサルガ、是ハ如何ナル御積リデアリカヲ承リタイノデアリマス、私ガ不廉ダト申シマシタノハ、唯今申シタル所ノ數字デ能ク御判リニナル筈デス、不安定ダト申シマシタル事ハ先ヅ以テ世界ニ石油ヲ制シテ居リマスル國ハ、英ト米トデアリマスルカラ、其英米ノ石油政策ヲ明ニスルニ非ザレバ、日本ノ石油方策ヲ立テルコトガ出來ナイト我輩ハ心得ル、而シテ先ヅ以テ英國ガ世界ニ對スル石油政策ヲ、昨今如何ナル方針ニ依ッテ立テ、居ルカト之ヲ精査探究シマスレバ、英國ハ此大戦ノ後、石油ノ管理統一ノ爲メニ極メテ大切ナル事ヲ感得致シマシテ、特別ニ石油大臣ト申シマスル者ヲ設ケラレマシテ、石油ニハ固ヨリ近イ關係ノアル海軍省ニ總轄ノ權利ヲ與ヘマシテ、内外ノ油田ヲ開發致シマスルコトニ最モ力ヲ盡シ、國外ノ油田ニ就キマシテハ、權利ノ獲得ニ非常ニ熱心ヲ用キテ居ルノデアリマス、而シテ英國ノ海軍大臣ガ昨年三月石油業者協會ニ於キマシテ、石油ニ關スル所ノ演說ヲ爲シタコトガアリマス、是ハ斯ノ如ク申シテアル「吾人ハ今ヤ莫大ノ好機會ヲ捉ヘントシテ既ニ其入口ニ來レリ英國國民ハ進ンデ其堂ニ入ラザルベカラズ然ラズンバ他國民ガ之ヲ占ムベシ蓋シ將來國民ノ成功ハ一ニ繫ッテ此堂ニ入ルカ否カニ依リ決セラレバナリ若シ吾人ガ世界ニ於ケル石油ノ供給ヲ確保セバ吾人ハ爲サントスル所成ラザルハ無カルベシ」斯ウ演說ヲシテ居ルノデス、是ハ雄大デアリマセヌカ、我國民ガ



考ハマスレバ、是ハ實ニ悲愴デアアリマセスカ、是等ノ事ヲ過眼視シテ居リマシテ、石油政策ヲ立テルト申シマスルヤウナ事ハ決シテ出來ナイ筈デアリマス、英國ノ一體對世界石油政策ハ、當局ガ前ニ申シマシタル通りノ精神ニ基キマシテ、斯ノ如キ數箇條ノ確乎タル法規ガ決メラレテ居ル、是ハ第一ニ植民地其他外國ニ於ケル油田ノ獲得、第二ハ石油供給ヲ受ケ居ル優先權ヲ英國海軍省ニ保留スル事、第四ハ石油事業ニ投下スル資本ハ純英國資本タル事、但シ外資ノ投入ヲ餘儀ナクスル場合ハ、重役ノ絶對過半數ハ英國人タルベキ事、此四大政策ヲ立テマシテ、乃チ起ル所ノ事柄ハ、排外油田爭奪ト云フコトガ申スマデモナク起ツテ來タコトデアリマス、ソコデ其事ハ爰ニ明ニアルノハ、第一ニ英國領土内ニ於ケル石油事業ハ外國人ノ經營ヲ禁止スル事、第二ハ英國政府ハ石油會社ノ所有及支配ニ關シ直接ノ負擔ヲ有ス、第三ハ英國民ハ外國人ニ石油會社ノ株券ノ讓渡ヲ禁止スル事、第四ハ英國ノ石油會社ハ外國資本家ニ其事業ヲ繼承スルコトヲ禁スル事、此四箇條ノモノヲ石油政策トシテ確カリ立テラレマシテ、國民ニ能ク其意ヲ諒承セシメタノデアリマス、此方策ニ基キマシテ、御承知ノ英國ノ石油ノ大會社、即チ「ローヤルダッチセル」或ハ英波石油會社、是等ノモノヲ指導シ、激勵シ、補助シ、誘發致シマシテ、内外ノ石油ニ向ツテ十分ナル力ヲ盡サセマシタルコトハ、諸君ノ御承知ノ事デアリマス、ソレニ表面カラ申シマスルト英國ノ石油事業ハ半官デアリマスケレドモ、其實質ヲ窺ヒマスルナラバ、英國ノ石油會社ハ國營デアリマス、全ク國家ガ全力ヲ注イデ、即チ天下ヲ石油政策ニ依ツテ相治メントスル所ノ方策ヲ立テ、國家ガ力ノアラン限リヲ盡シテヤリツ、アルト云フコトハ、外國ノ事情ニ少シニテモ眼ヲ注イダル人ノ知ラナイコトハナイ筈デアリマス、彼ノ歐羅巴ノ大戰ニ依リマシテ、獨逸ノ軍國主義ハ其國ノ廢滅ニ依リテ其影ヲ潛ムノ姿トナツテ居リマスルケレドモ、其代リニ將ニ擡頭シテ、天下ニ平和ノ軍國主義ヲ擴張セント致シテ居リマスルモノハ、即チ此石油政策デアリマス、固ヨリ國際聯盟ニ於キマシテ、兵備縮少ノ議論、又ソレト同時ニ經濟聯繫ノ方策ヲ立テ、世界平和ノ楔子ヲ造ラントスル手段方法ハ幾ラモ攻究セラレテ居リマスル、尾崎君ガ過日此所ニ於テ論議セラレタルモノモ、亦其一部デアリマス、我輩何カ之ニ向ツテ絶對ニ反對ヲスベキ理由ハ無イ、世界ニ於

テ平和ヲ齎シ來ル所ノ其實現ヲ見ルコトガ出來レバ、天下億兆ノ者誰カ之ヲ喜バザル者アランヤデアリマス、併ナガラ今日ノ世界各國ハ、如何ナルモノヲ主能トシテ居ルカト云ハ、即チ其國ノ繁榮、其國ノ隆達、其國ノ大勢力ヲ以テ世界ニ臨マントシテ居ルデアリマス、是ハ昔ニ於キマシテモ諸君ノ御承知ノ如ク、鐵ト石炭ノ事ニ就キマシテハ、國ノ繁榮ノ爲メニ是ガ奪略ヲ試ミ、屢々國際間ノ爭議ヲ孕マシタルコトガアルノハ明ナ事デアリマス、然レバ是カラ石油問題ニ就キマシテハ、決シテ我國民タル者ガ、空々等閑ニ付シ去ルベキ所ノモノデハナイ、決シテ平和トカ軍備縮小トカ申スヤウナ美名ノ下ニ眩惑セラレテ、各國ガ内部ニ於テ爲シツ、アル所ノ事ヲ愚眼視スルヤウナコトデハ、國策ヲ誤ルト我輩ハ信ズルデアリマス、ソレデ次ニ亞米利加ノ事ヲ申シマスルト、此英國ノ世界政策ニ就キマシテ非常ニ驚嘆ヲ致シ、憂慮ヲ致シマシテ、之ガ對策ト致シマシテハ、朝野ノ名士ガ集リマシテ、屢々之ニ就テ研究ヲ致シマシタルコトハ諸君ノ御承知ノ通りデアリマス、ソレデ石油當業者ヲ集メマシテ、其意見ヲ徵シマシタルコトガアリマシタガ、其節「スタンダード」石油會社社長ハ何ト言ウタカト云フト、結局ハ外國ニアル油田ヲ爭奪スル政策ヲ執ルニ如クハナシト、斯ウ斷言シテ居ル、ソレデ此石油問題ハ議會ノ問題中ニモ隨分大切ナ一問題トナツテ、屢々議論セラレタモノデアリマス、ソレデ亞米利加ノ石油政策ハ斯様ニ言ウテ居リマス、第一政府モ直接石油會社ニ參加シ、之ヲ指導スルコト、是ハ自由貿易ヲ最モ主眼トスル亞米利加ガ如キ事ヲ議會ニ於テ大臣ノ口ヨリ明言致シマスルコトヲ御考ニナレバ、亞米利加人ガ如何ニ石油政策ニ熱心デアルカ、御判リニナルデアアル、其次ハ世界ニ於ケル未開地油田ノ探礦ヲ行ヒ、有望油田ノ獲得ニ努メルコト、第三ガ外國管理ノ油田地ニ對シテモ機會均等主義ヲ主張スルコト、第四ニハ墨西哥ニ對シテ一層積極的開發政策ヲ行フコト、斯ウアルノデゴザイマス、是ガ英米ノ世界ニ對スル石油政策ハ、略々其意義ヲ了解スルコトガ出來ルト思ヒマス、而シテ我が大日本帝國ハ、今日世界ニ於テ大海軍國ノ一ト云ハレテ居ル、一ニハ亞米利加ガアリ、一ニハ英國アリ、一ニハ日本アリトシテ、各國ノ畏敬ヲ受ケテ居ル所デアリマス、然ルニ唯ダ艦數量ニ於テ劣ツテ居ルバカリデハナク、其船艦ヲ動カスベキ艦ノ生命トモ謂フベキ石油ノ政策



ニ就キマシテハ、前ニ申上ゲマシタ通りノ情ケナイ状態ニ居ルノデアリマス、是ハ當局大臣ガ必ズ自給自足ノ方策ヲ希望シテ居ラレマスルト思ヒマスルケレドモ、之ヲ施スノ途ヲ得ズニ居ラレ、コトデアアルマイカト思フノデアリマス、併ナガラ今日ノ状態ニ於テ、日本ハ今茲ニ一定ノ地域ガアリマシテ、石油ノ自給自足ノ大策ヲ立テント致シマスルナラバ、或ハ其域ニ達スルコトノ出来ル事情ガアルノデゴザイマス、其土地ハ知ル人ハ必ズ知ッテ居ル、外國ノ土地デアアルガ、日本ガヤラウト思ヘバヤルコトノ出来ル、内外合辦ノ途モ立ッテ居レバ、日本ノ政府ガ随分権力ヲ振ヘバ振フコトノ出来ル状態ニ居ル所デアリマス、而シテ此地方ニ於テハ内外ノ専門家が取調ヲ致シマシテ、必ズ此油田ハ將來大油田ニナルノデアラウト云フ見込ヲ立テ、居ル場所デアリマス、而シテ前ニ言フ通りニ外國ノ油ヲ買入レマスレバ、夥シキ費用ヲ要シ、時日ヲ要シ、且又英米ノ石油政策ヲ見レバ、恐ラクハ一年ノ後ニハ禁遏セラレ、如何ニ躋ヲ嚙ンデモ、日本ハ一滴ノ油ヲモ外國カラ買フコトノ出来ヌヤウニナルカモ知レナイ狀況デアリマス、故ニ此際政府タルモノハ金ヲ吝マズシテ、此鑿井事業ニ著手シナケレバナラヌモノト我輩ハ思フノデアリマス、専門家ノ言フ所ニ依リマスレバ、固ヨリ地下ニ包藏シテ居ルモノデアアル故ニ、有ルヤ無イヤノ判ラヌト云フコトハ、單リ日本ニ於テノミナラズ、世界各國ノ最大學者タル技師ガ其所ヲ試鑿シテ見ルマデハ、石油ノ實ニ現存シテ居ルヤ否ヤヲ豫言スル者ハ一人モ無イノデアリマス、ソレ故ニ今日ハ多少冒險デアアルト雖モ、唯ダ營利ヲ旨トシテ居ル商事會社ナドニ任セテ置イテ、其成敗ヲ指ヲ啣ヘテ見テ居ルト云フヤウナ、因循姑息ナ政策ヲ執ルコトナク、僅ニ五六百萬圓ノ金ヲ投ズレバ、其地方ニ於テ大油田ガ出来ルヤ否ヤト云フコトガ明ニ判ルノデアリマス、若シ是ガ否ヤト判リマシタナラバ、又政府タルモノハ宜シク他ニ方法ヲ設ケマシテ、矢張自給自足ノ案ヲ立テナケレバナラヌ、幸ニシマシテ年々五六萬モ要ル所ノ金ヲ要スル此石油事業ニ就キマシテ、僅々五六百萬圓ノ金ヲ今投ジマシテ、幸ニ大油田ヲ生ズルコトガアリマシタナラバ、日本永久ノ幸福デアリマシテ、此八八艦隊ノ目的モ寔ニ大成スル所以デアアルト思ヒマスルガ、當局大臣ハ果シテ矢張今日ノヤウニ、因循姑息ノ政策ヲ御持續ニナサルカ、今ハ斷ジテ此事ニ就テ新方策ヲ立テラレマシテ、斷々乎トシテ石油ノ國策ヲ確立ナサレマスカト申スコトヲ伺ヒタイノデアリマス

之ニ對シ加藤國務大臣ハ同日口頭ヲ以テ左ノ答辯ヲ爲セリ

唯今押川君ヨリ石油政策ニ就キマシテ、縷々御話ヲ拜聽致シマシタ、英米ノ例ヲ引キ、其他種々ナ例ヲ引證ヲシテ、要スルニ石油政策ナルモノガ有ルカ無キカ、自分ノ考デハ有ルト云フコトガ、最後ノ御話デアッタヤウニ拜聽致シタノデアリマス、石油政策ト申シマスレバ、單ニ海軍トシテノ軍事上ノミノ見地ヨリ申スベキモノデハナイト考ヘマスルケレドモ、御質問ノ趣旨ハ主トシテ海軍ヲ目標トシテノ御話デアリマスルカラ、私ヨリ爰ニ大體考ヘテ居ル事ヲ申上ゲタイト存ジマス、申上ゲル事ハ先日奥村君ニ御答ヲシタト、同様ノ結果ニ陥ルコトヲ御含置ヲ願ヒタイノデアリマス、石油ニ就キマシテハ、押川君ノ御説明ニ依ッテ我國ガ貧弱ナル事、其必要ナル事等ハ、私ガ爰ニ申上ゲル必要ハナカラウト思フ、總テ押川君ガ御説明ニナッタノデアリマス、至極其通りニ考ヘテ居ル、而シテ此石油ノ貧弱ナル我國ニ於キマシテ、海軍ガ如何ナル方法ヲ執ッテ居ルカト云フ事ニ就キマシテハ、先日奥村君ニ御答ヲ致シマシタル通り、現在ニ於キマシテハ内外ノ石油ヲ購入致シマシテ、之ヲ貯藏スルノ方針ヲ執ッテ居ルノデアリマス、其貯藏ノ數量如何ト云フ御質問デアリマスルガ、何レノ國モ石油ヲ貯藏シテ居ル數ヲ公表スル國ハ無イノデ、此故ニ申上ゲ兼ネルノデス、又軍艦ガ非常ニ石油ヲ使フト云フ御話モアリマシタガ、少シク數量ガ多過ギルヤウナ感ジガシタノデ、押川君ノ御計算ハ或ハ一日二十四時間、ソレヲ積算シテ三百六十五日船ガ歩キ通シニ歩イテ居ルガ如キ、御計算デハナイカト想像サレタノデアリマス、左様ナ事ハ事實ニ於テハ無イ、又軍艦ガ新造ヲサレマシテ、年々石油ノ所要數量ヲ増加致シマスルガ、其増加スルノニ應ジテ、其要スルダケノ額ヲ貯藏致スコトハ現在ニ於テ計畫ヲ持ッテ居ルノデアリマス、故ニ此點ニ就キマシテハ、御安心ヲ願ヒタイ、唯ダ國トシテ如何ナル根本政策ヲ持ッテ居ルカト云フ御質問ニ對シマシテハ、本日ハ問題其モノガ押川君ノ御述ニナルガ如ク、重要デアアルダケソレダケ調査研究ニ時日ヲ要スルノデアリマス、今日ハ即チ調査研究中ニ屬シテ居ルト御答スル外



ハ無いノデアリマス、併ナガラ或程度迄ノ腹案ハ持ッテ居リマス、唯ダ之ヲ爰ニ公表致スノ時機ニ達シマセヌコトハ甚ダ遺憾ニ存ジマス、押川君ハ非常ニ有益ナル油田ガアル、之ニ年ニ五六百萬圓ノ金ヲ掛ケレバ、立派ニ自給自足ガ出來ルト云フ御話デアリマス、果シテ左様デアリマスレバ洵ニ國家ノ爲メ御同慶ニ堪ヘナイ次第デアリマス、尙ホ其點ニ就キマシテハ、或機會ニ於キマシテ能ク押川君ノ御意見モ伺ヒ、吾々モ十分研究ヲ致シマシテ、目的ヲ達スルコトニ進ミタイト考ヘマス、ソレダケヲ御答致シマス

一九 薩哈噠洲占領ニ關スル政府ノ眞意質問

「ニコラエウス」港虐殺事件ニ對シ帝國政府カ薩哈噠洲ノ一部ヲ占領シタル主意ハ昨年七月三日ノ宣言ニ依リ明ナリ然ルニ其ノ宣言署名者ノ一人タル大木司法大臣ハ同年十月八日西下ノ途次神戸姫路間ノ汽車中ニ於テ神戸又新日報記者ニ對シ左ノ談話ヲ爲シ同新聞ニ依テ之ヲ世ニ公ニセラレタリ是レ果シテ帝國政府薩哈噠洲一部占領ノ眞意ナルヤ若眞意ニ非ストセハ大木司法大臣ハ何ヲ以テ此ノ如キ談話ヲ爲セシヤ政府ハ之ヲ以テ帝國外交ノ上ニ大ナル支障ヲ來タスコトナシト認メラルルヤ

マタ、田中陸相ガ辭職ナトスル理由モ必要モ全然起ツテキナイテハナイカ田中陸相ガ辭職スルノシナイノ臣責ヲ盡スノ盡サナイノト反對派ノモノハ攻撃スルカ田中陸相ハ立派ニ臣責ヲ盡シテキル、其執ツテ來タ處置ハ決シテ失敗デハナイ、自分ハ過般樺太視察ニ行ツテ來タガ其

旅行ノ結果益々田中陸相ノ執ツタ處置ノ國家ニ功勞サエアレ、決シテ國辱ヤ失敗ヲ招イタモノテナイノヲ言明シ得ル念ヲ強ウシタ、ソレハ世間ノ云フ如ク尼港殉難七百ノ亡靈ニ對シテハ、其犠牲トシテ同情スベク其事實タルヤ悲惨デアアル、悲惨デアアリ同情スヘキ物ダガ其七百ノ犠牲カ國家ニ齎ス國家ヘノ功績收利ハ實ニ偉大ナルモノテ彼ノ旅順ノ役ニ數萬ノ兵ヲ犠牲トシテヨリモ、又日露戰役全部ノ大犠牲ニ比シテモ國家將來ニ齎ス效果ノ決シテ劣ルモノテナイノヲ斷言スル、二百餘名ノ住民ノ慘禍ト三百名ノ軍人ノ戰死トニ依ッテ國家ガ將來ニ得ル利益ハ莫大ナモノダ、樺太南半ヲ得タ日露ノ役ニ比シ今度ノ尼港ノ事件ガ如何ナルモノヲ日本ニ獲得シ能フカ其結果ニ見テ然ル後兎角是非ノ批判ヲスヘキカ妥當テ其事件ノ後日ノ成行ヲ監督監視スルノ要ハアルカ徒ニ非難攻撃ヲ事トスルハ甚タ其當ヲ得タモノト云ヘナイ一體樺太北半分ハ南半分ヨリ土地モ豊カニ諸事整フテキル上ニ元來カ樺太全島日本ノ有テアッタノヲ忘レテハナラナイ

十年二月一日正木照藏君ハ右質問主意書ヲ提出シ未タ日程ニ上ラサルニ先チ大木國務大臣ハ二月十四日書面ヲ以テ左ノ答辯ヲ爲セリ

質問書掲記ノ如キ談話ヲ爲シタルコトナシ



二〇 浦鹽ニ於テ我カ歩哨ノ米國將校ニ對シ任務執行ニ關スル質問  
去一月八日拂曉浦鹽ニ於テ我カ軍歩哨カ米國海軍大尉「ラングトン」氏ニ對シ正常ニ任務ヲ遂行シタリト云フ事件ニ付我カ軍憲兵隊ハ右歩哨ヲ有罪トシテ軍法會議ニ送レリト云フ果シテ事實ナリヤ否ヤ若事實ナリトセハ國民思想及軍隊ノ士氣ニ及ホス影響甚大ナルモノアリト思惟ス依テ右事件ノ經過並之ニ對スル政府ノ所見ヲ求ム

十年二月二日田中武雄君ハ右質問主意書ヲ提出シ未タ日程ニ上ラサルニ先チ田中國務大臣ハ二月十五日書面ヲ以テ左ノ答辯ヲ爲セリ  
去ル一月八日拂曉浦潮ニ於テ我軍ノ歩哨カ米國ノ「ラングトン」大尉ニ對シ爲シタル行動ヲ軍法會議ノ審理ニ付シタルハ其ノ行動ヲ任務遂行上過失アルモノト認メタルカ爲陸軍治罪法ノ規定ニ依リタルモノニシテ目下尙調査審議中ナリ  
右ニ對シ田中武雄君ハ意見ヲ述ヘタリ

二一 思想問題ニ關スル質問

豫算總會ニ於ケル總理大臣ノ思想問題ニ對スル説明ハ茫漠トシテ主旨ヲ捕捉スルニ苦シム其ノ眞意果シテ如何

十年二月二日小橋藻三衛君ハ右質問主意書ヲ提出シ未タ日程ニ上ラサルニ先チ原國務大臣ハ二月十五日書面ヲ以テ左ノ答辯ヲ爲セリ

本年一月二十六日豫算委員會ニ於テ衆議院議員鈴木梅四郎君ヨリノ質問ニ對シ思想問題ニ關シテ答辯シタル所ハ豫算委員會議錄ニ明ニシテ更ニ説明ヲ加フルノ要ナシト認ム

二二 思想問題ニ關スル再質問

思想問題ニ關スル總理大臣ノ答辯書ハ該問題ノ皮相ニ馳セテ其ノ心核ニ觸レサルモノナリトノ疑ヲ起ササルヲ得サルヲ以テ更ニ精細ナル答辯ヲ求ム

十年二月十九日小橋藻三衛君ハ右再質問主意書ヲ提出シ三月八日趣旨辯明ヲ爲スニ先チ原國務大臣ハ書面ヲ以テ左ノ答辯ヲ爲セリ  
更ニ再ヒ答辯スルノ要ナシト認ム



右ニ對シ小橋藻三衛君ハ意見ヲ述ヘタリ

二三 米價調節ニ關スル質問

現今諸物價ノ情況ヲ察スルニ戰亂當時暴騰シタル諸物價ハ未タ舊ニ復セス加之輓近耕地ニ對スル負擔増加シタル時ニ於テ米價急落スルヲ以テ農家ノ苦痛袖手スルニ忍ヒス今ヤ農家ノ精算期タル陰曆年末ニ迫リ其ノ窮迫容易ナラス政府ハ相當ノ施設ヲ爲シ救済スルノ意アリヤ否ヤ

十年二月三日早川龍介君ハ右質問主意書ヲ提出シ未タ日程ニ上ラサルニ先チ山本國務大臣ハ二月二十一日書面ヲ以テ左ノ答辯ヲ爲セリ

米穀ノ需要供給カ均衡ヲ失シ爲メニ米價ノ甚シキ騰落ヲ惹起スルコトハ農家經濟ニモ亦至大ノ影響ヲ及ホスヘシ依テ政府ハ需給調節ノ目的ヲ以テ之ニ關スル法案ヲ提出セムトス  
右ニ對シ早川龍介君ハ意見ヲ述ヘタリ

二四 思想問題ニ關スル質問

一 政府ハ現代思想中如何ナルモノヲ以テ危險思想ナリトナシ其ノ傳播ヲ防壓セムトスルヤ其

ノ思想ノ系統並其ノ危險ナル所以ヲ町寧ニ開示セラレタシ

二 現代思想中危險ナルモノアリトスレハ其ノ眞理ニ反スルコトヲ指摘シ其ノ誤ヲ正ササレハ之カ傳播ヲ防壓スルコトハ不能ナリ所謂危險思想ノ誤謬ノ點ヲ明示セラレタシ

十年二月五日清瀬一郎君ハ右質問主意書ヲ提出シ未タ日程ニ上ラサルニ先チ床次國務大臣ハ二月十五日書面ヲ以テ左ノ答辯ヲ爲セリ

思想ハ之ヲ自由ニシ濫ニ抑壓セサルヲ以テ方針トスト雖モ其ノ我カ國體ニ反シ國家又ハ社會ノ根本組織ヲ破壊セントスルカ如キモノハ法ニ據リ嚴ニ之カ宣傳ヲ禁止スヘシ

二五 市町村ノ自治體ヲシテ煙草元賣捌事務ヲ取扱ハシムルノ件ニ關スル質問

近時地方自治體ノ財政ハ益困難ニ陥リツツアリ之カ救済ハ一日ヲ緩ウスヘカラス義務教育費國庫負擔額増加ノ如キ或ハ之カ救済ノ一方法タルヘシト雖未タ是ノミヲ以テ足レリトセス政府ハ此ノ際煙草元賣捌事務ヲ市町村ノ自治體ニ移シ以テ地方財政寛和ノ一助トナスノ意思ナキカ若其ノ意思ナシトセハ之カ詳細ナル説明ヲ求ム



十年二月九日高草美代藏君ハ右質問主意書ヲ提出シ二月二十二日提出者ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

私ハ市町村ノ自治體ヲシテ煙草元賣捌ノ事務ヲ取扱ハシムルト云フ此件ニ對シテ、御尋ヲ致シ  
タイト考ヘルノデアリマス、事ハ頗ル簡單デアリマス、而シテ又煙草ノ賣捌ガ、非常ニ收益ノア  
ルモノトモ實ハ考ヘテ居リマセヌノデアリマス、調ベテ見マスト、此大正七年度ノ政府ガ製造煙  
草ヲ賣下グラレマシタ其收益ガ、一億二千九百萬圓餘アルノデアリマス、更ニ大正八年度ハ一億  
七千二百萬圓餘アルノデアリマス、更ニ大正九年度ニナリマシテ、一億八千四百萬圓餘アルノデ  
アリマス、而シテ御承知ノ大正十年度ニ於キマシテハ、殆ド一億ノ豫算ガ出テ居ルコトハ、各位  
ハ御承知デアラウト考ヘテ居ルノデアリマス、假リニ之ヲ一割ノ手数料下渡スト致シマシタ  
所デ、約二千萬圓ノ收益ガアルト云フコトニ計算ガナルノデアリマス、御承知ノ通り現在ノ元賣  
捌ト申シマスルモノハ、全國ニ於キマシテ、四百四十一人ニ之ヲ請負ハシテ居ルト云フコトニ  
ナツテ居リマスルカラ、此少人數カラ申シマスルト、餘程ノ利益ガアルモノト考ヘマスガ、併シ私  
ガ今質問ヲ致サウト思ヒマスル、之ヲ全國ノ市町村ニ一々事務ヲ取扱ハスト云フコトニナリマ  
スルト、其數ガ割合多クナリマスルガ故ニ、其利益モ亦隨ッテ少額ノモノト思フノデアリマス、此  
少額ノモノヲ而モ質問ヲ致シ、又御承知ノ通り過日來全國ニ於キマスル所ノ、殆ド五百人餘ノ町  
村長ノ方ガ東京ニ御集リニナリマシテ、私ガ今申上ゲマスル件ノ御協議ガ出來タト申スコトデア  
リマス、サウ致シマスルト餘リ多額デモナイ少額ナ所ノ此元賣捌ノ事務ヲ、何故斯ノ如ク希望  
セラレルノデアルカ、又私モ何故斯ノ如キ質問ヲ致スノデアルカ、此事ヲ私極メテ簡單ニ理由ヲ  
申上ゲテ見タイト思フノデアリマス、御承知ノ通り今ヤ中央政府ニ於キマスル所ノ財政ハ、即チ十  
五億六千萬圓デアリマス、而シテ地方ニ於キマスル所ノ所謂市町村ノ地方費、是ハ約八億以上ニ  
達シテ居ルノデアリマス、サウ致シマシテ中央ニ於キマスル此財政状態モ地方ニ於キマスル所  
ノ此財政状態モ殆ド今ハ其稅源ニ涸渴ヲ來シ、財政状態ハ頗ル難儀ヲシテ居ルト云フコトガ、目

下ノ状態デアアルノデアリマス、殊ニ又御承知ノ通り各市町村ニ於キマシテハ非常ナ苦ミヲ致シ、  
財政状態ノ上ニ於キマシテ、非常ナ難儀ヲ致シテ居ルト云フコトモ是ハ御承知デアリマセウ、丁  
度中央政府ニ於ケル十五億六千萬圓ノ財政状態ノ中、國防費ガ其大部分ヲ占メルト云フ比例ト  
同時ニ、地方ニ於キマスル此九億幾ラノ財政状態ノ中デ、教育費ガ其大部分ヲ占メルガ故ニ、他  
ノヤラント欲スル仕事、セント欲スル勸業ニ對スル仕事モ出來ズ、又土木ノ事業モ出來ズ、衛生  
ノ仕事モ殆ド教育費ガ其大部分ヲ占メルガ故ニ、仕事ガ今日出來ヌト云フ行詰リニナツテ、甚ダ  
困難ヲ致シテ居ルト云フノガ、是ガ即チ地方ノ財政状態デアアルノデアリマス、私ハ過日新聞ノ名  
ハツイ逸シマシタガ、或ハ某地方ノ小學校ノ生徒ノ事デアリマスガ小學校ノ一人ノ生徒ガ、他ノ  
小學校ノ生徒ト同ジヤウニ辨當ヲ毎朝提ゲテ行クガ、併ナガラ正午ニ其辨當ヲ開イタコトガ無  
イト云フコトヲ、誰言フトナク生徒ガ聞傳ヘ、之ヲ教員ガ聞傳ヘテ其生徒ヲ呼ンデ調ベテ見マシ  
タ所ガ、兩親ガ、皆ナ一同辨當ヲ持ッテ行クノニ、オ前ガ辨當ヲ持ッテ行カヌト云フコトハ、甚ダ親  
トシテ濟マヌケレドモ、實ハ甚ダ家モ貧乏ヲシテ、オ前ノ辨當ノ中へ飯ヲ入レテヤルト云フコト  
ハ出來ヌノデアアルカラ、兩親モ家デ晝飯ハ實ハ食ヘヌノデアアル、故ニ辨當ヲ持タサヌト云ウテハ  
體裁ガ惡イカラ、箱ダケヲ提ゲテ行ケト云フ譯デ、ソレデ實ハ辨當ヲ喰ハヌノデアアルト其先生ニ  
答ヘタト云フ事實ガ新聞ニ出テ居ッタノガアリマス、是ハ何タル無慘ナ事デアリマセウ、子ノ可  
愛イノハ誰レモドノ親モ同ジ事デアリマスガ、其可愛イ子ニ辨當ノ中身ヲ入レズシテ、辨當ノ空  
ダケ體裁ニ提サセテヤッタト云フコトハ、私ハ此新聞ヲ見ルト同時ニ、洵ニ一掬ノ涙ヲ濺イダノ  
デアリマス、是ハ其人ノ不幸デアリマス、其家ハ成程不幸デアリマセウケレドモ、併ナガラ  
是ハ政府ガ政治ノ仕方ガ惡イガ爲メニ、一ツハ斯ウ云フ原因ヲ造ルノデハナイカト私ハ思フノ  
デアリマス、左様ニマデ地方ハ窮迫ヲ致シテ居ルノデアリマス、此中央ニ於ケル困難ヲ致シテ居  
ル所ノ財政ヲ如何ニ之ヲ開拓スルカ、之ヲ改善スルカト云フコトハ、是ハドウシテモ此行政ノ整  
理ヲシ、財政ノ一大整理ヲシ而シテ稅制ノ整理ヲシナケレバ是ハイカナイノデアリマス、又地方  
ニ於キマシテモ、是ハ殆ド今日ノ地方ノ輿論デアリマスル故ニ、ドウシテモ此地方ノ財政ノ大部



分ヲ占メテ居リマスル所ノ、教育費ノ國庫負擔ヲ増額スルト云フヨリ外ハ是ハ唯今ノ所デハ致方ガ無イ、然ラザレバ營業稅ヲ移ストカ、或ハ其他地租ヲ地方ニ移ストカ、兎ニ角要スルニ左様ナ事ヲ以テセナケレバ、到底救濟ノ途ガ無イト思フノデアリマス、デ私ハ現内閣ハ成立以來今日ニ至ルマデ、無論政黨政治アル、又輿論ニ聽ク政黨アル、内閣デアルト口ニ唱ヘラレテ居ルノニ、然ルニ不思議ナ事ハ、此財政狀態ガ地方ニ於テモ非常ニ窮迫シテ、斯ノ如ク難儀ヲシテ居ルカラ、是非共諸君ガ御承知ノ通りニ、教育費ノ國庫負擔ヲ増シテ吳レト云フコトハ、今日殆ド之ニ反對ヲスル者ハ無イノデアリマス、ソレガ爲メニ過日ノ町村長——全國ニ於ケル町村長ノ連中モ澤山ニ御殘リニナツテ、サウシテ政府ニ請願シ、サウシテ、我々議員ニ請願シテ、毎日努力致サレ、毎日之ニ奔走致サレテ居ル、然ルニモ拘ラズ政府ハ一向之ニ耳ヲ假サヌノデアリマス、私共甚ダ輿論ニ聽クト云フ今日ノ内閣ガ、ドウシテ是程大キイ輿論ニ耳ヲ假サヌノデアラウカト云フコトヲ怪シム一人デアリマス、昔ハ路傍ニ牛ノ喘クヲ見テ、自分ノ政治ニ失敗ハ無イカト三省省ミタト云フ政治家ガアルノデアリマス、今日ノ政治家ト雖モ、今日ノ内閣ト雖モ、必ズ斯ウナケレバナラスノデアリマス、又御承知ノ通り人民ガ訴ヲスレバ、嘔ヲ吐キ髻ヲ握ッテ出デテ之ニ歡接スルト昔ハ言ウテ居リマス、今日ノ政治家ト雖モ、今日ノ内閣ト雖モ斯クナケレバナラスノデアリマス、然ルニ全國殆ド異口同音ニ唱ヘル此大ナル輿論ニ、一モ耳ヲ假サヌト云フコトハ私共甚ダ遺憾ニ思フノデアリマス、此故ニ斯ノ如キ窮迫致シテ居リマスル此場合、ドウシテモ私ガ今申上ゲマスル所ノ、教育費ノ國庫負擔ヲ増スト云フコトガ第一ニ地方ヲ救濟スル唯一ノ事デアリマセウケレドモデス、併ナガラ今ノ輿論ヲ聽カザル、此輿論ヲ無視スル所ノ内閣ニ於テハ、之ヲ直チニ實行スルト云フコトハ、ドウシテモ吾々共如何ニ努力致シマシテモ利カヌヤウニ思ハレマスガ故ニ、然ラバ少額ノ利益ト雖モ洵ニ零碎ナ費用ト雖モ、受ケル利益ガアレバドウシテモ之ヲ受ケテ、少額ト雖モ村費ノ一端トシ、町費ノ一端ニ供シ、市費ノ一端ニ供シナケレバナラスノデアリマス、此故ニ私ハ先ヅ今輿論デアル、全國ニ於ケル市町村ノ輿論デアル所ノ、此煙草ノ元賣捌ノ事ヲ市町村ニ取扱ハシムルト云フコトヲ、ヤッテ戴キタイト思フノデアリマ

ス、而シテ若シモ政府ガ幸ニ少額ト雖モ利益ガアルカラ、ソレデハヤラウト云フ斯ウ云フコトニナレバ結構デアリマスガ、若シ是ガ出來ヌト云ヘバ、其出來ナイ所以ヲ而モ數字ヲ以テ、而モ明確ニ、而モ國民ニ能ク理解ノ出來ルヤウニ明カナル御説明ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、之ニ對シ高橋國務大臣ハ三月十四日書面ヲ以テ左ノ答辯ヲ爲セリ

市町村ノ自治體ヲシテ煙草元賣捌事務ヲ取扱ハシムルモ其ノ收益ハ地方財政ヲ緩和スルノ效少キノミナラス之レカ爲政府ノ經費膨脹ヲ來タスト共ニ煙草ノ賣行ニモ影響ヲ及ホシテ政府ノ收入減少ヲ見ルノ虞アルヲ以テ政府ハ市町村ヲシテ煙草元賣捌事務ヲ取扱ハシムルノ意思ヲ有セス

二六 養蠶及製絲業者救濟ニ關スル質問

昨春來生絲ノ價格ノ暴落ヲ來シタルヲ以テ之カ救濟トシテ帝國蠶絲會社ノ成立スルアルモ實質ニ於テ徹底セサルノ憾アリ若之カ實行ヲ遲延スルトキハ延テ養蠶業者ノ苦痛トナリ帝國產業上ノ一大蹉跌ヲ醸サムトスルノ恐アリ之ニ對スル政府ノ施設方針如何

十年二月九日早川龍介君ハ右質問主意書ヲ提出シ二月二十二日提出者ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ  
質問ノ要旨ハ、製絲業者ノ救助デアリマス、併シ此製絲業者ノ救助ハ、延テ農家ニ非常ナル影響



ヲ及ボスコトデアルト思ヒマス、ソコデ過日來製絲業者及帝國養蠶會社ナルモノガ集リマシテ、三千萬圓ノ救助金、即チ救濟ノ爲メニ金ヲ政府カラ貰ヒタイ、斯ウ云フ問題ガ起リテ居リマスガ、是ハ一般ニ簡單ニ聞キマスルト、甚ダ慾ノ深イ、大變ニ都合ノ好イ話ノヤウデアリマスカラ、其質問ヲ致シマスル前ニ於キマシテ、少シ此ノ帝蠶會社ノ狀況ヲ御話致シテ質問ニ入りタイト思ヒマス、御承知ノ通りニ昨年ノ四五月頃、即チ春蠶ノ終リノ頃非常ニ一般ノ繭ガ廉イ形勢ガアリマシタノデ、製絲會社即チ製絲ノ中央會ト云フモノカラ、之ガ救濟ヲ政府ニ迫ラタ譯デアリマス、其迫リマシタ結果ト致シマシテ、政府ハ二千萬圓ヲ二朱デ以テ貸與ヘヤウ、ソレノ反對ニ民間デモ二千萬圓ノ會社ヲ造ツテ、サウシテ之ガ救濟ノ方法ヲ執ツタラ宜カラウト云フコトデアッタト云フコトヲ承ツテ居リマス、然ルニ御承知ノ通り、昨年ノ五六月頃ハ隨分一般ノ狀況ガ不況ニ陥ツタ頃デアリマシタ爲メニ、詰リ其會社ヲ設立スルコトガ出來ナンダノデアリマス、併ナガラ此製絲家ガ相寄ツテ救濟ヲ政府ニ迫リマシタ爲メニ、春蠶ノ終リニ於キマシテ、其蠶ガ非常ニ廉カラウト存ジマシタモノガ、幾分ノ景氣ヲ持チマシテ、七八圓若クハ十圓ニマデ進ンダ譯デアリマス、然ルニ其後ニ於キマシテ、詰リ政府ノ補助ト會社ノ設立ガ出來マセヌ、爲メニ、稍、政府ノ補助救濟ト云フモノガ、十分ナル力ヲ得ヌヤウニナツテ參リマシタモノデアリマスカラ、ソコデ再ビ蠶ハ低落ヲ來シタノデアリマス、ソコデ夏蠶ノ終リ秋蠶ノ始リ頃ニナリマシテハ、殆ド非常ニ低落ヲ致シマシテ、三圓五十錢四圓ト申サウナ價ニマデ低落ヲ致シタノデアリマス、ソコデ再ビ此最初ニ起リマシタ製絲會社ガ集リマシテ、政府ニ段々交渉致シマシタル結果、詰リ政府ノ方デ五千萬圓金ヲ貸サウ、金ハ貸スガ、併シ矢張り民間ニ於キマシテ、責任ヲ以テ相當ノ會社ヲ設立セヨト云フコトデアリマシタ爲メニ、民間デハ最初一千萬圓ト云フ豫定デアリマシタガ、一千萬圓デハ五千萬圓ヲ貸スノニ少シカガ鈍イト云フノデ、遂ニ一千六百萬圓ト云フ會社ヲ組織致シマシテ、サウシテ此會社ニ政府カラ金ヲ借入レマシテ、サウシテ救濟ヲ致サウト云フコトニナツタノデアリマス、ソコデ少シ豫定價格ノ事ニ就テ御話ヲ致サウト思ヒマスガ、此當時救濟ヲ致シテ價格ヲ維持シヤウト申スノハ、横濱ニ出テ居リマスル所ノ生絲ノ合計ガ凡ソ十萬圓、

是ハ一捆六貫目ト致シテ居ル譯デアリマス、此大凡十萬圓、之ヲ普通ニ呼ビマス所カラ申シマスレバ、十六貫ト云フモノヲ一俵ト致シマスレバ、五萬五千餘俵デアリマス、此十萬圓ト申スモノノ中ニ二萬圓ハ有力者即チ帝蠶會社デモ設立致シマスレバ、重役トナル有力ナ人ノ所有品デアアル、又其中ノ三萬圓ハ輸出ニ不合格デアリマシテ、所謂遺絲ト云フ方ニ廻ルベキモノデアリマスカラ、差引五萬圓ト申スモノ、即チ俵ニ直シマスレバ二萬五六千俵デアリマス、是ダケヲ買入レマスレバ、必然價格ヲ維持スルコトガ出來ラウト云フ豫定ヲ立テタノデアリマス、ソコデ愈、會社ヲ設立致シマシテ、買入ノ手續ニ及バウト致シマシタ所デ、此余ヲ政府カラ直チニ借用スルコトデナクシテ、政府ハ興業銀行ヲ中間ニ致シマシテ、帝蠶會社ノ借入レヲ興業銀行カラ融通スルヤウニト云フコトデアリマス、之ニ就キマシテハ頗ル六ケシイ各種ノ條件ガ付テ、所謂株券ノ書換ハ政府ノ許可ヲ得ナケレバ書換ヘルコトガ出來ヌ、又ハ生絲ヲ賣却スル時分ニハ、農商務省ノ許可ヲ得ナケレバ賣ルコトガ出來ヌ、又重役ノ就任等ニ於キマシテモ、一々承リマシテ許可ヲ得ナケレバ、重役ノ就任ガ出來ヌ、又利益配當ノ制限ハ八朱ト云フ制限ニシテ置イテ、ソレヨリ以上ハ儲カツテモ配當ガ出來ヌ、又日々監督官ヲ一名乃至二名現場ニ派遣致シマシテ、借入其他一切ノ事ヲ監督スルト云フ、非常ニ六ケシイ檢束ノ條項ヲ此所ニ置イタノデアリマス、而シテ興業銀行ハ御承知ノ通りニ株式組織ニナツテ居リマスカラ、此銀行トシマシテハ損ノ行ツタ時分ニ、政府ガ補償致シテ呉レマスレバ宜シウゴザイマスガ、サウ云フコトハ別ニ政府ガ申サヌノデアリマスガ、此銀行カラ借入レマスコトヲ、政府ガ中間ニ立ツテ物ヲ言ツテ呉レマシタカラ、其利子ハ五朱六厘是ハ當時ノ相場ト致シマスレバ少々廉イヤウデアリマス、併シ是ハ何レモ手形組織デ之ヲ借ルコトデアリマシテ、此銀行ハ生絲ヲ擔保ニ致シマシテ、七掛デ之ヲ貸スト云フコトヲナツタノデアリマス、ソコデ一方ハ救濟ノ爲メニ帝蠶會社ヲ作りマシテ、絲ヲ買フト云フコトヲ決メタノデアリマスカラ、製絲家ノ方カラハ之ヲ買ヘト云フ、又會社モ價格ノ維持ノ爲メニ遣ツタノデアリマスカラ、買ヒタイノデアリマスガ、拂込ヲセナケレバ頭金ガ出來ヌ、興業銀行ハ七掛デ貸サウト云フノデアリマスカラ、三百萬圓ノ拂込ニ對シテ、七百萬圓借リテ來ルト云フコトニナツタ



ノデアリマス、ソコデ其當時カラ今日ニ至ル迄現在ノ所デ申シマス、此會社ハ詰リ半分拂込  
 デ八百萬圓拂込デ居リマスガ、御承知ノ通り金融ガ随分難儀ナ時代ニナリマシテ、絲ヲ買フト云  
 フコトニナレバ直グ拂込ヲスルト云フノデ、殆ド毎日々々其拂込ヲシナケレバナラヌヤウナ窮境  
 ニ陥ッタノデアリマス、ソコデ帝蠶會社ナルモノハ真中ニ入りマシテ、非常ナ窮境ニ陥ッタノデア  
 リマス、政府ガ五千萬圓ヲ貸ストカ、又一般ノ聲ノ上ニ於キマシテハ、救助ト云フコトデ、大變樂  
 ヲスルガ如キ感ガゴザイマスガ、一方カラハ此條件ニ依リマシテ、銀行ハ七掛デナケレバ貸サヌ  
 ト云フ、故ニ拂込ヲシテ行キマセヌケレバ、頭金ガ出來マセヌカラ買フトコトガ出來ヌト云フコト  
 ニナル、洵ニ真中ニ立ッテ窮地ニ陥ッタヤウナノデアリマス、是ハ政府ガ帝蠶會社ヲ一抔引掛ケタヤ  
 ウナ傾ニナル、サウ云フ惡意デヤラレタコトデナイト思ヒマスガ、是ハ何カノ行違ヒヲ生ジタノデ  
 アリマセウガ、其邊モ當時ノ政府ノ御考ヲ一應承ッテ置キタイト思フ一ツデアリマス、ソコデ借  
 入金ニハ七掛デ頭金ヲ入レナケレバナラヌ、頭金ヲ入レルニハ株金ヲ拂込マナケレバナラヌ、ソ  
 コデ五千萬圓ノ金ヲ貸スト云フコトニナリマシタガ、其貸シマスノハ手形法ニ依ッテ、利子ノ前  
 拂ニ拂ッテ行カナケレバナラヌト云フコトニナッタノデアリマス、非常ニ聲ハ救助トシテ大變有  
 難イヤウデアリマスガ、其事實ニ於キマシテ餘程窮境ニ陥タノデアリマス、ソコデ最早到底拂込  
 モ六ケシイ、此儘デ投ゲテシマヒマスレバ、是迄骨ヲ折ッタ事柄ガ一切水泡ニ屬シマスカラ、ソコ  
 デ製絲會社ノ中央會ト申シマスルモノト、帝蠶ト申シマス者ガ相密著致シマシテ、是デモ棄テテ  
 シマッテハ絲價ノ暴落ヲ來スヤウニナルカラ、其救濟ヲ乞ヒタイト、ソコデ三千万圓ノ助成金ヲ政  
 府カラ出シテ貰ヒタイト云フコトヲ申シタノデアリマス、此事モ一寸計算ヲ幾分明瞭ニ申上ゲ  
 テ置キマス、此助成金ノ三千万圓ト申シマスノハ、四萬五千圓ト申シマスル横濱ノ在荷ト、三萬  
 圓ノ地方ノ在荷ト十四萬圓ト申シマスモノハ、二月十六日ヨリ繰業ヲ開始致シマシタカラ、是カ  
 ラ、五月ノ末迄ニ出來マス、合計ヲ凡ソ二十一萬圓ト見マシテ、之ヲ俵ニ直シマスト十二萬俵デ  
 アリマス、之ヲ買ヒマスレバ是デ絲價ガ維持サレルダラウ、併シ一面反對カラ申シマスレバ、ソ  
 レヲ買ッテモ尙ホ下ッテ行キハセヌカト云フコトデアアルカモ存ジマセヌガ、其消化力ノ凡ソノ見

込ト申シマスモノハ、二月カラ五月ニ至リマス、是迄賣レマシタ平均數カラ申シマシテモ、凡ソ  
 八萬圓位ハ歐米ニ向ッテ輸出スルデアラウ、又四萬圓ハ輸出ノ不合格ノ絲ガ出來ル、一萬圓ハ尙  
 ホ是カラ進ミマシテ帝蠶ノ拂込ヲ爲シマシテ、サウシテ帝蠶ノ買入能力ガアリマセウト云フコ  
 トデ、凡ソ十三萬圓ト云フモノハ茲ニ差引キマシテ、御承知ノ如ク八萬五千圓ダケヲ買ヒマスノ  
 ニ、七千三四百萬圓ノ金ヲ要スルノデアリマス、故ニ三千万圓ダケノ助成金ヲ政府カラシテ貰ヒ  
 マスレバ、ソレドドウカ斯ウカ此始末ガ付クデアラウト云フ所カラ、三千万圓ト云フ勘定ガ出タ  
 ノデアリマス、ソコデ此助成金ニ就キマシテハ政府ガ之ヲ御助ケニナルカドウカト云フコトヲ  
 承リタカッタノデアリマスガ、既ニ二月二十二日ノ新聞紙ヲ見マスルト、國庫ノ負擔デ以テ三千  
 萬圓ヲ限度トシテ、帝蠶會社ニ助成金ヲ與ヘルト云フコトガ既ニ閣議デ決シ、又事實ノ上ニ現ハ  
 レテ來ルヤウニゴザイマス、故ニ是ハ全ク事實ノ上ニ此事ヲ實行爲サルデアラウト思ヒマスガ、  
 之ヲ尙ホ確然タル御返答ガ承リタイト存ジマス、ソコデ現在ノ所デハ製絲業者、ソレカラ帝國蠶  
 絲會社ト申シマスモノト聯合致シテ、此助成金ノ三千万圓ヲ政府カラ助成致シテ貰ヒマシテ、絲  
 價ノ下ッテ參リマセヌヤウニ之ヲ或程度ニ於テ喰止メヤウ、即チ一俵十五貫目ノ俵ヲ約ソ千五百  
 圓ト云フ豫算ヲ立テタノデアリマス、其千五百圓ト申シマスル價格ハ、繭ヲ買入レマス代價ニ致  
 シマスト、六圓二十六錢ト云フモノデ繭ヲ買入レマスレバ、其工費ヲ計算致シマシテ、丁度千五  
 百圓程ニナルノデアリマス、ソコデ若シ助成金ガナクッテ今日ノ儘棄テテ置キマシテ、亞米利加  
 カラモ購買力ガナケレバ、自然此絲價ハ非常ナ暴落ヲ致スノデアリマス、若シ絲價ガ下ッテ參リ  
 マシテ千圓ニナリマスレバ、蠶ハ三圓三十錢トナルノデアリマス、又上ニ騰リマシテ二千圓トナ  
 リマスレバ、九圓五十錢トナルノデアリマス、是ハ帝國蠶絲會社ト中央製絲ト申シマスルモノ  
 ガ、相合シテ居リマスガ、其一面ニハ間接ニ非常ニ農家ノ養蠶ニ大ナル影響ヲ及ボスコトデアリ  
 マス、ソレ故ニ若シ之ヲ極ク概括シテ一言デ申シマスレバ、當年ノ養蠶ハ政府ガ十圓デ買フ、斯  
 ウ云フノデ約六十萬貫ノ繭ヲ六億圓政府ガ金ヲ出シテ皆ナ買ヒマシテ、サウシテ此製絲家ニ賃  
 引ヲサセルト云フコトニナリマスレバ、洵ニ農家ニ取リマシテハ、非常ナ安心ヲ以テ蠶ノ掃立ヲ



シテ、サウシテ蠶業ニ従事スルコトガ出來ルノデアリマスガ、是ハ餘リ現在ノ上ニ於テ一寸ヤレバ宜シイ事デアリマスガ、出來得ザル事ト思ヒマス、然ル以上ハドウ致シマシテモ、是ハ三千萬圓ノ助成金ヲ與ヘテ、相當ノ價格ニ喰止メテ貰ヒマセヌデアリマシタナラバ、農家ハ——蠶業家ハ今年春蠶ノ出來マシタ時分ニハ、非常ナ苦境ニ入ルノデアリマス、其苦境ニ入りマシタ結果ハ、迎モ勘定ニ合ハヌト云フノデ、小口カラ桑ヲ引拔クヤウナ結果ガ生ジテ來ル、サウナリマスレバ、既ニ此事ハ皆ナ御承知ニナツテ居リマセウガ、大正八年度ノ外國ヘ出テ參リマシタ輸出ノ總額ハ、生絲デ六億三千萬圓、又絹織物ニシマシタ物ヲ合計致シマスレバ、八億圓輸出シテ居ルノデアリマス、又九年度デハ生絲デ四億、絹織物ニ致シマシテ輸出シタ物ガ一億五千萬圓アルノデアリマス、故ニ合計五億五千萬圓アリマス、此輸出物ガ全ク桑ヲ引拔イテシマウヤウニナリマスレバ、全ク二三年乃至四五年ノ間ハ、此輸出物ガ日本カラ出ヌヤウニナツテ、即チ金貨ヲ日本ニ流入スルコトガ、サッパリイカヌト云フ結果ヲ生ズルノデアル、洵ニ是ハ延テ養蠶家、製絲家、績キマシテハ帝國蠶絲會社ト申シマスモノト合セマシタ詰リ救済デアルト思ヒマスガ、果シテ政府ハ新聞紙上ニゴザイマス通りニ、三千萬圓ノ助成金ヲ與ヘマシテ此絲價ヲ維持シテ、サウシテ此輸出品ヲ救済スルコトヲセラレルコトガ確實デアルカドウカト云フコトヲ、御返辭ガ承リタイト云フ考デアリマス、ソレカラ爰ニ併セテ政府ノ意見ヲ承ツテ置キマスノハ、此助成金ヲ出シマシタ時分ニ出來マシタ繭ヲ、製絲家ガ非常ニ見倒シテ廉ク買フ、此製絲家、及帝蠶會社ヲ助ケルコトハ宜イケレドモ、農業者タル養蠶業者ニハ、大ナル影響ガ無イト云フヤウナ感シヲ持ッテ居ル人ガ中ニハ無イトハ云ハレマセヌ、若シ此助成金ノアリマス時分ニハ、千五百圓ト云フ絲價ヲ生絲ニ保タセル以上ハ、ドウシテモ六圓三十六錢ヨリ廉クハ買フナ、ソレヨリ廉ク買フト云フコトハ、全ク其助成金ノ保護ニ對シテ相濟マヌ譯ニナルカラト申シマス、所ノ是ハ命令ト申シマスカ、德義上ノ事ニ於キマシテ、製絲家ガ救済ヲ得マス上ニ就テハ、養蠶家モ——延テ此養蠶者ニモ其德澤ヲ及ボサナケレバナラヌ、唯ダ自分ガ助成金ヲ得タカラ樂ニナツタカラト云ツテ買フ方ハ叩倒シテ民間ノ養蠶家ノ方カラ廉ク買フトニナリマシテハ、全ク此養蠶業者ノ非常ナル迷惑ニ

ナルノデアリマスカラ、是ハ何等カノ方法ニ依リマシテ、若シ之ヲ助成金ヲ與ヘラレマス場合ニ於キマシテハ、相當蠶業者即チ農家ニ對シマシテモ、相當ノ惠ノアリマスルヤウナ方法ヲ執ラレルヤウナコトガ、出來得ルカドウデアアル、其邊ニ就キマシテノ御注意ハ如何デアアル、斯ウ云フ事ガ承ツテ置キタイノデアリマス、ソレカラ此蠶絲業ト申シマス上ニ就キマシテハ、是デ大要ヲ了ッ、タト思ヒマスノデアリマスカラ……(以下略)

之ニ對シ山本國務大臣ハ三月八日書面ヲ以テ左ノ答辯ヲ爲セリ

帝國蠶絲株式會社ハ銳意業務ノ遂行ニ努力シツ、アルモ内外ノ市況尙安定セス其ノ目的ヲ達成スルニ於テ遺憾アルヲ認メ更ニ同會社ノ事業ヲ助成スル爲近ク適當ノ方法ヲ採ラムトス

二七 支那共和國留學生ニ關スル質問

米國ノ支那留學生歸朝後多ク親米論者トナリテ米支國交上ニ裨益シ貢獻スルコト偉大ナルニ反シ日本ノ支那留學生ハ歸朝後却テ排日論者トナリテ日支紛議ノ中心トナル洵ニ遺憾ノ至ナリ若此ノ儘ニ放任セムカ日支兩國ノ關係ハ益險惡トナリ兩國民ノ意思愈疎隔スルニ至ラム之ニ對シテ政府ハ如何ナル方針ヲ採リ又採ラムトスルヤ本員ハ左ノ三點ヨリ之ヲ政府當局ニ質問セムト欲ス

一 支那留學生カ排日論者トナル第一ノ要素ハ日本政府ノ對支方針常ニ動搖シテ一定ノ國策ヲ



樹立セス一貫セル方針ニ基カサルカ爲ナリト信ス支那ハ由來事大主義ノ國ナリ屈從的ナル日本ノ外交ハ事大主義ノ支那人ヲシテ日本ニ信賴スルヲ不安ナラシム不安ハ終ニ排日トナル之レ半可通ノ留學生ヲシテ生活ノ爲賣名ノ爲排日論者タラシムルニ至ル一理由タリ政府ハ今後支那ニ對シテ如何ナル態度ヲ以テ進マムトスルヤ

二 米國ヨリ歸朝セル支那留學生ニ對シテ支那ニ在ル米國官民ハ有ユル方法ヲ講シテ或ハ公使館内ニ「レターランド、スチューデント、ソサイチー」ナル機關ヲ有シテ歸朝支那人ト米國人トノ意思ヲ疎通シ且其ノ就職先ヲ斡旋シ又ハ豫備教育ヲ與フル西華學校、教會、「ミッシヨン、スクール」及醫院等ノ外尙醫學學校等ヲ設ケテ絶ヘス支那人ヲ教育シテ彼等ヲ常ニ親米化セシム然ルニ日本ノ官民ト歸朝留學生トノ間ニハ何等連絡ノ機關ナク就職斡旋ノ方法ナシ又豫備校其ノ他ノ設備ナク宗教、醫術等ヲ以テ彼等ヲ親日派タラシムルノ機關モ甚タ少シ斯ノ如クニシテ何ヲ以テカ歸朝留學生ヲシテ親日論者タラシムルコトヲ得ムヤ之ニ對シ政府ハ如何ニ考慮セラルルヤ

三 日本内地到ル處ニ於テ支那留學生ニ對スル學校ノ不親切下宿屋ノ暴利一般日本人ノ輕侮等不平不滿ノ種ナラサルハナシ又中等以上ノ家庭ニ出入スルノ機會少キ爲家庭的ノ溫カミヲ感セシムルコト難シ從テ日本在學中既ニ日本ニ對スル惡感ヲ有スルニ依リ從テ歸朝後排日論者

トナルハ理ノ當然ナリ之ニ對シテ政府ハ如何ナル方針ヲ採リ又今後採ラムトスルヤ

十年二月九日清水留三郎君ハ右質問主意書ヲ提出シ二月二十二日趣旨辯明ヲ爲スニ先チ中橋、内田、床次各國務大臣ハ書面ヲ以テ左ノ答辯ヲ爲セリ

一 質問第一ニ關シ日本政府ノ對支方針ニ就テハ現政府ハ恆ニ公正ノ態度ヲ守リ且日支親善及提携ノ實現ヲ計ルヲ以テ對支政策ノ根幹トシ終始一貫淪ル所ナク將來ニ於テモ之ヲ變更セムトスルノ意圖ナシ從テ支那國民ニ於テ我誠意ノ存スル所ヲ諒解スルニ至ラハ日本留學生出身者ノミナラス一般支那國民ノ排日風潮モ漸次衰減ニ歸スヘキヲ疑ハス

二 質問第二ニ列舉セラレタルカ如キ外國側ノ施設ハ從來個人的努力ニ待ツモノ多キトコロ我方ニ於テモ此種文化的施設ノ頗ル必要ナルハ夙ニ朝野ノ識認セル所ニシテ從來ト雖モ相當此ノ方面ニ努力シ來リ例ヘハ同仁病院ノ如キ南滿醫學堂ノ如キ東亞同文會ノ支那學堂設置計畫ノ如キ其ノ重ナルモノナルカ勿論政府ハ之ヲ以テ充分ナリト思惟スルニアラス今後我官民ノ努力ヲ要スルモノ頗ル多キハ之ヲ認ムルニ躊躇セサル所ニシテ政府ニ於テモ尙ホ此點ニ留意シ篤ト考慮スルコトトスヘク要スルニ政府民間協力シテ隣善ノ實ヲ舉クルコト最モ必要ト思考ス



三 日本ニ於ケル支那留學生ノ待遇乃至生活狀態ニ付テハ政府ニ於テモ夙ニ充分ノ考慮ヲ拂ヒ關係官廳ニ於テ夫々改善ノ手段ヲ講シ居リ今後モ出來得ル限り之カ改善ヲ圖ルニ吝ナラサルハ勿論ナルモ一般社會ノ方面ニ屬スルモノノ如キハ獨リ政府ノ努力ヲ以テシテハ完璧ヲ期シ難ク政府民間兩者協力ヲ要スルモノト信ス

二八 尼港撤兵及再出兵ニ關スル質問

- 一 本年解氷後再ヒ尼港ニ出兵スルモノナリトセハ何故ニ尼港ヨリ撤兵シタリシヤ
- 二 薩哈噠占領ハ尼港虐殺事件ノ報復トシテ露國ニ鞏固ノ政府確立セラルル迄假ニ占領スヘキモノナリトハ政府ノ宣言セル處ナリ然ルニ虐殺事件ノ發生地タル尼港ヨリ撤兵シテ單ニ北樺太ノミヲ占領セルハ如何ナル理由ニ基キシモノナリヤ米國ニ於テ「日本ハ北樺太ノ石油鑛ヲ獲得セムカ爲名ヲ尼港事件ニ藉リテ以テ北樺太ヲ占領スルモノナリ」ト非難セリ政府ハ尼港ヨリノ撤兵ヲ以テ日露將來ノ交渉上一大不利益ヲ來スノ恐ナシト考ヘサルヤ
- 三 尼港附近ニハ漁區約五十箇所製魚場約百箇所アリ漁場ノ權利ハポーツマウス條約ニ依リテ保證セラレタルモノニシテ今ヤ其ノ實權日本人ニ歸セムトセル場合我カ軍隊既ニ尼港ヨリ撤兵セリ昨秋撤兵ノ結果漁業家ハ全ク本年度ノ設備ヲ爲ス能ハス非常ニ困憊セリ政府ハ是

等困憊セル漁業家ニ對シテ如何ナル處置ヲ採ラレシヤ

四 尼港撤兵ノ理由トシテ陸軍當局ノ曾テ新聞記者ニ談セシ點ヲ聞クニ「尼港ニハ家屋少ク防寒設備ナク飲料水惡シ」ト然シナカラニ港ニ殘存セル家屋ハ僅ノ修繕ヲ加エタルノミニテ優ニ一個大隊以上ノ兵ヲ駐屯シ得ラレタルモノナリ而カモ防寒設備ハ亞港新築ノ家屋ニ比シテ遙ニ優レリ飲料水亦亞港ノ如ク惡シカラス然ルニ兵舎ヲ新築セサルヘカラサリシ亞港ニ移リテ多額ノ費用ヲ投シ以テ粗雜ノ家屋ヲ新築セルハ果シテ策ノ得タリシモノナルヤ政府ハ尼港ヨリ撤兵シタルコトヲ以テ未タニ日本ノ利益ナリシト確信セラルルヤ

五 北樺太ニ一個旅團全部ヲ駐屯セシムルヨリハ其ノ中ノ一二大隊ヲ割キテ尼港ニ駐メシコト寧ロ宜シカラサリシヤ亞港其ノ他北樺太各地ニ我カ軍隊ヲ駐屯セシメタル今日尼港カ昨年ノ如ク孤立無援ノ地ナリト信スル能ハス況ムヤ間宮海峽ヲ通シテ冬期亞港ニ港間交通シ得ラルル今日ノ場合ナルニ於テオヤ然ルニ政府ハ再ヒ尼港ニ事變突發セリト假定セル場合尙依然トシテ北樺太ヨリノ直接救援カ不可能ナリト信セラルルヤ

十年二月九日清水留三郎君ハ右質問主意書ヲ提出シ二月二十二日趣旨辯明ヲ爲スニ先チ内田、田中各國務大臣ハ書面ヲ以テ左ノ答辯ヲ爲セリ



一 本年解氷後ハ再ヒ我軍隊ヲ樺太對岸ニ進メテ尼港其他薩哈噠州内ニ於ケル若干要地ノ占領ヲ行フ豫定ナリ尼港ニ於ケル越年ノ爲ニハ相當有力ノ部隊ナルヲ必要トシ從テ夥多ノ軍需品ヲ輸送集積シ且ツ所要ノ兵營建築ヲ實施スルハ勿論情況ノ異變ニ應スル必須ノ處置トシテ冬季樺太島及樺太ヨリ尼港ニ至ル陸路ノ交通施設ヲ整備シ救援ノ方法ヲ講セサルヘカラス此等ノ諸準備ヲ完了セムカ爲ニハ多クノ勞力ト時間トヲ必要トスルヲ以テ漸進的ニ施設ノ歩ヲ進メ北樺太ニ其全力ヲ傾注スルヲ有利ナリト認メ昨秋ハ一先尼港ノ駐屯部隊ヲ撤退セリ

二 尼港ノ駐兵ニ關シテハ第一項ニ述ヘタルカ如クナルヲ以テ此一時的の尼港ノ撤兵ニヨリ日露將來ノ交渉ニ不利益ヲ來スモノトハ認メス

三 尼港附近ニ在ル黑龍江ノ漁區及製魚區ハ他ノ地方ト異リ日露漁業協約ニ於テ本邦人ノ參加ヲ認メ居ラス本邦人ハ單ニ黑龍江ノ下流ニ於テ製魚區ヲ租借シ露國人ノ漁獲魚ヲ買入レ製造スルノ權利ト黑龍江海灣ニ於テ漁撈ト製造ノ權利ヲ併有セルノミニシテ尼港虐殺事變突發ノ前年ニハ僅カニ一二ノ本邦人カ出漁セルニ過キサリシカ昨年尼港派遣隊カ同地方ノ漁業ヲ管理スルコトトナリタル結果漁區ト製魚區トノ競賣ヲ執行セル爲多數日本人ノ參加ヲ見タル次第ニシテ右ハ單ニ一箇年ノ期限ヲ以テ競賣セシモノナルカ故ニ本年度ノ設備ヲ爲ス能ハスシテ困憊セル漁業者アルヘキ等ナシ而シテ單ニ一箇年ノ期限(事實漁業ヲ爲シ得ルハ結氷前ノ數月

ニ止マル)ヲ以テ落札セシメタルハ我管理ノ性質ニ顧ミ當然ノ義ナリ

四 尼港撤兵ノ理由ハ既ニ述ヘタル處ニシテ陸軍當局ノ談ナルモノハ關知スル所ニアラス又北樺太ノ新築兵營ハ決シテ粗雜ナルモノニアラス

五 冬期亞港尼港間ノ交通ハ個人ナラハ可能ナリ然レトモ團隊ヲ以テシテハ決シテ然ラス

二九 養蠶業者救濟ニ關スル質問

大正九年度ニ於テ政府ハ養蠶業者ヲ救濟スルノ趣意ヲ以テ低利資金一千萬圓ヲ支出シテ其ノ實ヲ擧ケラレムトセシモ之カ借入ノ手續繁雜ヲ極メ爲ニ之ヲ借入レタル養蠶業者甚タ少シト聞ク加フルニ昨年下半年頃ヨリ絲價非常ニ暴落シ養蠶業者ノ損害甚大ナリ政府ハ大正十年度ニ於テモ亦養蠶業者ヲ救濟スルノ意思アリヤ否若幸ニシテ之カ救濟ヲ爲ストスレハ其ノ程度如何

十年二月十日山邊常重君ハ右質問主意書ヲ提出シ三月二十二日提出者ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ本員ハ全國二百萬戸ノ養蠶家ノ爲メニ、養蠶業者救濟ニ關スル質問書ヲ政府ニ提出シタノデアリマス、昨年ノ一月ハ生絲ノ市價ガ四千四百萬圓以上ニ達シマシタ、所ガ昨年ノ八月七旬ニハ是ガ千百圓ニマデ下落致シマシタ、殆ド四分ノ一ト云フ價格ニナッタノデアリマス、ソレガ爲メニ二百萬戸ノ養蠶家ノ被リマシタ損害ハ實ニ非常ナモノデアリマス、昨年ノ統計ニ依リマスルト、



一貫目ノ春繭ノ總テノ生産費ハ八圓三十五錢ツ、掛ッテ居リマス、ソレガ昨年ハ此八圓三十五錢掛ッテ原價ノ繭ヲ、平均六圓内外デ賣放タナクチャナラヌト云フヤウナ結果ニナッテ居リマス、ソレガ爲メニ各養蠶家ノ被リマシタ損害ト云フモノハ、中々莫大ノ額ニ上ッテ居リマス、此邊ニ政府モ御注意サレマシテ、昨年ノ五月低利資金一千萬圓ヲ支出シテ、養蠶家ノ救済ニ充テラレマシタケレドモ、其借入ノ手續ガ非常ニ面倒デアアル、ソレガ爲メニ折角政府ガ一千萬圓ノ低利資金ヲシマシタケレドモ、之ヲ借入レタノハ僅ニ四百萬圓、残り六百萬圓ハ誰デモ借人ガ無イト云フヤウナ結果ヲ來タシタノデアリマス、ソレガ爲メニ夏繭或ハ秋繭ノ如キハ非常ナ暴落ヲ致シマシテ、夏繭ハ殆ド二圓五十錢若クハ三圓五十錢位ニ暴落シマシタ、幸ニシテ政府ノ援助ニ依リマシテ帝蠶會社ナルモノガ出來マシテ、一方此生絲千五百萬圓マデ買仕切り、ソレガ爲メニ、稍、市價ハ恢復致シマシテ、昨年ノ秋繭ノ一番終リノ頃ハ、一貫目六七圓ヨリ八九圓マデニ騰貴致シマシタ、併シ此帝蠶會社ノコトニ就キマシテハ、先輩早川君ガ詳細ニ述ベラレマシタケレドモ、現在デハ甚ダ悲シムベキ狀況ニ在ルト私ハ思フノデアリマス、何シロ一千六百萬圓ノ會社ヲ拵ヘマテ、八百萬圓拂込ンデ、昨年ノ七月以降ニ於テ、此慘澹タル經濟界ノ情勢ニ在ルト時ニ八百萬圓ノ金ヲ拂込ムコトハ、中々容易ナ事デハナイダラウト思フ、是ハ私ハ帝蠶會社ノ株主ニ對シテ深ク敬意ヲ拂フ一人デアリマス、政府ハ之ニ對シテ五千萬圓ヲ限度トシテ、年五朱六厘ノ利息ヲ以テ、帝蠶會社ノ生絲買入資金ヲ貸出シテヤル、所ガ聞キマスルトマダ二千萬圓シカ出シテヤラス、ソレガ爲メニ帝蠶會社ハ、千六百萬圓ノ半額八百萬圓、政府カラ借りマシタ二千萬圓トヲ併セテ之ヲ頭金ニシテ、漸クニシテ二萬圓ノ生絲ヲ買入メテ、サウシテ市價ノ維持ヲ圖ルト云フコトガ第一ノ目的ニ於テ少クトモ五萬圓ノ生絲ヲ買集メテ、サウシテ市價ノ維持ヲ圖ルト云フコトガ第一ノ目的デアリマシタ、本日ノ新聞ニモアリマス通り、政府當局ガ更ニ帝蠶會社ニ對シテ、三千萬圓ノ助成金ヲ交付セラル、ト云フコトハ、私ハ國家ノ爲メニ、殊ニ二百萬圓ノ養蠶業者ノ爲メニ、當局ニ對シテ相當ノ敬意ヲ拂フノデアリマス、此三千萬圓貸出シマシタ生絲借入資金ハ、間接ニハ養蠶家ノ矢張利益ニナルノデアリマス、詰リ此三千萬圓ト云フ助成金ハ、各製絲家ガ春繭ヲ買入レル

資金ニナルノデアリマスカラ、是ハ甚ダ製絲家及養蠶家ニ取リマシテモ、非常ニ好都合ナ事デアリマス、デ私ハ今一步進ンデ政府ガソレマデ帝蠶會社ヲ救助シ、此養蠶業ト云フコトニ重ヲ置カレルナラバ、今一步進ンデ、何故ニ二百萬圓ノ養蠶家ヲ直接ニ救済スル策ヲ講ジナイノデアアルカト云フノガ、私ノ質問ノ大體ノ趣意デアリマス、私ノ希望ト致シマシテハ、大正十年度ニ於キマシテモ、此昨年ノ一千萬圓ヨリ多ク成ベクハ三千萬圓、若クハ四千萬圓ノ低利資金ヲ養蠶業者救済資金トシテ支出ヲ願ヒタイ、其手續モ昨年ノヤウニ非常ニ繁雜デアッタナラバ、借入レル人ガアリマセヌカラ、是モ養蠶組合ト云フヤウナモノガ運帶責任ヲ負タナラバ、之ニ對シテ相當ナ信用ヲ拂ヒ、之ニ對シテ相當ナ資金ヲ貸出シテヤルト云フ、成ベク簡易ナ手續ヲ執ッテ貰ヒタイト云フノガ、本員ノ最モ希望スル所デアリマス、先程早川君モ申サレマシタケレドモ、大正八年度ニ於テハ生絲ノ輸出額ハ六億三千萬圓、絹織物ハ一億六千萬圓、合計八億近ク輸出ヲシテ居リマス、然ルニ大正九年度ニ於テハ生絲ハ三億四千萬圓、絹織物ハ一億六千萬圓デ、絹織物ハ殖エテ居リマスケレドモ、此生絲ハ減ッテ居リマス、生絲其モノ、實質ハ減リマセヌガ、價ガ下ガッタ爲メニ、此輸出額ノ上ニ於テ約二億圓以上ノ差額ヲ生ジタノデアリマス、是ハ國家ノ爲メニ甚ダ憂フベキ事デアリマス、若シ此大正十年度ニ於キマシテモ、矢張此繭一貫目ノ生産費ハ少クモ六圓八十錢、乃至七圓掛ル計算ニナッテ居リマス、之ヲ又五圓乃至四圓五十錢位デ賣ルコトニ致シマスレバ、殆ド二百萬圓ノ養蠶業者ハ、之ガ爲メニ今後何年間モ此養蠶業ヲ恢復スルコトガ出來ナイト云フヤウナ、甚ダ悲シムベキ狀態ニ陥ルモノデアルト私ハ此點ヲ竊ニ心配スルノデアリマス、之ガ爲メニ國家トシテモ、此養蠶業者ニ對シテ出來得ルダケノ救済ヲシテ貰ヒタイ、又出來得ルダケ助成ヲ願ヒタイ、サウシテ成ベク我國ノ生絲ヲ外國ヘ輸出スルコトニスル、若シ此儘ニ放任シテ置キマス、近頃ハ支那ニ非常ニ生絲ガ出來ル、日本ノ千五百萬圓ノ生絲ハ、支那ハ、少シ品質ガ惡ルイガ是ハ七百五十圓デ買ヘル、殊ニ當今ハ銀塊ガ非常ニ暴落シテ居リマスカラ、尙ホモウ少シ廉イ生絲ヲ支那カラ買入レルコトガ出來ル、サウナリマスレバ日本ノ養蠶業者ト云フモノハ、將來非常ナ打撃ヲ被ル、日本ノ重要輸出品タル生絲ガ、日本ノ國カラ一柵モ出ナイ



ヤウナ状態ニ立至リハシナイカト云フノガ、私ノ最モ心配ニ堪ヘナイ事デアリマス、此政府ハ大正十年度ニ於キマシテモ、成ベク此養蠶業者ニ對シテ、低利資金三千萬圓ナリ四千萬圓ナリヲ出シマシテ、養蠶業者ヲ救済シ、成ベク多クノ生絲ヲ造リマシテ、詰リ外國ト日本トノ爲替勘定ニ於テ、何時モ日本ガ受取り勘定ニナルヤウニシテ貫ヒタイ、又サウスベキガ當然デアルト私ハ考ヘルノデアリマス、要スルニ私ノ質問ノ趣意ハ、ドウカ大正十年度ニ於テモ、矢張政府ハ養蠶業者ヲ救済スル意思ガアリマスルカドウカ、若シ御意思ガアリマスレバ、其程度及此貸付ノ方法ニ就テ具體的ノ説明ヲ願ヒタイト云フノガ、本員ノ質問ノ趣意デアリマス、何卒政黨政派ニ關係ナク、本問題ニ就テハ十二分ノ御賛成アラントラ、二百萬養蠶業者ヲ代表シテ諸君ニ御願スル次第デアリマス

之ニ對シ山本國務大臣ハ三月八日書面ヲ以テ左ノ答辯ヲ爲セリ

曩ニ養蠶業者救済ノ目的ヲ以テ日本銀行ヨリ融通セシメタル資金ハ殆ト其ノ大部分ノ貸付ヲ了シ相當ノ效果ヲ收メタルモノト認ム尙ホ帝國蠶絲株式會社ノ事業ヲ助成スルノ結果ハ延テ養蠶業者ニモ其ノ效果ヲ及ス可キヲ以テ蠶絲業者ニ對シ新ニ特別ノ救済方法ヲ講スルノ必要ヲ認メス

### 三〇 養蠶業者救済ニ關スル再質問

政府ノ答辯書ニ依レハ大正九年度ニ於テ養蠶業者救済ノ趣旨ヲ以テ日本銀行ヨリ低利資金ヲ貸出シ相當ナル好果ヲ收メタリト政府自ラ認メ居ルニ拘ラス大正十年度ニ於テハ帝國蠶絲株式會

社ヲ救済シテ絲價ノ維持ヲ計ルノ結果間接ニ養蠶業者ノ救済トナルカ故ニ新ニ其ノ救済ノ必要ナシト答辯セリ然レトモ帝國蠶絲株式會社ハ一人ニ過キスシテ養蠶業者ハ全國ヲ通シテ二百萬戸アリ然ルニ政府ハ一人ヲ救済シテ多數ノ養蠶業者ヲ直接ニ救済スル必要ナシトハ國家ノ産業發達ヲ阻害スルコト甚タ大ナリト信ス政府ノ所見果シテ如何

十年三月八日山邊常重君ハ右再質問主意書ヲ提出シ三月二十二日趣旨辯明ヲ爲スニ先チ山本國務大臣ハ書面ヲ以テ左ノ答辯ヲ爲セリ

帝國蠶絲株式會社ハ一人ニ過キスト雖絲價ノ調節ヲ目的トシテ設置セラレタルモノナレハ其效果ハ絲價ヲ安定セシメ金融ヲ圓滑ニシ延テ養蠶業者ニモ好影響ヲ又ホスモノト認ム右ニ對シ山邊常重君ハ意見ヲ述ヘタリ

### 三一 阿片販賣及取締ニ關スル質問

一 阿片吸食ハ人體衛生上ノ大問題ニシテ今マヤ國際的衛生ノ見地ヨリ其ノ取締ニ關スル條規ハ媾和條約ニ規定スル處ナリ關東廳ニ於テモ此ノ趣旨ニ鑑ミ從來阿片販賣ニ付テハ嚴重ナル規定ヲ設ケ關東州ニ居住スル支那人ニシテ阿片癮者ニ限リ一定ノ制限ノ下ニ小賣人ヲシテ之カ



賣捌キヲ爲サシメ來リシモ漸次其ノ數ヲ減少セシム手段ヲ執ルヘキ方針ナルハ林前關東長官ノ聲明セシ處ナリトス然ルニ關東廳阿片局ハ大正八年四月ニ至リ従前ノ小賣人ノ外更ニ特賣人ノ制度ヲ設ケ多數ノ特賣人ヲ特許シ無制限ニ販賣セシメツツアル理由奈何

一關東廳カ公認セシ阿片小賣人ハ約八百名ニシテ内大連居住者二百人ナリ此等小賣人ノ賣捌高ハ大正八年ニ於テ大連市内ハ一人一日平均四十匁其ノ他ハ十匁ナル趣之ヲ積算スレハ一箇年五千百十貫匁ニシテ其ノ賣捌代金約六百十三萬二千圓ナリ之ヨリ三井物産會社納入原價二百五十五萬五千圓並小賣人手數料六十一萬三千二百圓ヲ控除セシ殘金二百八十六萬三千八百圓ハ實ニ其ノ純益ナリトス

又特賣人五十餘名中主ナル者ノ毎月販賣數量ハ幡忠國ベルシヤ品約百二十貫外沒收品十二貫、安承生六十貫外沒收品二十貫、朱春山二十貫外沒收品十三貫、魏長德三十貫、廣太三十三貫、藤井三郎二十貫、林某十五貫、王某十五貫ニシテ之等既ニ明ナル特賣人販賣高ヲ積算スルモベルシヤ品ノミニテ一箇年三千七百二十貫此ノ拂下價格三百七十二萬圓ヨリ三井物産會社納入元價百八十六萬圓ヲ控除セシ殘額ハ利益金ニシテ即チ百八十六萬圓ナリトス此ノ外不明ノ分ヲ合算スレハ恐ラクハ倍額以上ニ達スヘシ

又大正八年度下半年期ニ於ケル密輸入沒收品ハ百十九件ニシテ數量二百三十三貫五百匁ナリ從

來ノ競賣價格平均十匁七圓トシテ十六萬三千四百五十圓ナリ其ノ競賣代金ハ三分ノ一ヲ密偵ノ報酬ニ與ヘ他ノ三分ノ二ハ國庫雜收入並阿片局收入ニ折半セラルヘキモノナルヲ以テ大正八年度ニ於ケル國庫收入ハ十萬八千九百餘圓ナリトス

以上三口ノ合計四百八十三萬二千七百餘圓ハ大正八年度ニ於ケル阿片販賣ノ利益ナリトス然ルニ本月四日山縣關東長官カ豫算分科會ニ於ケル言明ニ依レハ同年度ノ收入ハ百八十萬圓内外ナリト果シテ然ラハ其ノ差額三百餘萬圓ノ行衛ハ奈何

一大正四年四月阿片局ヲ設ケシ以來五箇年半ニ互ル沒收品ハ尠クトモ二千貫以上ニ達スヘキ勘定ナリ其ノ處分ハ如何ニ爲シタルヤ

一大正八年十月沒收阿片ノ内約一千貫ヲ朱春山ニ特賣セシ趣ナルカ其ノ代金ハ阿片收入ニ加算セサルモノノ如シ事實奈何

一特賣人幡忠國其ノ他ト日本人某トノ間ノ契約ニ依レハ其ノ特賣利益金ノ三分ノ二ハ日本人某ノ收得ニ歸シツツアリ政府ハ其ノ間ニ不正行爲ナシト認ムルカ奈何

一阿片局主事小島庄二郎ハ古賀拓殖局長官ノ推薦ニ依リ任用セラレタル人物ナル趣ナルカ同人ハ盛ニ特賣人又ハ一般支那人ニ對シ阿片ヲ密賣シ巨額ノ利益ヲ擧ケ之ヲ梶井某ニ託シ屢内地ニ送付セリトノ風評アリ事實果シテ奈何



一大正六七年以降最近ニ至ル迄阿片局員カ關與シテ天津其ノ他ニ於テ阿片ヲ密賣シツ、アリシト謂フ事實奈何

一大正八年十二月三十一日午後十時三十分發長春行ノ列車ニ小島庄二郎ハ阿片煙土九十六個(二井納品重量十一貫六百三十匁)ヲ一個ノ「トランク」ニ收メ普蘭店(關東州内)ニ持參スヘク申立テ大連海關大連驛貨檢所ヲ無檢査ニテ通過シ大和ホテルボーイ上田定平ニ命シ發車時間ノ際ニ至リ奉天送リノ手續ヲ爲サシメ其ノ時乗車シ居リシ前樺太長官平岡定太郎ニ該「トランク」ノ合鑑ヲ渡シタルヲ巡査岡崎又藏ノ爲ニ發見セラレ同巡査並海關外勤部長濱田正直貨檢所員白井久保立會ノ上之ヲ差押ヘタルニ平岡小島ノ兩人ハ大ニ狼狽シ中野民政署長ニ通報シ救助ヲ求メ中野署長ハ直ニ海關ニ交渉シテ阿片ノ引渡ヲ受ケ該件ヲ揉消シタリトノ風評アリ事實奈何

一大正九年十二月四日小島庄二郎ハ當時在天津平岡定太郎ニ送付スヘク阿片約二十貫ヲ特賣人安承生方ヨリ搬出スルヲ巡査吉岡某ニ發見セラレ取押ヘラレタル際中野民政署長ノ命ニ依リ天津ニ送ルヘキ品ナリト辯解セシモ同巡査ハ假令中野署長ノ命ナリト雖密輸出ヲ許サスト叱責セラレ小島ハ只管謝罪シテ輸送ヲ中止セシコトアリヤ奈何

十年二月十二日日本田恆之君外一名ハ右質問主意書ヲ提出シ三月一日趣旨辯明ヲ爲スニ先チ原國務大臣ハ書面テ以テ左ノ答辯ヲ爲セリ

一 政府ハ國際衛生ノ通義ニ基キ速ニ關東州ニ於ケル阿片吸食ノ弊風ヲ芟除セム爲嚴ニ取締ヲ實行スルト共ニ癮者ニ對シテハ救療上必要ノ程度ヲ限リ吸食ヲ特許シ漸次之ヲ減少シテ遂ニ絶滅ニ至ラシメムコトヲ期セリ而シテ癮者ニ供給スヘキ阿片ハ關東廳ニ於テ直接之ヲ取扱フコトナク其ノ嚴密ナル監督ノ下ニ慈善團體宏濟善堂之カ元賣捌ヲ爲シ指定小賣人更ニ之ヲ癮者ニ販賣スルモノニシテ指定小賣人ノ外特賣人ヲ設ケタル事實ナシ

一 關東廳ノ特許シタル小賣人ハ百一名ニシテ他ニ特賣人ナク之ニ對スル大正八年度賣下數量ハ四千八百八十九貫又同年度關東州地方費阿片收入(特許料)ハ百九十四萬八千九百圓ニシテ質問主意書記載ノ如ク多量ノ阿片ヲ賣下ケタルコトナク從テ爾ク多額ノ販賣利益ヲ生スルモノニアラス

一 大正四年以降大正九年上半年期ニ至ル沒收品ノ數量ハ二千五百三十二貫八百八十六匁ナルカ右ハ宏濟善堂ニ拂下ケ宏濟善堂ハ更ニ之ヲ小賣人ニ賣渡シタリ其ノ拂下代金ハ關東廳特別會計ノ收入ニ、又其ノ特許料ハ關東州地方費ノ收入ニ歸シタルモノトス

一 朱春山ニ阿片ヲ特賣シタル事實ナシ



- 一 幡忠國其ノ他ト日本人某トノ間ニ質問者ノ云フカ如キ契約アリト云フ事實ヲ知ラス
- 一 宏濟善堂職員小島貞次郎ハ刑事事件ノ被告トシテ目下取調中ニ屬スルヲ以テ同人ノ行爲ニ關シテハ茲ニ答辯スルコトヲ得ス尙同人ハ古賀拓殖長官ノ推薦ニ係ルモノニ非ス
- 一 大正六七年以降最近ニ至ルマテ宏濟善堂職員カ天津其ノ他ニ於テ阿片ヲ密賣シタル事實ヲ認メス

一 宏濟善堂職員小島貞次郎ハ刑事事件ノ被告トシテ目下取調中ニ屬スルヲ以テ同人ノ行爲ニ關シテハ茲ニ答辯スルコトヲ得ス

一 前同斷

右ニ對シ本田恆之君ハ意見ヲ述ヘタリ

三二 阿片取締ニ關スル再質問

關東州ニ於ケル阿片拂下ノ問題ハ今ヤ囂々タル政治問題ノ中心ニシテ之ヲ外ニシテハ國際信義ノ疑惑ヲ招キ之ヲ内ニシテハ官紀紊亂ノ叫トナリ其ノ底止スル處ヲ知ラサル狀態ナリ以下大要ヲ掲ケ質問シ政府ノ責任アル答辯ヲ求ム

關東廳ハ阿片拂下ニ關シ有名無實ナル宏濟善堂ナル一機關ヲ設ケ之ニ當ラシメ表面上其ノ非違

ノ責任ヲ免カレト裝フト雖其ノ實職員ノ任免拂下ノ監督ハ民政署長中野有光專ラ之ヲ掌リ拂下ノ事務ハ阿片總局理事補小島貞次郎ヲシテ之ニ當ラシメタルモノナリ中野モ小島モ共ニ拓殖局長官古賀廉造トハ多年親懇ノ間柄ニシテ常ニ其ノ門ニ出入シ彼等カ今日ノ位地ヲ占メ得タルモ主トシテ古賀ノ盡力ニ基クコトハ世上公知ノ事實ナリトス而シテ彼等ノ間ニ如何ナル密議アリシヤハ茲ニ言明ノ限ニ在ラスト雖何等必要ナキニ拘ラス從來認可セシ阿片小賣人ノ外大正八年ニ至リ新ニ特賣人ナル最怪シムヘキ制度ヲ設ケ無制限ニ阿片ヲ拂下クルニ至リタルハ是レ則チ彼等カ不正ヲ働クニ便宜ヲ謀リシ機關ヲ設ケタルモノト云ハサルヘカラス如何ニ彼等カ不正ヲ働キシカ又働キツ、アルカ今其ノ一二ノ例ヲ舉クレハ

第一 大正八年七月下旬蒲原基輔ハ大連ニ渡リ小島貞次郎ノ斡旋ニテ支那人杜統階ヲ名儀人トシテ大々的ニ阿片ヲ特賣シ利益ヲ分配スヘキ契約ヲ締結セリ該契約ハ大連市外老虎灘奴亭ト稱スル旗亭ニ於テ蒲原基輔小島貞次郎大河平隆敏杜統階朱春山及通譯范永才等列席ニテ取結ハレ其ノ約旨ハ阿片拂下ノ資金ハ杜統階之ヲ負擔シ利益分配ノ方法ハ專賣品(三井納付ノベルシヤ産)ニ就テハ總利益ノ八割ヲ蒲原ニ於テ收得シ殘二割ヲ杜ニ分配シ密輸入沒收品ハ蒲原七割杜三割ヲ分收スヘキモノト規定セリ

而シテ大正八年八月三日以降九年三月二十一日迄右契約ニ基キ取引ヲ實行セシ回数ハ專賣品



二十九回沒收品十九回ニシテ蒲原ノ收得金ハ約三十五萬圓ナリ其ノ後ノ取引ヲ推算スレハ同人ノ收得金恐クハ百萬圓以上ニ達スヘシ該收得金ハ納テ小島貞次郎ヨリ蒲原基輔ニ宛横濱正金銀行大連支店ノ爲替又ハ特使ニ現金ヲ携帶セシメ送付セシ趣ナリ  
試ニ該取引ニ關シ杜統階ノ金主朱春山ノ書記鄧漢郷カ記載セシ每次餘利總冊ト題スル帳簿ノ一部ヲ示セハ左ノ如シ

第一回 大正八年八月初三日 結  
民國八年七月初六日

收賣邊土金共一萬六千七百四十四圓

重量 二行〇六十二兩<sup>八圓</sup> 一萬六千四百九十六圓  
紙皮四十五兩<sup>五圓</sup> 二百四十八圓

付買邊土金一萬一千五百十三圓十五

重量二千〇九十三兩三五圓

開除買邊土金淨得利益

金五千二百三十圓〇八十五錢

蒲原七割金三千六百六十一圓五十九

統階三割金一千五百六十九圓二十五

右ハ沒收阿片ヲ特賣セシ利益分配ノ記載ナリ專賣品ノ利益分配ノ記載モ亦同一ニシテ只蒲

原ノ收得金ヲ八割トセシ相違アルノミ

茲ニ最奇怪ナルハ小島貞次郎ハ杜統階ニ命シ右帳簿ノ外ニ賣上明細帳ナル別帳ヲ作製シ之ニ特賣利益額ヲ刪減シテ記入セシメシコトナリ蓋小島ハ蒲原及其ノ背後ノ人物ヲ欺瞞シ自ラ其ノ差額ヲ横領セシモノナラム小島ト蒲原トハ同穴ノ不正漢ナリト雖小島ノ惡計驚クノ外ナク上ニハ上アリト云フヘシ今參考ノ爲虛偽帳簿ノ記載ヲ附記ス

第一回 大正八年八月初三日  
民國八年七月初六日

一邊土拂下重量二十貫九三三匁 每十匁五圓五十錢

拂下價金一萬一千五百十三圓十五錢

風袋一貫四百八十一匁

差引正味十九貫五百四十二匁 十匁八圓

賣上價一萬五千五百〇六十一圓六十錢

純益金四千〇四十八圓四十五錢

七割 二千八百三十三圓九十一匁

三割 一千二百二十四圓五十三匁

第二 大正九年九月十六日梶井盛國枝仁三郎ハ支那人魏長徳ト前同一ノ阿片特賣ノ契約ヲ結ビ



資金及ヒ運動費ハ魏ノ負擔トシ而シテ利益分配ハ三分ニテ梶井ノ收得トシ殘三分ノ一ヲ國枝及魏ニ於テ折半スル納旨ナリ即チ名儀人タル魏長徳ハ僅ニ六分一ヲ收受スルニ過キサルナリ以上ノ實例ヲ一瞥スルモノ誰カ其ノ利益分配ノ不權衡ナルヲ怪マサルモノアラムヤ蒲原某梶井某ハ固ト是レ市井ノ一平民ノミ如何ナル權威アレハ資金ヲモ提供セス悠々袖手シテ或ハ八割或ハ三分ノ二ノ巨利ヲ壟斷スル乎又利ニ敏キ支那人カ資金ヲ出シ勞力ニ當リナカラ甘シテ此ノ不利益ナル契約ヲ結ハムヤ而カモ尙ホ茲ニ至リシ所以ノモノハ蒲原等ノ背面ニ巨大ナル有力者ノ潛ミ居ルカ故ニ非スヤ即チ彼等ハ或有力者ヲ代表シテ結約セシモノト謂ハサルヘカラス蒲原某ハ佐賀縣出身ニシテ拓殖局長官古賀廉造ノ腹心者ノ由ニテ古賀長官ノ近親タル平林甚輔カ經營スル大和鑛業株式會社ノ支配人ナリ又前掲蒲原杜間ノ契約ヲ起草セシ大河平隆敏ノ書面ニ依レハ蒲原カ渡連セシ時小島貞次郎ハ竊ニ同人ニ告ケテ曰ク蒲原ハ古賀長官ノ密旨ヲ受ケ中野署長及自分ニ打合セノ爲來レリ就テハ君ニ依頼スルカ蒲原ト朱春山トヲ契約セシムル必要アレハ君ハ朱春山方ニ行キ一切ノ事情ヲ打チ明ケテ契約ヲ爲スニ就テ會見ノ場所日時等ヲ取決メ來リ吳レト而シテ同八ノ奔走ニ依リ翌日蒲原杜間ニ契約成立ニ至リシモノナリ以テ古賀蒲原ノ間柄ヲ見ルニ足ルニ非スヤ梶井某モ亦古賀長官原總理大臣ノ門ニ出入シ最其ノ恩顧ヲ受クル人物ナリ

以上ハ阿片賣買ニ關スル不正行爲ノ片鱗ニ過キス山縣關東長官カ豫算分科會ニ於ケル言明ニ依レハ特賣人ハ五十三名アリ而シテ是等特賣人ノ名儀ヲ以テ盛ニ不正ヲ働キシ有力者アリト聞ク政府ハ速ニ一切ノ事實ヲ糺明シ嚴乎タル措置ヲ執ラサルヘカラス政府ノ所見如何

十年三月二十四日本田恒之君ハ右質問主意書ヲ提出シ未タ日程ニ上ラサルニ先チ原國務大臣ハ三月二十六日書面ヲ以テ左ノ答辯ヲ爲セリ

關東廳ハ阿片拂下ニ關シ事實上宏濟善堂ニ命シ一切ノ事實ヲ取扱ハシメアリ質問書中有名無實ナル宏濟善堂ナル一機關ヲ設ケト言ヒ又表面上非違ノ責ヲ免レムト裝フ云々ト言フカ如キハ事實ヲ誣フルノ甚シキモノナリ尙ホ小島貞次郎ナル者ハ阿片總局ノ一雇人ニ過キスシテ古賀拓殖局長官ト何等懇親ノ間柄ニ非ス又質問書中彼等ノ間ニ如何ナル密議アリシヤハ茲ニ言明ノ限ニ在ラス云々ト言ヒ從來認可セシ阿片小賣人ノ外大正八年ニ至リ新ニ特賣人ナル最怪シム可キ制度ヲ設ケ無制限ニ阿片ヲ拂下クルニ至リタル云々ト言フカ如キハ故ラニ虛妄ノ事實ヲ捏造シタルモノニ外ナラスト思料ス其ノ他ノ事實ニ付テハ目下取調中ノ刑事被告事件ニ牽聯セルヲ以テ他日判明スルノ時期アル可シ今日答辯スルノ限ニ在ラス



三三 司法權ノ威信ニ關スル質問

近時神聖ナル司法權ノ獨立ニ關シ民人ノ大ニ疑惑ヲ懷タモノアリ司法行政ノ措置亦甚タ公明ヲ缺キ吾人ヲシテ深ク怪訝ニ堪ヘサラシムルモノ鮮少ナラス憶フニ國家ノ正義民人ノ自由ハ一ニ公明嚴正ニシテ獨立ナル司法權ノ確立ニ依テ保障セラル而シテ司法行政ノ當否ハ直ニ司法權ノ獨立ト威信ニ影響スルトコロ多シ頃者司法界ノ現狀ハ本員等ヲシテ憲政ノ運用上邦家ノ爲ニ寔ニ深憂ニ勝ヘサラシムルモノアリ司法當局ノ所見如何

十年二月十二日横山勝太郎君外二名ハ右質問主意書ヲ提出シ未タ日程ニ上ラサルニ先チ大木國務大臣ハ二月二十一日書面ヲ以テ左ノ答辯ヲ爲セリ

從來司法行政ノ措置ヲ以テ司法權ノ獨立ヲ害シ一般ニ疑惑ノ念ヲ懷カシメタルカ如キ事實ナク又司法權ノ獨立ヲ干犯セラレタルコトナシ

三四 司法權ノ威信ニ關スル再質問

本員等ハ去二月十二日司法權ノ威信ニ關スル質問主意書ヲ提出シタルニ政府ハ何等スル事實ナシト答辯セリ今其ノ一例ヲ舉クレハ前大分警察署長警視小野忠藏ハ前大分警察部長山口織之進

ノ名譽ヲ毀損スヘキ記事ヲ新聞紙ニ掲載頒布セムコトヲ中山鷹城ニ依頼シ醜惡ノ事實及寫眞ヲモ提供シタル件ニ關シ後日大分地方裁判所檢事局ハ中山鷹城等ニ對シ名譽毀損罪ノ起訴ヲ爲シタルニ拘ラス司法大臣ハ某政黨ノ請託ニ基キテ右小野忠藏ニ對シテハ起訴ヲ爲スヘカラストノ命令ヲ下シタリト謂フカ如キ事例アリ之レ司法權ノ威信ヲ失墜スルノ甚シキモノナリト信ス其ノ他司法權ノ威信ニ關スル事例尠カラス政府ノ所見如何

十年三月一日横山勝太郎君ハ右再質問主意書ヲ提出シ未タ日程ニ上ラサルニ先チ大木國務大臣ハ三月八日書面ヲ以テ左ノ答辯ヲ爲セリ

本質問書例示ノ事件ニ就テハ當時ノ大分警察署長警視小野忠藏カ中山鷹城等名譽毀損被告事件ノ共犯タル嫌疑アリトシテ當該檢事正ヨリ其ノ處分方請訓有之取調ヘタルニ同人ハ既ニ其ノ職ヲ退キ改悛ノ情著シク處罰ノ必要ナキモノト認メタルニ因リ起訴猶豫處分ニ附スヘキ旨訓令ヲ發シタルモノニシテ決シテ某政黨ノ請託ニ基キテ斯ル措置ヲ採リタルモノニアラス其他司法權ノ威信ヲ害シタル事實更ニ無之

三五 司法權ノ威信ニ關スル第三質問



本員等ハ去三月一日付ヲ以テ「去二月十二日司法權ノ威信ニ關スル質問主意書ヲ提出シタルニ政府ハ何等スル事實ナシト答辯セリ今其ノ一例ヲ舉クレハ前大分警察署長警視小野忠藏ハ前大分警察部長山口織之進ノ名譽ヲ毀損スヘキ記事ヲ新聞紙ニ掲載頒布セムコトヲ中山鷹城ニ依頼シ醜惡ノ事實及寫眞等ヲモ提供シタル件ニ關シ後日大分地方裁判所檢事局ハ中山鷹城等ニ對シ名譽毀損罪ノ起訴ヲ爲シタルニ拘ラス司法大臣ハ某政黨ノ請託ニ基キテ右小野忠藏ニ對シテハ起訴ヲ爲スヘカラストノ命令ヲ下シタリト謂フカ如キ事例アリ之レ司法權ノ威信ヲ失墜スルノ甚シキモノナリト信ス其ノ他司法權ノ威信ニ關スル事例尠カラス政府ノ所見如何」トノ再質問書ヲ提出シタルニ政府ハ三月八日付ヲ以テ「本質問書例示ノ事件ニ付テハ當時ノ大分警察署長警視小野忠藏カ中山鷹城等名譽毀損被告事件ノ共犯タルノ嫌疑アリトシテ當該檢事正ヨリ其ノ處分方請訓有之取調ヘタルニ同人ハ既ニ其ノ職ヲ退キ改悛ノ情著シク處罰ノ必要ナキモノト認メタルニ因リ起訴猶豫處分ニ付スヘキ旨訓令ヲ發シタルモノニシテ決シテ某政黨ノ請託ニ基キテ斯ル措置ヲ採リタルモノニアラス其ノ他司法權ノ威信ヲ害シタル事實更ニ無之」ト答辯セリ然レトモ或方面ヨリ司法省ニ向テ右小野警視ニ對スル不起訴ノ交渉ヲ爲シタルヲ以テ司法省ハ不起訴ノ内命ヲ下サムトシタルニ大分地方裁判所檢事局ヨリ非公式ノ書信ヲ以テ若司法當局ニ於テ該事件ニ關スル當該檢事ノ起訴處分ヲ高壓抑止スルナラハ檢事局全員ハ假令野ニ下ルトモ司法

當局ノ非議ヲ糺彈シ之ヲ公明ナル社會ノ批判ニ訴フヘシトノ意嚮ヲ上申スルトコロアリタルヲ以テ司法省ハ小野警視擁護ノ交渉ヲ拒絶シタリト云フ之レ大正八年十二月中ノ事ニ屬ス大正八年十二月二十七日大分地方裁判所監督書記室ニ於テ檢事鳥原英治氏ハ中山鷹城ニ對シテ語テ曰ク

兩三日中ニハ當局ヨリ小野警視起訴ノ許容沙汰アルヘシト考フル故最早政友會員如何ニ狂奔スルトモ徒勞ニ過ギザルベシ云々

ト然ルニ越ヘテ大正九年一月八日松田源治君突如歸縣シ別府紅葉館ニ多數ノ同志ト會見翌九日暮夜竊ニ大分日日新聞社長衛藤又三郎氏ヲシテ檢事正男庭善之助氏ヲ訪問セシム其ノ要談ノ内容ハ之ヲ知ルコトヲ得サルモ略ホ推察スルニ難カラス之カ爲ニ當時大分縣ニ於ケル民間ノ風説ハ司法省ノ檢事壓迫小野警視擁護ニ在ルヲ傳ヘサルナク世論益高潮シ司法權ノ威信全ク地ヲ拂フニ至ルス如クニシテ結局小野警視ハ不起訴ニ終レリ

是レヨリ先大正八年十二月二十一日上京中ナリシ中山鷹城ハ赤坂區榎坂町東亞同文書院表二階事務室ニ於テ政友會代議士一宮房治郎君ト會見シタル際一宮君ハ語テ曰ク

大分縣ノ政友會諸君ノ輕舉妄動ニハ寔ニ迷惑至極デアアル今回ノ事件（小野警視ノ起訴不起訴事件ヲ指ス）ノ如キモ既ニ一度ハ農工銀行問題デ司法省ヲシテ無理ナ處斷ヲ採ラシメタルニ



拘ラズ引續キテ又モヤ不起訴ニセシムルコトハ實ニ困難デアル直接ニ交渉ノ任ニ當テ居ル松田君ノ如キハ非常ニ困惑シテ居ル云々

尙同日中山鷹城ハ元田政友會總務ヲ訪問シタルニ病床中ノ故ヲ以テ面會セサリシモ女中ヲ通シテ曰ク

余ハ病床中ニテ遺憾ナガラ會談スルヲ得ザレドモ小野ノ事件ハ目下松田君ヲシテ交渉セシメツツアレバ同人ニ一應會見ノ上委細ヲ聽取セラレ度シ云々

依テ中山鷹城ハ歸途松田源治君ヲ訪問シタルニ同君ハ

當方ニ於ケル採消運動ハ既ニ絶對ノ餘地ナケレバ先般大分日日新聞社長衛藤又三郎ガ小野警視ノ謝罪狀ヲ携ヘテ島根(山口警察部長ノ赴任地)ニ赴キ直接山口ニ對シテ告訴取下方交渉中ナレバ之ニシテ不可能ニ終レバ詮術ナシ斯ル事ヲ一々中央ニ持テ來テハ甚ダ困ル吾々ノ立場ヲモ考ヘテ吳レナケレバ云々

ト語ラレタル事實アリ此等ノ事實ニ依レハ小野警視ノ不起訴處分ハ政府答辯ノ如ク改悛ノ情著シク處罰ノ必要ナキモノナルカ故ニ非シテ全ク政友會員ノ運動松田源治君等ノ司法省並檢事局ニ對スル交渉請託司法省ノ壓迫等カ原因ト爲リテ瀆職犯罪名譽毀損罪ノ犯人ヲ以テ不起訴處分ノ利益ヲ享ケシメタルコト極メテ明瞭ナリト信ス政府ハ此點ニ關シ詳細ナル調査ヲ爲シ更ニ答辯アラムコトヲ望ム

十年二月十一日横山勝太郎君外一名ハ右第三質問主意書ヲ提出シ三月二十二日趣旨辯明ヲ爲スニ先チ大木國務大臣ハ書面ヲ以テ左ノ答辯ヲ爲セリ

本質問書ニ引用スル事件即チ前大分警察署長警視小野忠藏ニ係ル事件ノ處分ニ付テハ司法省ハ政友會會員ノ交渉或ハ請託ヲ受ケタルコト絶對ニ無之又大分地方裁判所檢事局ヨリ非公式書面ヲ以テ司法當局ニ於テハ該事件ニ關スル當該檢事ノ起訴處分ヲ抑止スルニ於テハ該檢事局ノ全部假令野ニ下ルモ司法當局ノ非議ヲ糺彈シ之ヲ公明ナル社會ノ批判ニ訴フヘシトノ趣意ヲ以テ上申シ來リタルコト全然無之且又質問趣意書中檢事島原英治カ大分地方裁判所監督書記室ニ於テ中山鷹城ニ對シ兩三日中ニハ小野警視起訴ノ許容沙汰アルヘシト考フル故最早政友會員如何ニ狂奔スルトモ徒勞ニ過キサレヘシ云々ト語リタリト謂フニ在ルモ本事案ニ付テハ最モ祕密ヲ嚴守スヘキ旨特ニ檢事正ヨリ注意シアリタルモノナルヲ以テ島原檢事カ被告タル中山ニ對シテ斯カル談話ヲ爲スノ謂レナク大正八年十二月二十七日頃ハ島原檢事ハ該事件ノ擔任ヲ離レ何等關係ナカリシモノナリ而シテ趣意書中大正九年一月八日松田源治君突如歸縣シ別府紅葉館ニ多數ノ同士ト會見翌九日暮夜竊ニ大分日々新聞社長衛藤又三郎君ヲシテ男庭檢事正ヲ訪問セシム其要談ノ内容ハ之ヲ知ルコトヲ得サルモ略推察ニ難カラス云々ト云フ點ニ付テハ當時衛藤又三



郎カ男庭檢事正ヲ訪問シ中山等ニ對スル告訴ハ示談交渉中ナルヲ以テ暫時起訴ヲ見合ハサレタキ旨希望ヲ述ヘタル事實ハ之レアルモ檢事正ヨリ司法省又ハ其ノ他ノ者ノ意見ヲ談話シタルカ如キコト之レナキハ勿論右希望以外何等ノ餘談モ之レナカリシナリ其ノ他該事件ニ關シテハ本年三月一日ノ司法權ノ威信ニ關スル再質問ニ對スル答辯ト異ル所ナク毫モ司法權ノ威信ヲ害シタル事實存セス

三六 南滿洲鐵道株式會社ニ關スル質問

大正九年四月頃南滿洲鐵道株式會社取締役ハ不當ノ高價ヲ以テ塔蓮炭礦及汽船滿洲丸ヲ買收シ任務ニ背キテ株主ニ多大ノ損害ヲ與ヘタリト謂フ政府ハ之ニ對シテ如何ナル處置ヲ取ラムトスルカ當局ノ答辯ヲ求ム

十年二月十四日早速整爾君外四名ハ右質問主意書ヲ提出シ三月一日趣旨辯明ヲ爲スニ先チ原國務大臣ハ書面ヲ以テ左ノ答辯ヲ爲セリ

南滿洲鐵道株式會社重役ハ不當ノ高價ヲ以テ塔蓮炭礦及汽船滿洲丸ヲ買收シ任務ニ背キテ株主ニ損害ヲ與ヘタル事實ナシ抑、南滿洲鐵道株式會社カ塔蓮炭礦ヲ買收シタル所以ノモノハ主ト

シテ其經營ニ係ル鞍山製鐵所ノ製鐵用骸炭ノ供給ヲ確保シ併セテ撫順ニ於ケル炭坑經營ノ統一ヲ圖ラムトスルニアリ元來滿鐵ハ撫順並煙臺炭坑ヲ經營シ巨額ノ石炭ヲ採掘セリト雖モ其骸炭製造ニ適スルハ纔ニ撫順ニ於ケル龍鳳坑アルノミ從テ今日一臺ノ熔鋼爐ニ消費スル一年三十萬噸内外ノ骸炭用炭スラ大部分ノ供給ヲ本溪湖炭坑ニ仰ケル實況ナルヲ以テ將來製鐵所設備ノ完成ニ伴フ巨額ノ骸炭需要ニ對シテハ豫メ相當自給ノ方策ヲ講シ由テ以テ製鐵事業ノ基礎ヲ安固ナラシムルハ滿鐵當事者ノ夙ニ苦慮シタル所ニシテ塔蓮炭坑ニ著眼スルニ至リタル所以モ亦茲ニ存スルハ言フ迄モナシ偶々塔蓮炭坑ハ炭質最モ骸炭原料タルニ適シ鑛量亦相當ノ額ニ達スルノミナラス其位置龍鳳坑ニ隣接シ地勢上此レト一體ヲナセルヲ以テ此經營ヲ統一スルコト頗ル有利ナリ即チ塔蓮礦區ノ下層炭ハ龍鳳堅坑ヲ利用シ之ヲ採掘スルコトヲ得ヘク又龍鳳礦區ノ上層炭ノ一部ハ斷層ノ關係上之ヲ塔蓮斜坑ニ依リ採掘スルヲ利トス加フルニ塔蓮炭坑經營ノ現狀ハ姑息ニシテ濫掘ノ嫌アリ爲ニ時々落磐ヲ見ルカ如キコトアリテ礦利保存上望マシカラサル狀態ニアリ滿鐵當事者ハ此等諸般ノ事情ヲ考慮シ速ニ之ヲ買收スルヲ得策トナシ塔蓮炭坑ノ經營者タル日支合辦大興煤有限公司ノ出資會社ニシテ同時ニ該炭坑ノ採掘運輸其ノ他一切ノ施設ヲ請負ヘル東洋炭礦株式會社ト協議ヲ遂ケ大正九年五月假契約ヲ締結シ次テ同年十二月本契約ヲ締結シタリ契約ノ骨子ハ金二百二十萬圓ヲ以テ東洋炭礦株式會社ノ株式並同會社ニ屬スル重



要ナル權利及財産ヲ買收セントスルニ在ルモ未タ其ノ代金全額ノ交附ヲ了スルニ至ラス即チ假契約締結ノ際内金トシテ金三十萬圓ヲ交附シ同時ニ會社ノ債務金八十萬圓ヲ引受ケ殘金一百十萬圓ハ之ヲ他日ニ保留セシカ本契約ニ於テハ滿鐵ノ繼承スル債務ヲ金六十一萬圓トシ別ニ金三十萬圓ヲ貸付シ一時借入金ノ辨濟其他ノ整理費用ニ充當セシメ殘代金一百十萬圓(内金十一萬圓ハ前記金參十萬圓ノ貸金ト差引計算ス)ハ東洋炭礦株式會社ニ於テ一切ノ契約條件ヲ完成履行シタル後之ヲ支拂フコト、セリ而シテ萬一契約條件カ所定ノ期間内ニ充タサレサルトキハ契約ハ其效力ヲ失フモノトス是ニ由テ觀レハ契約ニハ將來ニ於テ完成スヘキ條件附帶セリト雖代金一部ノ保留、契約ノ失效等ノ方法ニ依リ豫メ之ニ備フル所アリ會社ハ條件ノ成否如何ニ依リ不利益ヲ蒙ラサラムカ爲相當ノ注意ヲ加ヘタルモノト認ム尙炭坑其ノ他ノ評價ニ至リテハ専門家ノ根據アル計算ニ基ツキタルモノニシテ設備其他固定財産ノ評價額約三十萬圓埋藏礦量ニ對スル評價額約一百九十萬圓ナリ同炭坑ノ炭量ハ概算一千七百二十萬噸ナルヲ以テ一噸平均價格拾一錢強ニ當レリ之ヲ營業收支ノ方面ヨリ見ルモ毎年十二萬噸ヲ採掘シテ一割五分以上ノ益金ヲ見ルヘキ計算ニシテ一般炭坑取引ノ狀況ニ照シ如上ノ評價ハ決シテ不當ノ高價ニ非スト認ム

次ニ大連汽船株式會社カ汽船滿洲丸ヲ買收ノ爲支拂ヒタル代價ハ是亦決シテ不當ニ高價ナルモ

ノニ非ス大連汽船株式會社ハ豫テ汽船隆昌丸(重量噸四千二百三十五噸)及泰昌丸(重量噸三千七百五十五噸)ノ二隻ヲ南洋方面ノ航路ニ配シ貨物ノ輸送ニ從事セシメ居タルモ共ニ老朽船ニシテ永ク使用ニ堪ヘサルヲ以テ大正九年一月隆昌丸ヲ金七十萬圓、泰昌丸ヲ金五十萬圓ニ賣却シ其代金並戰時中贏得シタル益金ヲ以テ新ニ相當ノ汽船ヲ建造シ以テ南洋航路ニ充當セシムト欲シ大正九年二月十日田中商事株式會社ニ對シ重量噸六千三百噸級ノ汽船ノ新造ヲ注文シタリ而シテ該汽船ノ代價ハ重量一噸ニ付金三百二十五圓トシ三菱造船所ニ於テ建造セラレ大正十年一月末日迄ニ工事竣成ノ上引渡ヲ爲スヘキ條件ニシテ引渡ノ時期ニ付テハ尙五十日間ノ無償猶豫期間ヲ認メタリ然ルニ未タ該汽船ノ工事ニ著手セサルニ當リ株式會社内田造船所ヨリ重量噸八千五百噸ノ汽船ノ注文ヲ受ケタキ旨ノ交渉ニ接シタルヲ以テ滿鐵並大連汽船兩會社ノ重役ハ兩者ノ得失ヲ比較研究シタル後營業上寧大型船ヲ有利ナリト認メ噸當リ船價及竣工期限ニ變更ヲ生セスシテ、田中内田兩關係會社間ニ協議纏ルニ於テハ前約ヲ解キ内田造船所ニ新規契約ヲ結フ意嚮ナル旨ヲ答ヘタリ後兩會社ノ協定成リタルヲ以テ大連汽船株式會社ハ大正九年四月十二日内田造船所ト新ニ假契約ヲ締結シ之ニ基キ同年五月五日重量噸八千五百噸型ノ汽船一隻ノ建造ヲ注文シタリ而シテ該船ハ其ノ後大體豫定通り工事進行シ本年一月上旬進水シ二月二十六日其引渡ヲ受ケ代金モ亦支拂ヲ了シタルカ其ノ出來榮極メテ良好ナリ



右契約當事者ノ變更ニ關シテハ右述フル事由ノ外何等特殊ノ事情ヲ存セス又右ニ關シ大連汽船株式會社ヨリ田中汽船株式會社ニ對シ解約金又ハ違約金ノ類ヲ交付シタルコトナク唯既ニ支拂ヒタル割拂金四十五萬圓中十五萬圓ヲ即時現金ニテ返還セシメ殘額三十萬圓ニ對シ年六分利三箇年賦ヲ以テ返戻スルコトヲ許諾シタルニ止マル尙内田造船所注文船ノ價格一噸當リ三百二十五圓ハ同月中ニ取結ハレタル他ノ遠洋汽船新造契約ニ對照シ何等破格ノ點ナク又不當ト認ムヘキ廉ナシ四月末大阪商船株式會社注文ノ同型船ニ比シ二十五圓ノ價開アルモ當時ニ於ケル經濟界急變ノ狀況ニ想到セハ已ヲ得サルノ現象タルコト自ラ明白ナルヘシ

參考ノ爲大正九年四月中ニ於ケル遠洋汽船造船契約ノ主ナル事例ヲ示セハ左ノ如シ

契約月日 注文者 造船所 噸數 噸當價 隻數

四月一日

日本郵船 浦賀船渠 六、四〇〇 三二五

四月十二日

大連汽船 内田造船 八、五〇〇 三二五

四月三十日

大阪商船 内田造船 八、五〇〇 三〇〇

右ニ對シ提出者橋本喜造君ハ意見ヲ述ヘタリ

三七 取引所政策ニ關スル質問

一、政府ハ昨年ノ特別議會ニ於テ取引所法改正調査費一萬二千餘圓ヲ要求シ爾來調査委員會ヲ設ケテ諮問ヲ行ヒ且政府當局ニ於テモ調査研究ヲ累ネラレタルカ如シ然ルニ該改正案ハ尙未タ今期議會ニ提案ヲ見ス右ハ如何ナル事情ニ基クカ

二、時代ノ變遷ニ伴ヒ取引所法ノ改正ヲ要スヘキ箇條ハ二三ニ止マラサルヘシト雖就中急務中ノ急務ナルハ現物市場問題ノ解決是レナリ各種商品並有價證券ニ關シ定期ト對立スヘキ現物市場ノ設置ハ時代ノ要求ニシテ且現物取引ノ革新又ハ統一ニ關スル取引所法ノ改正ハ政府當局ニヨリテ公約ヲ爲セルニ等シキモノアリ從テ若今期議會ニ該改正案ヲ提出セラレサルニ於テハ當ニ如上ノ要求ト公約ニ背クノミナラス從來識者ト事情通ニヨリテ指摘サレツツアル取引所法違反又ハ定期類似ノ疑アル變體的現物取引ハ益盛ニ行ハルルニ至ルヘシ現行法規ノ威力ヲモ疑ハレムトスル此ノ種ノ取引ニ對シ取締又ハ監督ノ地位ニ在ル政府當局ハ依然トシテ之ヲ看過セムトスルカ

三、綿絲及綿布ノ長期先約取引ニヨル決濟難ニ依リ延テ一般財界ニ幾多ノ惡影響ヲ及ホシタル



ハ周知ノ事實ニシテ現ニ今日ニ於テモ尙其ノ懸念ハ全然一掃セラルルノ點ニ達セサルナリ而シテ斯ル放漫ナル長期先約ニ對シテハ或程度ノ制限又ハ禁遏ヲ行フノ必要ヲ認メサルヤト云ヘル前期議會中ニ於ケル本員ノ質問ニ對シ政府亦同感ノ意思ヲ表示セラレ同時ニ今後之ニ對シテ如何ナル對策ヲ施スヘキヤニ就テハ銳意考究中ニ屬スル旨ノ答辯ヲ與ヘラレタリ爾來考究ノ結果如何

四 綿絲布ノ長期先約取引ノ弊害ハ遂ニ市中ニ於ケル綿絲布取引ノ機能ヲ破壞セルニ等シク其ノ取引圓滑ナラスシテ全國ノ紡績會社並綿絲布業者等ニ對シ甚大ナル苦痛ヲ與ヘツツアルノミナラス綿絲布カ我カ國輸出貿易品中ノ重要商品タル點ヨリスルモ取引機能ノ破壞ニ依ル輸出不振ニ依リテ國家ハ非常ナル不利益ヲ招致シツツアリ而シテ現在綿絲ノ定期市場ハ事實上單ニ左撚二十手ノ取引ヲ行フモノニ過キサカ故ニ其ノ設備ヲ擴張シテ取引方法ノ缺陷ヲ補フカ又ハ綿絲ノ各番手ヲ通スル大量取引ノ行ハレ得ヘキ別個ノ現物市場ヲ設置セサル限り右ノ不利不便ヲ救フ能ハサルナリ一日モ緩ニスヘカラサル此ノ種ノ實際問題ニ對シ政府ハ果シテ如何ナル方策ニ出テムトスルカ

五 我カ國ニ於ケル食糧中ノ首位ニアル米穀ノ根本調節ハ價格ヨリモ數量ノ點ニ重キヲ置カサルヘカラサルト同時ニ恆久的調節策トシテハ常平倉ノ如キ制度ヲ採用スルノ外ナカルヘシ而モ近時ノ如ク諸物價ニ比シ獨リ米價ノ暴落顯著ナルハ多數農家ノ一大苦痛タリ從テ此ノ焦眉ノ苦痛ヲ救ハムトスルニ當リテハ價格ノ調節ヲモ行ハサルヘカラス現ニ蠶絲業者ノ救済ニ任シ生絲相場ノ低落ヲ阻止スヘク直接及間接ニ努力セル政府トシテハ米價ノ暴落ニ對シテモ亦何等カノ價格調節策ヲ講スルヲ以テ公平且至當トセム此ノ點ニ關シ曩ニ米價ノ騰貴時代ニ於テ期米市場ニ對シ受渡米格附範圍ノ擴張實施ヲ内命シ之ニ依リテ米價ノ暴騰ヲ抑壓シタル政府ハ今日ノ暴落時代ニ處シテ單ニ外米代用制ノ撤廢ヲ以テ足レリトセス更ニ各期米市場ニ於ケル受渡米ノ格附範圍ヲ縮小セシメ思惑賣ヲ助長セシメサルカ如キ方法ヲ執ルコト確ニ米價調節ノ一策ナリト信ス政府カ漫ニ取引所ノ賣買其ノ他ニ干涉スルノ不可ナルハ勿論ナリト雖非常ノ秋ニ際シテハ非常ノ政策ナカルヘカラス從テ政府ニシテ眞ニ農民救済ニ意アラハ今日ハ實ニ此ノ種ノ方策ヲ採用スヘキ時ナラム況ヤ今日ノ期米相場ナルモノハ朝鮮米ヲ受渡ニ供セラルル爲所謂鮮米相場ヲ實現シテ肝腎ノ内地米相場ヲ代表セス爲ニ定期ト正米相場トハ多大ノ懸隔ヲ示シ將又内地米相場ニ惡影響ヲ及ホシツツアルニ於テヤ政府ハ此ノ實狀ニ鑑ミ速ニ朝鮮米ヲ受渡格附ヨリ除キ更ニ進ムテ格附範圍ヲ縮小スルノ意思ナキヤ

六 商品取引タルト證券取引タルトノ區別ナク現在ノ定期市場ト對立スヘキ現物市場ノ特設ヲ必要トスルハ當業者ハ勿論今ヤ一般ノ輿論トナレリ特ニ有價證券ノ取引ニ關シテハ直及延取